

家庭部長	川上 幾太郎	大坪 宏志	井上まつ子
整理部長	正 富 曉	鈴木 幸藏	伊藤 清彦
板谷 治平	井原 陸郎	同次長	中村 武太郎
奥田 正雄	宮野 六郎	同次長	川上 益彌
森 順	海野 信正	文選部長	竹内 清作
松井直一	永松泰次郎	同次長	阿竹 銀次郎
大木 直盛	宮尾 重雄	鉛版部長	龜山 榮
岡村藤三郎	同次長	同次長	佐藤 岩雄
寫真部主任	藤田 安忠	印刷部長	飛彈 清次郎
中野 正吉	吉田 太郎	同次長	菊地 綱吉
島田 一雄	矢掛 珠雄	寫真製版部長	岩崎 貞雄
チヨウ版主任	杉原一雄	若松 嘉藏	松浦 豊吉
田鍋 光雄	早坂 二郎	内堀 正一	宇田川源吉
山崎 義人	柴田 義久	小高 重雄	石丸 庄司
川崎 達夫	富永宗四郎	營業局長	齋藤 徳松
下川 貞矩	田村 寛一	廣告部長	齋藤 徳松
安東富士夫	重松 政敏	鈴木 小市	齋藤 静
村松竹太郎	福井 賢	狩野 大作	市毛 弘
植村 金作	安吉 英夫	山岡 政雄	野矢 徹事
中上喜一郎	服部 四郎	石橋錫之助	水野篤三郎
竹尾 式	門屋 博	酒井 巖	柚本 元一
原木 郁郎	速水 盛信	販賣部長	和泉 幸恭
北野 慧	金子憲太郎	寶迫 輝男	千葉 茂
松尾 重雄	佐久間 晋	大場 孝雄	桑原芳次郎
井上新一	中村 清作	石川 好一	桑原芳次郎
有賀 謙吉	立見政太郎	井上 彦聖	百瀬 要
田澤 貞夫	野瀬 傳次	關 留吉	早川 榮

### 東京朝日新聞社

發送主任	關澤 熊吉	副業部長	石原 慎之助
經理部長	伊藤 善助	日刊ラヂオ廣告部	藤田 照滿
高瀬 幹	津野 榮喜	部長	藤田 照滿
鳥海 壯	前澤 盛太	小玉金吉郎	加納 督
池田 正男	高取兵吉郎	仁藤 米吉	菊地 富美
大野幸太郎	高野四十一郎	倉田 佐一	白石 實
鈴木 盛榮	三浦 一男	武笠 孝悌	宮澤 綠
吉田 貞治			

### 重役

取締役社長	村山 龍平
専務取締役	上野 精一
取締役	下村 宏
同	村山 長舉
同	小西 勝一
同	高原 操
同	今村宗太郎
同	石井光次郎
同	木下耶摩次
同	旭 正秀
同	石尾市太郎
同	河内 一彦
同	記事審査部長 杉村廣太郎
同	有地 健丸
同	出版編輯部(東京在勤)
同	久元 城山登美子

### 編輯局

局長	緒方 竹虎
主幹	牧野 輝智
同	美土路 昌一
同	杉村 廣太郎
同	米田 實
同	柳田 國男
同	緒方 竹虎
同	論說委員 杉村 廣太郎
同	關口 泰
同	米田 實
同	牧野 輝智
同	美土路 昌一
同	柳田 國男
同	町田 梓樓
同	名倉 開一
同	(入替休職) 荒垣 秀雄
同	壁谷 祐之
同	尾崎 秀實
同	長谷部 忠
同	北條 憲政
同	庶務課長 廣瀬 爲次郎
同	川島 兵助
同	早川富太郎
同	有地 健丸
同	整理部長(兼)美土路昌一
同	同次長 丸田 一郎
同	同次長 千葉 雄次郎
同	秋山安三郎
同	伊東 盛一
同	石塚 一雄

加藤 祇文	木下 宗一	吉岡次郎	横田 辰雄	加藤 敬三	榊島 勝一	原田榮一郎	外報部長	永井 万助	
栗原 秀松	櫻木 俊晃	米山 直吉	河合 政	陶山三保之介	藤島 逸人	平田八十一	神古百市(紐育在)	北野吉内	
早川 勇	藤本 倫則	政治部長	野村 秀雄	瀨川 源吉	相馬 正男	大東長次郎	高橋清三郎	柳澤慎之助	
右田左武雄	武藤 貞一	同次長	永川 俊美	田中 稻三	富岡 重雄	羽田 三吉	渡邊伸一郎(兼)町田 梓樓	支那部長	大西 齊
矢野源太郎	安井 俊雄	飯島 保	上野 賞輔	生江澤速雄	羽田 三吉	矢島八洲夫	(兼)林次忠(囑託)中山 充	運動部長	小高 吉三郎
校正課長	今 井 純	尾崎 剛	大谷忠四郎	山本 地榮	河合 勇	久保田高行	植村 陸男	岡本 隆	久保田高行
石川 太一	市川 邦彦	尾崎 剛	大谷忠四郎	(兼)時岡辯三郎	河合 勇	久保田高行	植村 陸男	岡本 隆	久保田高行
大橋 渡	加茂 國夫	尾崎 剛	大谷忠四郎	寫真課長	谷口 徳次郎	河合 勇	植村 陸男	岡本 隆	久保田高行
河野 一郎	小杉 寛	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
古財 徳夫	田中 清登	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
高木 勝次	竹澤 治平	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
竹野 家立	豊村 與	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
中島 健	中堀 留吉	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
練馬金太郎	西村 倫	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
林 義延	味酒 正博	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
三品長三郎	吉見 幸雄	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
聯絡部長	浅村 成功	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
久保田榮吉	栗林 貞一	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
杉山 勝美	關戸半四郎	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
深澤甲子男	三木 喜延	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
電信電話課長	長柿沼 柳作	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
阿部哲太郎	岩井千代三	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
大野 鶴恵	大庭 弘	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
熊崎 玉吉	倉光 昇三	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
近藤鉦次郎	崎田 政隆	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
鈴木四十吉	高島 ふみ	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
土岐 正雄	西尾 千治	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
廣田富太郎	松田 虎三	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)
森澤 謙行	吉田 七郎	尾崎 剛	大谷忠四郎	同次長	木村 東	向井 守政	各地通信部主任(宇都宮)	岩田豊秋(水戸) 蝦原幸作	各地通信部主任(宇都宮)























同 論說課(部長待過)	光原伊太郎	堀 爲章	長岡 憲文	(兼)棚橋朝太郎	同副部長 井上 吉次郎	朝太郎、内海深三郎
赤坂 清七	小川 市太郎	岩崎 榮	堀 秀也	學藝部長 千葉 勉雄	小西惠次郎	(兼)鈴木三郎(兼)玉置徳三
渡邊 廣重	澤村 幸夫	顯考 與一	津田 與十	同副部長 北尾 謙之助	中野 清	(囑託)奥田祐道
池田 龍藏	井上吉次郎	小林 登	石川 欣一	(東京駐在)大野木繁太郎	加茂 勝雄	西部聯絡部長(門司)
(囑託)川島清次郎	廣 久富	高木 達夫	高野 敏夫	名越國三郎	長野 敏夫	藤井 公平
内國通信部長吉村 廣	星野 龍猪	高木 徳	野村 治輔	渡邊 均	同副部長 中村 謙三	同副部長 新見 信
同副部長 持田 賢士	上田 正二郎	(兼)木造龍藏	野村 廣之	大原 武夫	同助役 柳澤 茂	市川 三郎
同 持田 賢士	高原 慶三	森 秀雄	中島 達	松井 章	同 大村 吳權	山本 貞
谷 庄一郎	(東京駐在)	經濟部長 下田 將美	石井 潔(兼)村島 歸之	岡本 鶴吉	同 畑田 三次	森 芳雄
河野 寶雄	西村 徳藏	同副部長 池田 龍藏	調查課長 石割 松太郎	川口寛一郎	馬場 由三	(兼)尾島靜雄
小池 良吉	乾 献平	同 佐藤 善郎	尾關 岩治	葛本庄治郎	長谷 義勝	門司支局長(兼)藤井公平
石黒 憲輔	吹田陸之助	同 (兼) 渡邊 廣重	松井 信一	大工 常造	高橋 二郎	同次長(兼) 新見 信
小田 善作	山田 威	同 喜多收一郎	尾關 岩治	中西 靜磨	三宅 義昌	尾島 靜雄
佐藤 定雄	井上勝太郎	武井 裕	尾關 岩治	清水 可次	窪田 武	米田 好道
山脇 誠	岡村 律造	西野 榮松	尾關 岩治	安東 克雄	岡 徳次郎	鳩谷 陽
(兼)安井彦三郎(準社員)	(兼)安井彦三郎(準社員)	西野 榮一	尾關 岩治	門田 秀賢	阪本 俊一	京都支局長 上西半三郎
二瓶千代、武良順、石川謙	西野 愛一	西野 榮二	尾關 岩治	奈良 仁介	井谷 幸平	同次長 落合 廉一
次郎	西野 愛一	西野 榮三	尾關 岩治	西島 五二	土岐 豊	鹿野 秀雄
社會部長 阿部 眞之助	西野 愛一	西野 榮四	尾關 岩治	宮野 二郎(準)村岸 泰藏	小野 三男	服部 武雄
同副部長 岩井 武俊	西野 愛一	西野 榮五	尾關 岩治	運動部長 木下 東作	大塚銀次郎	小倉 三男
同 井上輝二	西野 愛一	西野 榮六	尾關 岩治	同副部長 星野 龍猪	中川 孝史	中川 孝史
同 玉置 徳三	西野 愛一	西野 榮七	尾關 岩治	小野三千麿	内海 寛	神戶支局長 金子伴次郎
同 和氣 律次郎	西野 愛一	西野 榮八	尾關 岩治	菅井 榮治	高須 一雄	角井龍之助
同 佐藤 與一	西野 愛一	西野 榮九	尾關 岩治	中村 元一	吉川 唯忠	松住 克巳
奥村恒治郎	佐藤 與一	西野 榮十	尾關 岩治	渡邊 大陸	岡見 信彦	平田外喜二郎
須古 清	平野 謙夫	西野 榮十一	尾關 岩治	木造 龍造	岡見 信彦	中野 竹一
大野 靜馬	伊藤 恭雄	西野 榮十二	尾關 岩治	同	平野 岑一	金子 秀三

岡本 重造	名古屋支局長	木下不二太郎	海外特派員	エノノミスト部	和同喜三郎(兼)上田正二郎	出版課長(兼)小倉 文菊
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	(奉天業務)長岡克曉(莫斯	同次長(同) 池田 龍藏	(同)森田梅吉(囑託)吉田誠	市川 善男(準)西村宗太郎
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	科)黒田乙吉(哈爾濱)玉置	同次長(同) 池田 龍藏	治(同)中尾保	(兼)若井武俊(囑)薄田淳介
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	房一(紐育)上原重重	同次長(同) 池田 龍藏	編輯局長(兼)山田猛、横澤	計算課長心得 坂田義亮
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	各地通信主任	同次長(同) 池田 龍藏	三郎、湯淺席雄、谷澤伊兵	吉成 恒久 川村 敏雄
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	(伏見)安井徳三(舞鶴)福原一	同次長(同) 池田 龍藏	衛、和田傳五郎、森正藏、	(準社員)高尾一雄、村野富
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	耶(尼崎)河野耕一(舞鶴)岡	同次長(同) 池田 龍藏	森吉兵衛、鴨井長雄、小林	美子、橋口始歳、山崎昌松
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	村律造(姫路)村田久吉(長	同次長(同) 池田 龍藏	英生、緒方知人、松本於菟	(販賣部駐在員)
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	崎)大宅徑三(廣東)徳富雪	同次長(同) 池田 龍藏	男、富田幸男、武田修、藤	(京城)丸中一緑(同)箕輪清
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	夫(松山)曾我銀(津)伊藤信	同次長(同) 池田 龍藏	分外喜男、中西源三郎、清	治(釜山)浅利義作(關門)平
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	一(鹿兒島)山口徳次(大分)	同次長(同) 池田 龍藏	家唯一、小林信司	井正衛(名古屋)富永久三
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	泰静彦	同次長(同) 池田 龍藏	同	(販賣部出張所)
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	英文大阪毎日	同次長(同) 池田 龍藏	同	堀 河瀬
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	主 筆 加藤 直士	同次長(同) 池田 龍藏	同	(活動寫真班)
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	編輯長 毛利八十太郎	同次長(同) 池田 龍藏	同	内海富三郎 森田 梅吉
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	一矢 慧 阪本 俊雄	同次長(同) 池田 龍藏	同	坂上 昇 毛利 忠男
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	高見澤民興 指田文三郎	同次長(同) 池田 龍藏	同	峰川熊太郎(準)中川 勝
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	草野榮三郎 青野 健夫	同次長(同) 池田 龍藏	同	(囑)松本秀彦
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	北村守光 リース・ハリス	同次長(同) 池田 龍藏	同	遷送課長 土井 富藏
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	正富 笑八 辻井彌一郎	同次長(同) 池田 龍藏	同	小林 徳三 兒玉富之丞
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	田中 健兒 池田 哲	同次長(同) 池田 龍藏	同	水原 正治 田中 利
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	松本 猶雄(囑託)橋口次平	同次長(同) 池田 龍藏	同	(準社員)峯川伊三太郎、森
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	(同)テイ・イン・アップ・デ・ル	同次長(同) 池田 龍藏	同	田丈助、松崎鐵三郎、中川
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	(事務主任) 夏目 秋一	同次長(同) 池田 龍藏	同	伊 一 郎
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	(東京駐在) 渡邊 彰	同次長(同) 池田 龍藏	同	市 外 係 宮原 至
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	田中 新一(準)春名 民治	同次長(同) 池田 龍藏	同	(準社員)瀧口力、佐藤 満
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	(英文毎日協議員囑託)	同次長(同) 池田 龍藏	同	廣告部長 重本 長次郎
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	奥村信太郎 河野三通士	同次長(同) 池田 龍藏	同	東京事務監理
同 次長 喜多 清三	同 次長 高森 晟	同 次長 栗原三千夫	岡崎 鴻吉 鹿倉 吉次	同次長(同) 池田 龍藏	同	島田 昇平







<p>(倫敦) 缺員(紐育) 北野吉内 (巴里) 重德來助(北京) 太田 宇之助(奉天) 岡山源六(大 連) 武内文彬(上海) 中村桃 太郎</p> <p>各地通信局(部) (一) (二) (名)</p> <p>(京都) 局長 吉田 淳 宇佐見兼丸 越智 經信 河西 來壽 久住 悌三 久保 京平 高橋松太郎 築山 新三 西村勇治郎 藤谷 謙二 本郷 基繼 松本 義郎 宮崎 小市 若林星太郎</p> <p>(神戸) 局長 福田 市平 寺澤 鏡 青木 眞 池田淺次郎 木村 邊 佐藤 準一 田中慎次郎 田中 善治 武久綱四郎 坪田 耕吉 鳥居 孝一 島中 正登 福田 忠夫 森川 舟三 葉 健二 (名古屋) 局長岡崎 主計 石塚 一雄 木村大鏡 佐々木芳郎 鈴木 正文 田中 軍治 鈴木 菊一 (廣島) 局長 藤本 菊一 大上 旭</p>	<p>(門司) 局長 谷 辰次郎 編輯部主任 石田 將夫 小川 賢三 岸川 益一 磯崎 小吉 常樂寺義雄 中原 政助 野中 寛治 平松億之助 師岡 喬一 矢野 紫朗 山下 悦一 山本 直一 山田 卓實 高柳 正三 鎌田 傳助 營業部主任 瀨川文次郎 澤田 勳藏 馬場茂太郎 長瀬 武 山本新三郎 山本新三郎 (福岡) 局長 井上 收 (金澤) 局長 飯田爲三郎 長谷川政吉 (京城) 局長 新田 唯一 倉橋 義雄 後藤 靖 信夫 韓一 梁川 重孝 (以下各地通信部主任) (舞鶴) 椎野康雄(大津) 坂本 皆介(彦根) 五十嵐太刀太郎 (和歌山) 山室廉吉(奈良) 村 田謙次郎(堺) 近藤仙吉(姫 路) 木村征夫(津) 伊藤藤藏 (敦賀) 八尾爲次郎(岐阜) 藤 垣万六(各務) 原 黒田治佐 久(福井) 瀧澤豊(富山) 大塚 保二(岡山) 堀野眞一(尾道)</p>	<p>三善重春(吳) 原田文三郎 (山口) 吉永加次夫(松江) 古 川善市(鳥取) 岡田正夫(高 松) 大脇有忠(松山) 杉島武 平(徳島) 田熊喜作(高知) 小 谷虎夫(長崎) 村上健一(佐 世保) 安達實之助(大分) 青 木廣(宮崎) 島谷鷹一(熊本) 瀨田晋治(佐賀) 河本清(鹿 兒島) 兵頭恭雄(臺北) 蒲田 丈夫(平壤) 柳島功(釜山) 青 山暢演 (各地駐在社員)</p> <p>(阪神沿線) 堀治一郎(尼ヶ 崎市) 松浦實雄(御影) 勝田 一雄</p>	<p>郵送係 伊良子 奎 田阪 蕭隆 發送課長 山崎長太郎 乾 寅太郎 小西 藤吾 前田 清作 宮地 勳 森 慶一郎 藤田 藤吉 山原 督 横山捨五郎 吉本 常士 瀨山 善治 販賣整理係 瀨良 善治 谷木兵太郎 格田幸太郎 企畫係 松下清三郎 中岡 昇 格田幸太郎 村上 寛 松下清三郎 村上 寛 格田幸太郎 外交係 秋田伊三太郎 荒木 秀一 乾 彌逸 佐竹 武夫 高阪 徳三 殿村圭太郎 野間 隆季 長谷川義助 藤本 幸雄 矢木義太郎 矢達 慶一 出版部長(兼) 忠田 兵造 板垣 哲郎 小澤 龍次 三谷 等 計算係(兼) 板垣 哲郎 小松 美幸 田中 一郎 (兼) 三谷 等 夏目小一郎 (地方販賣局主任) (名古屋) 殿村禮吉(松江) 山 崎好平(門司) 鎌田傳助(京 城) 鎌貝淳二</p>	<p>廣告部長(兼) 今村宗太郎 同 次長 田中幸太郎 外交係主任 木村巳之吉 井上 勤治 池田 忠七 石井 醇一 太田 正一 神戶 岩男 木村 秀樹 齋藤憲一郎 新發田 勝 島田 博 中村 春三 平山 友賢 松本 素 森澤 清 整理係主任 中村 榮藏 稻田 雄五 北側 政吉 田淵 永雄 橋上 音吉 水田 朝吉 松本 太郎 簿計係主任 松本 太郎 井上 嘉一郎 太田治三郎 葛城俊太郎 意匠係主任 辰巳勝治郎 下村 政二 本山 茂郎 組附係主任 木村 十郎 淺野 隆 澤田幸治郎 鈴木彌三郎 廣田 文士 御厨 昂(兼) 水田 朝吉 案内廣告係主任 河方光喜 小川地喜文 高野 猛 和田静治郎 (廣告部東京支部) 部長 天野 四郎 加納 義男 北 清一郎</p>
---	--	--	---	---

<p>瀧野 勇吉 立石 泰輔 谷口 貞固 原田兼之助 藤田 貞夫 宮田新治郎 (東朝社廣告部東京支部) (兼) 中村榮藏 西田 恒之 會計部長 前田與三吉 同 次長 福田 米吉 會計係 出雲 正一 木村源之助 近藤 政士 坂口 稔 中村 孝雄 根岸 香 松本 共和 出納係主任 北島 格 用度係主任 徳本侃二郎 神戶 信一 酒井鶴之助 額宮 外良 秋山久治郎 庶務部長 野田 安重 大島 兼藏 片岡 久代 杉本龍三郎 鈴木 千代 谷口馨若磨 戸田愛之進 弘末 忠顯 水野源右衛門 南井 正二 森下清兵衛 行俊 増造 吉田 茂實 殊式係主任(兼) 野田安重 (兼) 弘末忠顯</p>	<p>津田 昇三 鍋島 雄輔 西村彌太郎 八塚 虎一 牧野榮太郎 三島秀次郎 三浦 正則 印刷部長 小西作太郎 同 次長 山崎長太郎 法版科長 松岡 卯之助 同 副科長 乙宗 精一 同 同 福井鐵次郎 青木 律馬 石川徳三郎 宇野新三郎 宇野兵次郎 齋取 英吉 岡 九一郎 奥田 嘉市 扇谷 初二 川口 一 河野 重治 片山 彌藏 形岡 重治 末原 彦次 木村 又吉 田中 長壽 藤塚義太郎 西村新二郎 藤野藤三郎 本田伊之助 増井 眞一 村上勇次郎 山中 市松 印刷科長 大西英太郎 同 副科長 小出 政治 大西巳之助 大橋繁三郎 木下與四松 岸田 尙一 菅森 榮三 杉浦純一郎 角倉銀次郎 高木勲三郎 茶谷 信一 寺西 福松 東野喜太三 徳井安太郎</p>	<p>烟中 敬隆 古寺政次郎 堀内宮太郎 野田 福藏 製本科長 中谷專太郎 電機科長 小山 敏雄 製版部長 柴 一雄 同 次長 越島 善次 製版科長 山田 芳徳 丸山 正巳 安田 信造 山内覺三郎 河野 恒吉 印刷科長(兼) 越島 善次</p>	<p>字野先太郎 上田鐵太郎 佐藤 清次 副島 次六 波々伯部方次 東 昌夫 樹村 博 宮田 眞一 鷲尾清太郎 (囑託) (六名) 松田幾之助 河内一彦 久保田正吉 坂田 三吉 松瀬彌三郎 (醫) 矢追兼次 (客員) (三名) 有田 温三 河野 恒吉 山内 眞郎</p>	<p>意匠係 宮永 隆太 計算課長 安藤 彪雄 坂本俊一郎 小田 民造 鷲野 兵一 中島 豊 上羽 恒雄 小関 八平 原 憲政 内田 勝子 石崎 幸銀 元永 鶴雄 山口 安二 立山 次雄 藤原彌三郎 奥居善太郎 會計課長 鹿子木日出雄 山田 くら 芝川信次郎 光永 愛次 小島 常重 中尾 清人 岡本 毅一 松本恒太郎 近藤 熊男 後藤 進 米ノ井修次郎 野口新太郎 宮崎爲次郎 用度課長 元永 盛美 小島 芳雄 長岡 賢吉 横尾金次郎 山内 行保 調査課長 勝木 常雄 松野 勝義 曹 成 龍 黒田 代吉 右田 徳 宮川安太郎 清水 信子 平井圭三郎 坂本 祐二 通信部長 上田 碩三 同 課長 中根 榮 丸山 清作 村木 政吉 小野 正雄 森崎 正雄 藤澤民之助 吉田 長雄</p>
--	--	--	---	---

日本電報通信社

通信社

重役

本社

<p>取締役社長 光永 星郎 取締役 富安保太郎 取締役 松野 鶴平 同 光永 眞三 同 能 島 進 同 上田 碩三 同 監查役子爵 我 祐邦 同 原田 徳次郎</p>	<p>理事 (全部兼) 中野 榮 松島 直養 元永 盛美 加藤 駿 吉川 義章</p>	<p>總務部長(兼) 光永 星郎 同 課長(兼) 上田 碩三 同 鹿子木日出雄 本田 中 同 藤永 俊三 齋藤 直吉</p>
--	---	--



仙臺支局主任河邑 光城	八田 入善 岩崎 昇	長野支局主任五味 正一	石川 仁助	金澤支局主任櫻 鐵三郎	中村 敬治	京都支局 丸野 秀丈	大竹真三郎	神戸支局 濱田 善藏	殿村 敬一 高見久滿雄	岡山支局主任吉近 鸚雄	定廣喜久二 三垣 京一	小川 恒次 長瀬 裕	鶴田宗左衛門 松田 二郎	廣島支局主任寺坂 壽	加藤 正一 瀨川 岩吉	樋口徳次郎 落 千代治	下關支局長 麻生 林策	三增 正穂 磯部彌太郎	大野 健 磯部 政雄	山本 啓一	門司支局長(兼)麻生林策	磯部 久雄 原田 肇作	宮原 七郎 進藤 吉夫	鎌田 秀雄 中住 繁夫	吉田 正樹 波多野 享	中村 早苗 井生 武夫	清澤仁次郎 長谷川滋毅	吉岡 春美 久貝 弘
-------------	------------	-------------	-------	-------------	-------	------------	-------	------------	-------------	-------------	-------------	------------	--------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------

佐賀支局 瀧 幸和	佐世保支局 秋田輝次郎	長崎支局主任福井 輝三	玉井平太郎 兒島 春彦	田尻 直 黒木 正人	林 徳平 松尾 勝太	大分支局主任田中松兵衛	有賀 忠 西 國吉	釜山支局主任萩原 久雄	檜山 英一	京城支局長 吉川 義章	吉岡憲之助 片山 誠三	小倉 彰 季 壽文	福川 兼平 遠藤 矢八	山川 涉 鳥栖 忠安	淵野 榮 岩本 虎平	池田 豊穂 吉浦 文二	奉天支局主任伊藤 一水	村崎 退介	大連支局長 内海 安吉	相原 敏治 中野聖之助	稻葉 武	臺灣支局長 加藤 駿	荒木 英一 樽澤 信二	北京支局長 濱野末太郎	横田 實 眞柄 秋徳	本橋 壽一 須崎 治平	天津支局長(兼) 須崎 治平	濱野末太郎
-----------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	-------------	-----------	-------------	-------	-------------	-------------	-----------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	-------	-------------	-------------	------	------------	-------------	-------------	------------	-------------	----------------	-------

### 日本新聞聯合社

山内金三郎 藤本 昇一	青島支局長 中島 喜一	漢口支局主任白倉清一郎	上海支局長 兒玉 璋一	片岡 正武 石田 貞一	余叔奎 村山 峻	大西 秀治 布田 正	竹中 三郎 子以 華	陳 燦堂	廣東支局主任田野邊英壽	紐育支局主任水谷 涉三	倫敦支局主任中川 治平	會計課長 石部 幸次	上村 藤吉 水野 太一	營業課長 折橋 慶治	酒井猪一郎 前田 義行	編輯主任(兼)土田 金雄	編輯主任(兼)土田 金雄	英文主任 エル、アイ、アダム	經濟主任 川島 友三	勢多左武郎 山内 清	加藤萬壽男 福岡 誠一	伊藤 勝司 鈴木 俊久	竹内 悦郎 萩野 伊八	岡本 一男 濱 州一	白尾 千城 三品 常造	小松 芳子
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	----------	------------	------------	------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	--------------	--------------	----------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------

木島 濱治 野島 君子	山本 まつ 濱田 秀雄	小林 重一 渡邊 銜	深町 愛子 齋藤 君子	小野勝三郎 宮本 盛城	報道主任 村岡 清治	大賀 知周 住谷 金吉	前田 伴 市川 太郎	翻譯主任 渡邊 純一	聯絡主任 結束武二郎	小林 徳實 西田留次郎	志賀 完 新井勝太郎	高山 俊 小倉 重代	發送主任 山本 政常	山田清一郎 進藤陽吉郎	夜野田光男	橫濱支局主任杉田 才一	松本 兼吉 新井 哲男	庶務會計主任伊勢田富久	多々見力之助 長野 秀雄	編輯主任 塚本 義雄	編輯主任 塚本 義雄	植松 尚男 相坂 信	高岡 俊一 鹽見 恒明	稻本 國雄 松本 勝司	小松 芳子 船瀬 章耶
-------------	-------------	------------	-------------	-------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	-------	-------------	-------------	-------------	--------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------

理事	岩永 祐吉	伊達源一郎	太田 正孝	城戸 元亮	緒方 竹虎	築田 欽次郎	高石真五郎	下村 宏	山根眞治郎	伊藤 正徳
本部	石井 衛太	長岡 稔	中村 豊女	白尾 千城	濱 州一	三品 常造	小松 芳子	船瀬 章耶	岩本 勝司	松本 勝司

李田 又喜 中馬 季俊	今井 讓 福島 義視	崎崎 盛行 高木 一實	平道 常一 安田庸之助	坪井 三郎 岩本 憲	多田吉太郎 湯淺 爲吉	中澤次三郎 後藤 政治	中原 繁登 藤井 祥正	石井 昌三 戸所 俊治	石井 廣友 小野田 正	佐藤 謙吾 今村平太郎	齋 豐三郎 今石貞治郎	佐藤幸一郎 増田 長	木下 明 河崎 義男	下條 雄三 尾高 三郎	小座間 茂 及川六三四	諸富 一郎 豊田 錬平	石井儀一郎 田邊 武夫	酒井 又夫 橋口 勇	坂 正逸 中島 忠之	矢野 徳雄 江連 四郎	馬場 義雄 田村 源治	石田 秀人 早川 專一	藤原繁太郎 葉梨新五郎	米野 豊實 吉田 誠一	播磨 力藏 安武 誠一	木村 進 本田 忠雄	外報係 鹽津 誠作
-------------	------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-----------

神子島五郎 龜井貫一郎	白井 同風 中村 白葉	川合 仁 特別通信係 佐藤 是康	菅 白 坂井 積文	青木元一郎 遠藤 直助	寺尾要次郎 清田 俊雄	山中 宏 高橋 増次	綾谷 丹陽 後藤 勝治	横田 孝英 荒川 穆	藤本 健爾 吉野 耕吉	小椋 留吉 五月女善次郎	營業部長 光永 眞三	中央課長 松島 直養	印南 悦雄 岡添光三郎	重水 昇 小池駿太郎	栗原 廣 宮澤 芳洞	關口 卓三 種田 豊作	岡本 精晃 小野 久	飯村 清七 井上 泉	石井 貫一 江連 六郎	新藤 生駒 富樫 祐吉	佐久間篤俊 進藤鹿之助	原野 高明 山田 仙松	山田 平八 山口 毅
-------------	-------------	------------------	-----------	-------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	--------------	------------	------------	-------------	------------	------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------

伊藤 與一 中川 秀一	武藤 駿次 江頭友太郎	石津 英司 今井 眞紹	塚脇 十三 刺賀庄四郎	慶伊安次郎 諸谷 昇八	新貝 東海 中野 一夫	高橋 喜一 沼倉 勝敏	三枝嶺三郎 沼倉 勝敏	支局長 能島 進	庶務課 谷口 艇三	計課 上田慶次郎	川添 實一 桑名 五雄	西田才次郎 中野 敬三	津田 忠一 元井 靜一	水落 三郎 石塚 兼能	會計課 桃井 侗	柴田八十太郎 大森司清一	通信課 堀 利勝	岡本友三郎 古川清一郎	平井 利光 井上新太郎	土居志氣雄 吉田健次郎	尾上 敏 清水 元信	高村 利世 伊田 修	長澤 辰藏 山中 正憲
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	----------	-----------	----------	-------------	-------------	-------------	-------------	----------	--------------	----------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	-------------

岸 芳一 田代 實助	淺井 正博 富永 三郎	岡本 吉一 春日 中和	杉 勝 高木 謙一	大引 正夫 平野 豊	淺田種太郎 伊藤 忠雄	松本 慶三 藤本藤一郎	米田 兵二 藤本藤一郎	陳 武 藤本藤一郎	高橋 孝三 山口 晋英	染井 左門 山口 晋英	小林 清三 石川光二郎	小澤 文次 高本 文八	橋爪 勝重 堀井 武	平野 茂 石田光次郎	久野 繁樹 平井 榮一	松田竹次郎 橫江秀次郎	紅 友義 犬飼 定子	小林 知一 伊澤茂太郎	工藤 照一 古屋 幸富	藤本 元秀 小池丈太郎	岩合 泰三 藤田 謙	田邊 元秀 藤田 謙	田中 正男 小松吉太郎	山田 大助 小松吉太郎	吉田 義夫 藤田 謙	杉森與平治 勝田 謙一郎
------------	-------------	-------------	-----------	------------	-------------	-------------	-------------	-----------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	------------	--------------

### 名古屋支局

### 其他各地支局



<p>福路主任 高橋 勇        廣崎 壽 升五 芳平        古野清一郎 山田 春治        角道 和三 山下 義夫        大西保太郎 西向 種吉        三宅 正夫 西向 種吉        發送主任 半田 義一        笠井利一郎 杉江 武夫        平松 映一 長岡 盛隆        名古屋支局主任 小松 半二郎        服部 茂 北川 傳二        森田 資雄 飯島 清        京都出張所 松宮 覺次        神戸支局主任岡崎幸次郎        飯田 平藏 小原磯太郎        岡田源四郎 小松 辰雄        下關支局主任鈴木 重光        福岡支局主任近藤 勇        石川 道別 矢野 勝一        長崎支局主任山口 巖        寺田 虎男        大連支局主任川島信太郎        古賀 政一 諸谷司馬夫        峯 鶴次 難波 勝治        長春支局囑託老木 近信        奉天支局長櫻井 重義        原 弘一        哈爾濱支局 加賀美保一</p>	<p>北條 峰雄        天津支局主任岩本 一吉        北京支局長 徳光 衣城        平田 泰吉 大川幸之助        佐々木健兒 鶴谷 利一        白木 吉治        青島支局 浦上 叔雄        漢口支局囑託岡 幸七郎        上海支局長波 多 博        池田 安藏 奥宮 正澄</p>	<p>廣東支局主任藤野 豹二 松岡 秋雄        香港支局囑託松原 靜吉        莫斯科支局主任廣岡光治        倫敦支局長        大ブムニイエルスウイート        紐育支局囑託        エフ・デイ・ウヰリアムズ        ライ・エイ・ゲソン        ホノルル支局囑託        ビー・ワイ・ダビース</p>
<h3>東方通信社</h3>		
<p>本社        主 幹 座間 勝平        大竹 博吉        通信部長 鈴木長次郎        整理部長 川瀨 道三        (通信部) 高井 信義        塚原時太郎 和田 稔        横山 瓦夫 浅井 三郎        山本 供平 鈴木幸次郎        福井 祝 藤本 利雄        猪股 芳雄 黒田 朝雄        辻 繁嗣        (經理部) 山中 梅生</p>	<p>支社        岡本 義雄        上海支社長龍 岡 登        藤田 邦芳 藤田 秀夫        大里 金治 杉谷 善藏        許 善齊 姚 任        北京支社長谷口 源香        加藤富貴三郎 松尾 松平        岡本 房男 兆 志 安        奉天支社長荒 基        峰村新一郎 海老原正義        中川 義次        哈爾濱支社長三田 雅各</p>	<p>重役        取締役社長富田 幸次郎        専務取締役松井 鐵夫        取締役 竹村 瓦貞        同 市島 謙吉        同 越野宗太郎        同 星野 錫        同 鈴木梅四郎        同 安達 覺        同 梅地 廣男        同 兵衛 山下 登        同 松本 末雄 清水 應三        編輯部長理事島倉 亮輔        同次長理事 宮本 昌常        政治課長(兼)宇部宮 謙        淺原 正巳 藤原 智        小玉梢次郎 山崎 仁        荒木 一雄 須田 吉衛        池田 邦夫 鈴木 春雄        青木 若治 小松 利一        鷹野 佳彦 森田 卓        大竹平八郎 大津 徳彦        社會議長(兼)宮本 昌常</p>
<h3>帝國通信社</h3>		
<p>本社        重役室庶務課        理事 入江 邦太郎        同 兼課長 柴崎 泰彦        同 哲朗 都丸 慎子        丸山 操 早月八重子        林 白己 宇田川はる        磯部 正 長谷川とし        監査課長(兼)高橋 純一        事業部長(兼)柴崎 泰彦        映畫係 岩藤新三郎        杉浦 和介 大野 義隆</p>	<p>重役        川合 清吉 瀧本 三倉        山本梅一郎 稻葉 雷治        脇 逸造 渡邊 基        肥沼淺五郎 石井紋次郎        經濟調查局長兼理事 田嶋 一二</p>	<p>函館支局 諸田 義夫        大連支局長米本 厚二        京城支局長山 昇        哈爾濱支局長細谷 清        北京支局長竹内 克巳</p>

<p>藤村 善吉 金子 四郎        藤木 太郎 河口 豪        谷川 庄平 沖邑 品吉        藤井健次郎 田邊 健一        山田 正親 八巻 榮藏        清水敏之助 柳下 武雄        阿久津兼光 福田清一郎        八木 勝次 原 翁        岡野 慶 河村 儀彌        運動課長(兼)宮木 昌常        松本福次郎 角 英武        小林 信一        外報課顧問 ヨセフ・プラウト        同 ランセル・ケネディ        山口 喬 柿花美代子        寫真課長 不動 健治        谷 正太郎 森川 新一        鈴木 茂 矢野健太郎        通信部長理事井上 正明        同整理課長(兼)宇部宮謙        中川 竹三 河合 柳江        藤村 善吉 近藤 公一        中央課長(兼)井上 正明        根岸卯四郎 草間誠之助        一色 武雄 中村治三郎        渡邊 哲 岡部 卓三        地方課長(兼)中川 竹三        (兼)近藤公一 竹市 信康</p>	<p>川添 邦彦 田中 眞清        横山 兼吉 山本 康夫        (兼)河合柳江 鈴木 恭        高取 安治 萩原 榮作        赤羽 邦輔 渡邊 悦雄        平野 清        廣告部長理事平野 義信        東京課長 平田徳右衛門        地方課長 神原 三郎        澤沼 彌作 中村萬壽雄        綿引 敏 須田 眞        廣中 友胤 大野 豊治        佐々木竹一 高篠 四郎        眞貝 爲隆 田中喜一郎        財前 國男 武石 銀藏        吉原 貞治 石渡 甚吉        山添 輝一        (外交) 川上 久元        川股 榮 宮本 喜助        中井 忠 菊地 三郎        編岡喜三次 稻垣政治郎        杉山 理平 小笠原英雄        菊地政治郎 橋本 經次        小峰半三郎 西尾延太郎        西野 佐市 關本 義一        鹽田 庄吉        經理部長理事兼重役室        監査課長 高橋 純一        計算課長 鈴木 精一</p>	<p>細江 瀧 野村 屯        廣瀬金之助 高田啓太郎        大崎 興七 福井 覺造        岩下 重信 藤村利喜藏        竹内 定三 中西 達郎        井上 重雄 織田代三郎        相原源次郎 和田 竹勇        西野 英美 樋口 傳        山内 勇 大由文之助        松本 重吉 淺井 信重        三田 政治 三浦 達雄</p>	<p>監督理事 堤 清太郎        通信課長 西川 政義        廣告課長 堀口 武仁        (會計係) 伊藤源五郎        (庶務係) 渡邊 健就        名古屋支局長松野 喜作        岡山支局長田 口 規        下ノ關支局 影井 利男        福岡支局長西川 政義        長崎支局 櫻井 晋吾        大分支局 宮原峰太郎        金澤支局長野田 禮史        長野支局長岩 尚之        新潟支局長浦野 左右太        仙臺支局長島村眞之輔        青森支局長蒲 田 基</p>
---	---	--	---



# 本日於新聞文

大正九年

## 宣傳顧問局

大は國家的の仕事から小は個人の事にいたるまで苟くも新聞雑誌通信等發行物による宣傳ならば何事でも依頼者に代つて效果本位に取扱ふ、勿論宣傳方法の立案にも應じる。又各方面の依頼に應じて對新聞關係一切の顧問役を引き受ける。共に新聞研究所創立以來八年間の信用を土臺とし研究所の全機關を活用して事務に當り所長自ら局長として責任的に實務を執る。

(詳細規定御申越次第送呈)

東京市京橋區  
**新聞研究所**  
電話二五五五

# 化鼓吹の第一機關

年創立

## 調查部

日本最初の興信的新聞關係調查機關として十五年一月中新聞研究所に此の部を特設するや廣告主事業家その他各方面から盛んに活用されつゝある。取扱事項は經營人事發行及び販賣狀態廣告料單價等新聞通信社關係一切の調査。サービスの實際經營狀態等各廣告代理業關係一切。對新聞及び代理業政策及び結果等廣告主關係一切の調査依頼に應じ依頼主に充分の満足と與へる。

(詳細規定あり)

## 新聞研究

全國新聞界の事件業況及び其の機密を速知速報する日刊通信例へば全國代表新聞の編輯方針營業狀態發行部數等を探知し同時に斯界の新傾向、及び海外新聞界の新現象を研究速報す故に新聞經營者には相談相手、新聞活字の最高顧問となり大廣告主には新聞廣告政策樹立の羅針盤必戰必勝の鍵となる

## 大學講義

編輯營業兩科とも各十二講座、新聞製作の理論と實際を詳述將に來らんとする新聞時代への用意として全國識者にすゝむ今回普及版發行、購讀料月八十錢半年四圓六十錢一ヶ年九圓

鍋町二ノ五  
**研究所**  
振替東京四五一七





# お買物は三越

三越の品は品質がよく、**價が低廉**です  
三越呉服店はデパートメント、ストーアで  
すから、御必要な日用品は大抵御座います。

◆何と申しましても、**良い品**  
は東京から買ふに限ります。  
東京でも三越の品ならば一番  
安心で、一番低廉であります

お手紙で御注文の際は「三越呉服  
店通信販賣部」へ御願ひ致します

## 三越呉服店

東京市駿河町

# ライオン歯磨

初日出ぎ  
仰いで

ライオン歯磨を  
使ふ楽しさ。

かくてこそ、  
新春の気分  
満身に漲る。





第四篇  
名鑑

全國新聞通信社々員  
約二千名の個別名鑑

新聞記事

清涼飲料

リボントロン

ナポリン

アサヒビール

エビス

大日本麦酒株式会社



い(ゐ)

- イノネー(ダグリー) トランス  
パシフィック主筆 四十五歳。コ  
ペンハーゲン大學卒業。加州大  
學卒業。(著書)布哇島、小説「セ  
コード、オヴ、シ、カルステン  
ス」。「アローケン、パタフライ  
ズ」(趣味)旅行、讀書、ボート、  
(現住)東京アトダグアタイザー社  
内。
- 伊原敏郎(青々園) 都新聞社調  
査部長(五七歳)。(現住)赤坂青  
山南町五ノ三五。電話青山一〇  
六九。
- 伊藤平治 信濃毎日新聞伊那支  
局。長野縣上伊那郡長藤村(明  
二四)生。(現住)信州伊那町(電  
話二二〇番)。
- 伊藤理基(風草) 萬朝報社會部  
長(明治四三、九入社)。山口縣  
(明二〇、七)生。山口中學早大  
英文科卒業。(新聞歴)萬朝報、  
大正日日、萬朝報。(著作)關へ  
る女性。(趣味)演藝。(現住)東  
京市外東大久保四〇二。
- 伊藤龜雄 國民新聞外報部長。  
(現住)麴町區飯田町六ノ二三。
- (電話四谷六九三八)。  
伊藤和夫 萬朝報社經濟部。三  
重縣員辨郡七和村星川(明三六、  
一、十九)生。三重縣立四日市商  
業學校、早大專門部政經科卒業。  
(現住)東京市外幡ヶ谷八八二時  
田方。
- 伊藤彌太郎 福島民友新聞記  
者。福島縣。(學歷)專修大學。(主  
義)日蓮主義。(趣味)酒。(現住)  
福島縣飯坂町字花園。
- 伊藤啓藏(蒼天) 天業民報社編  
輯局。千葉縣君津郡馬來田村(明  
三一、九、二九)生。國士館高等  
部卒業。(趣味)旅行、乘馬、蒼  
天仰望の一瞬。(現住)本郷根津  
・籃染町一福壽館。
- 伊藤永止 國民新聞社會部。宮  
城縣生。(主義)現實主義。(趣  
味)ラジオ、機械類。(現住)瀧  
野川二四一。
- 伊藤貞五郎(抵悟樓) 神戸新  
聞政治外交部長。愛媛縣(明二  
一、二二)生。(著書)最近之  
朝鮮及支那、市政研究叢書思出  
の記等。(經歷)明三九以來操艦  
界に入り、現社は大二、四月以  
來勤務。(主義)半歩主義。(趣  
味)飼鳥、愛犬。(現住)神戸市  
梅元町四十三番屋敷(電話元町  
八十二番)。
- 伊藤義一 報知新聞通信部編輯  
係。群馬縣北甘樂郡富岡町(明  
二二、一)生。(經歷)明四四年入  
社今日に至る(趣味)酒。(現住)  
荏原郡平塚町戸越。
- 伊藤喜久治 北海タイムス社  
調査部。秋田縣(明三三、七)生。  
上智大學中途退學。(新聞歴)東  
京朝日。(趣味)演劇。(現住)札  
幌市北二東三巴屋旅館。
- 伊藤金次郎 東京日日新聞(三  
五歳)。(新聞歴)報知新聞より大  
正七年八月東京日日新聞へ。(著  
書)「地方官と黨人生活」(一名う  
き草の地方長官)。(趣味)書く、  
と。(現住)府下瀧の川中里一四  
三。(電話)小石川六二五〇)目下  
外遊中。
- 伊藤繁太郎 萬朝報社編輯庶  
務課長。
- 伊藤愼憲 時事新報社校正係  
長。千葉縣(明二八、一〇、九)生。  
私立信達義塾卒業、同專科修業  
(新聞歴)大正八年一月千葉毎日  
新聞社入社五月退社、同五月讀  
賣新聞社入社、八月退社、大正
- 九年六月時事新報社入社、北條  
銚子各特置員、千葉支局長、横  
須賀特置員を轉任大正十四年二  
月山形支局長。(趣味)働く事。  
(現住)山形市旅籠町五四四番地  
(電話)山形特長二一六)。
- 伊藤正徳 時事新報編輯次長。  
(大二、八)生。水戸(明二二、一  
〇)生。家族數人、慶應大學理財  
科。(新聞歴)經濟部より政治科  
それより現任、戦時、講和、華  
府の三度海外に特派。(著作)海  
戦を想定して、破壊より建設へ  
改造の戦ひ、潜水艇と潜水戦。  
(現住)市外大井町金子)。
- 伊藤千吉(淚華) 宮崎新聞社延  
岡支局主任記者。宮崎縣延岡新  
小路(明二五、三)生。延岡天眞  
社二年修業、大阪藥學校第三學  
期修業中退學。(新聞歴)大正三  
年宮崎毎日新聞社入社、八年退  
社、同十一年宮崎新聞社入社。  
(趣味)運動。(現住)宮崎縣延岡  
中町(電話)長百五十番)。
- 伊東孫市(錦水) 豐州新報社、  
記者兼日出支局長、大分縣速見  
郡藤原村(明一八、一)生。(新聞  
歴)大分縣別府市に於て西海之  
實業雜誌發行、廢刊後、豐州新



報社へ入社。(趣味)新聞事業。  
現住)大分縣速見郡日出町。(電話一三番)。

**伊東圭一郎** 東京朝日通信部長(大分、一八入社)。盛岡市(明一八、五)生。母と妻。(新聞歴)中外商業、静岡民友。(著作)二三あり。(現住)府下千駄谷五三八(電話青山三三三〇)。

**伊東浩逸**(機山) 大阪共同通信社主幹。神奈川縣(明一一、二)生。中央大學、米國ミシガン大學。(新聞歴)神奈川縣屬、静岡縣屬、大藏省官吏、日本鐵道會社、萬朝報通信記者、中央新聞記者、製糖會社理事。(趣味)酒、旅行、演説。(現住)大阪市東區京橋二の二二。(電話東四五八、六五〇、北五六七〇番)。

**伊豫部隆二**(慈翁) 太平洋通信社長。岩手縣(明二七、四、一〇)生。(經歷)陸東新聞主筆、北海タイムス、函館毎日新聞、函館日日新聞、國民新聞函館支局長。(主義)國家社會主義。(趣味)讀書、園藝。(現住)函館市五稜郭二番地(電話二七二二)。

**伊田音彦** 遠東新報社社會部記者。東京小石川(明三四、三、八)。

生。順天中學卒、東京美術學校洋畫科中途退學、東京商工學校、本科工業化學部卒。(新聞歴)伊勢新聞社、三重新聞社、名古屋新聞社、伊勢朝日新聞社、東海朝日新聞社を経て大十一年遠東新聞社、京都日出新聞社、大阪新聞社、十四年一月現社に復歸。(趣味)文藝美術。(現住)大連市奥町青木萬。

**伊元富爾** 中外商業新報政治部編輯。福島市(明三四、四、三)生。(現住)福島市豊田町五〇。

**伊勢兵次郎**(首蛇) 大東京新聞協會顧問。新聞販賣店經營。富山縣(明四五、五)生。家族九人。獨學(新聞歴)二六(明治三三、四〇)中央營業部長(四一、一四三)。其後東京毎日外各社に關係す。(著作)新聞販賣の科學的研究。外新聞販賣に關するもの數種。(事業)明治四五年新聞販賣組合創立。(趣味)木業即ち趣味也。(現住)麹町區有樂町三の一(電話銀座六二二四番)。

**井岡亮輔** 萬朝報社送部部長。井川秋(秋村) 豐州新報社會部長。大分縣大分市(明治九、一)。

月)生。中等學校卒業。(經歷)兵庫縣刑事部長、明三五、三月東京警備學校卒業、香川縣第四部高等係刑事部長、明四二、十月豐州新報社入社。(趣味)狩獵。(現住)大分市荷揚町一八。

**井内龍雄**(鏡泉) 京都日日新聞編輯局(明二五、一月)生。(學歷)同志社大學。(經歷)關西日日新聞、やまと新聞、神戸新聞社等(現住)京都市上長者町室町東入。

**井上忠次** 株式會社京華社副參事本店營業課助役。大津市(明二四、一一)生。(新聞歴)大二、六、三入社。(現住)京都市田中上柳町三二。(電話上三三九九)。

**井上勝好** 報知政治部長(明四三、八入社)。京都府(明一八、一一)生。父母妻あり、京都宣命館、中央大學卒業。(趣味)旅行。(現住)麩町區三番町六五。

**井上勝太郎**(魁堂) 秋田魁新報東京支局長(明二二、九)生。(學歷)專修大學經濟科卒業。(經歷)帝國通信社地方課長。十餘年在勤、静岡新報東京支局、多摩川砂利株式會社事務取締役等經營シテ現在ニ至ル。(趣味)論

曲、仕舞。(現住)京橋區三十間堀三ノ三(電話銀座五〇五八)。

**井上公夫**(露舟) 東京毎日新聞社々會部。新潟縣(明二六、九)生。中學三年修業退學。(新聞歴)明四三、三月やまと新聞社入社、大十一、六月報知新聞社入社、大十三、六月二十日現社に入社。(趣味)植木、演藝。(現住)神奈川縣鶴見町豐岡(電話四〇一一)。

**井上圓三** 國民新聞社編輯主事(明二七、四)生。(經歷)東海、每夕、中央。(現住)市外東大久保四〇九)。

**井上文つ子** 東京毎日新聞社。東京(明三七、四)生。東京府立第二高等女學校卒(現住)小石川區武島町一五)。

**井上彰**(町野秋人) 沼津日日新聞事務取締役兼主筆。東京市(明二三、三、九)生。(學歷)明四一沼津中學校卒、同年一高入學、明四四東京帝大政治科入學、大正四年同科卒業、大正六年大學院。(經歷)貿易商野澤組出荷課長。滿洲製粉會社濟南支店長。山東省濟南居留民會會長。(主義)皇室中心主義。(趣味)讀書、野球。(現住)沼津市城内添地一四

六(電話四四四)。

**井上靜穗** 大牟田日日主幹(九日大牟田支社長)明二八、六、熊本縣生。(經歷)大九、四月九州日日新聞社に入り同十二、三月宮崎支局長、十四、四月現職。(趣味)繪畫と露營。(現住)大牟田市不知火町一丁目(電話二七五)。

**井上猛** 中外商業新報經濟部。井上正明 帝國通信社通信部長兼中央課長。(現住)東京市外大森山王二六二四(電話大森九九)。

**井澤弘** 東京日日學藝課長(大ニ入社)。栃木縣(明二二、一一)生。

**五十崎夏次郎**(香沖) 大阪朝日新聞社門司支局長。伊豫。(現住)下關市丸山町細江畔光明山(電話八〇番)。

**五十嵐瑛瑛雄** 東京日日新聞地方部。

**五十嵐丈夫** 米澤新聞社記者。米澤市(明三一年)生。米澤中學校(新聞歴)大正九年入社。

**爲頼母**(不徳鳥) 臺灣新聞社鹿兒島縣(明治三五、二)生。中央大學中途退學。(新聞歴)臺南新

報社退社後、大正一三年九月入社。(現住)臺中市桶町一の一五九)。

**猪股平三郎**(秋霧樓) 前中央新聞社整理部長。大分縣中津町(四十二歲)。(學歷)獨學。(經歷)毎夕新聞社政治部長ヲ經テ整理部長トナル。(趣味)酒と散策。(現住)本郷區追分町二四。

**猪股直二** 報知新聞社通信部(明三五、一〇、一)生。早稻田大學政治經濟學部。(趣味)運動。(現住)牛込東横町二〇榮新館(電話牛込八三三)。

**猪野庄太郎**(神民) 大阪日日新聞社理事。(現住)大阪市天王寺區俗人町百番地(電話南一九七番)。

**飯泉寛** 中外商業新報社廣告部茨城縣下館町(明三一、十二)生。(學歷)茨城縣下妻中學校卒業。(經歷)毎夕新聞、報知新聞。(現住)東京市麻布新廣尾町一ノ一二四)。

**飯田榮一** 豐州新報記者。大分縣北海部郡坂ノ市町(明三〇、五、六)生。(學歷)明大政經科專門部卒。(主義)皇室中心主義。(趣味)旅行。(現住)大分縣北海

部郡坂ノ市町。

**飯田憲**(素之助) 中央新聞社、社會部兼運動部。水戸市(明二八、一〇、一三)生。(學歷)早大理工科修業。(經歷)研究社英文學叢書部並に野球界同人となりやまと社會部より名古屋女學校教員となつて中央新聞社に入り今日に及ぶ。(趣味)スポーツと和樂、新内、長唄。(現住)府下下戸塚四五四)。

**飯田三千男**(豐梅) 豐州新報社營業局。大分市(明二九、一二、五)生。(經歷)大十二、六月入社今日に至る。(主義)立憲帝國主義。(趣味)讀書と釣。(現住)大分市大道町二丁目)。

**飯田清作** 株式會社正路喜社外交。富山縣(明三一)生。(學歷)大倉商業學校卒。(現住)神田區小川町一番地)。

**飯倉士郎** 大分新聞社會部長(明二七)生。(現住)別府市北末廣町)。

**庵原虎之助** 報知新聞社營業局。静岡縣(明二九、四)生。大正十年東京高科大學卒業。(新聞歴)大正十三年四月現社へ(現住)牛込東横町十四)。

**糸柳治平**(棧) 東京日日新聞小田原特置員(二十九歲)。(新聞歴)大正八年四月橫濱貿易新聞社會部記者を振出しに、一一年五月小田原特派となり一二年九月同社解散と共に退社同年十月現社に入る。(趣味)書事。(現住)相州小田原町萬年四ノ六三一(電話三二番)。

**一戶岳逸** 東奥日報經濟記者。弘前市(明六、八)生。(學歷)東奥義塾。(經歷)私立青森通俗圖書館長、明三四、十一月より勤續。(趣味)書畫骨董。(現住)青森市浦町(電話一九五)。

**一力健治郎** 河北新報社長。(趣味)新聞經營と乘馬。(現住)仙臺市東三番丁(電長三四〇)。

**一矢慧** 大阪毎日新聞英文每日編輯部(大一一、四入社)。播磨國九會村(明二八、一〇)生。家族父、兄。幼時より英國人に從ひ英語を學ぶ。(新聞歴)神戸ジャパソニクロナ社一年五ヶ月、國際通信社大阪支店に一年八ヶ月、東京ジャパソニクロナ社一年三ヶ月。(思想)アモツラシ。趣味)讀書。目下洋行中。

**一木信一**(白菊) 博多日日新聞



社記者(明二九、一一)。福岡縣箱崎町に生る。福岡商業卒業。(新聞歴)大正一三年五月現社へ(現住)福岡市外箱崎町。

**一瀬新太郎** 木浦新報社編輯主任。福井縣大飯郡高濱町字鐘寄(明三三、一一)生。(趣味)文藝、園藝。(現住)木浦府福山町十一番地。

**市川邦** 國際映畫通信社事務理事兼事業部長及び獨力活動寫眞究研所を經營す。三重縣(明二九、一〇)生。早大政治經濟部に學ぶ。(新聞歴)大阪毎日新聞社經濟部。(趣味)映畫、音學、美術。(現住)京橋區南佐柄木町七(電話銀座一五一八)。

**市川謙一郎** 信濃毎日新聞整理部。長野市(明三六、五)生。(學歷)長野中學校。(主義)感覺第一。(趣味)煙草。(現住)長野市田町。

**市來義道** 東京毎日新聞社記者。鹿兒島縣日置郡下伊集院村。大正十四年三月慶應義塾經濟部卒業。(現住)代々幡町代々木三一一。

**市島謙吉** 帝國通信社取締役。入澤瀨(片村) 東臺灣新報編輯局(席)群馬縣利根郡片品村(明二一、七、七)生。(經歷)陸軍砲兵軍曹明四退營、東京に放浪、警察官として大二渡臺、大九臺灣パツク記者、十、高砂、ツク記者、十三、一月臺灣新報記者臺北支局詰、同三月臺東支局長、十五、五月現在。(主義)皇室中心。(趣味)蒐集。(現住)花蓮港街築紫橋通り十番戸(電話一〇〇)。

**岩泉泰(江東)** 愛媛新報主筆、監査役。千葉縣生。六十二歳。(學歷)日本大學卒業。(經歷)松山市に居住二十年、其間海南新聞編輯局長、四國毎日主幹を経て愛媛新報に主筆として入社。(現住)松山市一萬町。

**岩橋信二郎(莫愁)** 日刊民衆新聞社長。東京市(明一七、四、一六)生。(經歷)日華公論主幹、京津日日新聞主筆、大陸日日新聞主幹兼主筆、四國毎日新聞主筆、海南新聞編輯局長兼主筆、日刊民衆新聞社長兼主筆。(主義)民衆の味方。(現住)松山市錦屋町(電話一〇四〇番)。

**岩田豊秋** 東朝宇都宮通信部主任。新潟縣中魚沼郡中條村(三十四歳)(新聞歴)大阪新報、國民新聞、讀賣新聞を経て大二三、七月東朝へ入社。(趣味)煙草、探偵小説。(現住)宇都宮市西崎田町二六六(電話二二二番)。

**岩田得三** 中央新聞社編輯長。東京市(明三〇)生。(新聞歴)大勢、やまと、東京夕刊、帝通、富山通信、二六。(現住)市外池袋一三四。

**岩田實(敬山)** 沼津日日新聞社長。静岡縣小山町(慶應三、九)生。中央大學卒業。(經歷)辯護士、縣會議員、其他町會議員。(主義)嚴正中立。(趣味)圍棋、讀書。(現住)沼津市城内四八八ノ一(電話一〇一)。

**岩永裕吉** 日本新聞聯合社事務理事。東京(明一六、九、一三)生。第一高等學校、京都帝大法學部。(新聞歴)滿鐵理事鐵道院文書課長、日本人道會理事、日米協會幹事、國際記者協會幹事。(趣味)ゴルフ、讀書。(現住)市外上大崎二二二(電話高輪一七二一)。

**岩里良三** 大分新聞記者。(現住)大分縣日田町。

**岩崎憲** 信濃日日新聞經濟部長。明三〇、七、長野市に生る。(學歷)長崎高商卒業。(經歷)鮮銀、長野商業會議所。(趣味)讀書、旅行。(現住)長野市南縣町。

**岩崎久太** 萬朝報社販賣部長。大分縣(明二三、四、四)生。成城中學校。(新聞歴)大阪新報、大阪時事、大正日日新聞、讀賣新聞、中央新聞。(現住)東京市外下池谷三五(電話青山五二一一)。

**岩本磐門** 時事新報司法記者。(現住)小石川區江戸川町二九。

**板井武雄(栗園)** 大分新聞社編輯記者。大分縣(明三三、五、一三)生。專門學校卒業。(新聞歴)大正二年入社。(趣味)演說、寫眞。(現住)大分市竹町。

**板倉卓造** 時事新報主筆。慶應大學教授。(現住)芝區白金三光町四五(電話三七七七)。

**磯田義治** 丹州時報、京都支局長。京都府加佐郡由良村(明二六)生。(學歷)京都同志社中學校卒業。(經歷)近江銀行京都支店及び大連正隆銀行に約十年在勤大正三年現社。(現住)京都市烏丸今出川角。

**泉徳太郎(亮街)** 愛媛新報社内勤(速記者)。明治二五、十二、

一六)生。(經歷)新聞記者生活大正八年より七年間。(趣味)俳句(現住)愛媛縣松山市築山下。

**泉哲(法學博士)** 國民新聞論說委員(明大教授)。北海道(明六、一〇)生。(學歷)スタンフォード大學、ウィスコンシン大學に政治學、コロンビヤ大學にて國際法研究。(現住)府下北多摩郡保谷村。

**泉政吉(風浪)** 泰南新報社記者。宮城縣仙臺市(明二六)生。明治大學、日本大學、各法政學專攻。(新聞歴)東京の新聞記者生活を経て臺灣新聞から現在へ(趣味)政治。(現住)臺中市室町五二八(電話一七五)。

**稻原勝治** 東京日日新聞編輯顧問。鳥取市(明一三、一一)生。A Bスタンフォード大學、AMハルヴァード大學卒。(新聞歴)外交時報、大阪朝日新聞、英文東京日日。(趣味)散步、讀書。(現住)相州片瀨。

**稻垣伯勝** 讀賣新聞社、經濟部長兼論說委員。大阪市(明一八、一二、二五)生。明治四十三年七月早稻田大學、商科卒業。(新聞歴)東京朝日新聞政治經濟部記

者、大正日日新聞(鳥居素川氏經營時代)經濟部次長兼論說委員。(趣味)音樂、農事。(現住)市外世田谷町太子堂三二〇)。

**稻垣四方雄** 京華社東京支社長。長野縣南安曇郡豐科町(明二六、一、一)生。東京私立京北中學校卒業、早稻田大學卒業。(經歷)松本信託株式會社立花商店經營。(趣味)文藝、寫眞、園藝。(現住)府下大井町原五三二〇)。

**稻垣範氏** 帝通社會部。

**稻垣玄苗** 都新聞廣告部長。(現住)赤坂青山北町六ノ四二)。

**稻生積** 大分新聞記者(明三二)生。(現住)大分市西新町)。

**生田六郎(碌魯男)** 東京朝日新聞通信部。千葉市(明二八、五、一五)生。(經歷)大十四、一月國民新聞を退き直ちに東京朝日新聞に入る。(趣味)俳句、釣。(現住)東京府下駒澤町野澤九九)。

**今井泰三** 新聞研究所。新潟市。(學歷)立教學院出身。(經歷)東京夕刊、新愛知等。(現住)東京府平塚中延三三二)。

**今井健彦** 東京毎日新聞社長、代議士。

**今橋重孝** 帝通經濟部。

**今西吉治郎(吉雄)** 東京日日新聞學藝課(大一一三、一一入社)。大阪市(明二四、一一)生。早大英文學科卒業。(新聞歴)報知新聞社會部主任、家庭部主任、東京朝日演藝記者、萬朝報夕刊編輯。(著作)子供の讀み物種々。(趣味)讀書、煙草。(現住)芝車町八三)。

**今村宗太郎** 大阪朝日相談役兼廣告部長(明三九、入社)。京都府(明一〇、五)生。家族八人。東修大學理財科卒業。(新聞歴)本社經濟記者(明三九)。廣告部長(大四)。(趣味)讀書。(現住)大阪市外蘆屋北の口一八七ノ一(電話五三七)。

**池部鈞** 國民新聞社繪畫部。

**池田一藏** 京華社副參事、本店營業課助役。天津市(明二八、三、二一)生。同志社大學經濟科卒業。(新聞歴)大正八年八月一日入社。(現住)大津市中保町五)。

**池田寅次郎** 帝國通信社取締役。

**池田龍藏(南溟)** 大阪毎日新聞社經濟部副部長兼エゴノミスト編輯次長兼論說課。山形縣鶴岡市(明二五、一)生。慶應義塾大學

部理財科卒業、英米獨ハ二ヶ年留學。(趣味)讀書、酒、著述、旅行。(現住)大阪市天王寺正寺田町六)。

**池田留三郎(一溪)** 株式日報社主筆兼編輯長。大阪市(明一三、三)生。中學校程度。(新聞歴)明治四十年以降一貫(趣味)風流、書畫、教育獎勵。(現住)尼崎市竹谷新田)。

**池田傳之助(愛泥)** 南信新聞主筆。信州小諸町生。四十歳。(學歷)早稻田大學英文科出身。(經歷)橫濱每朝新聞編輯局長。讀賣新聞主筆秘書兼、一面編輯主任。(主義)愛泥主義。(趣味)藝術。(現住)信州飯田町大久保(電二一九)。

**池田安藏** 東方通信上海支局英文課主任。長崎縣島原町(三十三歳)(新聞歴)大正三年より同五年迄倫敦に滞在し英語の研究を爲す。(現住)上海秋思感路八一二號(電話北三四八〇)。

**池田有二** 萬朝報政治部、和歌山縣(明三五、一一、五)生。大正十四年中央大學法學部卒業。(現住)市外瀧ノ川田端六五三)。

**池田精一郎** 株式會社京華社。



外務員(本店)。福井縣遠敷郡吉田村(明二、二)生。大一一、六、二四入社。(現住)京都市上京區吉田近衛町。

**諫山兵一** 大分新聞記者。(現住)大分縣森町。

**石井文作(迷花)** 萬朝報學藝部長。東京淺草(明一八、五)生。中央大學英法科。(新聞歷)海軍主計官、讀賣新聞記者活動畫報主筆。(現住)京橋區新富町一ノ九。

**石井衛太** 新聞聯合社庶務課長。石井光次郎 大朝取締役。東京朝日新聞社營業局長兼印刷部長。久留米市(明二二、八、一八)生。神戸高等商業學校卒業。東京高等商業學校專攻部領事科卒業。(經歷)行政官試驗合格、警視廳保安課長、臺灣總督秘書官、臺灣總督府參事官。(現住)東京府下大森源藏ヶ原。(電話)大森一〇七〇。

**石井鈴子** 木浦新報社。木浦福山町(明三九、九、九)生。(學歷)木浦高等女學校。(現住)木浦府大正町十七番地。

**石橋恒喜(默蟬)** 萬朝報社會部。千葉縣(明治三四、二、二)生。東京外國語學校卒業。(趣味)運動。(現住)京都市神田區裏猿樂町九青野方。

**石橋榮(巨象)** 中央新聞社政治部。福岡縣三潁郡三潁村早津町(明三四、二、二)生。

**石部幸一** 日本新聞聯合社、會計課長。

**石沼博** 時事新報社、人事課長。(現住)府下目黒下目黒九五〇。

**石渡安躬** 電通社會部。東京芝三田。(二三、三)慶大文科中途退學。(新聞歷)記者生活十一年。(趣味)寫真。(現住)府下西巢鴨宮仲二〇九三。

**石川六郎** 東京朝日學藝部長。秋田縣(明一三、三)生。妻。早大英文科出。(新聞歷)勤續十五年。(思想)人道的社會主義として申すべき。(趣味)廣いが淺い。(現住)東京市外上目黒八四四。(電話)高輪二三四〇。

**石川辰男** 都新聞社記者。政經部。常陸笠間(明二五、九、二)生。(新聞歷)東京日日新聞社。(趣味)墓地探し勝負事。(現住)府下瀧野川町西ヶ原五一。

**石川政芳(星影)** 新潟毎日新聞學藝家庭部長。大一一、八入社。福島縣(明三一、七)生。(新聞歷)新潟毎日、やまと、いはらき、萬朝報、時事新報、月刊趣味の婦人、週刊こども新聞編輯長、歌集銀線その他長短篇小説、童話劇の著作あり。(趣味)音樂、園藝。(現住)新潟市學校町。

**石川順(成邸)** 新愛知新聞社東京支社在勤、千葉縣成田町(明三五、三、七)生。上海東亞同文書院卒業。(新聞歷)大十三年十二月現社。

**石川壽三郎** 報知新聞社經濟部(三十五歲)。(現在)府下落合町上落合。

**石川秀三郎** 國民新聞社校正。石河幹明 時事新報名譽主筆。(現住)麻布區富士見町九。(電話)芝五〇一三。

**石龜保** 株式會社正路喜社調査課長。岩手縣(明二)生。盛岡高等農林學校中途退學。(現住)府下豐多摩郡野方町上沼袋一九四。

**石田佐太郎(紫水)** 豐州新報經濟部長。福岡縣宗像郡河東村(明二五、四、三)生。(主義)大家族主義。(趣味)淨瑠璃。(現住)大分市春日町。(電話)一〇八九。

**石田繁(采洲)** 美濃大正新聞編輯長。岐阜縣安八郡南杭瀬村大字外野(明二九、九、二五)生。(新聞歷)美濃大正新聞(十九歲)伯利亞出兵に従軍(二十三歲)。(趣味)釣魚。(現住)大垣市南寺内町。(電話)一五五。

**石田秀人** 日本電報通信政治部。福岡縣吉井町(明二八、九)生。(學歷)中央大學に學び政治經濟學を修む。(經歷)帝國通信、やまと新聞、萬朝報の各政治部。(主義)政治的には國家主義、文藝的には自然主義。(趣味)讀書、書畫、旅行、乘馬等。(現住)市外上落合富士見臺二〇六。

**石田善佐** 高田日報主筆(大八、八)入社。越後(明二六、八)生。早大政經科卒。(現住)新潟縣高田市中寺町。

**石村誠一** 大阪毎日新聞社大連支局長。愛媛縣宇摩上分町。慶應義塾大學、ニューヨーク、コロンビア大學。(新聞歷)明治四十二年東京日日新聞社入社外國通信部長大正十三年十月大阪毎日新聞社へ轉。(趣味)散步と草花と會談。(現在)大連大毎支局。

**石黒仁三郎(二三)** やまと新

開商況部。大江戸(明三九、一〇、一〇)生。(主義)自然主義。(趣味)スポーツ全般。(現住)本所區吉田町二六。

**石倉惣吉(多異花)** 米澤新聞社主筆。山形市外本澤村(明二三、二)生。山形中學卒業(新聞歷)山形新聞記者(四五、四)米澤新聞主筆(三、四)山形新聞編輯長(九、九)日刊山形編輯主任(一一、七)。(趣味)文藝、繪畫、俳句。(現住)米澤市立町。

**石丸重義** 土陽新聞社編輯長。(明一九、一〇)生。(新聞歷)土佐新聞社。(現住)高知市大川筋六〇。(電話)二二一〇。

**石坂喜太郎(閑月子)** 報知新聞社熊谷支局長。群馬縣(明一八、六)生。(新聞歷)明三十九年七月報知新聞社芝第二分局の店員になり、明四十二年五月社員に採用販賣部に入る。(趣味)文藝。(現住)埼玉縣熊谷町本町四丁目。

**石坂朔郎** やまと新聞社政治部貴族院擔任。埼玉縣大里郡奈良村(明一九、七、二)生。京都帝國大學法學部政治學科卒(大十、三)。(新聞歷)大十、九月國民

生。東京外國語學校卒業。(趣味)運動。(現住)京都市神田區裏猿樂町九青野方。

**石橋榮(巨象)** 中央新聞社政治部。福岡縣三潁郡三潁村早津町(明三四、二、二)生。

**石部幸一** 日本新聞聯合社、會計課長。

**石沼博** 時事新報社、人事課長。(現住)府下目黒下目黒九五〇。

**石渡安躬** 電通社會部。東京芝三田。(二三、三)慶大文科中途退學。(新聞歷)記者生活十一年。(趣味)寫真。(現住)府下西巢鴨宮仲二〇九三。

**石川六郎** 東京朝日學藝部長。秋田縣(明一三、三)生。妻。早大英文科出。(新聞歷)勤續十五年。(思想)人道的社會主義として申すべき。(趣味)廣いが淺い。(現住)東京市外上目黒八四四。(電話)高輪二三四〇。

**石川辰男** 都新聞社記者。政經部。常陸笠間(明二五、九、二)生。(新聞歷)東京日日新聞社。(趣味)墓地探し勝負事。(現住)府下瀧野川町西ヶ原五一。

**石川政芳(星影)** 新潟毎日新聞學藝家庭部長。大一一、八入社。新聞入社、大十二、十一月退社、十三、五月やまと入社。(趣味)各種の運動競技、遊び事。(現住)市外淀橋町角番二〇三。

**石崎喜夫** 讀賣新聞社會部。滋賀縣(明二八、一一、二七)生。(學歷)日本大學法科卒業。(經歷)大一一〇現社に入社。(趣味)讀書。(現住)東京府北豐島郡中新井村一二一給前方。

**石島弟次郎** 國民新聞社社會部。東京神田(二六、一〇)生。(經歷)時事、讀賣、國民。(趣味)劇と江戸趣味。(現住)池袋一〇八六。

**石森久彌(五城樓、追川)** 朝鮮公論社長、朝鮮新聞理事(三十五歲)。仙臺東北中學卒業、明大商科、外語。(新聞歷)大正十四年五月朝鮮公論社の全權利を繼承して社主兼社長となる。(趣味)觀劇、長唄、柔道、野球、書畫。(現住)京城市大和町三ノ六。(電話)三二二八。

**石母田文雄** 東京大勢新聞政治部長。宮城縣(明二六)生。(新聞歷)やまと、國民、橫濱毎朝、東京夕刊。(主義)皇室中心主義。(趣味)政治。(現住)東京府下巢鴨町三〇二七。

福島縣(明三一、七)生。(新聞歷)新潟毎日、やまと、いはらき、萬朝報、時事新報、月刊趣味の婦人、週刊こども新聞編輯長、歌集銀線その他長短篇小説、童話劇の著作あり。(趣味)音樂、園藝。(現住)新潟市學校町。

**石川順(成邸)** 新愛知新聞社東京支社在勤、千葉縣成田町(明三五、三、七)生。上海東亞同文書院卒業。(新聞歷)大十三年十二月現社。

**石川壽三郎** 報知新聞社經濟部(三十五歲)。(現在)府下落合町上落合。

**石川秀三郎** 國民新聞社校正。石河幹明 時事新報名譽主筆。(現住)麻布區富士見町九。(電話)芝五〇一三。

**石龜保** 株式會社正路喜社調査課長。岩手縣(明二)生。盛岡高等農林學校中途退學。(現住)府下豐多摩郡野方町上沼袋一九四。

**石田佐太郎(紫水)** 豐州新報經濟部長。福岡縣宗像郡河東村(明二五、四、三)生。(主義)大家族主義。(趣味)淨瑠璃。(現住)大分市春日町。(電話)一〇八九。

**石田繁(采洲)** 美濃大正新聞編輯長。岐阜縣安八郡南杭瀬村大字外野(明二九、九、二五)生。(新聞歷)美濃大正新聞(十九歲)伯利亞出兵に従軍(二十三歲)。(趣味)釣魚。(現住)大垣市南寺内町。(電話)一五五。

**石田秀人** 日本電報通信政治部。福岡縣吉井町(明二八、九)生。(學歷)中央大學に學び政治經濟學を修む。(經歷)帝國通信、やまと新聞、萬朝報の各政治部。(主義)政治的には國家主義、文藝的には自然主義。(趣味)讀書、書畫、旅行、乘馬等。(現住)市外上落合富士見臺二〇六。

**石田善佐** 高田日報主筆(大八、八)入社。越後(明二六、八)生。早大政經科卒。(現住)新潟縣高田市中寺町。

**石村誠一** 大阪毎日新聞社大連支局長。愛媛縣宇摩上分町。慶應義塾大學、ニューヨーク、コロンビア大學。(新聞歷)明治四十二年東京日日新聞社入社外國通信部長大正十三年十月大阪毎日新聞社へ轉。(趣味)散步と草花と會談。(現在)大連大毎支局。

**石黒仁三郎(二三)** やまと新

日に轉、九年北京派遣、十二年退社、北京新聞を創立、十四年退社、同年時事入社。(著書)「支那の政黨」現代支那一解説と提唱「支那政黨系位表(英文)」「支那關稅會議」「支那劇五百番」「支那劇と其名優」。(趣味)觀劇、野球、庭球、住宅研究、煙草道樂。(現住)北京東城洋澄胡同五五。(電話)東四五五六)。

**波津久清** 中外商業新報社經濟部長。早稻田大學出身。(現住)赤坂區青山町五ノ八四。(電話)青山二二七六。

**馬場直美** 中外商業新報社政治經濟部編輯。福島縣(明治一六)生。早大に學んだことあり、校友に推薦さる。(新聞歷)明三八、五月萬朝報社に入社、政經部編輯部長、言論を擔當、大正一三年五月退社、同八月現社に入る。(著書)「下らないもの數種」。(趣味)旅行。(現住)府下大井町四九一二。(電話)大森一五五五。

**馬場龍海** 東京朝日新聞社會部次長。佐賀市(明一八、一、一三)生。(學歷)駒澤大學出身。(主義)大乘佛教主義。(趣味)旅行と酒少量。(現住)市外杉並町高



圓寺四四七。  
 馬場乾 東朝校正課長。(現住) 麻布市兵衛町一ノ一〇。  
 馬場達夫 二六新報理事兼整理部長兼映畫部長。神田今川小路(學歴)早大英文科。(新聞歴)やまと、二六、中央、東京毎夕。(現住)府下大井町坂下二七二三。  
 馬場幸次郎(幸翠) 伊豫新報社東京支局長。京都市(明七、八、二八)生。中等學卒業。英學專修。(經歷)官吏、外國商館員、貿易業、會社員。(趣味)書畫骨董。(現住)東京市牛込區若松町八二。(電話)四谷二七三〇。  
 馬場常 福島毎日新聞記者。福島縣南會津郡八幡村。(現住)福島市常根田後田一番地。  
 馬場常太郎 大阪時事新報社京都支局勤務。京都府紀伊郡納所村(明二七、七)生。(現住)京都府紀伊郡堀内村字泰長老。(電話)伏見五八二番。  
 馬場恒吾 前國民新聞編輯局長。岡山縣(明八、七)生。母妻、仙臺第二高等學校、同志社、早稻田等。(新聞歴)シヤパン、タイムスに十年、紐育オリエンタル、レビユーに四年。(著作)改造の叫、労働問題と普通選挙。(思想)自由主義。(趣味)旅行。(現住)四谷區南寺町一〇。  
 棒原徳三郎(秋嶺) 國粹日日新聞社工場職員。京都市(明三〇、一一、六)生。(學歴)中學卒業。(經歷)京都日の出新聞、大阪時事新報等を経て今日に及ぶ。(主義)國粹主義。(現住)大阪市西淀川區大仁町一一ノ一。(電話)架設中。  
 土生彰(筆名又は橋竹) 福井新聞主筆。福井縣武生町(元治元、九、二二)生。獨學。(經歷)武生町長、福井縣會議員、福井市會議員、衆議院議員(現在)。(趣味)漢詩和歌俳句。(現住)福井縣武生町浪花十七。(電話)四六六。  
 春山武松 大阪朝日新聞記者(大八、四入社)。姫路(明一八、七)生。妻、邵文館中學、一高等を経て東京帝大文科哲學科美學專攻卒業大學院に三年間論叢史研究。(新聞歴)東朝の客員となり美術方面に關係し後大阪朝日に轉じ文藝美術擔當。(著作)宗達と光琳、光悦と乾山。日本の繪畫。(現住)兵庫縣武庫郡蘆屋濱吳川六。  
 秦野藤太郎 豐州新報社營業部。大分郡植田村(明一八、六、二八)生。大正十年十月一日豐州新聞入社。(現住)大分市大道町。  
 服部敬雄 東京朝日新聞社編輯局。山形市(明三二、一一)生。(學歴)十三年早稻田大學政治經濟學部卒業後同大學院に入学十四年退学。(經歷)早稻田大學新聞の創刊を發起實現十四年東京朝日新聞社に入る。(主義)ソリダリズム。(趣味)民謡をたづねる。(現住)東京小石川小日向水道町久世山ハウス。(電話)小石川一一四六。  
 服部健三 都新聞第一部長。山形縣鶴岡市(四十四歳)。(學歴)早稻田大學政治科卒業。(經歷)報知新聞經濟部、高田新聞主筆、二六新聞政治部、都新聞政治部主任より現職に至る。(現住)東京市外下荻窪一八八。(電話)荻窪一七二番。  
 服部秀夫 都新聞社會部通報員。(現住)大森町八幡二〇。  
 花岡敏隆 東京日日新聞社經濟部長(明一一、六、四)生。慶應義塾理財科卒業。(新聞歴)明治三十九年大阪毎日經濟部に入り

五ヶ年後關門支局、京都支局、神戸支局を経て現在に至る。(現住)東京芝白金三光町四〇八。(電話)高輪一三〇八。  
 原一男 大分新聞記者。(明三五)生。(現住)別府市後町。  
 原好武 大阪毎日新聞社通信員並に販賣員。(明二七、一一、一〇)生。(現住)島根縣西郷町(電話)三五五。  
 原貴雄(梨村) 近年使用セス。信濃毎日新聞松本支局長。東京市(明二七、一一)生。(學歴)飯田中學卒、明大中途退學。(經歷)銀行員生活を七、八年やつて後新聞記者生活に入る、信毎飯田特派員、本社誌、現職。(趣味)劇。(現住)所松本市二の丸町(電話)一三七九番。  
 原潤一郎 東京毎夕新聞社政治部編輯。富山縣上新川郡新保村塚原(明一三、一〇、二六)生。(現住)本郷區蓬萊町四五。  
 原田棟一郎 大阪朝日新聞社相談役、編輯局主幹。大阪市(明一三、三、二七)生。(新聞歴)明三二、一月大阪朝日新聞社へ入る、三七年日露戰役出征、三八一年二月凱旋、四〇年一〇月上

海特派員、四二年一月歸社、四四年一月組育へ特派大正三年歸朝、爾來整理部長、八年政治部長、一〇年支那兼任、一四年二月主幹。(現住)大阪市東區今橋五の十。  
 原田達郎(愚徳) 秋田新聞大阪支局長、東洋自由新聞主事、日本通信編輯長、大阪此花區上福島南三の二三(明二九、一、一)生。早大文科修業關西大學法科卒業。(新聞歴)大阪新聞、大阪輸入新聞經濟部、大阪新報、大正日日新聞を経て現在に至る。(著書)「女の世中」「人生探訪」「帽子の下からペン先へ」「關西人物史」等あり。(趣味)讀書(特に哲學宗教に關したるもの)(現住)大阪市此花區上福島南三の二三。(電話)土佐堀四一〇二。  
 原田幸衛 株式會社正路嘉社外交。長野縣(明三二)生。(學歴)私立中央大學專門部經濟科二年修了。(現住)東京府澁谷町下澁谷七八三番地。  
 原田讓二 大阪朝日新聞整理部長兼聯絡部長。備中(明一八、三、二六)生。明四一年六月早稻田大學英文科卒業。(新聞歴)讀賣新聞、報知新聞を経て大正三年東京朝日新聞に入社、その間從軍記者として青島に赴き、また歐米の新聞を視察、十四年一月現社に轉ず。(現住)兵庫縣蘆屋伊勢崎田五五八。  
 原木郁郎 東京毎夕新聞記者。(明三三、二、二)生。靜岡縣に生る。(學歴)早稻田大學法學部獨法科卒業。(貴族院第一期速記練習所卒業)。(經歷)二六新報、東京日日新聞記者。(現住)東京市外下目黒二四四。  
 林泉(吳山) 東京毎日新聞社。福島縣雙葉郡長塚村大字松倉(明三一、一一、二三)生。大成中學校卒業、早稻田大學政經科卒業。(新聞歴)大正十三年十月一日現社へ。(趣味)政治、文學。(現住)東京市本郷區根津藍染町一〇宮川方。  
 林榮美(麗泉) 日本教育新聞社長兼大阪消防新聞主事。(大一一、一一入社)。三州豊橋(明二四、四)生。國學院大學國文科、ミューンヘン大學史學科。(新聞歴)東京朝日通信員、報知鎌倉支局長、熊野實業主筆、紀伊毎日新聞主筆、時事日報主筆。(著作)近代思潮十講、國民道徳私見、基督教批判、歴史教授の革新。(思想)惟神主義、日本主義。(趣味)旅行、歴史、哲學。(現住)和歌山市貴志榮谷二五八。  
 林四郎(紅之助、朝之助) 日本新聞社社會部。東京麹町(明二五、二)生。(學歴)上智大學獨逸文學科。(經歷)讀賣新聞、中外商業、相模中央新聞社編輯長。(主義)オリエンタリズム。(趣味)酒、讀書。(現住)淺草區今戶町九。  
 林峻一 秋田魁新報社社會部。名教中學出身。(新聞歴)新秋田新聞社。(趣味)音樂。(現住)秋田市樽山廣小路。  
 林清平 中央新聞社發送部長。(明二六、四)生。(學歴)法政大學卒業。(經歷)報知、朝日を経て現在に入る。(趣味)義大夫、浪花節。(現住)東京府平塚町上蛇窪五二四番地。(電話)大森八四四)。  
 林田龜太郎(雲梯) 東京毎夕新聞社主筆。熊本市熊本城二ノ丸(文久三、八)生。東京帝國大學法科大學卒業。(新聞歴)法制局參事官、臨時帝國議會事務局書記官、衆議院書記官兼農商務

省參事官、衆議院書記官等に任ぜらる、歐米を視察す、現に衆議院議員、從三位勳二等。(趣味)讀書に關する。(現住)東京市麻布區筭町八。(電話)青山六〇一〇。  
 速水盛信 東京毎夕新聞社メトロポリタンプレスアソシエーション及警視廳詰。信州須坂(明三五、二、二二)生。(經歷)約五年一介のコスモポリタンとして歐山水の間を放浪、大正十五年春毎夕に入る。(主義)社會正義の確立。(趣味)パツカスの酒徒を以て任ずれど淺酌低唱するのみ。(現住)東京市麹町區飯田町一ノ七。(電話)四谷四四〇五)。  
 濱田辰雄 中國民報岡山市内専賣中民舎主。(明三〇、四岡山市に生る)。(主義)古きを捨て新しきに進む努力主義。(趣味)新聞販賣研究。(現住)岡山市上石井三〇。(電話)一七七六)。  
 濱田彌太郎(吳) 國民新聞大阪特派員。東京市芝區松本町(明三〇、一一、一一)生。三田中學校卒、第三高二年中途退學、立命館大學法科卒業。(新聞歴)大正九年九月日本民衆新聞社社會部



長、大十、年九月東京日日、大阪毎日新聞濱松通信部、大十二年九月國民新聞社地方部編輯、大十三年三月大阪に特派する。(趣味)婦人問題の研究、創作、旅行。(現住)大阪市北區堂島中一丁目。(電話北九八三、六七七〇)。

**濱田兄之** 土陽新聞社寫眞部外勤。高知縣吾川郡長濱村三疊瀬(明三八、五、一〇)生。(學歷)中學三年修業。(經歷)大正八年現社入社。(趣味)文學。(現住)吾川郡長濱村三疊瀬。

**濱中正一** 大阪時事新報經濟部長。青森縣上北郡七戸町。明治四十四年慶應大學政治科出身。(新聞歷)大阪時事新報政治部次で經濟部に轉じ更に同社神戸支局長を経て現地位に至る。(現住)兵庫縣御影町字上ノ山。(電話御影九六三)。

**濱野福三** 報知新聞社營業局。茨城縣新治郡石岡町(明一四、六、二四)生。(新聞歷)明治四十四年一月十三日現社へ。(現住)府下代々幡橋ヶ谷二〇六。

**濱野眞(默羊)** 名古屋新聞社客員。(明二五、六)生。(學歷)東

北學院出身。(經歷)名古屋基督教青年會主事、セールのレゾナ會社員、現職。(趣味)英文學研究。(現住)名古屋市東區千種町高見(電話東一三七二)。

**濱野末太郎(斗南)** 日本電報通信社北京支局長。宇都宮市(明二三、六)生。(學歷)東京外國語學校英語本科、米國ワシントン大學政治科專攻。(經歷)北米時事記者、東京朝日新聞外報部、日本電報通信社廣東支局長。(主義)自由主義。(趣味)讀書。(現住)北京東單三條十七。(電話東局三二八)。

**濱野覺成** 都新聞社第四部編輯。愛知縣知多郡大府町字北崎(明三一、二)生。明治大學政治科卒業。(新聞歷)新愛知新聞社、讀賣新聞社。(現住)東京市外落合町上落合七九四。

**間城益次(香陽)** 釜山日報社編輯局長。高知縣(明二二)生。(學歷)中學卒業程度。(經歷)農工銀行員、平壤商業會議所書記長、朝鮮時報編輯長、大阪毎日新聞平壤特置員、平壤起業株式會社社長、大同活映株式會社事務、滿鮮キヤメ合名會社社長。(主義)國

家社會主義。(趣味)旅行。(現住)釜山府土城町二丁目七番地。(電話一七九六)。

**萩野伊八** 日本新聞聯合社。秋田縣山本郡櫻村(明三六、六)生。日露協會學校卒業。(新聞歷)大十三年五月現社へ。(現住)麴町區麴町八丁目一三。

**橋詰良一(ゼミ郎)** 大阪毎日新聞社事業部長。尼崎市(明四、八、一九)生。(新聞歷)教員生活及二十年の記者生活。(趣味)幼兒生活に觸れること、淨瑠璃を聞くこと。(現住)大阪府下池田町字室町七番町。(電話池田二六六)。

**橋本春次** 都新聞社。東京(明三六、一)生。(現住)府下岩淵町字稻付四八八。

**橋本隆一** 大阪朝日新聞社調查部(整理部兼動)。京都府(明二八)生。同志社大學政治科卒業(大正九年)。(新聞歷)大正十三年十月大阪朝日入社。(趣味)讀書並に蒐集。(現住)兵庫縣武庫郡蘆屋濱蘆屋伊勢講田。

**橋本康男** 讀賣新聞經濟部。經歷)都社會部。

**橋本義照** 時事新報社會計部主

事。(現住)東京市外高田町雜司谷上屋敷一、一四二。

**橋本義太郎(鳴石)** 中外商業新報社廣告部。岡山縣都窪郡妹尾町大字箕島(明一六、二)生。(學歷)岡山縣師範學校。(經歷)中等教員、教科編纂、新聞記者、會社重役を経て現職に就く。(主義)國滿主義。(趣味)讀書、習字。(現住)麻布區飯倉五ノ六〇)。

**橋本堯三郎(曉舟)** 北海日日新聞夕刊編輯長(三十六歲)。早稲田大學文科卒業。(新聞歷)北海タイムス、北海道報社會部部長、樺太日日新聞主筆、北海毎日新聞編輯長。(著書)北海の史蹟、日本名勝行脚、橋本肥後守。(主義)穩健なる忠君愛國主義。(趣味)和歌、俳句、書畫。(現住)旭川市九條通十四丁目左三號。

**橋本豐** 大分新聞社營業部。大分縣(二八歲)廣島廣陵中學卒業。(現住)大分市長濱町。(電話一〇〇)。

**橋本松道(杜來兒)** 奉天毎日新聞社長。福井縣(明二二、一一)生。日本大學。(新聞歷)大正九年五月東京毎日新聞社より現在

(趣味)旅行。(現住)奉天市間房第四區社宅。(電話四二番)。

**橋本伸一郎** 大分新聞經濟部長。(明二八)生。(現住)大分市春日町中通。

**長谷亨(視堂)** 元山毎日新聞社編輯局長。島根縣石見(明二二)生。(學歷)獨學自習。(經歷)京城日報關門支局長北鮮支局長等を経て現在に至る。(主義)皇室中心主義。(趣味)俳句、園藝、麻雀。(現住)元山府春日町。(電話七〇〇番)。

**長谷部議磨** 大分新聞記者。(明二八)生。(現住)大分市。

**長谷部清一(抱石)** 靜岡民友新聞社記者。愛知縣碧海郡櫻井村大字櫻井(明二七、六)生。愛知縣立第二中學校卒業。(趣味)庭球。(現住)靜岡市鷹匠町一丁目三七。

**長谷川虎次郎** 東奥日報社印刷部部長。弘前市(明七、一一)生。

**長谷川淑夫(世民)** 函館新聞社長兼主筆。(明四五、創刊當時より)。佐渡國相川(明四、九)生。母妻子供五人、帝大法科大學政治科選科二年迄。(新聞歷)

北海新聞主筆、後持主社長、東京で雜誌王道主筆。(思想)自由主義にて建國的個人主義。(趣味)和歌、英文學、特に詩。(政黨)憲政會。(現住)函館區谷地頭町百。(電二五〇五)。

**長谷川了(やまと)** 新聞社外交部長兼整理部長。東京四谷(明二九、九、一四)生。(學歷)日本大學中途退學。(經歷)大七、十月帝國通信社に入り同九、九月國民新聞社外報部へ轉じ同十三、二月退社、同六月やまとに入る。(主義)藝術的社會主義。(趣味)講談、落語。(現住)府下代々幡町字北笹塚一三九七。

**長谷川嘉重** 中外商業新報社。東京市(明二二、一一、一)生。(學歷)慶應義塾理科修業。(趣味)園藝。(現住)府下大崎町居木橋一五三)。

**長谷川光太郎** 國民新聞編輯主事。靜岡縣田方郡三島町(明二二、一〇)生。早稻田大學商科。(新聞歷)報知新聞より現社へ。(趣味)觀劇、寄席、野球。(現住)市外世田ヶ谷代田東大原一三三六(京王電車笹塚下車)。

**長谷川幸太郎** 福島民報社政

治部。福島市の隈畔に明三〇年夏生る。(主義)兒童變化。(趣味)旅行と集會の下足番。(現住)福島市會根田宮下。

**長谷川千吉郎** 時事新報社編輯庶務。大阪府北區萬歲町(明三七、二、六)生。(現住)東京市四谷區花園町七六番地。

**蓮田聖三郎** 松屋吳服店廣告部長。(明二二、五、七)生。(現住)松屋吳服店內。

**半田義一** 國際通信社大阪支社發送部主任。

**半澤玉城** 外交時報社主。宮城縣(明二〇、三)生。(新聞歷)やまと新聞及讀賣新聞編輯局長。(現住)麴町區下六番町五〇。(電話四谷六一八五)。

**伴博** 國民新聞甲府支局記者。山梨縣巨摩郡靜川村。甲府商業卒業。(新聞歷)郵便局通信技手、映中日報記者、大正十二年四月現社へ。(現住)甲府市外相川村梅屋敷)。

**伴野清市(一樓)** 信濃毎日新聞上田支局長。長野縣南佐久郡野澤町(明一一、一、八)生。(學歷)獨學。(經歷)佐久新聞、東信新聞を主宰すること多年、大元年

信濃毎日新聞社に入り今日に至る、郡制存在當時名譽職郡參事會員たり郡會議員に當選せしこと四回。(趣味)俳句。(現住)上田市大門町。(電話一二〇番)。

**坂東英一(善義)** 美濃大正新聞社主幹。(明二四)關ヶ原に生る。大垣商業學校卒業。(新聞歷)明治四十三年現社へ。(現住)岐阜縣大垣市長町。(電話七〇七番)。

**二木尚孝(林靜夫)** 福島民友新聞通信部。明治三五、三、二五日靜岡縣に生る。(學歷)掛川中學校、私立日本大學豫科、衆議院速記練習所卒業。(經歷)大十四、十一、七日現社に入社。(主義)大乘佛教主義。(趣味)政治、經濟、宗教。(現住)福島市萬世町四十七番地)。

**二宮義親(川山人)** 長崎アレヌ主幹。宇和島市北町(明五、九)生。(經歷)操觚者として惡戰苦闘すること正に三十年也。(現住)長崎市川上町。(電話二一九七)。



**二宮武治** (數年前は典美令は用ひず) 報知新聞社通信部。廣島市(明二九、六)生。(學歷)東京帝大(佛法)出身。(經歷)小産業組合經營の經驗大十三年入社。(主義)利那全力主義。(趣味)美食、飲酒、讀書。

**二島菊次郎** (藤月) 東京朝日橋濱通信局長(大三入社)。福岡縣(明一八、三)生。早大專門部政經科卒。(新聞歴)因伯時報主筆編輯長、山陰日日編輯長。(現住)東京府下荏原郡入新井町新井宿一七。(電話)大森九六六番。

**丹波秀伯** 東京朝日新聞經濟部。

**仁藤秋平** 沼津日日新聞社會部。沼津市(明三九、一〇、二二)生。(趣味)讀書其他。(現住)沼津市追手町。

**仁木八郎** ジャパンアドバタイザ社員。栃木縣(明一七、二)六)生。(經歷)十九歳にして渡米十二年間在米、大元年歸國以來同社在勤。(趣味)常磐津。(現住)赤坂區青山南町六丁目百〇八。

**新居房太郎** 二六新聞社營業部。

局長。德島縣(明二五、四、二八)生。日本大學法律科卒業。(新聞歴)大正二年現社へ。(趣味)旅行。(現住)下澁谷六一九ノ七八。

**新田宇一郎** 東京朝日新聞社廣告部次長。(明二九、三月)富山縣高岡市に生る。(學歷)大八年神戸高商卒業。(經歷)大八年より大正十一年まで久原商會社里支店勤務十一年十二月東京朝日新聞入社。(趣味)夏冬を問はず登山。(現住)市外澁谷町、中澁谷四七。(電話)青山七二二五。

**西原都子** (粹子) 國粹日日新聞社記者。高知縣(明三九、四、二一)生。(學歷)高知市私立土佐高等女學校出身。(主義)國粹主義。(趣味)讀書。(現住)大阪市港區市岡町二九三五一。

**西川太治郎** (映陽) 近江新報社滋賀日報社編輯監督(六十二歳)。早大政經科卒業。(趣味)書畫。(現住)大津市材木町。(電話)三三九。

**西川政義** 帝國通信社福岡兼關門支局長。石川縣(明二六、一、一〇)生。(現在)福岡市南中洲八八二。(電話)福岡一八〇六。

**西川小三郎** (姉江) 近江新報社滋賀日報社常務取締役兼營業監督(三十五歳)。早大政經科卒業。(趣味)旅行其他。(現住)大津市神出町。(電話)大津五九二)。

**西片朝三** 滿洲報社長兼社主。新潟縣(明一〇、一、一二)生。米國南加大學醫學部、桑港醫科大學留學部。新聞歴)醫師(自明治三十二年至大正九年三月)米國羅府毎日新聞社長(自明治四十年至同四十二年)滿洲日日新聞社副社長(自大正九年三月至自十一年十二月)滿洲報社主筆社長(自大正十年七月至今日)。(現住)大連字補町一〇〇。(電話)五二二六)。

**西田常三郎** (冷月) 元山毎日新聞社長。(明一三、八月)岡山縣に生る。(學歷)早稻田大學政治經濟科卒業。(經歷)明三八年渡鮮三九年より現新聞創刊。(主義)力行主義。(趣味)碁、ゴルフ、麻雀。(現住)元山府城洞。(電話)五五〇)。

**西田廣吉** (抱水) 日本通信營業部。

部長。大阪府北河内郡豐屋川(明二二、二、一九)生。米國ニユヨーク、サートバート大學卒業。(新聞歴)銀行に二ヶ年間勤め後「雜誌」實力之世界」を経營。著書として「關西事業史」「實力之人物論」あり。(趣味)乘馬。(現住)大阪府北河内郡豐屋川。(電話)豐屋川三〇)。

**西村熊猪** (雪山) 土陽新聞社校正部。(明七、四、二六)高知市生。(現住)高知市新町田淵六十

**西村藤夫** 豐州新報東京支局長。(本郷區駒込蓬萊町)

**西村公明** 東京日日新聞社政治部長。

**西村章** (秋雁) 愛媛新報社文藝主任。伊豫郡北伊豫村(明三三、七、二三)生。(學歷)早大商科中途退學。(經歷)小學校に奉職し後現社に轉ず。(主義)現世靈魂主義。(趣味)音樂。(現住)松山市新玉町一丁目。

**西村博** (白水) 天津時報社長、大毎東日天津特派通信員。京都府伏見町(慶應三、一)生。(新聞歴)明二十七八年京都日出新聞朝日新聞社京都新聞等關係支那

伊勢町三ノ五九川本方。  
**細貝邦太郎** ジャパン、タイムス論評部。新潟縣(明二、九)生。慶應大學文學部。(經歷)教育、翻譯著作。(趣味)文學、宗教、能樂、圍棋。(現住)芝罘町八。部擔當。和歌山市(明三一、二)生。中學卒業、同志社大學中途退學。(新聞歴)大正十一年四月京都日出新聞社より現社へ轉社、今日に至る。(趣味)カメラ。

**細川虎太郎** 達東新報社家庭部擔當。和歌山市(明三一、二)生。中學卒業、同志社大學中途退學。(新聞歴)大正十一年四月京都日出新聞社より現社へ轉社、今日に至る。(趣味)カメラ。

**細野繁勝** 國民新聞社政治部長兼論壇委員。長野縣北安曇郡南小谷村(明一七、六)生。大正三年中央大學商科卒業。(新聞歴)やまと新聞政治部長より現社へ。(現住)市外澁橋町角管二ノ六八。(電話)四谷五一五)。

**本田龍** (荆南) 小樽新聞東京支局長(四十六歳)。中學卒業。(新聞歴)函館日日新聞、北門新聞。(主義)皇室中心。(趣味)獵漁。(現住)芝區櫻川町一七。(電話)青山六八四四)。

**本間久雄** 國民新聞論說委員(早大講師)。(學歷)明四一年早大文科卒業。(經歷)早大講師、

通信の事に與り同三十年支那に渡り天津にて漢字新聞(支那に於ける邦人新聞初開拓)國開報を經營し戊戌政變に遇ひ義和團匪事件に籠城し天津日日新聞(漢字)北清日報(邦字)兩新聞を起し現在の天津日報を經營す。(趣味)古金石、考古學、俳句。(現住)天津日本租界常盤街。(電話)八〇)。

**西澤登** (翠村) 信濃毎日新聞記者。長野縣更級郡川中島村生。(現住)長野縣更級郡川中島村。

**西澤重藏** 東奥日報社監査役廣告部長。弘前市(明一二、二)生。

**西澤新次** (天河) 柏崎日報社主筆。新潟縣三島郡出雲崎町(明一六、二)生。(學歷)東洋大學卒業。(經歷)濱松新聞濱松日報より柏崎日報へ。(主義)理想主義。

**西崎町旭** 二丁目。

**西崎廣** 中外商業新報社。北海道(明三〇、九)生。(學歷)中學教員檢定合格。(經歷)教職(小學)。(趣味)音樂。(現住)府下澁谷の川西ヶ原九一三)。

**費田五十二** (耕豐) 島原毎朝新聞社長。群馬縣群馬郡京ヶ島

村(明二三、二)生。(學歷)郷里の中等教育を修め東京朝野新聞京都支局長、其後上海に渡り支那語を研究。(經歷)革命の機關紙中華日報、滬江評論を發行し孫逸仙、戴天仇、陳其美などと往來し大に革命の爲め氣勢を學ぐ。(主義)國家主義。(趣味)讀書。(現住)長崎縣島原町。(電話)三三五)。

**保坂麗山** (建興) 天業民報社編輯局長。東京(慶應二、三、二五)生。(現住)東京市外池袋。

**堀克己** 釜山日報社東京支局長。富山市(明一二、六、二)生。(學歷)中學卒業。(趣味)書畫、骨董。(現住)東京市四谷區舟町二八。(電話)四谷二七三〇)。

**堀治一郎** (十二絃) 大阪朝日新聞社阪神沿道通信主任。佐賀縣唐津町(明二二、一)生。中學中途退學。(經歷)郷里の新聞を振出しに佐賀毎日、福岡日日等を経て大七現社に入る。(趣味)旅行。(現住)兵庫縣西宮市分銅町二二。(電話)西宮七五四)。

**堀川勝造** 中央新聞社經濟部。

**堀田善太郎** (如天) 弘報堂營業部長。富山市(明一六、七)生。獨學研修。(新聞歴)北陸新聞より大正二年國民新聞に入り大正十五年現社へ。(趣味)乘馬、劍道。(現住)荏原郡駒澤村字上馬引澤)。

**堀田芳譽** 大阪商工新聞編輯長。印刷材料新聞相談役。香川縣丸龜市(明一九、八、二二)生。第一高等學校獨法科、東京市大經濟學運修。(新聞歴)東京新聞通信社勤務、山陽新報經濟部長著作業を経て現職。(趣味)邦劇讀書。(現住)大阪府中河内郡布施町長堂。(大阪南四〇六六)。

**堀江敬吉** (亮山) 東京日日新聞社販賣部助役。大阪市(明二〇、五)生。(經歷)大阪毎日新聞社より現在に至る。(趣味)俳句、子供と散歩、此頃少したが養鶏を初めて楽しんで居ます。(現住)府下荏原郡下口黒五六〇)。

**細沼秀** (小峽奏三) やまと新聞社會部。武藏原野(明二九)生。大倉高商專修科卒。(新聞歴)中央新聞、大正日日。(現住)横濱

部長。大阪府北河内郡豐屋川(明二二、二、一九)生。米國ニユヨーク、サートバート大學卒業。(新聞歴)銀行に二ヶ年間勤め後「雜誌」實力之世界」を経營。著書として「關西事業史」「實力之人物論」あり。(趣味)乘馬。(現住)大阪府北河内郡豐屋川。(電話)豐屋川三〇)。



早稲田文學編輯主任。(現住)小石川區雜司ヶ谷町一四四。

**本間穆**(白雨又は丘森之助) 萬朝報社學藝部記者(家庭、演藝、子供萬朝報) 新潟縣西蒲原郡漆山村(明二三、一一、七)生。新潟縣立長岡中學校卒業。(經歷)小學校代用教員(尋常一年擔任)を三年、横濱税關官吏を八年。(趣味)演藝と園藝。(現住)東京府下大井町篠谷六一六九。

**本郷晋** 大分新聞社廣告主任(三十七歳)。中學卒。(經歷)大正四四大分新聞社へ入社。(趣味)釣、碁圍、尺八。(現住)大分市荷揚町。

**本莊宰甫**(白石) 前中央新聞社大阪支局長。岡山縣皆田郡久田村(明一〇、一一、二)生。(經歷)明治四〇年よりやまと新聞、報知新聞、萬朝報各大阪支局を経て大正元年より東京毎日新聞大阪支局長大正十三年十一月より中央、同十五年秋退社。

**本莊昇**(鳴鼓) 豐州新報社主事。愛媛縣宇和島市(明一一、一〇、七)生。中等學校卒業。(新聞歴)宇和島新聞編輯部主筆、妙宗其他。(趣味)旅行史蹟研究等。(現住)大分市千代町。

**本多文雄** いはらき新聞主筆。(明四二、一〇)入社。東京明(五、四)生。妻娘。東京專門學校文學科。(著作)小説二篇及雜著數種。(思想)相互扶助。(現住)水戸市裏南町。(電三二九)。

**本多徳一**(如洗) 前萬朝報社常務取締役、有隣生命保險株式會社取締役。新潟縣西蒲原郡燕町(明一五、五)生。日本大學師範部出。(經歷)朝鮮總督府財務官、小樽木材株式會社庶務用度課長、有隣生命保險株式會社大阪東京各支部長、營業部長、取締役。(趣味)讀書。(現住)本郷區森川町一。(電話)小石川三二七四。

**鮑振青**(秋影) 上海時報日本特派員、振青寫真通信社主任、外支那新聞特約通信員、一八九七六月神戸に生る。(學歷)上海第一中、一高中途退學、英米留學三年。(經歷)華大使館秘書、日本に於て新聞事業四年。(主義)帝國主義排斥、人種平等。(趣味)音樂、運動等。(現住)神戸市北長狭通二丁目神戸東須磨村兩町四。(電話)三宮七八八。

**北條貞次郎** 株式會社京華社外務員(本店)。京都市(明一一、九、一六)生。(經歷)明治四十五年二月十日入社。(現住)京都市上京區田中飛鳥町一六。

**實性確成**(天堂) 大連新聞編輯長(大九、三)入社。明二四富山縣生。早大政經學科出身。(新聞歴)やまと、萬朝、國民、大連新聞(著作)滿洲財界の鳥瞰。(政黨)無。(現住)大連市攝津町ユ區三十五號地。(電話)三三一八)。

**星野辰男**(保篠龍緒) 東京朝日新聞社グラフィック部長。長野縣(明二五、一一)生。(學歷)東京外國語學校佛蘭西語科卒業。(經歷)文部省、商會社、東京高等學校、現在。(趣味)探偵小説と映画。(現住)東京市小石川區林町六六。

**星野武男**(梅嶺) 天業民報社編輯主任。新潟縣(明二六)生。早稲田大學理工科。(新聞歴)大九天業民報創刊以來勤務。(趣味)登山。(現住)東京澁野川田端三五九。

**星野龍猪**(春日野綠) 大阪毎日新聞社内閣通信部副部長兼運動課。東京市(明二五、一一、一七)生。一高。(新聞歴)大阪新報社、中央新聞社を経て大阪毎日(地方課、社會部編輯より現職)。(趣味)探偵小説、スポーツ。(現住)大阪市西成區玉出町五六二)。

**星野周** 京華社東京支店。栃木縣(明二九、三、二九)生。東京工業學校。(經歷)通信省俸職。(趣味)園藝。(現住)府下上落合六三〇)。

中央新聞社を経て大阪毎日(地方課、社會部編輯より現職)。(趣味)探偵小説、スポーツ。(現住)大阪府西成區玉出町五六二)。

**ツヂエス**(フランソワエイチ) (三十歳)。シヤパンアドヴアマイザイ主筆クリスチヤンサイエンスモニター東京通信員、ドリユーリー、カレンツチ文科卒業、ミヅリー大學新聞科卒業。(新聞歴)二三米紙のニユースエゲタ、ヂヤパンアドヴアグアイザイ及びヒラデルヒヤ、パブリックレツヂヤイ誌北東通信員。(主義)寛大。(趣味)讀書、旅行。ヘンドール・ジエー・エイチ シヤパン、タイムズ社。オーストリヤ、一八九八生クインスランド大學。(趣味)編物。(現住)麴町區有樂町三二二)。

**逸見義亮** 東京通信社編輯次長

兼紙型通信部主任。神奈川縣中郡大山町(明二一、一〇)生。(學歷)尋常小學。(主義)親切と簡易生活。(趣味)藝術、書、古典。(現住)府下澁橋町角一四八)。

**兵頭泰雄**(俳號六畝) (三十八歳) 大阪朝日新聞鹿兒島通信部主任。大五慶應義塾大學部政治科及新聞科卒業。(新聞歴)大正五年愛媛新報社へ入社、大正九年大阪朝日新聞社へ轉社。(主義)禁酒、禁煙。(趣味)謡曲、俳句、園藝、運動。(現在)鹿兒島市東千石町八四。(電話)一六六三)。

**兵頭近次郎**(豫洲) 報知新聞社營業局。愛媛縣松山市園町(明二八、一〇)生。(新聞歴)大正八年四月現社へ。(趣味)讀書園藝。(現住)東京市赤坂區青山南町五ノ九七)。

**別枝長夫**(星香) 天業民報社經理部長。徳島縣(明六、三、二四)生。(現住)下谷區上根岸町七三)。

**と**

**ドーグラス・エム・ヤング** 神戸大阪プレス社社長。英本國生。(經歷)シヤパン、クロニク

ル紙主筆なりしも獨立して東洋廣告取次會社を設立、以來同社長、神戸外人協會會長、希臘國副領事、英國兒童救濟日本名譽書記長等數多あり。十五年七月一日より神戸ヘラルド新聞と合併右記の會社社長となる。(現住)神戸市外東河原馬場六一)。

**戸田文治** 中央新聞經濟部(現住)東京市外青山原宿二〇六川瀬方)。

**戸塚一郎** 農民新聞社長(四十歳) 中學卒業後日本大學法律部に遊ぶ。(新聞歴)大正十三年一月二十六日祝典を記念として創立農村振興を目的とす。著書農村振興論を著作中。(主義)不偏不黨。(現住)浦和町四〇一七。(電話)浦和三三)。

**土岐孝太郎** 國民新聞社論說委員兼經濟部部長待遇)。

**土岐善麿** 東京朝日新聞調查部長。東京淺草(明一八、六)生。早稲田大學文科出身。(新聞歴)早稲田卒業後讀賣新聞に入り、社會部長たること數年東朝に轉じ、社會部次長學藝部長を経て現在の職務に移つた。(趣味)古典、ローマ字宣傳。(現住)東京

市外目黒八〇四。(電話)高輪五五八二)。

**外狩顯章** 中外商業新報社學藝部長。愛知縣岡崎在坂崎(明二二)生。(現住)東京府下碑谷村東大原一、一六二)。

**百々武雄**(トド) 釧路新聞厚岸支局主任(三十三歳)。札幌中學。(新聞歴)厚岸時事主幹、厚岩魁主筆。(趣味)生物學社會學に關する讀書。(現住)北海道厚岸町大字梅香。(電話)厚岸局二二)。

**藤橙準一**(トカン) (綠兒) 東京日日社會部。富山縣(明三〇、四)生。中央大學政經部卒。(趣味)旅行、寄席、芝居。(現住)四谷坂町一〇〇)。

**鳥羽豊**(茶村) 信濃日日新聞社岡谷支局長。長野縣更級郡榮村(明二二、一〇)生。(學歷)長野中學三年修了後錦城中學卒業。(經歷)長野新聞、南信日日新聞、信濃日日新聞記者。(主義)泰平樂主義。(趣味)酒、煙草。(現住)長野縣諏訪郡岡谷。(電話)六七八番)。

**刀翫館正雄** 東朝販賣部長。(現住)市外中野町中野字谷月二三九〇の六六。(電四谷三三三〇)。

**豐田藤助**(紫邦) 豐州新報社別府支局長。大分市(明一九、一一、一五)生。(經歷)明治三十九年十一月豐州新報入社營業部勤務別府支局主任、町會議員市會議員、消防組頭、政友本黨別府公友會幹事長、市教育會評議員。(趣味)讀書、書畫。(現住)大分縣別府市。(電話)六五七)。

**豐田謙一**(番友) 豐州新報社別府支局營業部主任。大分市(明二四、一一)生。(經歷)步兵特務曹長、別府支局營業部主任、帝國在郷軍人會別府市分會副會長。(現住)別府市。(電話)六五七)。

**豐田哲二**(へんてつ) 山陽日日新聞編輯長。廣島縣御調郡(明三八、三)生。(學歷)尾道商業學校、京都中學卒業。(經歷)尾道の山陽日報、藝備日日通信員、大毎通信補手を經て現社に入り編輯主任となる。(主義)技巧主義。(趣味)乘馬と詩案。(現住)廣島縣尾道市長江町三。(電話)四一番)。

**豐田光雪** 山陽日日新聞主筆。廣島縣御調郡下川邊村(二九歳)。(學歷)中央大學法科修業。(經歷)關西各新聞記者並に通信員。(主義)中立。(趣味)音樂。(現住)



尾道市長江町痛堂。(電話四一)。  
豐田三隅 大分新聞記者。大分  
縣(明三二、三、一五)生。(現住)  
別府市。

豐島良昌(學堂) 高知新聞東京  
支局、關東電氣株式會社事務取  
締役(明二〇、一一)生。妻長男。  
中央大學法科卒業。(新聞歷)日  
刊實業通信社主幹。(思想)皇室  
中心主義。(趣味)園藝、音樂。

(政黨)憲政會。(現住)四谷區番  
衆町三二。(電話)番町二九六四。  
遠矢才二(一陽) 鹿兒島朝日新  
聞市政記者。鹿兒島縣伊佐郡愛  
人村(明六、二、二)生。(學歷)  
鹿兒島縣立師範校、德富蘇峰氏  
の熊本大江義塾、後東京に遊び  
英語を修む。(經歷)明三三年本  
社創立以來記者として入社後兩  
三年他に轉じ大正二年再び入社  
(著作)偉人の鞋痕(南洲翁略傳)  
寒中海水浴を二十年遂行し精神  
修養肉體鍛練に對し特選の主張  
を有す鹿城海水浴協會、鹿城吟  
風會、鹿城食道樂會、薩南史蹟  
協會を創立し自ら之に當る。  
(趣味)書、詩歌、俳句を樂しみ  
頗る多趣味。(主義)皇室中心主  
義。(現住)鹿兒島市稻荷町七。

堂屋敷竹次郎(岳海) 獨立に  
て「慈光」經營(明一四、一)生。  
本願寺文學寮及立命館大學等在  
學。(新聞歷)京都通信記者中外  
日報記者、九州毎日新聞主筆及  
編輯長等。(著書)「教育勸語眞  
髓」(天覽)「大安住の地を求め  
て」その他人物評論等數種。(主  
義)佛教道德を根柢とする國家  
主義。(趣味)讀書の外何もなし。  
(現住)熊本市迎賓町二五二。

德富猪一郎(蘇峰) 國民新聞  
社長兼主筆。熊本縣(文久三、一、  
二五)生。幼兒父湛水に家學を  
受く。兼政止水の塾に學ぶ京都  
同志社。(新聞歷)明治二〇年「國  
民之友」を同廿三年「國民新聞」  
を發刊、同廿五年「家庭雜誌」を  
同廿八年英文「極東」を發刊す、  
同四十四年、貴族院議員に勅選、  
帝國學士院會員、國民教育獎勵  
會、青山會館を主催創設。(趣  
味)讀書、旅行、散步、樹木。  
(現住)東京府下大森山王。(電話)  
高輪二。

德富慈翁 太平洋通信主幹兼主  
筆。岩手縣(明二七、一、一〇)  
生。(學歷)早大。(經歷)北海  
イムス、函館毎日、函館日日、  
員、中央政治部。(趣味)野良犬  
のゴミ箱に於ける如く人生の  
「特種」と感激をあまり廻る。  
友重繁 東京日日新聞社飯田通  
信部主任、岡山縣久米郡優文西  
村(明三三、一)生。早稻田大學  
政治科卒業(大一一)。(新聞歷)  
大一、二、四國民新聞社入り川越  
市通信部、弘通部勤務、長野通  
信部主任より十三年九月現任へ  
轉ず。(趣味)劍道、テニス、繪。  
(現住)長野縣飯田町常盤町。(電  
話)七二〇。

國民新聞、畜産タイムス記者。  
(主義)皇室中心。(現住)函館市  
千代ヶ岱七番地。

德富迪 株式會社臺灣新聞社東  
京支局長。熊本縣水俣町生。(學  
歷)中學卒業後明治、早稻田中  
途退學。(經歷)九州實業新聞(九  
州新聞前身)、隆文館編輯、雜誌  
愛國婦人編輯及營業主任臺灣新  
聞社廣告部長。(主義)皇室中心。  
(現住)四谷區元町五十九。(電  
話)四谷二七七〇。

德美松太郎(夜月、大客堂)  
京都日日新聞文藝部主任(四年  
前入社。京都(明八、四)生。妻  
子三人。(新聞歷)熊野實業新聞  
編輯。京都日之出新聞美術文藝  
部。(記事)日本畫の評論に些  
自負あり。(思想)自分で解らず。  
(趣味)繪畫、俳句、將棋など。  
(現住)京都市中長者町仲の町。  
德永新吾 萬朝報社校正部長。  
德光衣城 日本新聞聯合社北京  
支局長。大阪(明一七、七)生。(學  
歷)早稻田大學政治經濟科(中  
途退學)。(經歷)やまと、東京毎  
日、報知、大正日日を経て大正九  
年東京毎夕新聞社編輯局長とな  
り十三年二月東方通信社入社北

ち

千葉龜雄 大阪毎日新聞學藝部  
長。山形縣酒田、籍は宮城縣遠  
田郡(明一一、九)生。仙臺第一中  
學、早稻田大學、外國語學校清  
語科いづれも中途退學、國民英  
文學會卒。(新聞歷)文庫記者、  
日本及日本人記者、日本、國民  
新聞、時事新報、讀賣新聞等の社  
會部長、編輯局長、東洋大學新聞  
學教授、臨時國語調査委員。(趣  
味)讀書、旅行。(現住)府下大  
井町のえ塚四八四二。(電話)大  
森一〇一〇。

千葉稻城(萬榮) 函館毎日編輯  
局長(明四〇、一一)入社。青森縣  
(明六、一二)生。妻一男三女と  
一弟。(著作)北海史談、富の北  
海道、北海道名所古蹟等。(趣味)  
酒、旅行。(現住)函館市天神町  
八三。

千葉晋 中央新聞整理部寫眞  
班。東京赤坂(廿歲)。(學歷)藏  
前專修學校卒。(現住)東京市外  
千駄ヶ谷町三五四。  
千葉博己 東京毎日新聞社社  
主。廣島縣(明一七)生。中央大

京支社長として赴任、十五年五  
月現職。(趣味)旅行、讀書。  
(現住)北京東城樓鳳樓二〇號。  
(電話)東局三九〇、一八四八。

篤田健二(竹馬野人) 北國新聞  
社主筆(三十九歲)。日本新聞、  
元山日報、日本電通、東京毎夕、  
大阪新報、金澤新報等。(主義)  
皇室中心主義。(現住)金澤市茨  
木町四五。

禿氏岳山(芳外) 岩手日報社專  
務取締役。福井縣今立郡片上村  
吉谷(明一八、一〇、一一)生。(學  
歷)東洋大學出身。(新聞歷)明治  
三十九年十一月本派本願寺の命  
を受け北米開教視察の爲渡米、  
翌四十年六月加奈院晚香坡市發  
行大陸日報(日刊四頁)主筆とし  
て入社、四十二年六月退社米國  
各地視察の上同年十一月歸朝、  
四十三年二月やまと新聞入社  
大正元年十一月岩手日報主筆と  
して入社、九年三月事務取締役  
となる。(現住)盛岡市内丸三六。  
(電話)八六三。

時國理一(三田隈) ジャパンタ  
イムス傍らパンソレット通信編  
輯。東京(明二五)生。一高、中  
央大學法科。(新聞歷)東京毎夕、  
學。(經歷)諸會社重役、東京府  
會議員、同參事會員たりしこと  
あり。(趣味)政治、新聞經營。  
(現住)東京市牛込區矢來町二二  
(電話)牛込五五六一。

千頭亨(帆南) 土陽新聞主筆。  
高知縣香美郡野市村(明一五)  
生。(經歷)新聞記者生活十五年。  
(主義)等明中心主義。(趣味)發  
明。(現住)高知市朝倉町。  
遲塚金太郎(麗水) 都新聞社  
編輯顧問。静岡縣沼津市(明元、  
一一、二九)生。(新聞歷)報知新  
聞の特派として日清役に從軍  
後、都新聞に入り今日に至る。  
(趣味)旅行。(現住)市外淀橋町  
角筈一四八。(電話)四谷二四〇。

忠田兵造 大阪朝日新聞社出版  
部長兼販賣部長。滋賀縣八幡町  
(明一八、六)生。神戸高等商業  
學校卒業。  
張德秀(靈山) 東亞日報社副社  
長。黃海道軍寧郡下孤里面孤山  
里(明二七、三、一〇)生。大正  
五年早稻田大學政治科大學部卒  
業。(新聞歷)明治四十一年鎮南  
浦理事廳給仕被命、明治四十三  
年平壤府廳雇員被命。(趣味)讀  
書。(現住)京城府授恩泊一六三。

富岡重雄 東京朝日新聞社會  
部。  
富岡福壽郎 東京日日新聞仙  
臺支局長。茨城縣結城郡總上村  
小島(明二〇、三)生。下妻中學。  
(新聞歷)水戸いばらぎ新聞を経  
て現社へ。(現住)仙臺市本荒町  
三四。(電話)長二二八九。

富岡林太郎 萬朝報商況部長。  
富田岩代(松北) 信濃毎日編輯  
顧問(明二〇)入社。松本市(元治  
元、四)生。子供十人。(新聞歷)  
二十四歳にして現社に入り後  
編輯長として十五年間更に現在  
に至る。(著作)坂田式稻作改良  
法。(思想)忠君愛國主義なれど  
民本國主義を嫌ふ。(趣味)魚  
釣、俳諧、狂詩。(現住)長野市  
旭町一。

富永宗四郎 (カンデン)スヤ  
毎夕外交部。(二八、九、五)  
生。同志社經濟科、駒場獸醫實  
科。(新聞歷)大正九年迄不當の  
馬の脚の醫者、讀賣及國民のソ  
ビエト特派員、浦潮クラスノ  
エズナミヤ紙記者、國民新聞客

友岡泰 中央新聞社代理部長。  
板橋町四ツ又九六二。  
友重繁 東京日日新聞社飯田通  
信部主任、岡山縣久米郡優文西  
村(明三三、一)生。早稻田大學  
政治科卒業(大一一)。(新聞歷)  
大一、二、四國民新聞社入り川越  
市通信部、弘通部勤務、長野通  
信部主任より十三年九月現任へ  
轉ず。(趣味)劍道、テニス、繪。  
(現住)長野縣飯田町常盤町。(電  
話)七二〇。

峠田傳 九州報知新聞社(明三  
三、四、九)生。中學卒業後入社。  
(趣味)散步。(現住)小倉市中島  
町。

千葉晋 中央新聞整理部寫眞  
班。東京赤坂(廿歲)。(學歷)藏  
前專修學校卒。(現住)東京市外  
千駄ヶ谷町三五四。  
千葉博己 東京毎日新聞社社  
主。廣島縣(明一七)生。中央大



(電話光化門九一四)

り

李教範(一波) 間島新聞編輯長

(二十九歳) 私立大學卒業。(新聞歴) 間島時報以來今日に至る。他に朝鮮通信員業務。(趣味) 讀書。(現住) 間島龍井。

梁源模(素泉) 東亞日報社取締役營業局長。全羅南道陽郡昌平

面昌平里(明二六、四、三) 生。大正七年早稻田大學政治經濟科大學部卒業。(新聞歴) 大正九年九州第一學校教員被任。大正十年同校解任。(趣味) 音樂。(現住) 京城府鐘路通六丁目六〇。(電話) 光化門八一四。

ぬ

木屋徹吉 正路喜社取締役社長。和歌山市(明五、一一) 生。

(新聞歴) 明治二十四年入社大正元年合資會社代表社員大正十四年株式會社取締役社長。(現住) 麻布區網代町一番地。(電話) 高輪四六八六。

沼邊武二 中央新聞社整理部。

東京市京橋區八官町十七生(二十三歳)。(經歷) 京橋區日米ビル内東方出版社員。(趣味) 繪畫。(現住) 東京市外中道谷八〇〇。

を(お)

小原騷馬(月南) 鹿兒島新聞社編輯局長(四十四歳)。(新聞歴) 土陽新聞主筆、名京屋新聞編輯局長。

小原俊一 都新聞社會部。東京麻布狸穴(明三四、一一、二六) 生。早稻田大學英法科卒業。(新聞歴) 十三年卒業後直ちに都新聞に入社。(趣味) 演藝、ホート。(現住) 府下中野町維也三八九。

小川彌作(曙山) 名古屋新聞伊那支局長、東京日日新聞通信員(四十二歳) 小縣黨業、早大校外生。(新聞歴) 信濃日報記者、伊那日報編輯長より現在の名古屋新聞伊那支局長特派員。(主義) 皇室中心國家社會主義。(趣味) 旅行、登山。(現住) 長野縣上伊木二五二。

新聞社會部長。福岡縣(明二一、七) 生。(趣味) 俳句、陶器、書畫。(現住) 府下荻窪川南三五〇。

小野秀雄 新聞學研究會々長。近江國草津(明一八、八) 生。母と妻あり、帝大獨逸文學科卒業、大學院學生。(新聞歴) 萬朝報、東京日日。(著作) 日本新聞發達史。(思想) 未製品につき名づくべきものなし。(趣味) 文藝、音樂、園藝。(現住) 本郷區駒込千駄木町五〇。

小野田正 日本電報通信社。岩手縣江刺郡米里村(明一八、二、三) 生。(現住) 市外代々木宮ヶ谷一五一四。

小野田求(素夢) やまと社會部夕刊編輯、映畫部筆務。岩手縣の山中(明三一、六) 生。(新聞歴) 十八九歳の頃から原稿生活、大正九年現社。(趣味) 演劇、映畫、麻雀。(現住) 中道谷五六七遊林館。

小野瀬不二人 讀賣新聞顧問。德島縣に生。母妻二女二男、中央大學、歐米遊學。(新聞歴) 二六、中央、毎夕。(著作) 實際新聞學、其他。(趣味) 園藝。(政

那那伊那町。小川節 時事新報社編輯主事(四十一歳) 慶應大學理財科出身。(新聞歴) 時事新報北京特派員として四年間勤務。(著書) 政争渦中の支那。(現住) 府下下道谷一五一五。(電話) 高輪五五七九。

小河内六一(尺村) 臺灣新聞社和義特派記者、廣島市段原町(明一一、一一) 生。(現住) 臺南(明一一、一一) 生。(電話) 一五三三。

小笠原幸彦(長星) 信濃日日新聞社編輯局長。長州萩町(明二二、九) 生。(學歷) 早稻田大學英法科卒業、海外遊學。(經歷) 前長野商業會議所書記長。(主義) 基督教的道主義。(趣味) 旅行、讀書。(現住) 長野市南縣町一號。(電話) 五九五番。

小田太郎 靜岡民友新聞記者。靜岡市(明三五、一一) 生。(現住) 靜岡市屋形町二〇。

小田原文夫 丹州時報社會部編輯局長。明二九年京都府加佐郡由良村に生。(學歷) 法政大學政治科中途退學。(經歷) 大十一年入社以來現社在勤政治部宮津支局長を経て現任。(現住) 出生地に長。

尾池義雄 新愛知編輯局長。香川縣三豐郡大野原村生。(主義) 敬天愛人。(現住) 名古屋市東區東外堀町一ノ一。(電話) 東六〇五〇番。

尾高守(蘭雪) 播磨毎日新聞社長。(明三九、二入社) 美術俱樂部主幹。山口縣岩國(明九、五) 生。母妻男女二女。高等中學在學中より特に漢學佛語を勉強。(新聞歴) 藝備日日、讀賣在社中北京天津に特派、京城新聞主筆、釜山實業新報主幹。(著作) 北清事情、賴山陽、外來語解。(趣味) 旅行、繪畫、昆蟲採集。(現住) 姫路市光源寺前。(電話) 七五七七。

尾間立顯 前日本新聞編輯局長。尾間明 前國民新聞社營業局長。大分縣佐伯町(明一〇、七) 生。(現住) 荏原郡世田ヶ谷太子堂。(電話) 青山二〇〇三。

尾坂與市 東朝社會部。(現住) 府下巢鴨宮仲二八三八。

尾崎啓一 小樽商業新報米穀部。金澤市(明二八) 生。(學歷) 明治大學商科卒。(現住) 小樽市綠町二。

尾崎秀真(古邨) 臺灣日日新漢

同。小高長三郎 自由通信社長。小高吉三郎 東朝運動部長。小野平八郎(東放夫) 東華新聞社長(三十六歳) 東北帝國大學理學部卒、理學士。(新聞歴) 東華新聞副社長。(著書) 「七日の旅」「科學の國」。(主義) ニヒリスト。(趣味) 舞踏及午睡。(現住) 仙臺木町末無八。(電話) 一三四〇。

小野富雄(映二) 京城日日新聞社會部記者。熊本阿蘇(明三六、一) 生。熊本幼年學校卒業後陸軍士官學校に轉、明大學法科中途退學。(趣味) 散步。(現住) 京城府本町五丁目二八松の家。

小野泰作 奉天毎日新聞經濟部長。橫濱市太田町二丁目一三(明二九、二、三) 生。中央大學專門部。(經歷) 銀行員、株實員。(趣味) 運動競技將棋、園藝。(現住) 奉天十間房第四區社宅。

小野正雄 日本電報通信館文局長主任。(三十二歳) 中學卒。(新聞歴) 大六、二月入社。(現住) 函館市汐留町二一。(電話) 二〇二八。

小野賢一郎(燕子) 東京日日編輯局長。(明三四、入社) 臺灣總督府歷史編纂委員、中學會長、岐阜縣(明七、一一) 生。故郷に兩親部門に兩兒、依田學海翁に漢文學を學び濟生學舎に醫學を修む、歷史地理研究。(新聞歴) 報知新聞、雜誌新少年、小國民學生團等の主筆。(事業) 臺北中學會長として教育事業に従事。(思想) 尙古敬神。(趣味) 書畫鑑識、古文書收藏。(現住) 臺南臺北兒玉町四の五一。(電話) 六三四四。

緒方竹虎 東京朝日新聞編輯局長。早大卒、倫敦留學。(現住) 市外大久保百人町三三一。(電話) 四谷一四二四。

緒方正雄(孤山) 鹿兒島朝日新聞社經濟部長(三十六歳) 博約義塾卒。早稻田大學中途退學。(職業) 前株式會社鹿兒島鐵工所營業部長、前南薩銀行書記長。(新聞歴) 九州日日新聞、鹿兒島新聞。(著書) 鹿兒島の女、其他。(主義) 漸進主義。(趣味) 盆栽、讀書。(現住) 鹿兒島市上龍尾町七六。

緒方奎平 東京通信社政治部。熊本縣(明三一、四、二六) 生。

黨) 政友本黨。(現住) 麹町區華町二二。(電話) 四谷二九九三。

小倉光晴 國粹日日新聞社廣告部長。兵庫縣多紀郡(明三一、二) 生。(學歷) 明治大學法學部卒業。(經歷) 大十一、十月大阪毎日新聞に入り大十五、三辭職。(主義) 皇室中心主義。(趣味) 園藝、運動。(現住) 大阪市東區區中道町一三六。

小澤貫一 福島民報記者。福島縣大沼郡高田町(明三四、三、一) 生。早稻田大學政治經濟學部卒業。(現住) 福島市戸の内二三。

小澤國三郎 土陽新聞社寫真部。埼玉縣南埼玉郡川通村大字大森(明二五、一〇、一四) 生。(學歷) 慶應經濟科中途退學。(經歷) 大四、八入社今日及ぶ。(趣味) 化學研究。(現住) 高知市江ノ口町市住宅三三。

小山内大六 滿洲日日社長。(新聞歴) 中央新聞。(現住) 大連市。

尾家靜雄(冲平子) 豐州新報社編輯局長。大分縣下毛郡眞坂村(明三五、三) 生。(學歷) 中津中學校卒業。(趣味) 文學。(現住) 大分市長濱町。



(學歴) 專修大學卒業。(趣味) 飼鳥。(現住) 小石川區久堅町五八早田方。

**織田民夫**(牧歌) 東京朝日通信部。愛知縣豐橋市(明二九、六)生。中學卒。(新聞歴) 參陽新報、名古屋新聞東京支店請。福島日日新聞、時事新報。(思想) 一日に云はれぬヒューマニズム。

(趣味) 演藝一切、邦樂、清元(哥澤殊によし)。長路を歩く事、園藝、草花等。(現住) 東京市外世田ヶ谷町太子堂四五。

**越智類二**(絶山) 都新聞社政治部主任。松山市(明二一、八、二〇)生。大三年早稻田大學政治經濟部卒。(新聞歴) 大五年現社。(趣味) 草花野菜栽培。(現住) 府下野方町字荒井三二五。

**大井善司** 國民新聞社。群馬縣群馬郡神代町大字植野(明二四、一、三)生。郷里の小學校卒業後私塾前橋義塾(四年通學、早稻田校外生(文學科)。(新聞歴) 大三年、八月前橋市上毛新聞社(入社、同六、七月退社、其後農業に従事、大十一、六月東京日日新聞社(入社、同十二、十月現社)。(趣味) 俳句、文藝。(現住) 前記

總社町の郷里。

**大井千尋**(千葉樓) 東京日日新聞社長野支局長。長野縣北佐久郡岩村田町(明二二、四)生。(新聞歴) 上州新報、兩毛織物新聞(主筆を経て東京日日新聞社に入社、同社横濱支局長を経て現在に及ぶ。(趣味) 運動、讀書。(現住) 長野縣長野市問御所町。(電話) 長野三二七。

**大出勇**(東塞) 報知新聞社大田原支局長(四十六歳)。(新聞歴) 明三四年以來新聞業に従事す。(主義) 温情主義。(趣味) 新聞、文藝。(現住) 栃木縣那須郡大田原町。(電話) 二一九。

**大石五郎** 日刊山形社長兼主筆(五十二歳)。(明二五年山形中學卒、同二九年東京法學院卒、同三九年米國渡航四三年歸朝。(新聞歴) 明治三三、十一月山形新聞記者、同三六年主筆、大九、九月社長。(主義) 皇室中心君民同治。(趣味) 繪畫、養鷄。(現住) 山形市香澄町八幡石五九。(電話) 五七〇。

**大石雄一郎**(呂久念) 大阪朝日新聞社運動記者。奈良市(明三〇、七)生。關西大學、大學部

商科。(新聞歴) 大八年八月現社、社會部を経て大十一年運動部に轉。(趣味) 讀書。(現住) 大阪市東區徳井町一丁目二二。

**大石俊一** 世界新聞社長兼主筆(明二三、八、四)生。駒澤大學及び日本大學。(新聞歴) 大十一年一月東京朝日新聞に入社し同十二年十二月退社同十四年一月世界新聞社を創立して週刊世界新聞を發行す。(趣味) 郷史研究。

(現住) 東京府八王子市木町。

**大石光之助** 主婦之友社。(新聞歴) 國民新聞經理部、米國に留學。(現住) 東京市外下目黒四九八。

**大石正夫** 東京毎日新聞記者、靜岡縣藤原郡川崎町(明三二、一、二)生。早稻田大學政治經濟科出身。(趣味) 活動寫眞、文學、繪畫、西洋音樂。(現住) 東京府下流谷伊達跡七九九。

**大原益一**(桑村) 信濃時事文藝部長(大五、八入社)。飯田町(明二二、二)生。飯田中學卒、早大文科科修業。(趣味) 演劇。

(現住) 信州飯田町。

**大原滿恭** 福島民友新聞白河支局長。(現住) 白河町字中町。(電話) 三二〇。

大橋敏郎(玄洋) 前やまと新聞社經濟部長理事。福岡縣(明一八、一〇)生。早大商科四三卒。(新聞歴) 明治四五より大正六年までやまと新聞經濟部を兼り公私經濟雜誌を経営大正九年五月まで社長を兼ねり買取界に入る大十三、十月やまと社復歸。(趣味) 讀書、野球。(現住) 府下馬込村一三六六。

**大橋渡** 東京朝日新聞整理部(廿九歳)。早大商學部出身。(新聞歴) 報知新聞經濟部より當社。(主義) 穩健。(趣味) 刀劍。

(現住) 東京府下野方五九五。

**大西理平** 前時事新報社營業局長支那人。(現住) 下流谷四三六。(電話) 青山六五五八。

**大西作太郎** 小樽商業新聞廣告部長(大七、八入社)。函館(明一八、一)生。商業學校卒。(新聞歴) 小樽商業新聞(明三二、二、小樽商報(明四五)。(現住) 小樽區花園町四丁目。(電八二九)。

**大西齊** 東京朝日新聞支那部長。(現住) 市外中野高圓寺六三六。

**大戸清太郎**(島) 長崎日日

新聞經濟部長(四十九歳)。早稻田大學卒。(新聞歴) 明四十四年現社に入る。(趣味) 繪畫。

**大友喜作**(朝嵐) 東京日日校正課長(明四四、入社)。宮城縣(明二一、一)生。家族五人、早大英文科。(思想) 利己主義。(趣味) 音樂。(現住) 小石川區原町一六。

**大輪薫郎** 日曜夕刊社長。(新聞歴) やまと新聞經濟部長。

**大脇有志** 大阪朝日新聞社高松通信部主任(三十六歳)。(新聞歴) 大三年山陰日日新聞、大七年松陽新報、大八年現社に入る。(主義) 自由進歩主義。(趣味) 讀書、劇、競技は何でも。(現住) 高松市南船屋町四〇。(電話) 六九。

**大川改** 株式會社正路喜社庶務課員。茨城縣(明三三)生。(學歴) 行方中學卒。(現住) 府下中野町打越二二五七。

**大川幸之助** 日本新聞聯合社北京支局。東京(明三一、七)生。(經歷) 大十年東方通信社に入社、大十五、五月日本新聞聯合社に轉ず。(現住) 北京東單樓風樓二十號。(電話) 東一八四八。

**大垣丈夫**(金陵) 京城通信社長。金澤(文久元、二)生。妻一

男一女、石川縣師範校、慶應義塾卒。(新聞歴) 奈良縣大和新聞、石川日日何れも主筆、東京、ら新聞社長、大韓民報社長。(著作) 德義論青年立志篇。(趣味) 飲酒と詩作。(現住) 京城市太平通一ノ二九。(電話) 八七五。

**大谷忠四郎** 東朝政治部。(現住) 府下平塚戸塚七七四の二。

**大谷常太郎**(金波) 下野日日主筆編輯長(大四、一入社)。宇都宮(明一三、一)生。兩親妻子あり、宇都宮中學校卒。(新聞歴) 報知宇都宮支局、同土浦支局長。(趣味) 俳句、演藝。(現住) 宇都宮市上河原町五。(電話) 四一〇。

**大谷浩** 中外商業新報社社會部長(明四三、四入社)。岡山縣(明一八、九)生。妻一男一女。(現住) 本郷區森川町一中通。(電話) 小石川五五三五。

**大谷英雄** 信濃毎日新聞科特派記者。長野縣南安曇郡梓村(明三七、一、二)生。(學歴) 松本商業卒業。(現住) 南安曇郡豊科町。(電話) 二〇番。

**大谷秀正** やまと新聞社編輯局(明三一、一月下谷生)。

(現住) 中流谷五六七遊林館。

**大谷誠夫** 都新聞社顧問。(現住) 府下青山原宿一七〇。(電話) 青山四八六。

**大竹忠太郎**(露舟) 前靜岡民友新聞社參事、編輯顧問(明四、六、二四)生。(新聞歴) 新潟新聞、高田新聞、東京毎日新聞、東京毎日新聞。(現住) 靜岡市二番町四二。

**大竹又次郎**(斗牛) 萬朝報社關西支局長。千葉縣(四十歳)明大中途退學。(新聞歴) 大元年五月現社。(趣味) 詩歌俳句ロマ主義。(現住) 大阪市北區堂島船大工町五〇。(電話) 北五七〇。

**大竹博吉** 東方通信社。愛知縣岡崎町(明二三、三)生。露語も殆んど獨學。(新聞歴) 中央、國民、東京日日、讀賣。(趣味) 政治及思想上の議論。

**大津淳三** 大分新聞社長。大分市(慶應二)生。(新聞歴) 明二十七年現社を引受け今日に及ぶ。(趣味) 園藝。(現住) 大分市碩田橋通六。(電話) 一〇、五七三。

**大津征夫** 大分新聞社社長。大分市(明二七、一〇)生。法學士。(新聞歴) 報知、大毎に各一

年、大正十二年現社。(趣味) 園藝、投網。(現住) 大分市荷揚町。(電話) 二三〇。

**大塚芳夫** 豐州新報廣告部長。大分縣直入郡長湯村(明一四、一)生。(經歷) 明四二年一月入社今日に至る。(趣味) 讀書、園藝。(現住) 大分市中島。

**大塚恒吉** 大阪時事新報社通信部長。新潟縣(明一四、一二)生。慶應義塾商業學校。(新聞歴) 明三十八年大阪時事新報創刊と共に入社。(現住) 大阪府住吉區松原町四〇ノ五。

**大塚保二** 大阪朝日新聞社富山通信部主任、兵庫縣保保部伊勢村。姫路中學より神戸關西學院等。(新聞歴) 姫路豐城新聞社編輯長兼社會部長、大十年大阪朝日に入社岡山、幾多各通信部を経て現在に至る。(趣味) 琵琶、寫眞。(現住) 富山市諏訪川原三三。(電話) 一三〇。

**大塚定彬**(春聲) 秋田新聞社政治部長。秋田縣河邊郡(明二六)生。(學歴) 秋田中學。(經歷) 小學校訓導。(趣味) 讀書、短歌。(現住) 秋田市保戸郡諏訪町。電話) 一三。

**大塚喜平** 東朝政治部(大一一、



入社。栃木縣(明二五、三)生。  
中央大學政治經濟部。(新聞歴)  
東京毎日、讀賣、國民。(現住)  
府下馬込村谷中一三三二。

**大塚基比古(青巒)** 豊前新報社々會部。大分縣直入郡都野村(明二五、二)生。(學歴)大分私立南豐學校出身。(經歷)大分縣大分縣警察界に入り十四年六月舊來の生活を脱し入社。(主義)國家主義。(趣味)高山征服。(現住)大分市東中島。

**大塚廣次** 時事新報工務部主事。(現住)三田町岡町一三。

**大月京平(狂瓶)** 臺灣新聞社會計課長。岡山縣(明三一、八、二)生。(趣味)寫眞、銃獵。(現住)臺中州臺中市榮町五四三。

**大内一郎(逸堂)** 福島民報主筆、政治部長。福島縣安達郡針道村(明二四、三)生。(新聞歴)福島新聞に約十餘年、民報入社約四年餘。(趣味)政治。(現住)福島縣安達郡二本松町(電話一八九)。

**大内衛** 大阪朝日新聞社前會計部長(四十六歳)。(現住)大阪市北區曾根崎上四ノ二五九(電話北六六七〇)。

**大野開作** 都新聞社。愛媛縣溫泉郡(明二四、一、二、六)生。(現住)府下南品川三〇六。

**大野彌兵衛(香月)** 愛媛新報社經濟部主任。愛媛縣喜多郡菅田村(明三三、一)生。(學歴)中學卒業後京都同志社大學に半々年在籍。(經歷)新愛知新聞京都通信部記者、日本織物新聞記者、京都日の出新聞記者を経て大正一年海南新聞記者となり十四年八月愛媛新報に入社。(趣味)酒と旅行、讀書。(現住)愛媛縣温泉郡石井村。

**大野元** 東京毎日新聞社記者。福島縣石城郡上遠野村(明三九、三、二七)生。大十四、三月早稲田大學專門政治經濟科卒。(新聞歴)自大六、六月至大一一、一月鐵道省福島運輸事務所勤務。(趣味)音曲、食道樂。(現住)東京市牛込區原町二ノ五七高橋方。

**大野正一** 都新聞社。東京芝浦兒明三五、一、一)生。(新聞歴)つまと新聞社より現社へ轉ず。(現住)府下大森入新井町新井宿皿沼五七六。

**大久保豊米(鷗鳴)** 前大阪毎日新聞販賣部長(四十八歳)。東京政治學校卒。(新聞歴)電報新聞、毎日電報。(趣味)刊句。(現住)兵庫縣香櫛園森具。

**大久保忠鑑** 中央新聞社會部。神奈川縣小田原町幸一(明三三、五、二五)生。早稻田大學社會哲學科。(現住)京橋區銀座四ノ一二近藤方(電話銀座六七四六)。

**大久保頼之助** 中央經理部長。大久保好六。東京朝日寫眞課(現住)千葉縣東葛飾郡我孫子。

**大矢良太郎** 豊國通信社(四十九歳)。別に正規の課程を踐まず。(新聞歴)明治四十一年四月國民新聞へ入社、大正十五年豊國通信社に轉ず。(主義)皇室中心國家主義。(現住)東京府荏原郡品川町二日五丁目二六九(電話高輪二〇二〇)。

**大山覺威(雲峰)** 中外商業新報編輯局長、東京朝日連絡部長。公論主幹、國民新聞記者、京城日報編輯局長、東京朝日連絡部長。調査部長、新愛知東京支社長、毎夕新聞編輯局長。(趣味)讀むことと書くことと圍碁。(現住)牛込赤城町三一(電話牛込二二四〇)。

**大曲壯次郎** 中央新聞經濟部。大淵米吉(米山) 室蘭日日新聞社編輯長(三十三歳)。(新聞歴)社長の家に生長し新聞の創始に隨ひ信任されて長になり他に内職に一雜誌を發行し苦き経験を持つ。(主義)家長社長崇拜主義。(趣味)實業。(現住)社長の家(電話四一四)。

**大江理三郎(素天)** 大阪朝日新聞整理部長(五十一歳)。(新聞歴)明四一年大阪朝日入社。(著書)小説十餘編。(趣味)新聞。(現住)大阪市西區四條通三二九(電話西三二一四)。

**大澤逸足** 中央新聞社整理部。栃木縣栃木町(三十七歳)。(經歷)讀賣新聞社會部、國民新聞社政治部。(現住)東京府荏原郡平塚町戸越七三。

**大澤貞治郎** 報知新聞社通信部特派員。(趣味)魚釣、玉つき。(現住)函館市元町四六(電話三二七〇)。

**大澤曉一** 國民新聞社會部。群馬縣(明三二)生。(學歴)早大(經歷)つまと、國民。(主義)突進主義。(現住)牛込區喜久井町二〇森方。

**大宮伍三郎** 名古屋新聞社東京支局長。廣島縣(明三〇、一

〇)生。(學歴)日本大學政治科。(經歷)大十年入社。(現住)市外代々幡町笹塚一〇六七。

**大宮葉之助** 帝國新報社編輯主任兼社會部長。沼津市(明三三、一)生。(學歴)明治大學出身。(經歷)報知新聞、東京大勢新聞を経て今日に至る。(現住)府下杉並町田端四十一。

**大城秀之助** 豊州新報社整理部副部長。大分市三芳(明二八、一、二、一)生。(學歴)中學卒。(經歷)大八年三月入社今日に至る。(主義)人道主義。(趣味)讀書、文藝。(現住)大分市三芳。

**大島宇吉** 新愛知社長。(明二七入社)愛知縣(嘉永五、一)生。富永梅雪先生に漢學を學ぶ。(新聞歴)自由黨員として侃々の論度々發行停止に遭ふ。(思想)努力實行主義。(趣味)獵と政治。(現住)名古屋市中區撞木町二〇(電東一七〇)。

**大島慶次郎** 新愛知新聞社支配人。

**大森眞龜太(鐵華)** 長崎日日新聞外交部長(四十歳)。(新聞歴)大正五年長崎日日新聞社に入る。(主義)漸進主義。(趣味)釣魚、圍碁。(現住)長崎市上西山町一五四。

**大森三郎(柳川)** 九州朝日新聞社代表者(四〇歳)。中學程度。(新聞歴)明三十八年佐世保軍港新聞、熊本毎日九日を経て久留米に獨立經營日刊新聞を發行すること十餘年、現在の九州朝日に至る。(著書)實業の西日本其他案内記筑後の華等の出版物を發行。(趣味)又莫然として提へ難し。(現住)久留米市京町(電話一〇二八)。

**大森元明(明水)** 近江實業新報營業部長。愛媛縣(明二五、一、二七)生。中等教育を了(應用化學の學修を受く。(經歷)鈴木商店人造絹絲器具構作所、大阪堅鐵所員。(趣味)讀書と語學(英)。(現住)彦根町。

**太田時次郎(知雲)** 信濃時事新聞記者(勲業)飯田町(明一七、六、二)生。(學歴)長野縣立師範學校修業、同小縣蠶業學校學理事修科修業。(經歷)朝鮮成鏡南道々立成興蠶業講習所主任講師を始め諸所に養蠶技術員勤務、大十年一月以來本社記者勤務。(主義)帝國主義。(趣味)養蠶と養鶏。(現住)長野縣飯田吾妻町(電話七二二)。

**太田與市(良民)** 板橋新聞社々長主筆(明二二、一一、五)生。大阪中學品川英語學校出身。(新聞歴)大阪日報通信記者、東京府民理事兼記者。釜山日報記者、東京府民新聞主幹、北豐島評論、北東京新聞、帝國良民新聞等經營現在に至る。(著書)朝鮮日記。(主義)思想デモクラシ。(趣味)政治演説。(現住)東京板橋町九一四(四ツ又)(電話小七七五七)。

**太田宇之助** 東京朝日新聞社支那部次長(三六歳)。早稻田出身。(新聞歴)大六年入社北京へ派遣され、八年上海特派員に轉、十二年歸社。(現住)神奈川縣鶴見花月園内(北京駐在中)。

**太田原在文** 大毎編輯局顧問。太田鎮雄 樺太日日新聞社支配人(三十六歳)。長崎縣立五島中學校卒業、第五中等學校卒業、京都帝國大學政治經濟科卒業。(趣味)運動。(現住)樺太豊原町大通南六ノ三。

**太田正孝(水鳥散史)** 報知社副社長(大八、一一入社)。經濟學博

十早大講師、法政大學講師、靜岡縣(明一九、一一)生。家族四人。東京帝大法科卒業。(著作)關稅行政の研究、湖畔の落人、社會と新聞、保稅制度論、羅馬風呂、新聞その折々、經濟讀本、一つの鏡等。思想)文化主義。(趣味)文學。(現住)東京市外大森山王二六一六(電話大森五七八)。

**黃爾旋(銜堂)** 臺灣新聞社漢文主任。新竹州新竹街(明三〇、九、一三)生。龍淵書屋にて十餘年經史、諸子、古文學、詩詞等を修め、延慶書舎に國文其他普通教材を修了。(經歷)臺中學校公學校教員、新竹赤十字社支部書記。(趣味)詩文書畫。(現住)臺中市錦町二ノ六一二)。

**扇谷亮(東典)** (四十五歳)。前國民新聞社工務局長。獨逸協會日本大學卒業。(新聞歴)國民新聞社へ入社以來工務を擔當二十餘年。(主義)皇室中心主義。(趣味)書畫。(現住)芝區愛宕町三ノ一(電話高輪五九五九)。

**近江笛郎** 大阪商業新報社々會部長。岡山縣久米郡福渡町(明三五、二)生。私立金川中學校。



(新聞) 山陽新報社、大阪朝報社、和歌山日日新聞社等。(趣味) 文學、運動、登山。(現住) 大阪府北河内郡三郷村大枝。

岡庸一(清風庵學村) 南鮮日報社社長(五十五歲)。專修大學法科經濟科修業、早稻田大學政治文學科研究。(新聞) 二十八年より三十二年迄和歌山新報、和歌山實業新聞主筆、四十年より元山日報、南鮮日報經營今日に至る。(著書) 最新韓國事情、馬山案内。(主義) 忠君愛國主義。(趣味) 讀書、園藝。(現住) 朝鮮馬山府(電話二二〇六二)。

岡芳樹 やまと新聞社會部編輯。土佐國(明三二)生。廣島高等師範(新聞) 大九年以來の記者生活、萬朝報、現社。(趣味) 新聞史の研究、旅行。(現住) 牛込區天神町三五。

岡忠雄 シヤパンタイムス廣告部員。横須賀市(明三三、九)生。大正十三年慶應義塾經濟學部卒業。(經歷) 大正十三年四月株式會社宮崎工務所入社、大正十四年三月退社同年四月現社。(現住) 横須賀市若松町三〇。

岡延右衛門 萬朝報社々會部員。(現住) 府下北多摩郡千歲村烏山五九九。

岡野敏成 國民新聞社會部。長野縣(明三三)生。(學歷) 慶應大學。(經歷) 時事から國民。(趣味) カノエ一廻り。(現住) 澁橋町柏木四二九。

岡野康昭 大分新聞社地方部長(明三〇)生。(現住) 大分市勢家。

岡崎鴻吉 大毎、整理部長事務取扱。(現住) 大阪府東區東區。

岡見齊 東京朝日新聞社會部記者。秋田縣男鹿半島(明二五)生。(趣味) 酒。(現住) 澁橋町柏木四七。

岡島松次郎 大阪新報社主筆。大阪(明二三、五)生。(新聞) 大阪時事新報。(現住) 大阪市港區四條通(電話一四三四)。

岡島章治 中外商業新報政治部。長野縣(明三四、二)生。明治大學。(現住) 市外杉並町高圓寺九二七。

岡本一平 東京朝日新聞社客員(明四五)生。北海道函館(明一九、六)生。家族四人。美術學校洋畫科出身。(著作) 近刊泣蟲寺の夜話、へばり胡瓜、其他漫畫

長崎縣北松浦郡黒島村(明三二、三、二五)生。早稻田大學政治經濟科。(著作) 立憲政治の實體及其運用、愛に生きる人々、ローマ名士傳(翻譯)、詩集ささやき。(現住) 東京市牛込區矢來町一〇ノ六梅崎方。

岡幸七郎(西門) 支那漢口漢口日報社長(五十九歲)。在支三十二年支那研究に没頭するの外何等の學歴なし。(趣味) 作詩。(現住) 支那漢口。

岡實 大阪毎日新聞社東京日日新聞社顧問。大阪(明六、九)生。明三一年東京帝國大學法科卒業。(經歷) 內務省、内閣法制局、農商務省に勤務外に帝大、商大等の講師たり、大七年官を辭し學位を受く、大七年官を辭し平和會議勞動會議經濟會議等に參列、大十二年十一月大阪毎日顧問となる。(趣味) 釣、謡曲。(現住) 東京市芝區白金三光町二七六(電話高輪五五四五)。

岡部等 奉天毎日新聞記者。熊本縣天草郡今津村(明三四、六、五)生。早稻田大學政治經濟部二年修業。(趣味) 旅行、音樂。(現住) 奉天十間房第四區社宅。

岡本一男 日本新聞聯合社編輯鳥取市(明三三、三、七)生。(經歷) 大阪通信局を経て現社。(趣味) 近距離旅行、讀書。(現住) 牛込區五軒町二新倉。

岡本隆(喜舞) 東京朝日新聞運動部(三十二歲)。慶應義塾大學理財科卒。(新聞) 東京毎日新聞より朝日に入る。(趣味) 和洋音樂。(現住) 府下荏原郡大森町澤田一二四八。

岡本鶴松 大阪朝日新聞外報部長。東京市(明一五、二)生。(新聞) 明四三年英字新聞シヤパン、アドヴァタイザー(入社同四年)東京朝日新聞社(入社)大九年十月倫敦特派員として赴任大十一年四月歸京大十二年十月大阪朝日へ轉任今日に至る。(趣味) 瞑想と讀書と音樂。(現住) 大阪朝日新聞社内。

岡本政美 土陽新聞社速記者。高知縣香美郡三島村久枝一三三番屋敷(明三七、一、一六)生。(學歷) 東京物理學校修業中退學

岡部甚一 やまと新聞社商況部主任。山口縣(明一八、七)生。(學歷) 早稻田。(現住) 大森不入斗五八四。

岡田復三郎(孤煙) 國民新聞社々會部次長。明一九、一、一月東京市込に生る。(學歷) 明四十年早稻田大學英文科卒業。(經歷) 明四十二年、九月時事新報に入社四十四、五月國民新聞に轉ず。(趣味) 劇、其他大抵のものに興味を持つ。(現住) 東京府下和田堀町字和泉六二。

岡田爲三 大阪時事廣告部長。(明四一、入社)。(明二一、一一)生。家族五人、天王寺中學卒業。(現住) 大阪府南區天王寺松ヶ鼻町(電話南七六五〇)。

岡田義胤(收民) 守谷新報社長。大分縣宇佐郡實家村(慶應) 三、四、二八)生。幼年大分下毛郡中津町白石義塾に於て漢籍研究後東京神田區修學校に入り中途退學。(新聞) 明二三年北海道御料局官吏を帶職し在官五ヶ年後民間に於て明二六年七月現新聞を創刊二十四ヶ年間獨力經營。(趣味) 園藝と體育法に努力。(現住) 北海道宗谷館内町

本道北山ノ二二六(電話二〇一五五)。

岡田繁 中央新聞社整理部。(二十八歲)。(現住) 東京小石川區西丸町二十三。

岡田純夫 中外商業新報經濟部(大一一、二入社)。岡山縣(明二六、四)生。(新聞) 大阪時事、大正日日、山陽新報、中央新聞。(趣味) 文藝。(現住) 小石川區大塚坂下町六九。

岡田彦七郎 讀賣社會部。岡谷清次郎(天芥) 北國新聞社々會部長。石川縣金石町(明二五、三)生。金澤商業學校、京都法政大學(今の立命館大學)。(新聞) 石川新聞社、大阪毎日新聞記者、金澤毎日新聞社々會部長を経て大阪時事新報社金澤支局長に就任、大正七年現社。(趣味) 讀書、園藝。(現住) 金澤市横山町二番町二五ノ二六(電話二八二五)。

岡村藤三郎(草二) 東京毎日新聞記者兼編輯庶務。新潟縣加茂町(明二八、三、五)生。(學歷) 中央大學法學部卒業。(經歷) 大十四、四月毎月政治部入社。(主義) 國家社會主義。(趣味) 讀書。

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。

和田知求 土陽新聞社。(明二一、三、二五)生。(經歷) 明四三年以來新聞記者生活。(趣味) 盆棧。(現住) 高知市湖江春野町。

和田利丸 大分新聞記者。(現住) 大分縣中津町。

和田勝洲(視堂) 東雲日報社取締役主筆(明二六)入社。弘前市(明四、一二)生。(現住) 青森市長島(電話二五〇)。

割田斧次(斧二) 報知新聞社發送部社員。群馬縣吾妻郡名久田村(明二七、八、三一)生。(學歷) 東京大學部印度哲學倫理學科卒業。(主義) 人格主義。(趣味) 詩

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。

和田知求 土陽新聞社。(明二一、三、二五)生。(經歷) 明四三年以來新聞記者生活。(趣味) 盆棧。(現住) 高知市湖江春野町。

和田利丸 大分新聞記者。(現住) 大分縣中津町。

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。

和田知求 土陽新聞社。(明二一、三、二五)生。(經歷) 明四三年以來新聞記者生活。(趣味) 盆棧。(現住) 高知市湖江春野町。

和田利丸 大分新聞記者。(現住) 大分縣中津町。

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。

和田知求 土陽新聞社。(明二一、三、二五)生。(經歷) 明四三年以來新聞記者生活。(趣味) 盆棧。(現住) 高知市湖江春野町。

和田利丸 大分新聞記者。(現住) 大分縣中津町。

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。

荻博 讀賣新聞社會部。

わ

(現住) 府下北多摩郡千歲村烏山五九九。

野野敏成 國民新聞社會部。長野縣(明三三)生。(學歷) 慶應大學。(經歷) 時事から國民。(趣味) カノエ一廻り。(現住) 澁橋町柏木四二九。

岡野康昭 大分新聞社地方部長(明三〇)生。(現住) 大分市勢家。

岡崎鴻吉 大毎、整理部長事務取扱。(現住) 大阪府東區東區。

岡見齊 東京朝日新聞社會部記者。秋田縣男鹿半島(明二五)生。(趣味) 酒。(現住) 澁橋町柏木四七。

岡島松次郎 大阪新報社主筆。大阪(明二三、五)生。(新聞) 大阪時事新報。(現住) 大阪市港區四條通(電話一四三四)。

岡島章治 中外商業新報政治部。長野縣(明三四、二)生。明治大學。(現住) 市外杉並町高圓寺九二七。

岡本一平 東京朝日新聞社客員(明四五)生。北海道函館(明一九、六)生。家族四人。美術學校洋畫科出身。(著作) 近刊泣蟲寺の夜話、へばり胡瓜、其他漫畫

長崎縣北松浦郡黒島村(明三二、三、二五)生。早稻田大學政治經濟科。(著作) 立憲政治の實體及其運用、愛に生きる人々、ローマ名士傳(翻譯)、詩集ささやき。(現住) 東京市牛込區矢來町一〇ノ六梅崎方。

岡幸七郎(西門) 支那漢口漢口日報社長(五十九歲)。在支三十二年支那研究に没頭するの外何等の學歴なし。(趣味) 作詩。(現住) 支那漢口。

岡實 大阪毎日新聞社東京日日新聞社顧問。大阪(明六、九)生。明三一年東京帝國大學法科卒業。(經歷) 內務省、内閣法制局、農商務省に勤務外に帝大、商大等の講師たり、大七年官を辭し學位を受く、大七年官を辭し平和會議勞動會議經濟會議等に參列、大十二年十一月大阪毎日顧問となる。(趣味) 釣、謡曲。(現住) 東京市芝區白金三光町二七六(電話高輪五五四五)。

岡部等 奉天毎日新聞記者。熊本縣天草郡今津村(明三四、六、五)生。早稻田大學政治經濟部二年修業。(趣味) 旅行、音樂。(現住) 奉天十間房第四區社宅。

岡本一男 日本新聞聯合社編輯鳥取市(明三三、三、七)生。(經歷) 大阪通信局を経て現社。(趣味) 近距離旅行、讀書。(現住) 牛込區五軒町二新倉。

岡本隆(喜舞) 東京朝日新聞運動部(三十二歲)。慶應義塾大學理財科卒。(新聞) 東京毎日新聞より朝日に入る。(趣味) 和洋音樂。(現住) 府下荏原郡大森町澤田一二四八。

岡本鶴松 大阪朝日新聞外報部長。東京市(明一五、二)生。(新聞) 明四三年英字新聞シヤパン、アドヴァタイザー(入社同四年)東京朝日新聞社(入社)大九年十月倫敦特派員として赴任大十一年四月歸京大十二年十月大阪朝日へ轉任今日に至る。(趣味) 瞑想と讀書と音樂。(現住) 大阪朝日新聞社内。

岡本政美 土陽新聞社速記者。高知縣香美郡三島村久枝一三三番屋敷(明三七、一、一六)生。(學歷) 東京物理學校修業中退學

岡部甚一 やまと新聞社商況部主任。山口縣(明一八、七)生。(學歷) 早稻田。(現住) 大森不入斗五八四。

岡田復三郎(孤煙) 國民新聞社々會部次長。明一九、一、一月東京市込に生る。(學歷) 明四十年早稻田大學英文科卒業。(經歷) 明四十二年、九月時事新報に入社四十四、五月國民新聞に轉ず。(趣味) 劇、其他大抵のものに興味を持つ。(現住) 東京府下和田堀町字和泉六二。

岡田爲三 大阪時事廣告部長。(明四一、入社)。(明二一、一一)生。家族五人、天王寺中學卒業。(現住) 大阪府南區天王寺松ヶ鼻町(電話南七六五〇)。

岡田義胤(收民) 守谷新報社長。大分縣宇佐郡實家村(慶應) 三、四、二八)生。幼年大分下毛郡中津町白石義塾に於て漢籍研究後東京神田區修學校に入り中途退學。(新聞) 明二三年北海道御料局官吏を帶職し在官五ヶ年後民間に於て明二六年七月現新聞を創刊二十四ヶ年間獨力經營。(趣味) 園藝と體育法に努力。(現住) 北海道宗谷館内町

本道北山ノ二二六(電話二〇一五五)。

岡田繁 中央新聞社整理部。(二十八歲)。(現住) 東京小石川區西丸町二十三。

岡田純夫 中外商業新報經濟部(大一一、二入社)。岡山縣(明二六、四)生。(新聞) 大阪時事、大正日日、山陽新報、中央新聞。(趣味) 文藝。(現住) 小石川區大塚坂下町六九。

岡田彦七郎 讀賣社會部。岡谷清次郎(天芥) 北國新聞社々會部長。石川縣金石町(明二五、三)生。金澤商業學校、京都法政大學(今の立命館大學)。(新聞) 石川新聞社、大阪毎日新聞記者、金澤毎日新聞社々會部長を経て大阪時事新報社金澤支局長に就任、大正七年現社。(趣味) 讀書、園藝。(現住) 金澤市横山町二番町二五ノ二六(電話二八二五)。

岡村藤三郎(草二) 東京毎日新聞記者兼編輯庶務。新潟縣加茂町(明二八、三、五)生。(學歷) 中央大學法學部卒業。(經歷) 大十四、四月毎月政治部入社。(主義) 國家社會主義。(趣味) 讀書。

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。

和田知求 土陽新聞社。(明二一、三、二五)生。(經歷) 明四三年以來新聞記者生活。(趣味) 盆棧。(現住) 高知市湖江春野町。

和田利丸 大分新聞記者。(現住) 大分縣中津町。

和田勝洲(視堂) 東雲日報社取締役主筆(明二六)入社。弘前市(明四、一二)生。(現住) 青森市長島(電話二五〇)。

割田斧次(斧二) 報知新聞社發送部社員。群馬縣吾妻郡名久田村(明二七、八、三一)生。(學歷) 東京大學部印度哲學倫理學科卒業。(主義) 人格主義。(趣味) 詩

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。

和田知求 土陽新聞社。(明二一、三、二五)生。(經歷) 明四三年以來新聞記者生活。(趣味) 盆棧。(現住) 高知市湖江春野町。

和田利丸 大分新聞記者。(現住) 大分縣中津町。

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。

和田知求 土陽新聞社。(明二一、三、二五)生。(經歷) 明四三年以來新聞記者生活。(趣味) 盆棧。(現住) 高知市湖江春野町。

和田利丸 大分新聞記者。(現住) 大分縣中津町。

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。

和田知求 土陽新聞社。(明二一、三、二五)生。(經歷) 明四三年以來新聞記者生活。(趣味) 盆棧。(現住) 高知市湖江春野町。

和田利丸 大分新聞記者。(現住) 大分縣中津町。

和野恒彦(天華) 神戸新聞社取締役編輯局長(五十二歲)。日本法學校中途退學。(新聞) やまと新聞、大阪毎日新聞、大阪新報を経て神戸新聞社。(著書) 史論論ヶ原役、史傳阪本龍馬、小説浪まくらその他數十種。(主義) 國家主義。(趣味) 何でもよい。(現住) 神戸市五宮町二四五(電話元町二五一〇、二七八五)。



歌。(現住)東京市牛込區矢來町五十三番地。

若尾庄吾(瀾水) 高知新聞名譽主筆(大七、一入社。俳句雜誌海月主幹。高知縣(明一〇、一)生。妻一女一男。東京帝大政治科出(明三八)。(趣味)俳句。(政黨)憲政會。(現住)高知縣江岡下の村。

若月一步 朝日新聞社「週刊朝日」(コドモ朝日)編輯。(主義)獨裁專制。(趣味)無言獨居(書面及御來訪は一切東京朝日新聞社宛に願ひ度し)。

若山武彦 中外商業新報社營業部長兼廣告部長。生地長野市成長ノ地福岡縣大牟田市。日本大學法科專門部卒。(新聞歴)大正四年十月現社。(趣味)闘犬、(現住)市外大森山王。

若松謙次郎(太平洞) 都新聞社會部。秋田縣河邊郡新屋町(四十歳)。(經歷)秋田魁新報記者として八年、其後現社。(現住)東京市外上駒込染井八四三。

渡部東次郎(綠島) 庄内新報社會部。山形縣鶴岡市(明一七、一)生。(學歷)明三八年山形縣立庄内中學卒業。(經歷)大正二年三月現社。(現住)大阪市西淀川區大仁一二五。

渡邊豪(天倪居士) 二六新報社理事、論說部。大分縣(明二〇、一)生。縣立中學、東洋大學、帝大文學部選科、以上卒。(新聞歴)二六新報、九州日報、讀賣新聞の各政治部。(趣味)旅行、政治及哲學に關する意見の大交換。

渡邊綱太郎 中央新聞社經濟部。(現住)東京市外三河島町蓮田五五一。

渡邊幸夫 大分新聞校正部長。(明二八年)生。(現住)大分市長池。

渡邊貴知郎(敬天、斷崖) 内外新聞社社長。二三の公共團體に關係中。東京(明二三、五)生。母妻一女。早大政經科出身。(新聞歴)萬朝報政治經濟部言論を著く。(著作)無理に書かされた雄辯第一。(思想)デモクラシー(趣味)讀書、觀劇。勝負事其他(政黨)不偏不黨。(現住)市外蒲田矢口村字蓮沼。

渡邊清房 元山毎日新聞社會部庶務課長(明三二、七、四)生。(學歷)九州學院卒業。(經歷)朝鮮每

七年以來新聞記者。(主義)國家社會主義。(趣味)魚釣。(現住)鶴岡市家中新町。

渡部熊夫(翠波) 山陰新聞社今市支局長。鳥取縣西伯郡向徳村(明二九、一、二〇)生。(新聞歴)大正十年八月十日山陰日日新聞社會部、同十二年八月山陰民報社を創立と同時に社會部長として入社國民新聞、大阪毎日の通信囑託。(趣味)讀書、運動。(現住)鳥根縣今市町(電話一四八)。

渡部健就(新六) 帝國通信社廣告部長。伊勢松阪在(明二一、五、二〇)生。(學歷)北野中學卒業。(經歷)萬年社を経て帝國通(主義)一人一頭。(趣味)ラゲオ。(現住)大阪東淀川區十三(電話北七四)。

渡部喜一(双峰) 福島毎日新聞主筆。福島縣無津(明二七)生。(學歷)東京私立大成中學校卒業。早大政治經濟科修業。(經歷)福島民友新聞の改革運動と共に退社、福島毎日新聞創刊と共に入社。(主義)憲政會。(現住)福島市曾根田(電話四八二)。

渡部彦四郎 山形自由新聞社編輯。山形市(明二二、一)生。日新聞から大十一年六月本社に入社。(主義)廣い意味のエゴイズム。(趣味)運動(野球テニス)。(現住)朝鮮元山府旭町三丁目。

渡邊金一 東洋廣告社會社廣告部主任。神戸市。(經歷)東洋廣告社會社設立以來の最古參(主義)終始一貫。(趣味)登山。(現住)神戸市加納町四丁目。

渡邊雪丸 神戸又新日報言論部主任。備中國に生る。家族三人。(新聞歴)大阪時事經濟部。(思想)其日暮し。(趣味)暇あれば唯睡眠を食ふのみ。(現住)神戸市中山手通七丁目番外四三ノ二一。

渡邊紳一郎(あてびと) 東京朝日新聞外報部(二七歳)。東京外國語學校佛語部卒。東京帝大文學部中途退學。(新聞歴)大正十三年四月東朝(入社)。(主義)平民主義。(趣味)讀書。(現住)小石川區小日向臺町一の四八(電話小石川三三三〇)。

渡邊秀郎 大分新聞記者。(明三三)生。(現住)大分市西町。

渡邊廣重 大毎經濟部副部長兼論說部員。仙臺市(明一八)生。家族四人。中央大學法學部卒。(新聞歴)大阪時事大正四、九月、

東京支局長。山形市(明二三、九)生。小學卒、其他獨學。(新聞歴)明治三十八年山形日報社營業部、四十三年同社廣告主任大正三年二月中央新聞社、大正九年七月現社。(趣味)酒と職業。(現住)東京市牛込區下戸塚町三〇七(電話牛込六九)。

渡邊篤三郎(停舟) 長崎日日新聞社會部長(四十五歳)。(新聞歴)大正五年現社に入る。(趣味)盆栽、園藝。(現住)長崎市立山町二七二。

渡邊一男(芳夫) 新愛知新聞社編輯通信所記者。岐阜縣可兒郡平牧村大森(明二七、一)生。神戸關西學院卒。(新聞歴)扶桑新聞當時に現名古屋毎日に入社後現社。(現住)長野縣諏訪郡上諏訪町片羽。

渡邊武雄(瀧) 福島民友新聞記者。福島縣(明三六)生。(學歷)東京川端書學校に學ぶ。(經歷)大十五年六月福島民友新聞社に入社。(主義)皇室中心主義。(趣味)美術。(現住)福島市陳坊。

渡邊寛 福島民報社編輯兼文藝係(明三四、五、一〇)生。(學歷)宗教學校卒業。(主義)文藝上の

新日本主義。(趣味)酒、日祭り氣分。(現住)福島市榮町二十一民報社。(電話二五七)。

渡邊政次郎 やまと新聞社印刷部主任(明二二)生。(新聞歴)東京毎日新聞社大勢新聞社帝國新聞社を経て現社。(現住)芝區新門前町五。

渡邊敬吉(走雲) 中央新聞社販賣部外勤。横濱市生。(三十七歳)。(學歷)早大探偵冶金科中途退學。(主義)有かとう。(趣味)早寝早起植木。(現住)府下大森新井宿一四〇五。

渡邊立 中外商業新報社(明三四、一、二七)生。日本大學文學部社會科。(新聞歴)名古屋新聞記者。(現住)東京府下巢鴨町一ノ一三。

渡邊源六(翠江) 時事新報社山形支局勤務。岩手縣和賀郡立花村(明三五、三、二四)生。(新聞歴)大十一年九月岩手毎日新聞社入社、同十四年二月時事新報社。(趣味)文藝。(現住)山形市旅籠町時事新報山形支局内。

渡邊文吉 大阪朝日新聞社運動記者。福島縣(明三二、七、一)生。關西學院高商科。(新聞歴)大十

か

加藤今一郎(冷灰) 春秋新報社長。(四十八歳)。(學歷)日本大學法科及び東京法律學校に政經學を學ぶ。(經歷)養蜂事業經營後大七年雜誌「新青年」を發行、大十一年春秋新報を創刊。(主義)社會主義。(趣味)園藝。(現住)愛知縣牛田町二〇五(電話四四六番)。

加藤直士(如風) 英文大阪毎日副主筆。(新聞歴)戦時倫敦特派、巴里講和會議特派員、歸朝論說課に入る。東京御外遊の御見送りとして新嘉坡より埃及迄。著作)基督教の眞體。現代宗教哲學主要問題トリストイ人生觀等哲學宗教に關する譯著澤山。改造の歐洲より。

加藤良助(春柳) 讀賣新聞浦和支局長。埼玉縣川越市(明三九、三)生。大倉商業學校卒。明治大學專門部法科一年途中退學。(趣味)魚釣、讀書。(現住)埼玉縣

二年三月現社。(現住)大阪市西淀川區大仁一二五。

渡邊豪(天倪居士) 二六新報社理事、論說部。大分縣(明二〇、一)生。縣立中學、東洋大學、帝大文學部選科、以上卒。(新聞歴)二六新報、九州日報、讀賣新聞の各政治部。(趣味)旅行、政治及哲學に關する意見の大交換。

渡邊綱太郎 中央新聞社經濟部。(現住)東京市外三河島町蓮田五五一。

渡邊幸夫 大分新聞校正部長。(明二八年)生。(現住)大分市長池。

渡邊貴知郎(敬天、斷崖) 内外新聞社社長。二三の公共團體に關係中。東京(明二三、五)生。母妻一女。早大政經科出身。(新聞歴)萬朝報政治經濟部言論を著く。(著作)無理に書かされた雄辯第一。(思想)デモクラシー(趣味)讀書、觀劇。勝負事其他(政黨)不偏不黨。(現住)市外蒲田矢口村字蓮沼。

渡邊清房 元山毎日新聞社會部庶務課長(明三二、七、四)生。(學歷)九州學院卒業。(經歷)朝鮮每

日新聞から大十一年六月本社に入社。(主義)廣い意味のエゴイズム。(趣味)運動(野球テニス)。(現住)朝鮮元山府旭町三丁目。

渡邊金一 東洋廣告社會社廣告部主任。神戸市。(經歷)東洋廣告社會社設立以來の最古參(主義)終始一貫。(趣味)登山。(現住)神戸市加納町四丁目。

渡邊雪丸 神戸又新日報言論部主任。備中國に生る。家族三人。(新聞歴)大阪時事經濟部。(思想)其日暮し。(趣味)暇あれば唯睡眠を食ふのみ。(現住)神戸市中山手通七丁目番外四三ノ二一。

渡邊紳一郎(あてびと) 東京朝日新聞外報部(二七歳)。東京外國語學校佛語部卒。東京帝大文學部中途退學。(新聞歴)大正十三年四月東朝(入社)。(主義)平民主義。(趣味)讀書。(現住)小石川區小日向臺町一の四八(電話小石川三三三〇)。

渡邊秀郎 大分新聞記者。(明三三)生。(現住)大分市西町。

渡邊廣重 大毎經濟部副部長兼論說部員。仙臺市(明一八)生。家族四人。中央大學法學部卒。(新聞歴)大阪時事大正四、九月、

大正七年現社に入る。八年社命にて南支那、米領比律賓、英領ホルネオ、蘭領東印度、英領海峽殖民地、シヤム、佛領印度等の産業を視察す。(趣味)園藝、弓。

渡邊誠吾 大阪朝日新聞社出版編輯部次長。新潟縣北蒲原郡加治村(明一八、六)生。東京帝國大學文學科、倫理學專攻。(新聞歴)米國に放浪中朝日新聞社通信員となり、巴里講和會議華盛頓軍縮會議に特派員として出張。(現住)大阪市住吉區阿部野町四二二(電話戒一一八〇)。

巨敏夫 東京毎日新聞社政治部記者。新潟縣岩舟郡村上本町(明二三、五、一五)生。(現住)東京市麴町區紀尾井町六。

脇山末次(寧二) 福岡日日新聞社會部(明二七、一)生。(學歷)中央大學卒業。(現住)福岡市島崎西崎一六五五(電話一八四〇呼出)。

鷺谷武(櫻風、迷亭) 夕刊大阪新聞社編輯長。大阪市(明二四、四、二)生。早稻田大學政經科卒。同研究科修業。(新聞歴)大阪時事新報、大阪毎日新聞社長、專

務を歴任して現社。(趣味)讀書、演藝。(現住)大阪市天王寺區大道四丁目。



浦和町電話三〇〇〇。  
**加藤芳朗** 東京朝日青森通信部(明二五、五)生。(經歷)新聞記者約十年。(現住)青森市新町。  
**加藤萬壽男** 日本新聞聯合社編輯部(明三一、一)生。東京外國語學校英語科(大正九年)來國シカゴ大學卒。(新聞歷)大正十三年九月現社。(現住)下谷區谷中坂町六一增田方。  
**加藤謙** 前讀賣新聞社文藝部。岐阜縣妻木村(明二九、二)生。青山學院中等科卒。(新聞歷)大正三年夏讀賣、別に美術文藝雜誌「鐘」の編輯を發行。(現住)大森。馬込村白田坂(電話大森二一五)。  
**加藤源哉**(弦月) 新潟時事新聞編輯記者。新潟縣新發田町(明一九、二)生。(學歷)郷里の中學と東京の高等豫備科。(經歷)北越民報、新發田新聞、旭川新聞、下越新聞、新潟毎日新聞、新潟朝日新聞を経て現社に在り。其間に大藏省の官吏も勤務。(主義)皇室中心主義。(趣味)文藝。(現住)新潟市學校町二番町。  
**加藤文彦** 都新聞第四部。千葉縣長生郡豐榮村關原(明三四)生。(學歷)縣立長生中學、日本大學社會科。(經歷)都新聞入社五年第二部より第四部。(現住)府下大久保百人町二八〇。  
**加藤幸枝**(城北) やまと新聞社愛知縣(明一九、一〇、一)生。(新聞歷)低級官吏から二箇年間浪人生活。大正九年三月現社。(趣味)義太夫。(現住)東京市下谷區瀧泉寺町二八。  
**加藤喜三郎**(笑外) 樺太日日新聞記者。宮城縣登米郡新田村(明二一、三、一九)生。(學歷)中央大學に籍を置きしことあり。(新聞歷)十勝日日新聞記者たりしこと一年、大十一年九月樺太日日に入る。(趣味)各種運動。(現住)豊原町東一條南七丁目五番地。  
**加藤祐之助** 秋田魁新報社政治經濟部記者。秋田市龜ノ丁西土手町(明三六、三、一)生。明治大學經濟科。(新聞歷)大十四年五月入社。(趣味)音樂。(現住)秋田市龜ノ丁西土手町。  
**加藤駿** 日本電報通信社臺灣支局長。廣島市(明一四、二)生。(現住)臺中市末廣町三ノ一。電話一九四五、三四五九。  
**加藤壽太郎**(介春) 九州日報編輯部長(明四三、四入社)。福岡縣下(明一八、五)生。妻女二男一。早稻田大學英文科出身。(著作)詩集嶽中哀歌情を仰ぎて等。(思想)現實主義又は人間主義。(趣味)各種の人物を見る事集める事。(現住)福岡市養父町十三。  
**加藤久美** 小樽商業新聞外交部編輯部長(明三三)生。(學歷)農學校卒業。(現住)小樽市東雲町四。  
**加藤木清** シヤパンタイムス社廣告部。茨城縣(明二一、七、一)生。(現住)神奈川縣鎌倉町。  
**加藤善一** 都新聞社地方部。明二〇、六、五)生。(學歷)早稻田政治經濟科中途退學。(經歷)田舎新聞を経て現社。(趣味)旅行。(現住)東京府豊多摩郡和田堀町大字和田九八八。  
**加藤進** 報知新聞社通信部。東京市下谷區(明一七、五)生。(學歷)早大政治經濟科得業。(經歷)終生一貫新聞記者生活。(主義)無抵抗主義。(趣味)舟、水泳。(現住)東京市外大崎町大崎一四八。  
**加東源吾**(拓郎) 樺太日日新聞社編輯發行印刷人、會計主任。新潟縣平井(明三三、一〇、二七)生。(新聞歷)大六年五、一)現社。(趣味)野球見物、讀書。(現住)樺太豊原大通南六ノ三。  
**香取桂一** 大阪朝日新聞社調査部(三十一)生。山口高等商業學校卒。(新聞歷)大正十一年六月現社に入社現在に至る。(現住)大阪市北區上福島北二の二〇九。(電話)土佐堀四〇一六。  
**鹿野信九郎**(紅楓) 福井新聞小濱支局長(明三五、八)生。福井縣小濱(明一三、九)生。(新聞歷)明四五年より大阪朝日新聞小濱通信員。(趣味)讀書、園藝。(現住)福井縣小濱壺番町。(電話)二六四。  
**鹿子木日出雄** 日本電報通信社會計部長(三十一)生。私立専修大學、經濟科卒。(新聞歷)大正三年一月日本電報通信社入社今日に至る。(趣味)趣味に多々あはれども多忙にして味ふ機少なし。(現住)千駄ヶ谷松田二一(電話)青山一三〇六。  
**甲斐羊一**(子羊) 木浦新報社會計部長。大分縣直入郡白丹村白丹(明四〇、一、二)生。(學歷)中學卒業。(主義)唯美主義。(趣味)音樂、文藝。(現住)木浦府仲

町一丁目十二番地。(電話)三三三)。  
**葛西慶太郎** 時事新報校正課長。四、六入社。時事新報、東京毎日新聞、上州新報支局長。弘前市(明二、正)生。家族妻子。(現住)群馬縣館林。(電話)二六一)。  
**戒田一馬** 二六營業局顧問兼販賣部長(大七、二入社)。伊豫松山(明一〇、四)生。家族五人、中學卒業。(新聞歷)明治三五年以來報知、大阪毎日、東京日日の販賣部に勤務。(趣味)書畫。(現住)府下瀧の川。  
**樺島勝一** 東京朝日社會部。(現住)府下千駄ヶ谷八五六。  
**門田勝衛**(稻葉、泰山子) 愛知新聞主筆兼編輯長(大九、三入社)。宮城縣(明一四、四)生。家族六人、松柏塾中學校、國民英學會、法政大學國際法專攻。(新聞歷)興羽日日、北日本、岩手毎日、福島民友主筆國民編輯係、大阪毎日、東京日日硬派編輯、信濃毎日編輯長、下野新聞、關東新聞副社長。(著作)農村と人物。(趣味)銃獵、動物。(政黨)憲政會。(現住)名古屋市西區北野町二の四。  
**狩谷吾一**(美幸) 夕刊大阪新聞社經濟部長。大阪市(明二九、三)生。(學歷)神戸高商出身。(經歷)大阪日日新聞社、關西日報社、大阪新報社、國民新聞社等を経て現社に入る。(主義)白紙(趣味)文藝。(現住)大阪市北區神山町四三。  
**輕部秀治**(加瀬青) 東京毎日新聞社家庭部記者。秋田縣仙北郡刈和野町(明三二、一〇、一九)生。早稻田大學文學部に學ぶ。(現住)東京市外上落合六四四。  
**川西爲美**(夢村) 元山毎日新聞社々會部。岡山美作(明二八、七、四)生。(趣味)麻雀、圍碁、俳句、短歌。(現住)元山府城洞一〇。  
**川邊健太郎**(碧水) 長崎日日新聞崎戸支局長。福岡日日、長崎新聞、肥前日日新聞通信員兼務職務名、長崎稅務署管内所得稅營業稅調查委員、村會議員、熊本稅務監督局所轄長崎縣選出營業稅審査員。(三十九歳)。(新聞歷)長崎民報、長崎朝報。(主義)皇室中心。(趣味)活動、讀書。(現住)長崎縣西彼杵郡野戸村。  
**川邊眞藏** 東京日日整理部長。川上三太郎 東京毎日新聞社家庭學藝部長。東京(明二四、一)生。(學歷)大倉高商出身。(經歷)大九年入社今日に及ぶ。(趣味)ピル。(現住)府下南品川四ノ四二。  
**川頭九郎次** 新聞販賣業。佐賀縣(明二六、三)生。早大の政經に學び専修大學の商科を修む。(新聞歷)明四四年より販賣に投入。(趣味)旅行。(現住)牛込區揚場町九番地(電話)牛込一一七一)。  
**川村直成** 下野新聞取締役編輯局長(明一五、九、一六)生。(學歷)早稻田大學法律科。(現住)宇都宮市西端田三五二(電話)一〇三〇)。  
**川村十二郎**(五峰) 朝鮮及朝鮮佛教主筆。秋田縣(明一二、二)生。妻二男三女合計七人の大家族。十有餘年勤續。(新聞歷)大阪朝報、長濱新報、滋賀日報、婦女新聞、東京朝日(思想)因はれざる新佛教的信仰。(現住)京城府大和町二の一五四坂千里方。  
**川俣篤**(鴨洲) 安東新報社長。(新聞歷)大六年五、一)現社。(趣味)野球見物、讀書。(現住)樺太豊原大通南六ノ三。  
**香取桂一** 大阪朝日新聞社調査部(三十一)生。山口高等商業學校卒。(新聞歷)大正十一年六月現社に入社現在に至る。(現住)大阪市北區上福島北二の二〇九。(電話)土佐堀四〇一六。  
**鹿野信九郎**(紅楓) 福井新聞小濱支局長(明三五、八)生。福井縣小濱(明一三、九)生。(新聞歷)明四五年より大阪朝日新聞小濱通信員。(趣味)讀書、園藝。(現住)福井縣小濱壺番町。(電話)二六四。  
**鹿子木日出雄** 日本電報通信社會計部長(三十一)生。私立専修大學、經濟科卒。(新聞歷)大正三年一月日本電報通信社入社今日に至る。(趣味)趣味に多々あはれども多忙にして味ふ機少なし。(現住)千駄ヶ谷松田二一(電話)青山一三〇六。  
**甲斐羊一**(子羊) 木浦新報社會計部長。大分縣直入郡白丹村白丹(明四〇、一、二)生。(學歷)中學卒業。(主義)唯美主義。(趣味)音樂、文藝。(現住)木浦府仲



(電話二四九)。  
**川島友三**(總南) 日本新聞聯合社東京經濟部主任。千葉縣山武郡增穂村(明一四、八)生。東京中學校。東京專門學校政治經濟科中途退學。日本大學推薦校友。(新聞歷)神戸又新日報、二六新報、報知新聞、東京毎日新聞、中外商業新報、帝國通信社を経て大正十年四月現社。(趣味)新聞編輯、名士訪問。(現住)麴町區平河町六百三(電話四谷二四九一)。  
**川島良** やまと新聞速記者。千葉(明三五、一一、二)生。(現住)東京府荏原郡馬込村東九六六。  
**川瀬義成** 中央新聞社經濟部。(現住)東京市外原宿二〇六。  
**河西豐太郎** 國民新聞副社長。河田孝行(鳥城)丹州時報社、事務兼主幹。岡山市(明一六、二)生。(學歴)獨學。(經歷)京都新聞、大阪毎日、二十年前に現社。(趣味)鹽池。(現住)京都府舞鶴港南田邊(電話一一七)。  
**河村峰太郎**(峰水) 關門日日營業部長代理部主任(明三三)入社。山口縣(明二、七)生。妻と男  
 女子各五人。(趣味)新聞。(現住)下關市西之端町二四(電話一七五七)。  
**河内時申** 株式會社鹿兒島朝日新聞社東京支局長。鹿兒島縣熊毛郡北種子村西之表(明二三、五、一九)生。(新聞歷)大正二年佐賀毎日新聞、大正五年五月鹿兒島朝日新聞社教育部擔當、經濟部擔當記者、廣告部長を経て現任に轉ず。(趣味)盆栽、宗教。(現住)京橋區銀座三の一八(電話銀座六八二八)。  
**河野猛男** 大分新聞運動部主任(明三三)生。(現住)大分市南大分。  
**河野恒吉** 大阪朝日新聞社客員(現住)東京市外東中野塔山。  
**河野文雄** 大分新聞記者。(明三七)生。(現住)大分市上野。  
**河野讓**(桐谷) 天業民報社文藝部長。東京市(明一二、五)生。早稻田大學文科第一期、早稻田大學文學士。(新聞歷)東京日日新聞文藝部長、早稻田大學文學科講師。(趣味)すべての藝術(現住)東京市下谷區櫻木町三九。  
**河野碩平** 朝鮮新聞東京支局長(現住)赤坂區丹後町。  
**河合勇** 東京朝日新聞運動部(二十八歲)。早大英文科出身。(新聞歷)大正一二年東京朝日に入社。(現住)下谷區上根岸町二七。  
**河合七郎**(裸石) 北海タイムス社々會部長(四十歲)。(新聞歷)小樽新聞。(著書)ルーラン外十二冊。(主義)皇室中心主義。(趣味)スキー登山。(現住)札幌市山鼻町五五七。  
**片岡昇** 時事社會部眞係長。(新聞歷)大正日日眞眞部。(現住)府下大井町倉田三四三九。  
**片山環**(江南) 高知新聞調查部主任(六八、六)入社。高知縣(明三、一〇)生。家族五人。東京高等師範文科。(思想)皇室中心國家社會主義(趣味)百姓。(現住)高知市外旭村。  
**片山宏**(路加) 土陽新聞社校正部。高知市(明三三、一一、一)生。(學歴)高知縣立第一中學卒業。(趣味)映畫研究。(現住)高知市旭町井口。  
**片桐貞雄**(荒城) 出版内報記者。山形縣生。家族、母、妻三男三女。明治學院、早稻田大學文學科に學ぶ。(新聞歷)東京毎日、  
 東京毎日、新聞研究所等。(趣味)庭いちり、演劇、野球、書道、俳句、旅行。(現住)東京府下落合町下落合一五一九。  
**勝部本右衛門**(世橋) 松陽新報社副社長。島根縣鏡川郡久木村(明二二、七、二六)生。中央大學經濟科に學ぶ。(經歷)大十三、十四、十日支配人に大十五、八、二十三、副社長に就任。(趣味)讀書、旅行、寫眞。(現住)松江市暨町本岡崎方。(電話一五八番)  
**勝見甚吉** 京都日日新聞社販賣部長(四十五歲)。私立成章義塾に於て中學程度終了。(新聞歷)大四年六月二日前名關西日日新聞社へ入社、大正九年十月一日現在名改題。(現住)京都市西陣眞倉町(電話西陣九八七)。  
**桂尚治** 株式會社京華社營業課助役。東京市(明九、四、二五)生。(經歷)百十一國立銀行より京華社、左右田銀行より又々京華社。(現住)日本橋橋物町九。  
**金井泰三郎**(紫雲) 都新聞社美術、趣味方面及月曜附録全部擔任。群馬縣高崎市(明二一、一)生。小學校中途退學。(新聞歷)明四三年中央新聞社會部に

入社、大正八年及大正十年社會部長となり大正一〇年四月退社同五月現社へ。初め第二部夜の編輯をなす。(趣味)美術植物、動物の研究。(現住)赤坂區青出南町一ノ三六。  
**金井芳次**(群) 東京毎日新聞社横濱支局長。(明二八、一一、二九)生。(經歷)東洋通信社、時事新報、大九年東京毎日新聞社横濱支局に勤務、横濱市會議員。(主義)社會改造主義。(趣味)劇。(現住)横濱市大岡町二一三三。  
**金井重雄** シヤパン、アドヴァタイザ!新聞社支配人。群馬縣北甘樂郡小野村(明一一、九)生。米國法律學校卒。(新聞歷)米國桑港日本會理事、兩毛人會幹事、佛教青年會幹事、桑港日本人實業同志會副會長。國民黨政務調查員、日米俱樂部理事、親和會肝煎、衆議員候補者たること二回。(趣味)書畫、錦繪、讀書。(現住)府下落合町下落合一五一九(電話牛込八二)。  
**金輪武雄** 株式會社正路喜社計算課長。熊本縣(明二五)生。(學歴)五高中途退學。(現住)府下世田ヶ谷池尻一一〇。  
**金田善次** 福島毎日新聞政治部(明二八、一一、一五)生。(經歷)渡南六年、東京時事新報福島支局、國民新聞福島支局、福島民友新聞、讀賣新聞福島支局記者を経て今日に至る。(趣味)酒、讀書、筑碁。(現住)福島市郊外。  
**金丸茂**(しげる) 筑陽日日新聞社記者。福岡縣田川郡後藤寺町(明三一)生。工業學校。(新聞歷)大正十一年十二月現社。(趣味)詩、哲學。(現住)福岡縣嘉穂郡飯塚町外片島。  
**金子鳳三** 中央新聞整理部。四谷(明三六、三)生。(現住)淺草區阿部川町一三四。  
**金子三二** やまと新聞社廣告部群馬縣(明三二、二)生。(經歷)横濱日日、毎夕、中央(各廣告部)(現住)市外上戸塚三七五。  
**金子清吉** 新潟縣刈羽郡比角村(明一八、九)生。高田中學校卒。米國遊學。(新聞歷)時事新報外事、海軍記者、新通信創刊(大正一三年七月休刊)東亞キネマ企畫部、活動雜誌ムーヴイターア發刊、新聞研究所總務部長。(趣味)蓄音機に聴きふける事、  
 講談歌謡。(現住)府下荏原郡大井町坂下二七三七。  
**金澤秀行** 報知新聞社營業局。山口縣(明二八、四、一三)生。(新聞歷)大正一〇一月現社。(現住)小石川區指谷町一三〇。  
**金崎賢** 順天時報社主筆(四十九歲)。東京帝國大學政治科卒。(新聞歷)大阪朝日新聞、滿洲日日新聞、讀賣新聞、順天時報。(現住)支那北京城黃獻賢胡同十九號。(電話東局五四八)。  
**兼崎理藏**(地橙孫) 下關市馬關毎日新聞主筆兼編輯長(三十七歲)。大正十年京大獨法出。(新聞歷)最初。(現住)下關市本町四丁目。  
**鐘ヶ江健藏**(若洲) 中央新聞社用度掛主任。福岡縣三浦郡大川町(明九、一〇、三〇)生。(學歴)東京郵便電信學校、東洋協會旅順語學校卒業。高等試驗豫備試驗合格。(經歷)二等郵便局長。(主義)皇室中心主義。(趣味)讀書。(現住)横濱市根岸町三二五七番地。  
**鎌田一也** 秋田新聞社廣告部長。秋田市(明一六)生。(現住)秋田市西根小屋町。  
**鎌田敬四郎** 大阪朝日新聞社出版編輯部長。福島縣三春町(明一七、七)生。東京外國語學校英語科卒。(新聞歷)明四三年一月東京朝日社へ、大七年四月大阪本社へ轉。(現住)兵庫縣武庫郡山崎屋。(電話蘆屋五一)。  
**鎌田實吉** 前大阪時事新報社記者。岐阜縣安八郡大垣市宇高橋三六(明二五、七、三)生。(學歴)明大法科中途退學、明四四、八、二六を振出しに中央を経て。(趣味)野球、音樂、美術。(主義)皇室中心。(現住)小石川區林町。  
**蒲田丈夫**(達石) 大阪朝日新聞臺灣特派員。京都(明二六、一一)生。京都帝國大學醫學科半退、同文科專攻、京都獨逸語學校專門編輯長。(新聞歷)京都日日新聞、他、文學、短歌等の著書あり、共書として臺灣米穀年鑑出版。(趣味)乘馬、寫眞術等。(現住)臺北市京町三ノ一(電話一三〇〇)。  
**陰山又吉** 中央新聞大阪支局長。  
**欠瀬文彌** 時事新報社。山梨縣生。(學歴)明治大學商科。(經歷)讀賣、萬朝、帝國、國民を



經て大正一五年現社。(主義) 若年主義。(趣味) 乘馬、撞球、旅行。(現住) 市外大久保百人町一二五。(電話) 四谷二七八番。

**楓井金之助** 國民新聞社會部三重縣生。(經歷) 中央、國民。(主義) 著實。(趣味) 働くこと。(現住) 杉並町高圓寺五五二。(明) 一九、三三。(趣味) 美食。(現住) 麴町區三番町七九。(電話) 四谷四六九〇。

**風見章** 信濃毎日新聞主筆。茨城縣水海道町(明) 一九生。(學歷) 早稻田大學政治科卒業。(經歷) 大阪朝日新聞記者、工業之日本社事務、國際通信社大阪支局主筆。(現住) 長野市權室町。(電話) 七九五。

**柿原政一郎** (秀仙) 中國日報社々長兼編輯局長(四十三歲)。東京帝大文科(卒業せず)。(新聞) 大正四年一月中國日報入社。大正七年六月國民報創刊主幹(中民兼務)。大正一三年一月現職。(現住) 岡山市上西川町一二(電話) 二二三〇。

**柿沼柳作** (注水) 東京朝日新聞電信電話課長(明) 三八、六入社。

埼玉縣(明) 三、正生。家族九人。(趣味) 銃獵。(現住) 麻布區廣尾町七九(電話) 高輪五三二五。

**柿崎千代吉** 東奥日報社監査役。青森市(明) 七、一一生。

**柿本良平** 愛媛新聞內勤。愛媛縣温泉郡久米村(明) 三五、七生。(學歷) 早稻田大學附屬第一高等學院文科文學部卒業。(經歷) 大洲中學校教授囑託。(主義) リアリステイツク、ロマンテイシズム。(趣味) 散步。(現住) 生地に同じ。

**龜谷利一** 日本新聞聯合社記者。明) 三三、三〇。岐阜縣可兒郡帷子村に生る。(經歷) 大正一五年六月一日日本新聞聯合社支局に入社。(趣味) 讀書、旅行。(現住) 北京樓鳳樓二〇號(電話) 一八四八。

**上泉秀信** 都新聞社第二部山形縣西置賜郡長井町(明) 三〇、二生。中學校卒業後早稻田在學。(現住) 東京市外井萩村字下井草一八一〇。

**上條實** 株式會社正路書社。松本市(明) 一二、五、一一生。(經歷) 明) 三六年二月現社に入る。(主義) 皇室中心主義。(趣味) 住

事及旅行。(現住) 東京市麻布區市兵衛町一ノ六。(電話) 青山四三五。

**上總一** (天香、春風樓主人) 大阪日日新聞社主幹。大阪府泉南郡尾崎村(明) 一一、五、二三生。(新聞) 明) 三八年大阪新聞社に入り、社會部長たること六年、京都支局長たること二年、後大阪日日新聞に入り同社の分身として帝國新聞を買取し大阪日日新聞と改題刊行すると同時に其編輯長となり今日に及ぶ約十三年。(趣味) 旅行、談話。(現住) 大阪市外池田町室町五番丁。

**神戸政郎** (漫考) 報知新聞記者。(明) 三三、一一生。(學歷) 慶應卒業。

**神田孝一** 讀賣新聞千葉支局勤務。福島縣大沼郡旭村(明) 三五、七、二生。(經歷) 萬朝報記者、東京日日山形通信部長を経て現在に至る。(主義) 帝國中心主義。(趣味) 讀書、柔道。(現住) 千葉市吾妻町二五五。(電話) 千葉四三七。

**神田幸作** (靈華) 群馬新聞編輯長(三十七歲)。(趣味) お伽講演。(現住) 前橋市北曲輪町四五。

**神田圭太郎** 信濃毎日新聞社記者。長野縣上水内郡戸隠村(明) 三一、四、三三生。(現住) 長野縣木曾福島信每支局。(電話) 一四四。

**神田清吉** (時雨) 豐州新報佐伯支局長。佐伯(明) 二六、二二、二六生。中學四年修業。(新聞) 佐伯新聞、實業之佐伯、佐伯青年記者、大時通信員。(趣味) 運動、演說。(現住) 大分縣佐伯町四〇〇。(電話) 三四六。

**神崎嘉藏** 朝日新聞社相談役。(五十二歲)。慶應義塾理財科卒業(新聞) 明) 三四年大阪朝日新聞社に入り後東京朝日新聞社に轉じ今日に及ぶ。(趣味) 演劇殊に舞踊劇を好む。(現住) 代々木宮ヶ谷一四五六。

**神吉英三** 時事新報營業局長。明) 四四年慶應義塾卒業。(新聞) 大正一二年七月入社。(現住) 麻布區新堀町四。(電話) 高輪五五七七。

**神尾茂** 大阪朝日新聞社支那部長。福島縣石川郡川東村(明) 一六、七、七生。(學歷) 明) 三九年早稻田大學政治經濟學科卒業、四二年東京帝國文書院商務科卒業。(經歷) 明) 四二年南京通信員、大

年上海特派員、六年北京特派員、七年本社勤務八年論說委員、十年リントン會議特派員、十二年支那部長。(主義) リベラリズム。(趣味) 支那ノ風物、タバコ、讀書、山。(現住) 攝津西宮市川東五五七〇。(電話) 西宮九六〇。

**神谷六造** 東京大勢新聞社主。長野縣高遠町(明) 一三、一〇、一〇生。(新聞) 東京毎日新聞理事を経て現職。(趣味) 書畫、骨董。(現住) 東京市日本橋區堀船町一〇三(電話) 浪花四〇六六。

**神古百市** 東朝外報部。廣島縣福山市吉澤町(明) 三一、八、三三) 生。東京帝國大學法學部出、法學士。(現住) 京橋區長崎町二の六森谷電信方。

**梶山義三** 夕刊大阪新聞社會部(二十五歲)。明治大學中途退學。(新聞) 元國民新聞大阪支局長(主義) 自由人。(趣味) 讀書三昧。(現住) 大阪市東區仁右衛門町。

**柏原縣麿** 帝國通信社政治部記者兼翻譯記者。長野縣(明) 三一、三) 生。中學卒、正則高等英文學科卒。(新聞) 大正十年四月大勢新聞政治部記者となり大正二年五月現社。(現住) 市内本郷區弓町二の三華峯館。

**柏崎米吉** 京濱通信社長、中央新聞橫濱支局長。宇都宮市(明) 二二、一一) 生。學歷) 若學力行。(經歷) やまと、國民、橫濱每朝新聞等を経て東京日日橫濱支局記者たる事八年、震災後京濱通信社を創業し中央新聞橫濱支局を經營し今日に及ぶ。(主義) 國家本位(現住) 橫濱市大岡町淺間山一八八八。(電話) 本局五五五〇番、八六〇番。

**柏本守人** 中外商業新報社大分縣(明治) 三一、一〇、一一) 生。中學校卒業後關大その他に席を置く。(新聞) 田舎新聞より東京毎日を経て大正十二年二月現社へ。(趣味) 古本漁り、散步。(現住) 東京市外杉並町高圓寺七一〇。

**數又勉** (涙壺) 國民新聞仙臺通信部主任。宮城縣(明) 三二) 生。(學歷) 東北學院中學校。(經歷) 東華新聞、新東北新聞社會部長、仙臺新聞編輯長を経て現在に至る。(趣味) 社會問題研究。(現住) 仙臺市元鍛冶一五(電話) 二五二七番。

**米久保喜雄** (浩々) 名古屋市新愛知新聞政治部。長野縣東筑摩郡片丘村(明) 一五、三) 生。(新聞) 信濃毎日新聞記者、名古屋毎日新聞政治部長を経て現社へ。(趣味) 音樂、繪畫、彫刻。

**米本厚二** (鴨峯) 帝國通信大連支社長。岡山縣(明) 一五) 生。(新聞) 中國日報主筆兼編輯長。(趣味) 釣魚、運動競技。(現住) 大連エビス町。(電話) 八二六三。

**横田莫人** 名古屋日日新聞主筆(四十二歲)。早稻田大學(三六年卒)。(職) 入獄二回、罰金二、起訴猶豫三。(新聞) 報知、やまと、九州日報、長崎新報(長崎日日の前身) 愛知新聞、平民新聞、勞運。(著書) 借家人同盟創立者コトナオン「労働者」「我等のサークルの彼等」佛蘭西勞動組合研究「無産階級の戦術」マクドナルトの「産業統制論」(原名サンヂェカリズム檢討)。(主義) アナルコサンヂェカリズム。(趣味) 社會運動。(現住) 名古屋中區門前町五の四四。(電話) 南二八四一。

**横山五市** 大阪毎日エゴノミスト東部(東京日日社内)。静岡縣富士郡今泉村(明) 三一、八、一四) 生。橫濱商業學校、大正一二年四月慶應義塾大學經濟學部卒業。(新聞) 卒業と同時に現職。(現住) 府下南品川三ツ木八三七。

**横山貞輔** (天陽) やまと新聞社庶務部。鹿児島市(明) 二二、八、



九)生。大九中央大學政治經濟科卒。(新聞)通信省貯金局、日本郵船會社、拓殖大學。(現住)小石川區丸山町一六。

横山仁三 朝野通信社副社長(明三九、二入社)。鳥取縣(明一九、二)生。妻子五人。(新聞)中外通信内勤。(思想)國家的自治主義。(趣味)圍碁、旅行。(政黨)政友會。(現住)市外千駄ヶ谷町五四〇。(電話)青山二二〇〇。

横山精一 大阪朝日新聞社會部。岡山縣川上郡(明二七、三)生。(經歷)大阪朝日社會部を経て大九、三月大阪朝日社會部入社。(主義)皇室中心主義。(趣味)芝居、活動、旅行。(現住)大阪府豐能郡池田町茶臼山。

吉井滋長 名古屋毎日新聞社編輯長。兵庫縣(明二三、四)生。(學歷)日本大學。(經歷)日本電報通信社編輯部、報知新聞政治部、京城日報編輯部長。(主義)國家主義。(趣味)柔道、浪花節。(現住)名古屋東區杉村町。

吉原勝雄(龍峰) 國民朝報編輯部。福岡縣糟屋郡仲原村(明三四、九)生。(學歷)法政大學中途退學。(主義)皇室中心主義。(趣味)政治、運動、競技全般。(現住)八幡市海岸通り一丁目。(電話)七三〇〇。

吉岡時弼(紫洋) 唐津時事新聞社營業部長。唐津(明二二、二)生。商船學校卒。(新聞)汽船會社、大正六年毎日通信社、大正通信社現に大阪時事新聞通信員。(趣味)船遊、魚釣。(現住)佐賀縣唐津町字坊主町。

吉川友輔(大綏山) 秋田新聞社編輯長。秋田縣南秋田郡(明一六)生。(經歷)小學校に教鞭を執りしことあり。(趣味)讀書。(現住)秋田市中長町二〇。(電話)二一八。

吉川保 東京朝日立川通信員。東京府南多摩郡堺村相原(明三七、二)生。(新聞)十七歳にして新聞通信員たり。(趣味)新聞通信。(現住)府下立川町衛戍病院通。

吉川増造(枳三) 大和旭新聞社政治部長。奈良縣添上郡樺本町(明三六、二、一七)生。(學歷)大一年天理中學卒業。(經歷)大一年八月入社。(趣味)探偵趣味と映畫。(現住)奈良縣添上郡樺本町樺本。

吉田要人 國民新聞社會部。茨城縣下館町(明二八、一)生。(經歷)やまとから國民へ。(現住)王子町下十條一一一六。

吉田軍藏 東日仙臺支局。熊本縣(明三一、二、一六)生。釜山商業學校卒。(新聞)毎夕新聞、都、中央を経て現社へ。

吉田康昭 大分新聞記者。宮崎市大字江平町(明二九、三、二五)生。(現住)大分市塗師町。

吉田程二 大阪時事新報社京都支局長。大阪府河内國(明四、一)生。(經歷)百姓、牧師、官吏、雜誌記者、新聞記者等。(現住)京都市東山線松原下る群花園。(電話)下四四一〇。

吉田四郎(彰利) 東京朝日新聞社長野支局長。群馬縣群馬郡室田町(明一七、一〇)生。横濱商業學校を経て東京高等商業學校入學二年にて退學。(經歷)日露の役に出征し除隊後横濱、朝鮮仁川に於て貿易事業に従ひ轉じて北京に軍事教官に聘され上州新報記者を経て東京朝日新聞社に入社。(趣味)運動(漕艇、野

球)。(現住)長野市縣町乙七三。(電話)五三二)。

吉田淳 大阪朝日新聞京都通信局長。埼玉縣北埼玉郡井泉村(明一七、一〇)生。早稻田大學政治經濟科。(新聞)青島攻圍軍に二六新報通信員として従軍、東京朝日政治經濟部、大阪朝日整理部、東京朝日整理部等に轉動して英國に留學歸朝後現職。一年志願兵に服し後備騎兵中尉。(趣味)乗馬、喫煙、農村生活。(現住)京都市西の京御與ヶ岡二五(電話)西陣一〇三二)。

吉武研(玉水) 豊州新報高田支局長記者、兩豐時報主幹。(明二四)生。中學校卒。(新聞)大正五年本社へ。(趣味)歌と寫眞。(現住)大分縣西國東郡高田町。(電話)六九)。

吉武鶴治郎 大毎常務、東京日日新聞營業局長。(現住)小石川區關口臺町七三)。

吉永加治夫(開湖) 大阪朝日山口通信部主任。備前(三十歳)。(現住)周防山口町上立小路七六)。

吉永源太郎(淡山) 西海日日新聞主筆。熊本縣玉名郡春富村

郡樺本町樺本。

吉川宗治郎(白天樓) 敦賀中外新聞主筆編輯長(三三歳)。奈良縣天理中學卒業。(新聞)大和新聞、新大和新聞、大阪毎日新聞通信員、國民新聞通信員、國民新聞、名古屋新聞特置員。(現住)敦賀港泉一五の六)。

吉川庄一郎 都新聞社營業局長。(現住)市外馬込村東一〇五一)。

吉川義章 日本電報通信社理事、京城支局長(四〇歳)。明四二明治大學法科卒。(新聞)明四五年日本電報通信社に入社し今日に至る。(其間大一年七月迄東京本社誌、政黨方面を擔當せり)。(現住)京城府古市町三五番地八の二(電話)本三三二九)。

吉川守邦(世民) 新聞廣告營業世民社經營。府下西多摩郡檜原村(明一八)生。東京政治學校卒(明治三六年)。(新聞)明三八年幸徳等の平民社に關係し、三九年三月入獄七月出獄して幸徳等の日刊平民社に入社、四一年兎徒囂集事件にて入獄四三年三月出獄、やまと新聞社に入社、同年七月幸徳の大逆事件に座し退

社、四三年九月より案内廣告業世民社創業大正十二年五月共產黨事件にて入獄同年十二月出獄後謹慎。(現住)小石川八千代町三三。(電話)小石川三三三七、三四九二)。

吉田徳治(孤羊) 中央新聞社文藝部兼地方部。岩手縣盛岡市生(二五歳)。(學歷)東京福音英語學校。(經歷)岩手毎日新聞社に二年、大正一年現社に入社。(主義)個人主義。(趣味)讀書、旅行。(現住)市外高田町鶴山一五〇六)。

吉田頼明(行公明) 福岡日日新聞社政治記者。福岡市大名町上ノ橋(明二二、一)生。(學歷)早大政治科出。(主義)國家主義。(趣味)演説、柔道。(現住)福岡市大名町上ノ橋。(電話)一四六六)。

吉田忠喜 やまと新聞社學藝部。長野縣上水内郡南小川村(明二三、九、一九)生。東京府豐島師範、日東大學卒。(現住)小石川區高田老松町四六)。

吉田音五郎(孤幽) 愛媛新報外交部長。松山市生れ(三十六歳)。(經歷)新聞記者生活十三

(明二、二一)生。熊本縣立尋常師範學校卒、國語漢文倫理教育を研究。(經歷)熊本縣に拾ヶ年、福岡縣下に六ヶ年間初等中等教育に従事、明三九年退職造林開墾事業に従事大三年大牟田に轉住後筑後三池毎日、西海日日新聞に執筆。(趣味)漢詩。(現住)大牟田市本町六の一四三九)。

吉村福太郎 九州日報社内外電報電話市内編輯主任、姉妹紙佐賀毎日、佐世保新報編輯長。(明二四)生。(新聞)福岡日日記者、唐津日日主筆、唐津新聞副社長等を経て大正十二年現社に入る。(現住)福岡市箕子町一三〇)。

吉村幸夫 婦人タイムズ主筆、綜合通信編輯監督。筑後久留米城下(明二二、五、八)生。東洋大學哲學科出身。(新聞)日本婦女通信、東京毎日新聞、大勢新聞、東京毎日新聞、再び東京毎日新聞を経て現在に至る。(趣味)歌。(現住)府下目白上り屋敷)。

吉野武夫 大分新聞記者。(明三三)生。(現住)大分市大道)。

吉澤萬助(董之) 株式會社京華

社東京支店。宇都宮市(明一七、六)生。(學歷)宇都宮佛敎協和會附屬中學卒業。(經歷)明治廿二年二月より大正元年十月迄藥業に従事、大正元年より同四年四月迄宮内省に奉職同年八月より現社に勤務。(趣味)芝居と音楽。(現住)府下品川町南品川五ノ一七二)。

吉澤春吉 下野日日通信部長。(大九、一〇)入社。栃木縣(明三六)生。(新聞)下野毎日。(趣味)文學。(現住)宇都宮中河原町五三)。

吉見幸雄 東京朝日新聞社整理部校正課。愛媛縣下八幡濱(明三〇、一一、一五)生。關西大學法科、明治大學政治經濟科卒。(新聞)大阪朝日新聞社活版科を経て現在。(趣味)圍碁、將棋、讀書。(現住)府下野方町大字上高田二二)。

葎村喜二松 富山日報社事務局長(明二九、一〇)入社。富山縣魚津町(明一一、七)生。家族七名。(新聞)明二九年入社編輯員、後販賣部に轉じ廣告部主任となり、事務長に昇進、二十七年在勤(政黨)憲政會。(現住)富山市

35



總編輯二六〇。(電話一一〇五)。

六

田畑元國(視瀆) 朝鮮毎日新聞社  
社寫眞部長。大分縣宇佐郡高家  
村(明三二、六、二六)生。(經歷)  
記者見習より、朝鮮新聞社寫眞  
部部長となり、現在朝鮮毎日  
新聞社に轉動其間寫眞タイムス  
ヲ主宰(現在廢刊)。(趣味)寫  
眞研究と朝起。(現住)朝鮮仁川  
萬石町八。(電話取繼一四一)。

田原茂作 國民新聞社社會部  
長。新潟縣柿崎(明二六、一一)  
生。(經歷)讀賣、やまと、毎夕  
を経て大十二年十一月現社に入  
る。(主義)働くこと。(趣味)旅  
行、新聞製作。(現住)芝區愛宕  
下町二ノ三。(電話銀座二三〇  
〇)。

田上忠之(鑑生) 臺南新報新竹  
駐在記者(明二六)生。(新聞歷)  
大正十一年十一月臺灣新聞より  
轉。(趣味)乗馬。(著書)『謎の  
生蕃』。(現住)新竹州新竹街南  
門。(電話二二六)。

田中穂積 東方通信社。千葉縣  
長生郡(明二六、一)生。(新聞歷)

國民新聞勸業部。雜誌「帝國青  
年」雜誌「時潮」。(現住)千葉縣  
長生郡土陸村北山田。

田中芳谷 天業民報記者。

田中嘉藏 大分新聞記者。(明三  
〇)生。(現住)大分市外大在  
村。

田中勝三 京華社副理事本店計  
算課助役。京都市(明二六、一〇)  
生。(新聞歷)明四十五年七月現  
社。(現住)京都市堺町通三條  
南入。

田中豫章 大阪朝日新聞社會部  
記者。岡山縣津山町(明三〇、七)  
生。(學歴)岡山縣立津山中學卒。  
入社通信部勤務、十四年社會部  
に轉ず。(趣味)珍本蒐集、旅行。  
(現住)岸和田市岸城町一七五  
五。(電話四二五)。

田中武夫 信濃毎日新聞社松本  
支局。長野縣上水内郡若槻村(明  
三八、四)生。(學歴)長野中學卒  
業。(趣味)文學。(現住)松本市  
二の丸町。

田中常人 株式會社正路喜社外  
交。岡山縣(明三四)生。(學歴)  
早稻田大學法科卒。(現住)府下  
大森新井宿四三五。

田中恒喜(黒眉、泰泉) 土陽新  
聞社記者。高知縣土佐郡泰村  
泉寺二四七九(明三〇、一〇、  
九)生。(學歴)高知一中、明治大  
學。(經歷)大八年現社入社。(主  
義)穩健著實主義。(趣味)政治、  
新聞。(現住)高知縣土佐郡小高  
坂村山ノ端。

田村寛一 東京毎夕新聞記者。  
東京(明二九、五)生。早稻田大學  
商科。(新聞歷)中央新聞社。現  
住)府下池上村石川上の臺一八  
七。

田村益喜 天業民報社、政治と  
經濟編輯主任。高知縣(明三  
一、八)生。京都帝國大學經濟學  
部。(趣味)古典劇。(現住)東京  
市外池袋一二二五川西方。

田村喜三郎(西男) 中央新聞  
編輯局長。東京(明一三、二、二  
一)生。中央大學出身。(新聞歷)  
光村出版部、東京毎夕新聞、二  
六新聞。(現住)府下荏原郡池上  
村石川一八七。

田村省三(木國) 大阪毎日新聞  
社整理部。和歌山縣(明二二、一)  
生。(經歷)明四一年大阪新報に

田中保藏(斐川) 筑陽日日新聞  
社長。(明二〇、一〇)生。(學歴)  
中學卒。(經歷)東洋日出新聞、  
福日、大三年十月現社創立。(主  
義)穩健著實主義、非々主義。(趣  
味)俳句、演藝、政治。(現住)福岡  
縣飯園町御幸町(電話三一七)。

田中政太郎 中央新聞社整理  
部。東京市生(十九歲)。(學歴)  
高等小學校卒業。(現住)東京市  
深川區門前山本町八。

田中幸夫(星人) 土陽新聞記  
者。高知市(明三五、八、一七)生。  
(學歴)縣立中學海南南校、大十年  
卒業。(經歷)大十四年六月社へ  
入社現在に及ぶ。(主義)自由至  
上主義。(趣味)讀書。(現住)高  
知市北奉行町一内内方。

田中幸太郎 大朝廣告部外交  
係主任。(現住)大阪府下豐能郡  
豐中村梅ヶ枝通二丁目。

田中朝吉 やまと編輯局長。鹿兒  
島市(明二四)生。(新聞歷)明四  
四年やまと新聞政治部に入り大  
七年十二月東日入社同社政治部  
副部長として、政友會を中心に  
陸軍省、逓信省、國民黨本部に  
活躍。(現住)市外原宿一二八。  
田中澤二(澄澤藍川) 天業民報

社幹部記者。東京(明二〇、三)  
生。田中智學門下。(新聞歷)雜  
誌「妙宗」月刊「日蓮主義」週刊  
「國柱新聞」編輯主任。(現住)東  
京府代々幡代々木上原一二一  
五。

田中祐之 大阪中外商業新報東  
京支局主任。東京市(明二〇、一  
二)生。中央大學。(新聞歷)大正  
十三年四月現社へ。(趣味)長唄、  
三味線。(現住)東京市高輪北町  
三九。

田中しめ シヤパンタイムス社  
廣告部。佐賀縣藤津郡能古見村  
山浦(明二二、二)生。日本女子大  
學文學部出身。(新聞歷)婦人雜  
誌記者。(趣味)文學、演劇。(現  
住)芝區櫻川町一七。

田中重四郎 信濃毎日新聞松  
本支局勤務。長野縣上水内郡大  
豆島村(明三三、一)生。(現住)  
松本市外淺間溫泉。

田中秀一 正路喜社外交部。長  
野縣上伊那郡(明二八、一、一)  
生。(新聞歷)明四一年十一月二  
八日現社へ。(現住)府下世田ヶ  
谷池尻一二七。  
田中巴之助(智學) 天業民報  
社長。靜岡縣三保。

田村全宣 やまと編輯局長(大  
二、一)入社。高知縣(明一三、一  
二)生。妻男三。法律と英文學。  
(新聞歷)新土佐新聞、讀賣。(思  
想)皇室中心國家主義。(現住)  
本郷區田町二八。(電話小石川一  
五〇七)。

田澤良夫(騎士) 東京毎夕新聞  
社美術記者。東京市(明一八、  
二、一三)生。(學歴)中學卒。(經  
歷)一〇年一日の如く東京毎夕  
新聞社に美術記者として働きたつ  
つあり。(主義)皇室中心主義。  
(趣味)寄席、讀書、酒。(現住)  
麻布區狸穴町三八。

田北宗平 大分新聞社營業部。  
大分縣大分郡鶴岡町(明二六、  
九)生。熊本縣立商業學校卒。  
(現住)生地に同じ。(電話四三三)。

田島誠一(江東) 自由通信社政  
治部長。府下南葛飾郡瑞江村(明  
一五、八、二四)生。早稻田大學政  
治科卒。(新聞歷)神戸新聞、東  
京日日新聞、帝國通信、中外商  
業新報、自由通信記者、全國同

盟記者俱樂部總代、社團法人新  
聞記者協會事務理事。(趣味)撞  
球、田園生活。(現住)市外戸塚  
町宮田三九二。(電話大手四六四  
一)。

田島愛次郎 正路喜社計算課  
員。北海道(明三二、四、二〇)生。  
立教大學商學部本科卒。(新聞  
歷)大正一三年三月現社へ。(趣  
味)運動。(現住)東京府平塚町  
戸越九〇三。

田守好司 シヤパンタイムス社  
廣告部。奈良縣(明四〇、六、一  
八)生。早稻田高等學院卒。(趣  
味)音樂。(現住)府下大崎町字  
上大崎六〇六。

多伊良實 報知新聞經濟部記者  
(三二歲)。中央大學商科卒(新  
聞歷)やまと新聞、中央新聞、一  
一年三月現社へ轉。(現住)府下  
澗野川三四〇。

多堀吉治(虹村) 福岡日日新聞  
社久留米支局長。熊本(明二五、  
九、三)生。(經歷)大二年九月福  
岡日日新聞社入社社會部外交、  
一五年五月久留米支局長。(主  
義)人道主義らしきもの。(趣味)  
俳句少々。(現住)久留米市津島  
町。(電話五四三)。

田中秋聲 旭川新聞社長(三二  
歲)。(新聞歷)明四五年北海めざ  
まし新聞に入社大四年本社を創  
立。(主義)皇室中心主義。(趣味)  
讀書、旅行。(現住)旭川市五條  
十丁目右六號。(電話一四六六)。

田中齊(運平) 新愛知新聞理事  
經濟部長兼外報部長。愛知縣明  
三〇、一〇)生。(學歴)明治大學  
商科、米國ションス、ホプキン  
ス大學(マスター、オプ、ア  
ー)。(經歷)大一三年四月明治大  
學講師、同十四年四月同大學高  
學部助教授、同十五年四月同大  
學商學部教授に就任。(趣味)乘  
馬。(現住)名古屋市東區白壁町  
二ノ五。

田中精一(蛙聲樓) 岐阜日日理  
事兼販賣長、事業部長。明三七、  
入社)岐阜縣(明八、一一)生。  
中學半途退學時習私校卒、春兩  
私校にて漢字研讀。(著書)小唄  
禮讚、野の鳥、日草。(現住)  
岐阜縣初音町。

田村唯一(鴻嶺) やまと新聞大  
阪支局長。山口縣佐波郡防府町  
(明一六、一〇)生。(新聞歷)明四  
三年六月やまと社に入り、横濱  
支局長を経て現在。(趣味)俳句、

狂歌。(現住)大阪府中河内郡布  
施町。

田村恒喜(黒眉、泰泉) 土陽新  
聞社記者。高知縣土佐郡泰村  
泉寺二四七九(明三〇、一〇、  
九)生。(學歴)高知一中、明治大  
學。(經歷)大八年現社入社。(主  
義)穩健著實主義。(趣味)政治、  
新聞。(現住)高知縣土佐郡小高  
坂村山ノ端。

田村寛一 東京毎夕新聞記者。  
東京(明二九、五)生。早稻田大學  
商科。(新聞歷)中央新聞社。現  
住)府下池上村石川上の臺一八  
七。



多田滿長

大日本通信社長(大六、二入社)。千葉縣明一九、四)生。父母姉、明治學院卒、早大卒。(新聞歴)内外通信主幹。(現住)芝區今入町一〇。(電話)銀座一七六、二二五、四〇〇七。

多久和新四郎

(假屋)大阪毎日新聞東京駐在記者(大三、入社)。島根縣鏡川郡灘分村(明二一、一、八)生。(趣味)政治、演說。(現住)東京府下大崎町桐ヶ谷七七〇。

伊達源一郎

(撲堂)日本聯合通信社理事。島根縣能義郡(四十九歳)。同志社政法大學卒。(新聞歴)國民編輯局長、同理事、實際通信編輯部主任、讀賣主筆、東方通信主幹。(現住)府下中津谷七六三。(電話)青山四九〇。

大東長次郎

東京朝日新聞社會部(三六歳)。奈良縣立郡山中學校卒。(新聞歴)大正六年六月東京朝日入社今日に及ぶ。(主義)臨機應變主義。(趣味)演藝、碁、將棋。(現住)澁谷町上澁谷二四。

谷龍太郎

(獵介)山陽新報社會係長兼學藝係長(大二〇、三再入社)。(明二五、一)生。(新聞歴)山

陽新報(明四四)

大阪時事、大正日日、大阪時事。(趣味)庭球。(現住)岡山市内山下樓の馬場。

谷辰次郎

東朝聯絡部長。(現住)府下上大崎四七六。(電話)高輪一七七七。

谷井基次郎

(三保貞治)報知新聞社通信部長。東京(明二九、三)生。(經歷)東京毎日、運輸日報、報知。(主義)温情主義。(趣味)演藝、映畫、音樂。(現住)東京市外大井町二七二。

谷河梅人

(黃鳥)臺灣日日監査役主筆兼經濟總務漢文部長。(大一一、九入社)。臺北市協議員、岩手縣盛岡(明七、一)生。妻二男四女。(新聞歴)日本新聞、中央新聞。(思想)温健なる進歩主義。(趣味)古郵便切手蒐集。(現住)臺北市八甲町二一九。

谷口徳次郎

(錦洞)東京朝日寫真課長(明四〇、九入社)。京都(明一一、二)生。家族六人。京都中學卒業後上京繪畫及寫真研究。(思想)其日暮し主義、漸進主義。(趣味)遠足、スケッチ。(現住)埼玉縣浦和町九三一五。

谷口卯之助

株式會社京華社外務員(本店)。(大九、八、一六入

社。京都府(明二四、四)生。同志社普通部卒。(現住)京都府紀伊郡深草町字稻福小字下横繩町二二三。

谷口擊電

福井毎日社長。(大三四創立)福井市(明九、一〇)生。妻一男一女、哲學館大學卒業。新學修業。(新聞歴)北越新聞、中外日報、福井北日本新聞、福井實業新聞、福井日報。(事業)宗教と文化運動。(思想)東洋の神佛佛三道を以て現代文化に應ぜんとす。(趣味)旅行と禪學。(現住)福井市佐佳枝下町五。(電話)一〇四〇。

谷口鏡治郎

(楚峰)湖東民報社長兼主筆。滋賀縣伊香郡余呉村(明二九、六)生。(經歷)彦根新聞、近江毎夕新聞記者、滋賀日報、新愛知通信員を経て現在に至る。(主義)出鱈目主義。(趣味)政談演説、喧嘩、撞球。(現住)滋賀縣彦根町大字西榮一六。

谷口新造

豐國通信社長。(現住)東京府下西大久保二二二。(電話)四四七五。

谷本巖

(巖山)帝國新報社經濟部長。岡山縣後月郡山野上村(明二七、七)生。(日本)大學法律學

專門部。(經歷)讀賣新聞。(趣味)謠曲。(現住)府下杉並町高圓寺七四一。

妙中榮藏

(孤獨郎)國粹日日新聞主筆。大阪(明二七、六、八)生。(學歷)私立大學政治經濟卒業。(經歷)十九歳の時、普通な高唱し筆禍に遭ふこと三回、多數の日刊新聞主筆たり。(主義)藝術至上。(趣味)酒、文藝。(現住)大阪府南區日本橋一ノ三七。

立仙哲重

(月雄)土陽新聞社校正部。高知縣香美郡夜須村(明三一、一〇、一)生。(學歷)高知市立商業學校を経て早稲田實業學校中途退學。(趣味)讀書。(現住)高知市下知町。

高井彌作

(春汀)樺太民友新聞社編輯長。北海道(明二九、七、一五)生。(經歷)天鹽新聞、東北海道新聞各編輯長、北海道日日新聞主筆、大正三年八月より現社に入る。(趣味)俳句。(現住)樺太泊町西一條北七丁目。

高井信義

東方通信社政治部。長野縣(明二四、六、六)生。(學歷)中央大學、早稲田大學修業。(新聞歴)やまと。(現住)市外澁谷町下澁谷八九〇。

高市盛之助

(光汀)大衆時代社々長(三三歳)。高等小學校二年修業。(新聞歴)海南新聞社會部長、愛嶺新聞編輯長等を勤む。(主義)自由主義。(現住)松山市泉町。

高石眞五郎

大阪毎日新聞社常務取締役兼主幹。千葉縣市原郡鶴舞町(明一一、九)生。慶應義塾大學法科卒、倫敦大學。(新聞歴)明治三四年慶應大學卒業直に入社、同三五年英國留學、同四二年歸朝、外國通信部、外國通信部長兼内國通信部長、政治部長を経て大九年副主幹大一一一年主筆、大一一三年主幹に任じ常務取締役に移る。(趣味)釣、撞球、散步。(現住)大阪府濱寺公園二五號(電話)濱寺一四八)。

高原操

(舞堂)大阪朝日編輯局長兼主筆(明三九、一〇入社)。福岡(明八、一一)生。妻二男五女東京帝大文科哲學科卒。京都帝大法科大學政治科卒。(新聞歴)大元より大三年三月迄社命により歐米漫遊、歸朝後經濟部長となり大八年より現職。(著作)極北日本、北半球一周時戰、經濟百面觀。(思想)自由。(現

住)大阪府下池田室町七。(電話)五二)。

高畑一作

(麗水)鴨州新報社編輯局主事。大分縣大分郡松岡村(明二〇、二、一)生。(學歷)中央大學法經卒業。(經歷)大正三年八月現社入社。(主義)帝國主義。(趣味)晚酌の席上で淨瑠璃、浪花節を聴く。(現住)大分市城崎町。(電話)九四〇)。

高畑弘男

上毛新聞社速記者。群馬縣碓氷郡原市町(明三三、一一、三)生。(趣味)撞球。(現住)群馬縣前橋市曲輪町。

高藤菊次郎

國民新聞社社會部。富山縣(明一五)生。(經歷)東朝、國民。(趣味)養鶏。(現住)蒲田町御園三二六。

高橋勇

日本新聞聯合社大阪支社聯絡部主任。高橋徳光 正路新社外交部員。富山縣婦負郡富川村字廣田大倉商業學校卒。(趣味)讀書。(現住)牛込區山伏町一六。

高橋武夫

(北水)釜山日報晉州支社長。大阪毎日新聞通信員(四十二歳)。中學卒業。東京に遊學二年。(新聞歴)大三年六月大阪毎日通信員及釜山日報通信員とし

て就職大阪毎日朝鮮南沿岸大特約販賣大正七年六月釜山新報に入社。(主義)嚴正是非々々主義。(趣味)讀書と俳句。(現住)朝鮮慶尙南道晉州。(電話)一一三三)。

高橋達次郎

時事新報社字部宮支局長。群馬縣前橋市一毛町(明二四、一一)生。群馬縣立沼田中學二年修業。(新聞歴)群馬新聞記者、報知新聞栃木縣小山特派員、時事新報足利特派員。(趣味)讀書、劇、音樂。(現住)栃木縣宇都宮市瑞田町三八四(電話)一〇〇三)。

高橋直通

高知新聞社廣告部長(四十五歳)。(新聞歴)明四〇年一月入社。(現住)高知市本町三二四。(電話)二二六一)。

高橋信雄

溫泉の友社主幹(四十一歳)。學習院中等科、早稲田大學商科中途退學。(現住)東京府下西大久保百四四)。

高橋松太郎

(舟齋)大阪日報、大阪南區東平野町(明一八、三、二八)生。(新聞歴)大正六年六月より現社經營。(趣味)山登り、畫。(現住)天王寺區細工谷町。(電話)南四二八八、七四五)。

高橋見泉

(星濤)大分新聞社記

者。大分縣速見郡杵築町(明二四、一一)生。慶應義塾大學豫科卒業後同大學理財科中途退學。(趣味)演劇、キネマ、旅行。(現住)大分市下紺屋町)。

高橋克治

名古屋新聞社東京支局長。廣島(明三六、八)生。(現住)京橋宗十郎町二)。

高橋鐵之助

よろづ通信社々長。東京市(明二三、五、六)生。(新聞歴)萬朝報、都新聞社。(趣味)讀書、旅行。(現住)京橋區紺屋町三。(電話)銀五六七〇)。

高橋三郎

國民新聞社福島支局長(大三、七入社)。千葉縣君津郡中鄉村(明二四、一一)生。水更津中學、中央大學卒。(趣味)庭球、撞球、登山。(現住)福島市上町。(電話)長九(八)。

高橋橘郎

東京朝日新聞社會部。(現住)芝區下高輪五三平野方)。

高橋茂昌

中外商業新報社員。東京市日本橋區に生る。(學歷)慶應義塾。(經歷)三井物産株式會社。(趣味)スポーツ。(現住)市外池袋九八〇)。

高橋純一

帝國通信社經理部長。福島縣(明二六、一一)生。法政大

高市盛之助

(光汀)大衆時代社々長(三三歳)。高等小學校二年修業。(新聞歴)海南新聞社會部長、愛嶺新聞編輯長等を勤む。(主義)自由主義。(現住)松山市泉町。

高石眞五郎

大阪毎日新聞社常務取締役兼主幹。千葉縣市原郡鶴舞町(明一一、九)生。慶應義塾大學法科卒、倫敦大學。(新聞歴)明治三四年慶應大學卒業直に入社、同三五年英國留學、同四二年歸朝、外國通信部、外國通信部長兼内國通信部長、政治部長を経て大九年副主幹大一一一年主筆、大一一三年主幹に任じ常務取締役に移る。(趣味)釣、撞球、散步。(現住)大阪府濱寺公園二五號(電話)濱寺一四八)。

高原操

(舞堂)大阪朝日編輯局長兼主筆(明三九、一〇入社)。福岡(明八、一一)生。妻二男五女東京帝大文科哲學科卒。京都帝大法科大學政治科卒。(新聞歴)大元より大三年三月迄社命により歐米漫遊、歸朝後經濟部長となり大八年より現職。(著作)極北日本、北半球一周時戰、經濟百面觀。(思想)自由。(現

住)大阪府下池田室町七。(電話)五二)。

高畑一作

(麗水)鴨州新報社編輯局主事。大分縣大分郡松岡村(明二〇、二、一)生。(學歷)中央大學法經卒業。(經歷)大正三年八月現社入社。(主義)帝國主義。(趣味)晚酌の席上で淨瑠璃、浪花節を聴く。(現住)大分市城崎町。(電話)九四〇)。

高畑弘男

上毛新聞社速記者。群馬縣碓氷郡原市町(明三三、一一、三)生。(趣味)撞球。(現住)群馬縣前橋市曲輪町。

高藤菊次郎

國民新聞社社會部。富山縣(明一五)生。(經歷)東朝、國民。(趣味)養鶏。(現住)蒲田町御園三二六。

高橋勇

日本新聞聯合社大阪支社聯絡部主任。高橋徳光 正路新社外交部員。富山縣婦負郡富川村字廣田大倉商業學校卒。(趣味)讀書。(現住)牛込區山伏町一六。

高橋武夫

(北水)釜山日報晉州支社長。大阪毎日新聞通信員(四十二歳)。中學卒業。東京に遊學二年。(新聞歴)大三年六月大阪毎日通信員及釜山日報通信員とし

て就職大阪毎日朝鮮南沿岸大特約販賣大正七年六月釜山新報に入社。(主義)嚴正是非々々主義。(趣味)讀書と俳句。(現住)朝鮮慶尙南道晉州。(電話)一一三三)。

高橋達次郎

時事新報社字部宮支局長。群馬縣前橋市一毛町(明二四、一一)生。群馬縣立沼田中學二年修業。(新聞歴)群馬新聞記者、報知新聞栃木縣小山特派員、時事新報足利特派員。(趣味)讀書、劇、音樂。(現住)栃木縣宇都宮市瑞田町三八四(電話)一〇〇三)。

高橋直通

高知新聞社廣告部長(四十五歳)。(新聞歴)明四〇年一月入社。(現住)高知市本町三二四。(電話)二二六一)。

高橋信雄

溫泉の友社主幹(四十一歳)。學習院中等科、早稲田大學商科中途退學。(現住)東京府下西大久保百四四)。

高橋松太郎

(舟齋)大阪日報、大阪南區東平野町(明一八、三、二八)生。(新聞歴)大正六年六月より現社經營。(趣味)山登り、畫。(現住)天王寺區細工谷町。(電話)南四二八八、七四五)。

高橋見泉

(星濤)大分新聞社記



高橋淳平 豊州新報社白竹支局長。大分縣白竹町(明二、二、八)生。中學三年修業。(趣味)盆栽。(現住)大分縣白竹町蓮池。(電話三五九)。

高橋東 上州新報社長(四十一歳)。(現住)前橋市北曲輪七一。(電話五一、七三)。

高知尾誠吉 天業民報記者。高岡敬壽 都新聞社地方部長。千葉縣に生る(四十歳)。(經歷)野州新聞主筆兼編輯長、下野新聞、東京日々、時事新報記者、横濱日日新聞編輯長等を経て現社に至る。(主義)皇室中心主義。(趣味)釣魚と銃獵。(現住)神奈川県見町菅澤一八〇。

高田忠吉 東京毎日新聞社校正部。山形縣東田川郡常万村字常万(明三、二、九、二二)生。(學歷)山形縣立中學卒業慶大豫科(經)修業。(經歷)東京朝日新聞社。(趣味)政治。(現住)府下尾久一〇七五。

高田知一郎 報知新聞社編輯局長(明三八、五入社)。兵庫縣(明一三、五)生。(現住)府下入新井宿一四四。(電話大森四四二)。

高野隆平 都新聞編輯部。茨城縣新治郡北條村(明三二、四、二)生。水戸工業學校中途退學。私立海城中學校。(新經歷)報知新聞、讀實新聞。(趣味)旅行、讀書。(現住)府下平塚町下蛇窪四一。

高田安巳(湖畔) 前樺太實業新聞社長、大泊毎日新聞社理事、サカレン新聞社理事(三十二歳)農林學校卒。新聞歴、福島民報、北海タイムス、小樽新聞(以下通信及特派員)樺太新聞、樺太日日新聞、樺太時事新聞編輯長兼主筆。(著書)露領沿海州方面調査研究材料。(主義)自由。(趣味)乗馬、スキー術、讀書。(現住)真岡港山下町六六一。(電話六三九)。

高野味三郎(錦糸) 福島民友新聞政治部長。福島縣(明二六、三、七)生。(學歷)福島縣立蠶業學校。(經歷)大九年三月福島民友新聞社に入社。(現住)福島市大字西谷地一九。

高澤初太郎(初風) 東京毎日新聞社社會部演藝美術擔當。東京芝區(明一四、五、一八)生。(學歷)商業學校中途退學。(經歷)關西の新聞社二三を経て大二年一〇月現在の東京毎日に入社。(主義)國家主義。(趣味)演藝、美術、旅行、讀書。(現住)四谷區永住町二番地。(電話四谷二三七一)。

高木利太 前大阪毎日新聞社事務取締役。慶應義塾卒業。(趣味)讀書、静思。(現住)兵庫縣本武庫郡本山村北畑。(電話御影一〇六〇)。

高木清茂 味の素舖鈴木商店廣告課長。日大商科、國民英學會卒業、仁丹本舖廣告部主任を経て大五年入社現在に及ぶ。(現住)東京下谷區上根岸三九。

高見保三 前やまと新聞社庶務部長。千葉縣安食町(明一四、一六)生。東京府師範學校、日本大學卒業。(趣味)養鶏、庭造り、農事、釣魚。(現住)淀橋町柏木百二十。(電話四谷二〇二〇)。

高森有吉(春史郎) 正路喜社庶務課長。東京府南多摩郡忠生村上小山田三二四八(明二、一、九、

二八)生。早稻田大學商學部卒業。(新經歷)自大一年三月至大一年五月株式會社瀨谷銀行本店統計課に勤務現社。(趣味)文學(詩作)。(現住)市外中野町字打越二〇七六。

鷹野虎雄 名古屋新聞社。長野縣(明二〇、八)生。(現住)東京市外世田谷町。

寶田通元 國民新聞社社會部次長(三一歳)。早大、帝大、外國語學校。(現住)芝區巴町六九。

辰井梅吉 株式會社朝泉閣社常任社監查役。大阪市(明二、四、一二)生。(學歷)慶應義塾理財科大學中途退學(明二六、一一)。(經歷)明二八年六月大阪朝泉閣社會計部に入社後印刷部長、整理部長等を経て大二年五月現職に就任。(現住)兵庫縣武庫郡魚崎郡七二八。(電話御影八一五)。

辰巳豊吉 日刊千代田通信社顧問、報知新聞社主、春秋會員、新聞協會理事。佐賀縣小城町(明三、一)生。長崎縣外國語學校英語科、青山學院等に学ぶ。(新聞歴)佐賀新聞論説記者、福祿新聞

(前九州日報)報知、逓信大臣秘書官(明四一)、大阪新報、中央。(趣味)新聞を讀み訪問談話する事。(政黨)無關係主義。(現住)小石川區大塚坂下町一六七。(電話小石川二二一五)。

龍澤慎作 東京放送局新聞班。(明七、五)生。(新聞歴)萬朝報社、毎夕。(現住)東京市小石川區白山前町四。(電話小石川四八七〇)。

丹波秀伯(タンパヒテラ) (大山山生) 東京朝日經濟部。三重縣(明二四、一〇)生。家族二人、明大政經本科、帝大經濟科、外國語學校。(新經歷)東京日日、新愛知財政經濟時報。(著作)我國勞働爭議の經過概要、失業者の問題、動力獨占の整理(思想)理想主義。(趣味)寫眞。(現住)府下大森八景園二三七〇ノ八。

玉井浩 萬朝報編輯部員。三重縣桑名町(明二九、一一)生。日本大學。

玉井喜久馬 愛媛新報社支那人。愛媛縣喜多郡柳澤村に生る。(三六歳)。(學歷)明治大學卒業。(經歷)松山市米穀取引所から大正三年一月現社に入社。(主

義)過情主義。(現住)松山市八坂町。(電話四八五)。

竹林虎之助 前東京毎夕政治部長。東京市(明二五、一二)生。早稻田大學。(新聞歴)國民、大正日日、中央、やまと。(現住)下谷區下根岸七一。

竹尾式 東京毎夕新聞社編輯局長。明二九、一二、二一日千葉縣印旛郡八生村に生る。(學歷)大正三年千葉縣成田中學卒、東京外語露語科、大七年卒。(經歷)露西亞に入り滞留六年大一三年歸國、同九月報知新聞社に入社、大一年四月毎夕入社。(現住)千葉縣市川町二ノ二三九。

竹中延壽 中央新聞社整理部。岡山縣御津郡建部村中田(明二九、九、一)生。(學歷)早稻田大學英文學部。(經歷)中國民報社及隆文館編輯局を経て現在に至る。(主義)享樂主義。(趣味)酒と煙草。(現住)東京府下目黒町大字三田七八。

竹村良貞 帝國通信社取締役。(現住)市外淀橋柏木九六五。(電話四谷一三〇〇)。

竹内俊夫(晚潮) 釜山日報支社長(三五歳)。(大正一三、三

入社)。(新聞歴)關門日々釜山支局長、朝鮮時報編輯局長。

竹内勝太郎 大阪時事新報社。(現住)京都市鹿ヶ谷法然院町四一。

竹内太郎 沼津日日新聞社營業局長。東京(明二九、一、二八)生。(現住)沼津市城内添地一四六。

竹内武夫 北海タイムス社會部。北海道室蘭市(明二九、九)生。(學歷)陸軍砲兵工科學校に一年餘在學。(經歷)小學教員、陸軍生徒、牧畜、石炭業、村役場書記、現在。(趣味)人を集めること。(現住)札幌市南十一條西一丁目十四番地。

竹内英省 高知新聞政治部長。高知縣(明二六、一)生。妻と女兒二人。(著作)高知縣產業史。(思想)國を愛し人を愛し自由を愛し。(趣味)登山、讀書、健康法。(現住)高知市南泰人町一。

竹内雄太郎 東奥日報社工務局機械オペラ部長。青森市(明一〇、一二)生。

竹内順三郎 國民新聞社會部。靜岡縣(明三〇、五、七)生。(學歷)長野中學。(經歷)やまとを



經て現社へ。(主義)單一主義。  
(現住)大森山王二六八六。

竹澤治平(唐南、健次郎) 東京朝日新聞社、通信部地方編輯(四十九歳)。明治大學出身。(新聞歴)明三八年戰役第一軍に從軍し刀南生の名にて戦記並に寫眞を東京朝日に寄せ主觀的記述多き當時の殻を脱せる客觀的文體に依り認めらる。除隊後三九年より同社兩毛通信員となり四年より大八八まで静岡通信部主任引續き編輯局に入り今日に至る。(現住)東京市小石川區青柳町七。

竹澤繁一郎(水村) 莊内新聞社、山形縣鶴岡市十日町(明一九、一八)生。(新聞歴)明四三年新聞界に入る。(主義)皇室中心主義。(趣味)旅行。(現住)鶴岡市家中新町。

武井文夫 萬朝報社出版部長兼人事調査部長。東京市(明二〇)生。(新聞歴)二六新報、實業之世界理事(野依社長洋行中社長代理)社會教育會常務理事。(現住)本郷東片町一三五。

武井志敏(東天) 博多日日新聞主筆。福岡縣箱室郡須惠村(明三四、七)生。中央大學。(新聞歴)博多毎日、久留米毎日を経て現社へ。(現住)福岡市中島町濱新地。(電話)三一〇六。

武市雄馬(風目) (五十餘歳) 名古屋毎日新聞社主筆、總務理事、獨學。(新聞歴)關西日報に執筆する多年、大十年七月名古屋に赴任。(著書)希望、海國百觀、人物と文學、蒲生君平傳、白河樂翁傳、運命之研究、其他。(趣味)矢張讀書と詩。(現住)尾張知多半島横須賀町。

武知勇記 愛媛新聞社常務取締役兼編輯局長。伊豫郡南伊豫村に生る(三十四歳)。(學歷)明治大學卒業。(經歷)前縣會議員、現松山市會議員。(現住)松山市玉川町。(電話)三三八。

武田德三郎(東城) 高田日報主幹。越後國に生る。(現住)高田市南五ノ辻。(電)一七。

武田鎌治郎(冷雨又嶺雨) 東京日日新聞松本通信部主任。明一五、三、一)生。(新聞歴)報知社名古屋支局特派員、扶桑新聞、報知社。(趣味)運動、登山、寫眞、小鳥。(現住)松本市南土居尻町六二。(電話)一〇二七。

武田永孚 東奥日報社取締役營業局長。弘前市(明一六、三)生。

武田和夫 大阪朝日新聞社整理部(大一一、五入社)。福井縣(明三〇、四)生。慶應義塾大學理財科。(現住)兵庫縣西宮市川尻二六二五。

武田哲朗 帝通編輯庶務部長。武田甲子太郎(哲太郎) 天業民報社客員。東京(明四)生。東京帝國大學工科大學出身(工學士)田中智學門下。(新聞歴)管船局師範、武田工務所長。(趣味)文藝。(現住)大阪市西道頓堀通一丁目。(電話)櫻川三一六二、三二六二。

武田純 報知新聞社營業局(大正五、七八入社)。愛知縣(明二四、九)生。(現住)府下大井町六一三三。

武内止戈(浩々吟翁) 滿洲通信社長(大三八入社)。大分縣(明二)生。妻二男一女、同志社卒。(新聞歴)營口にて滿洲新報社創設(明四一)、雜誌大陸社主幹(大二)。(思想)儒教の中庸主義。(趣味)讀書、古書畫。(現住)奉天信濃町七。(電)長六三二。

武山宮信(二葉舎) 鹿兒島朝日新聞社南部支局主任(大九、一入社)。大島新報鹿兒島通信部主幹、奄美大島(明一九、一〇)生。妻及五兒あり。(新聞歴)鹿兒島新聞通信員、大阪朝日鹿兒島販賣店、大阪時事新報社販賣部。(著作)新聞解説、教壇十年等。(思想)奉天享樂主義。(趣味)酒、讀書。(現住)鹿兒島市下荒田町三〇一。

瀧川與市 中央新聞社整理部兼地方部速記。東京(明三七、一一)生。(學歷)細速記塾。(現住)府下蒲田女塚一四七。

瀧田憲治 時事新報勤務、千葉支局長。茨城縣(明二八、四)生。(新聞歴)國民、時事。(趣味)讀書。(現住)千葉市長州(電話)千葉四三三。

瀧谷質(龍峰) 東京夕刊司法記者。廣島縣菅原郡服部村(明三三、五)生。(趣味)文藝、養鷄、園藝。(現住)東京市外野方町新井一〇三。

瀧澤豊(龍水) 大阪朝日新聞編井通信部主任。福井縣(明一四、一一)生。(新聞歴)福井新聞。(趣味)新聞事業。(現住)福井市佐桂枝上町八六ノ二四。(電話)九七

日屋旅館。(電話)川崎四三六。

土谷常次 株式會社正路喜社外交。山形縣(明一五)生。(現住)赤坂區青山南町六ノ一八。(電話)青山三八三六。

辻村増藏(江東) 元晝夜通信主幹(大六、創立)。大井合資會社監査役。深川區(明一〇、一〇)生。妻男三女一。慶應義塾中途、甲津學舎。(新聞歴)電通、東京毎日。(思想)皇道を重んじ中學の漢學廢止に反對す。(趣味)義太夫、歌澤、園藝、寫眞。(現住)深川區一色町河岸一號地。

鶴岡勝一(鼓村) 東京日日銚子通信部主任。千葉縣茂原(明三〇、五)生。私立大成中學卒、若林珪茂氏に就て速記術修得。(新聞歴)新總房、東海新聞、武相新報、經濟界、鐵道畫報。(趣味)禪、劍道、古錢蒐集。(現住)千葉縣銚子港口入二三六。(電話)二二四。

鶴卷民次郎(越山) 北海道アイヌ函館支局長(明四〇、四入社)。新潟縣(明一一、一)生。家族三人。(著作)十勝の産馬、馬と馬術。(趣味)乘馬と馬匹の研究。(現住)函館市宮岡町五。(電

そ

曾我精一 時事新報社調度部長。岐阜縣(明一六、九)生。(現住)東京市外世田谷太子堂四五〇。

曾我鍛(正堂) 伊豫日日新聞主筆(大二、四入社)。大阪毎日松山特置員。愛媛縣(明一二、七)生。妻一男三女。松山中學卒、早大文科卒(明三八)。(政黨)不偏不黨。(現住)松山市三番町横(電)七二九。

曾田作(香苗) 中外電通理事。島根縣大社町(明一九、一)生。同志大學中途退學。(新聞歴)東海新聞社、廓清、記者。(趣味)社會事業、研究及政治。(現住)東京府下高田町高田一三六三。

相馬友次(朝郎) 東京日日新聞福島通信部主任。新潟縣岩船郡(明二二、一)生。(新聞歴)大正六年現社へ。(趣味)新聞。(現住)福島市曾根田字宮下二〇。

相馬勇也 東奥日報營業局販賣部長。弘前市(明五、六)生。

津田武 鹿兒島新聞主筆。(現住)鹿兒島市西田町。(電話)一七〇一。

莊田忠保(春柳) 福島民報社。福島縣若松市(明一八)生。東京高工卒。(新聞歴)市書記、商品陳列所主事、福島商業會議所書記、紡績會社員。(現住)福島市島町榮町民報社宅。

宋鎮禹(古下) 東亞日報社主筆兼編輯長。潭陽郡水此面南山里(明二二、五、八)生。明治大學法科大學部卒。(新聞歴)大正七年四月京城私立中學校長、同十年九月株式會社東亞日報社長、大十三年四年同會社長兼任。(趣味)讀書。(現住)京城府苑七四。(電話)光化門八一。

添田壽一(山濤) 報知社顧問(大六、一就任)。東京商業會議所特別委員。福岡縣(元治元、八)生。家族七八、東京帝國大學政治經濟科卒。(新聞歴)中外商業新報社長、報知新聞社長。(著作)新政通論等。(思想)中正。(現住)麹町區富士見町一ノ一。

都筑貞治 都新聞記者。岐阜縣益田郡萩原町(明二三、五、二九)生。(新聞歴)商業通信社を経て現社へ。(現住)往原郡平塚村戸越一三五七。

都筑水骨 名古屋通信社主筆。愛知縣(明二二、八)生。愛知縣立二中學校卒。(新聞歴)前東京毎日電報、新愛知、名古屋新聞、中京公論主筆。(現住)名古屋市中區東新道三。

都築馨三(射陽子) 大分市大分新聞。愛媛縣(明二八、五、一五)生。京都高等實業學校本科卒。(經歷)大十一年大分新聞に入社現在に至る。(趣味)讀書(就中農村問題)庭球、俳句、尺八。(現住)大分市荷揚町一三九。

對間吉之助(潮船) やまと新聞浦和支局長。埼玉縣(明一六、一)生。(現住)埼玉縣浦和町。電話)二三二。

坪内福郎(楚峰) 川崎新聞理事兼編輯局長。(三十歳)。(學歷)早大文科半退。(經歷)婦人雜誌、新女性編輯長、東京毎夕、萬朝報、東京朝日、京濱新報編輯長。(主義)皇室中心主義。(趣味)栽花、旅行。(現住)川崎市東町朝



一八一七。

鶴岡涉吉 萬朝報社案内廣告部主任。千葉縣君津郡清川村中尾(明二九)生。千葉縣立望陀農學校大正三年四月卒。(新聞歴)大正八年千藤縣米穀生産検査官拜命大正十一年上京都新聞社に入社同十三年五月一日現社。(趣味)講演、武道、酒、旅行。(現住)府下中野町二七五三。

塚原時太郎 東方通信社。東京(明二〇)生。正則中學校東京郵便電信學校。(現住)東京日本橋區箱崎町二の一八。

塚田一甫 大阪毎日新聞エコーミスト東部(東京)日新聞社内。長野縣東筑摩郡神林村(明三一)生。大正十二年三月早稲田大學政治經濟學部經濟學科卒。(新聞歴)卒業と同時に現社。(趣味)登山、旅行。(現住)横濱市花咲町六ノ七九。(電話)横濱二〇九一。

塚田直治(秀山) 鹿兒島朝日新聞社調査部長。西薩市來大里(明五、二)生。(經歷)小學校長二十五年間、訓導七年、新聞記者生活四年半。(主義)是非々々主義。(趣味)文藝を好む。(現住)

鹿兒島市武町一八〇六。

塚本一生 讀賣新聞記者。熊本縣阿蘇郡宮地町(明三三、五)一五生。早大出身外提出論文に依學位を有す。(新聞歴)大正十二年中央新聞入社、震災で一應歸郷大正十三年二月中央新聞再入社。餘暇創作、詩、短歌に耽りかつて「あゝしあ」(微笑)其他二三文藝誌を發行。(趣味)學藝、家庭方面、音樂詩歌。(現住)横濱市本牧牛込海岸通り平野屋方。

續木繁一(蟻峰) 國民新聞社政治部。愛媛縣(明三四、九、二六)生。(學歷)早稲田大學政治經濟科卒業。(經歷)大正十三年四月國民新聞へ入社。(主義)現實主義。(趣味)旅行、釣。(現住)東京市牛込區龜巻町二一六調根方。

角田廣司 京城日報編輯局長兼每日申報編輯局長。千葉縣(明一九、八)生。(新聞歴)獨立通信記者、東亞電報通信編輯長、朝鮮新聞編輯局長、京城日報編輯部長。(趣味)旅行、讀書。(現住)朝鮮京城南米倉町一一。(電話)本局三八六六。

成澤金兵衛(玲川) 東京朝日新聞社クラフ部長兼計畫部長。信州上田生。(學歷)獨學。(經歷)大七年九月現社に入、調査部長、クラフ局技術部長を経て現職に。(現住)市外東中野上ノ原七八〇。

直海善三 中央新聞社會部特務係。石川縣鹿島郡七尾松本町一三(明三〇、五、四)生。早大文科。(現住)横濱市神奈川栗田谷一一五三。

中井松治郎(雅蕉) 函館商報社編輯長(三二歳)。仙臺甲種商業卒業後獨學。(新聞歴)大二年入社今日に至る。(主義)常に足て書く事。(趣味)旅行、俳句、劇。(現住)函館市大町一九番。(電話)七七六。

中原芳太郎(桂芳) 中國民報社教育記者(二九歳)。香川師範學校講習科卒業。(新聞歴)四國民報社五年、中國民報社二年。(主義)理想主義。(趣味)文學。(現住)岡山市七番町九。

中原末吉 函館毎日新聞社會部(大八、二入社)。(明二九、五、九)生。家族三人。(趣味)演藝、運

根岸良吉 一府一道十七縣新聞取次業組合幹事長。埼玉縣本庄町(明四、一、二)生。(新聞歴)明治二十八年創業今日に至る。(趣味)旅行。(現住)東京府大森山王二六六九。(電話)大森二二九。

根本八太郎(城東) 秋田魁新報社校正部主任(三八歳)。(新聞歴)秋田時事社を経て明治四一年一月秋田魁新報社に入社。(現住)秋田縣上中城町。

根岸眞三郎 東京米穀商品取引所調査課長。埼玉縣(明二四、七、七)生。明治大學商科。(現住)市外千駄ヶ谷五〇一。

根本重次郎 中央新聞社整理部。(明三九、一、三)生。(經歷)大正七年八月入社。(現住)東京市外南品川三木八七八。

名村寅雄 東京日日秘書課長。(新聞歴)大阪毎日記者九年、敦賀、浦汐、奉天、北京特派員。

販賣部助役、京城支局長、從軍記者二回。(趣味)記者生活、旅行。(現住)大森。

名倉開一 東京朝日新聞編輯局勤務(四三歳)。早稲田大學卒業、伯林特派員。(新聞歴)東京朝日學藝部主任、調査部長、社會部長、計畫長を経て現在に至る。(著書)共和國編選。(現住)東京市外下落合町府營住宅一號地三六。(電話)牛込八四。

名古屋晴男(秋水) 國民新聞通信記者(三五歳)。中學卒業後日大校外生となり獨學(法科修)。(新聞歴)明四五年新日本之實業雜誌社田無支局主任となり大二年退社大元國民新聞八王子支局名譽通信員囑託、爾來今日に及ぶ。(趣味)自治の改善教化。(現住)北多摩郡保谷村。

那賀新一 豐州新報社營業局長。大分縣大分郡明治村(明三五、四)生。(學歷)大分高等簿記學校卒業。(經歷)大八年五月入社。(主義)皇室中心主義。(趣味)讀書。(現住)大分市中島町二八一五。

内藤晴夫 東京毎日新聞社商況部。廣島縣(明一九、一、二五)生。(現住)府下瀬野川西ノ原九

中西春雄 時事新報社静岡支局。東京市麴町區内幸町(明三六、七、一三)生。私立豊橋商業學校卒。(趣味)新聞學研究と運動競技研究。(現住)静岡市水落町一ノ六。

中西運造 萬朝報政治部。廣島(明二五、一〇)生。(學歷)明治大學法科卒業(大正五年)。(經歷)中央新聞、やまと、中外、社會部政治部。(主義)神道主義。(趣味)讀書、旅行、書畫。(現住)府下代々幡町北笹塚一三九六。

中西仙司 萬朝報政治部。福岡縣遠賀郡菅屋町(明三三、一〇)生。早稲田大學政治經濟學部卒。(趣味)テニス、讀書。(現住)東京市外下落合八八二。

中尾龍夫 讀賣新聞社政治部長。千葉縣(明一九、一一、一七)生。中學部文館、陸軍士官學校、日本大學政治科及法律科卒。(新聞歴)歩兵第三聯隊附、歩兵第四十九聯隊附、甲府聯隊區司令部附、日支共同通編編輯長、山梨日日新聞主筆、時事新報記者、大正日日新聞記者、讀賣新聞政

治部長。(趣味)旅行と歴史。(現住)府下瀬ノ川上中里一六〇。

中尾清太郎 ライオン齒磨本舖廣告部顧問。(明治六)生。早稲田大學法律科卒。(新聞歴)十餘年の學校教師、萬年社に二年餘、新聞社に帝國新聞、伊勢新聞。(著述)今日の廣告學「廣告と美術」聖書日日實行訓「等」(主義)總て基督教の精神に立脚す。(趣味)特にホタテイ、コン

中川平兵衛 長崎新聞代表取締役(大二入社)。愛媛縣(明二一、三)生。

中川歌津子 静岡民友新聞社。愛知縣(明三四、九、四)生。不二高等女學校出身。(趣味)文學、家庭手藝。(現住)静岡市西草深町七六。

中川覺治(杏果) 越後新報社記者。佐渡(明二三、八、一)生。(新聞歴)明四三年北海道にて記者となり爾來佐渡實業新報、佐渡毎日新聞、佐渡日報等の編輯長を経て後北越日報記者となり又横濱市にて獨力雜誌を經營大八年現社。(趣味)讀書、歌。(現住)新潟縣長岡市西千手。

中川榮一 報知新聞社營業局長。埼玉縣(明二七、四、一〇)生。早稲田大學政治經濟科卒。(新聞歴)大正一二年一〇月報知新聞社入社。(現住)府下世田ヶ谷町大字代田西大原一二六三。

中川三郎 日本通信社主幹。佐賀縣唐津町(明一四)生。法政大學卒。(新聞歴)大阪新報政治經濟部長同東京支局長大三年大阪中外通信創立大八年新聞界を退き日本電信工業會社事務取締役を大正一〇年末まで再び操艦界に入る。(趣味)讀書。(現住)大阪住吉區住吉町三六五。

中川靜 萬年社理事兼考案部長。長崎市(慶應二、二)生。早稲田大學の前身東京專門學校。(經歷)長崎商業學校教諭、熊本商業學校長兼教諭、神戸高等商

校教諭(二九歳)。香川師範學校講習科卒業。(新聞歴)四國民報社五年、中國民報社二年。(主義)理想主義。(趣味)文學。(現住)岡山市七番町九。

函館毎日新聞社會部(大八、二入社)。(明二九、五、九)生。家族三人。(趣味)演藝、運

三六。

成澤金兵衛(玲川) 東京朝日新聞社クラフ部長兼計畫部長。信州上田生。(學歷)獨學。(經歷)大七年九月現社に入、調査部長、クラフ局技術部長を経て現職に。(現住)市外東中野上ノ原七八〇。

直海善三 中央新聞社會部特務係。石川縣鹿島郡七尾松本町一三(明三〇、五、四)生。早大文科。(現住)横濱市神奈川栗田谷一一五三。

中井松治郎(雅蕉) 函館商報社編輯長(三二歳)。仙臺甲種商業卒業後獨學。(新聞歴)大二年入社今日に至る。(主義)常に足て書く事。(趣味)旅行、俳句、劇。(現住)函館市大町一九番。(電話)七七六。

中原芳太郎(桂芳) 中國民報社教育記者(二九歳)。香川師範學校講習科卒業。(新聞歴)四國民報社五年、中國民報社二年。(主義)理想主義。(趣味)文學。(現住)岡山市七番町九。

中原末吉 函館毎日新聞社會部(大八、二入社)。(明二九、五、九)生。家族三人。(趣味)演藝、運

販賣部助役、京城支局長、從軍記者二回。(趣味)記者生活、旅行。(現住)大森。

名古屋晴男(秋水) 國民新聞通信記者(三五歳)。中學卒業後日大校外生となり獨學(法科修)。(新聞歴)明四五年新日本之實業雜誌社田無支局主任となり大二年退社大元國民新聞八王子支局名譽通信員囑託、爾來今日に及ぶ。(趣味)自治の改善教化。(現住)北多摩郡保谷村。

那賀新一 豐州新報社營業局長。大分縣大分郡明治村(明三五、四)生。(學歷)大分高等簿記學校卒業。(經歷)大八年五月入社。(主義)皇室中心主義。(趣味)讀書。(現住)大分市中島町二八一五。

内藤晴夫 東京毎日新聞社商況部。廣島縣(明一九、一、二五)生。(現住)府下瀬野川西ノ原九

中川覺治(杏果) 越後新報社記者。佐渡(明二三、八、一)生。(新聞歴)明四三年北海道にて記者となり爾來佐渡實業新報、佐渡毎日新聞、佐渡日報等の編輯長を経て後北越日報記者となり又横濱市にて獨力雜誌を經營大八年現社。(趣味)讀書、歌。(現住)新潟縣長岡市西千手。

中川榮一 報知新聞社營業局長。埼玉縣(明二七、四、一〇)生。早稲田大學政治經濟科卒。(新聞歴)大正一二年一〇月報知新聞社入社。(現住)府下世田ヶ谷町大字代田西大原一二六三。

中川三郎 日本通信社主幹。佐賀縣唐津町(明一四)生。法政大學卒。(新聞歴)大阪新報政治經濟部長同東京支局長大三年大阪中外通信創立大八年新聞界を退き日本電信工業會社事務取締役を大正一〇年末まで再び操艦界に入る。(趣味)讀書。(現住)大阪住吉區住吉町三六五。

中川靜 萬年社理事兼考案部長。長崎市(慶應二、二)生。早稲田大學の前身東京專門學校。(經歷)長崎商業學校教諭、熊本商業學校長兼教諭、神戸高等商

校教諭(二九歳)。香川師範學校講習科卒業。(新聞歴)四國民報社五年、中國民報社二年。(主義)理想主義。(趣味)文學。(現住)岡山市七番町九。

函館毎日新聞社會部(大八、二入社)。(明二九、五、九)生。家族三人。(趣味)演藝、運



業學校教授。(現住)神戸市暮合町二一八。

中川俊思 中外商業新報社社員。廣島縣(明三一)生。(學歷)錦城中學卒業、中央大學中途退學。(經歷)中國新聞社員。(現住)東京市牛込區赤城元町一六。

中垣内輝 北海タイムズ社調査部主任。福井縣坂井郡(明二四)生。大三年七月早稻田大學政經科卒、自大三年九月至大正五年七月同校研究科に財政經濟學專攻。(新聞歴)自大四年一月至同五年二月千葉縣立佐原中學教師囑託、自大五年一月至同六年七月小樽高商柔道指南及監生囑託大二年八月現社。(趣味)哲學。(現住)札幌市南一條西一丁目一。(電話)二五三八。

中上喜一郎 東京毎夕新聞社編輯局外交部。大阪時事神戸支局長。福河加古川(明二五、一〇)生。外語中途。(新聞歴)通信官吏、外國商館員、貿易商、大阪新報を経て大七年四月現社。(趣味)讀書。(現住)神戸市御藏通四下六七(電話)本三七九四。

中田捨松 大阪時事神戸支局長。福河加古川(明二五、一〇)生。外語中途。(新聞歴)通信官吏、外國商館員、貿易商、大阪新報を経て大七年四月現社。(趣味)讀書。(現住)神戸市御藏通四下六七(電話)本三七九四。

立商業學校卒。(趣味)政治、經濟。(現住)鹿兒島市武町二九四。

中村誠 新聞研究所員。千葉縣(明三五、七、一〇)生。(學歷)私立大成中學中途退學。(經歷)地方紙二、週刊紙の編輯を経て大四年七月新聞研究所へ入社。(趣味)旅行。(現住)四谷荒木町二七湯淺方。

中村不折 朝日新聞社社員(明三九入社)。帝國美術院會員。慶應二、七、東京市京橋生。妻及三兒あり、明一〇年より眞壁雲郷に就て南畫を學び同二十年より小山正太郎、淺井忠に就き西洋畫、三四年より三八年迄シヤニホルロラニスに就て西洋畫を學ぶ。(新聞歴)明二七年より日本新聞社に入り挿畫を畫く、後朝日に入る。(著作)澤山で書き切れず。(思想)他力本願。(趣味)何でも面白し。(現住)下谷區上根岸一二五(電話)下谷三七九八。

中村三彦 萬朝報政治部。福岡縣京都郡厚川村(明三三、一一)生。大一年四月早稻田大學政治經濟學部卒。(現住)東京市牛込區神樂町部館内(電話)牛込

中津海知方 國民新聞政治部次長。熊本(明二八、四、二九)生。(學歷)東京帝大經濟學部卒業。(經歷)萬朝、電通を経て現在に至る。(主義)強ひていはり利那主義。(趣味)多趣味多方面何でも面白し。(現住)東京市外西大久保二七三。

中根榮 日本電報通信社理事兼編輯長。飛騨國(明一四、一一)生。家族十人。(新聞歴)新愛知編輯長。(現住)東京市外大井町四七三八(電話)九〇四。

中村伊佐吉(峰月) 南信毎日新聞社記者。長野市(明二九、一一、一三)生。開城中學卒業後三ヶ月間明治大學法學部に入る。(新聞歴)新聞記者、警察官、小學校教員等。(現住)長野縣伊那町青木町。

中村市五郎 若州新聞社長兼主筆(明三五、創刊隔日發行)。岐阜縣生五十二歳。(政黨)憲政會。(現住)福井縣小濱町清瀧(電話)五四四。

中村平三(眉山) 大阪朝日新聞編輯局(四十二歳)。郷里中學校中途退學東京へ出て開門塾塾に遊び大阪にて西村碩園磯野秋清

三八九七。大阪毎日新聞社監査役。

中村喜代槌 大阪毎日新聞社監査役。

中村勇次郎(漢人) 大阪時事新報大阪通信部副部長。越後國長岡(明二七、一一、二七)生。(經歷)放浪の揚句生活の方便、ら横濱毎朝新聞に神輿を据ゑ、其後二三轉々して現在に及び、意地も張もなき儘に泰然として腰を抜す。(主義)空々寂々主義。(現住)大阪市外箕面村西小路。

中村光靖 前東京日日新聞社會計部長。岐阜縣大垣市(明一七、四)生。明四三年七月早稻田大學商科卒。(新聞歴)明四三年八月大阪毎日新聞社入社販賣部、大正五年四月下關駐在員、同六年四月福岡市駐在員、同八年十月販賣部助役、同十二年四月東日會計部長、十五年退く。(趣味)園藝、寫眞、謠曲、旅行。(現住)東京府荏原郡碑文村一〇一。

中村周一郎 信濃毎日新聞社特派員。長野縣北安曇郡(明三三、一一、一七)生。(學歷)日本大學社會科卒業。(經歷)卒業後直

に學ぶ。(新聞歴)二十七歳朝日新聞社に入り今日に至る。(趣味)書畫篆刻。(現住)大阪北區上福島北一ノ五。

中村寅次郎 神戸又新日報編輯主任(大九、一入社)。淡路(明二、九)生。家族五人。(新聞歴)第一次大正日日。(思想)白紙主義。(趣味)萬能。(現住)兵庫縣六甲村(電話)御影三五〇。

中村千代松(木公) 秋田新聞社社長。秋田縣平鹿郡(慶應二)生。(學歷)縣立秋田師範學校卒。(經歷)教育報知、婦女雜誌、幼年雜誌の編輯主任、忠愛新聞、明治新聞、秋田魁新聞の主筆、報知新聞社會部長。(趣味)讀書。(現住)秋田市(電話)七七二)。

中村長作 都新聞社編輯局寫眞部主任。石川縣(明一四、一一)生。早稻田大學國語漢文科。(新聞歴)明四四年一〇月現社。

中村龍三(靈首) 前中央新聞社社會部長。東京市(明二五、一一)生。(新聞歴)東京夕刊、二六新報、帝國、東京毎日、雜誌經營。(趣味)俳句、玉突、角力。(現住)淺草區三好町十。

に現社へ入社。(趣味)讀書。(現住)長野縣埴科郡屋代町(電話)屋代六二)。

中村茂(耕南) 福岡日日新聞地方部編輯(大七、三入社)。筑紫妙教傳道會理事。熊本(明二六、八)生。妻姉甥姪。中學卒業後早大政治經濟學。(著作)精神統一と仙術實驗。(思想)純日蓮主義。(趣味)演說、登山、旅行。(現住)福岡市外箱崎町二八五二。

中村清治(嶽堂) 梓葉毎日新聞社長。大分縣速見郡梓葉町(明三二、一一、二五)生。(學歷)縣立梓葉中學卒業。(經歷)福岡縣八幡製鐵所、同縣戸畑市國粹新報、大分縣佐伯町佐伯新報社主筆を勤め大分民友新聞佐伯支局記者。(主義)萬事徹底主義。(趣味)畫、旅行。(現住)梓葉町大字梓葉千六百十番地ノ四。

中内義一(蝶二) 讀賣新聞囑託。高知(明八、五)生。妻。東京帝大文科卒。(新聞歴)萬朝。(著作)支那哲學及び文學、俳句等に關する著書二三。(思想)樂天主義。(趣味)音樂及び劇。(現住)牛込區藥王寺町二〇。

中野賢治郎 萬朝報政治部記

中村唯一 報知新聞論說部長。東京(明一四、一)生。東京帝國大學法科卒業。(新聞歴)明四二年東京毎日新聞主筆編輯長勤務、大正三年報知新聞調査部長論說部長歴任。(現住)東京市本郷區上富士前町一四三。

中村武彦(孤星) 國民新聞社甲府支局長。茨城縣土浦町(明二五、七)生。埼玉縣熊谷中學卒、法政大學修業、外語學校修業。(新聞歴)裁判所、稅務署、新聞記者。(趣味)寫眞、音樂、運動。(現住)甲府市日向町一(電話)六六五)。

中村卯三郎 萬朝報社政治經濟部(明二七、一一、六)生。大九年三月明大政治經濟學科卒。(新聞歴)大九年三月東京毎夕新聞社經濟部大一〇年六月現社。(趣味)散策と芝居、寄席。(現住)府下杉並町阿佐ヶ谷西向六七)。

中村勝治 新聞研究所編輯部長。長崎縣(明二七、一)生。(現住)市外大森馬込一〇二二)。

中村宗一(宗一郎) 鹿兒島縣朝日新聞社編輯部。鹿兒島縣(明三六、三)生。(大一一)鹿兒島市

者。岩手縣九戸郡久慈町(明二七、九、一)生。早稻田大學政治學部卒。(現住)東京市橋本區朝日新聞社編輯部。電話銀座五二〇〇一五二〇八)。

中野信男 土陽新聞校正部。明三七、五、二五)生。(趣味)文學。(現住)高知市朝倉町百。

中野左右司 中央新聞社整理部校正係長。山形市宮町生(四十一歳)。(經歷)明四三年より山形日日新聞社々會部記者三年、大正二年一月中央新聞校正課に入社、同五年校正課長。(現住)東京市外淀橋町柏木七七四。

中山幾太郎(蘆村) 山陽日報社長(四十七歳)。(新聞歴)明四〇年米國より歸朝新聞記者となり大六年山陽日報を買収個人營となし大八年更に株式組織とし事務取締役社長となる。(主義)中立。(趣味)政治。(現住)尾道市十四日町九の一(電話)二八)。

中山富貞(青果) 萬朝報政治部編輯。函館市(明二五、二、一五)生。高商中途。(新聞歴)北海道で文藝運動社を組織し、旬刊新聞發行、亞で二三の新聞に社會

縣京都郡厚川村(明三三、一一)生。大一年四月早稻田大學政治經濟學部卒。(現住)東京市牛込區神樂町部館内(電話)牛込

信濃毎日新聞社特派員。長野縣北安曇郡(明三三、一一、一七)生。(學歷)日本大學社會科卒業。(經歷)卒業後直

萬朝報政治部記

萬朝報政治部編輯。函館市(明二五、二、一五)生。高商中途。(新聞歴)北海道で文藝運動社を組織し、旬刊新聞發行、亞で二三の新聞に社會



部編輯擔當、大十一上京、日本電報通信社、大十四現社。(趣味)音樂、文藝(特に短歌を愛す)。(現住)東京府下大森町不入斗一三二八。

中山林圃(林圃) 南信日日新聞政治部長。長野縣上伊那郡藤澤村、明二、七、生。中學卒、個速記社卒、日本大學夜學部修業。(新聞歴)帝國通信、九州日日新聞社、帝國通信社名古屋支局長勤務、大九年帝國通務課長、十年四月現社。(趣味)文學、政治、碁圍、犬猫飼育。(現住)諏訪郡上諏訪町。

中山庸太郎(泰山) 都新聞埼玉支局長。茨城縣筑波山麓生(新聞歴)東京日日、國民新聞、常總新聞編輯長。(趣味)銃獵、書畫。(現住)埼玉縣浦和町二〇一四。(電話三〇八)。

中山泰昌 出版内報社長。(現住)本郷淺草町。

中山英一郎 中外商業新報編輯者(四十歳)。專修學校卒。(新聞歴)電報通信、東京朝日新聞、時事新報、讀賣新聞を経て現社。(趣味)銃獵。(現住)市外大久保百人町二六〇。

中山輝 北陸タイムス記者。富山縣(明三八、四、一五)生。(學歷)大十二年富山縣魚津中學校卒業、十四年早稲田第二高等學校修了。(主義)無主義主義。(趣味)文學、演說、音樂。(現住)富山市神通町愛宕校前老月方。

中町三郎(紫水) 柏崎日報社記者。新潟縣刈羽郡椎谷町(明二九、七)生。(學歷)函館高千穂商業卒業。(主義)神人合一主義。(趣味)登山旅行。(現住)新潟縣刈羽郡高濱町椎谷。

中里弘多 大阪毎日新聞社會計部長。(明五、三)生。(新聞歴)明二六年一月入社勤續。(現住)兵庫縣武庫郡本山村北畑。

中澤忠一 國民新聞社會部。明三三、三神奈川縣に生る。(學歷)東京外語露語部(經歷)大一一、二國民入社。(主義)樂天主義。(趣味)劇。(現住)淺草區北松山町六一。

中澤安衛(雪岳) 信濃毎日新聞社大町支局。信州更級郡眞島村(明二二、三)生。(學歷)中學修業。(經歷)明四一年現役兵、四年長野新聞入社、大六年信毎入社、二四年支局特派員。(趣味)書。

永井萬助(朴公) 東京朝日新聞外報部長。(現住)小石區小日向臺町三一。

永井謙一郎 大阪毎日新聞社會部。府政擔當。石川縣出身(明三二、二、一六)生。京都立命館大學法學部並に京都帝國大學經濟學部選科出身。(新聞歴)京都日日新聞政治部、關西日報を経て大阪毎日新聞社。(趣味)哲學政治の研究。(現住)大阪市港區市岡町二九三の四五。

永井福太郎(芙蓉) 東京朝日通信員(明四一、一一)入社。商事會社十數社の株主、静岡縣(明一八、一)生。兩親妻二男二女。中學卒、林私塾。(新聞歴)東京朝日通信員として山梨縣各地静岡縣沼津等に勤務。(著作)富士登山案内、富士山明細地圖、(趣味)撞球、圍碁、大弓、俳句、寫真。(政黨)中立。(現住)静岡縣御殿場停車場前。(電話二七)。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

中島壽馬 土陽新聞社記者。明一九、四土佐に生る。(現住)土佐種崎濱。

中島龜次郎 時事新報社會部(明二三、一〇、二六)生。早稲田大學文科中途退學。(新聞歴)やま新聞社會部、中央新聞を経て現社。(趣味)旅行。(現住)東京府下西巢鴨町堀内八六。

中島唯次郎 天業民報社編輯局。福岡縣(明三〇、七、三〇)生。商業學校卒。(現住)下谷區櫻木町一。

中島文雄(文圃) 臺灣日日新聞社基隆駐在。宮城縣加美郡中新田町(明二四、九)生。(經歷)明四二年より四四年まで學校教員(内地)大元年より一二年三月まで地方廳官吏(臺灣)大一二、四年より操艦界に入る(臺灣)。(主義)真相究明、迅速なる報道。(現住)基隆市田寮港一二番地。(電話四九八)。

中島光一郎(呑空) 伊那日報社記者。長野縣東筑摩郡筑摩地村(明三二、一)生。中學四年卒業、大九年長野縣蠶業試驗場講

習修業、後西ヶ原實習科卒。(新聞歴)小學教員、長野縣養蠶教師、村技術員等就職、大十二年六月現社。(趣味)琵琶、劇の研究、圍碁。(現住)長野縣上伊那郡伊那町。

中島喜平(蛙城) 上野新聞社長(大八入社)。群馬縣(明二二、一)生。父妻一女。(新聞歴)上野、上野日日、上野新聞一記者より社長へ。(現住)高崎市本六九。(電話七五七)。

中島氣嶺(氣山、回天老俠) 國民新聞社參事講演主任(六十四歳)。一切學歴なし。演說講演を爲す事四十餘年新體漢詩を發見十年揮毫亦十年。(新聞歴)明二一年より初は高知日報次は日本新聞萬朝報國民新聞。(著書)皆無償配附、別に著書と云ふべきものなし。(主義)東亞復活。(趣味)演說講演、作詩、揮毫及飲酒。(現住)東大久保四四七回天窟。

中島成功(吳竹) 高知新聞編輯長(明四三、六入社)。高知縣(明一九、六)生。父母と三人、早大修業。(思想)忠君愛國主義。(現住)高知縣介良村。

妻長男。關西學院、同志社、早大。(新聞歴)東京毎日(田中及小原氏時代)、毎日、(庄次及木村時代)、中央(大岡及筒井氏時代)。(著述)十數種。(現住)新聞研究所。(電話銀座二五五五)。

永田成美 中外商業新報社取締役(大元、八入社)。久留米(明六九)生。母妻。慶應義塾卒。(現住)芝區白金令里町八九。(電話高輪一五六〇)。

永松淺迫 東京日日新聞記者。熊本縣(明二四、九)生。(新聞歴)東京毎日、大正日日(鳥居素川氏時代)電通等を経て大一一、二年現社。(著書)人生を聴く。(現住)府下大森山王二六二六。

永島芳郎(支城) 筑陽日日新聞主筆。明二三、五月福岡縣鐘崎港に生る。(學歷)師卒。(經歷)小學教師十年を経て現職。(主義)皇室中心の新國本主義。(趣味)詩歌、演藝、哲學。(現住)福岡縣飯塚幸町。

永島金太郎 國民新聞社寫眞課長(三〇歳)。(現住)芝區柴井町二〇。

長井總太郎(蒼亭金升) 東京毎日新聞演藝部主任。東京(明

中平利彦(自然人) 土陽新聞社記者。高知縣高岡郡浦内村(明三五、三、二八)生。(經歷)大一一、二年二月土陽新聞社に入社貧窮なる單行本を出版より。(主義)皇室中心主義。(趣味)政談、小説、讀書。(現住)高知市外小高阪北町。

中平馨 土陽新聞記者。高知縣高岡郡戸波村(明二九、七、二七)生。(學歷)東京錦城中學、早大政治經濟。(經歷)中外商業新報社を経て現在に至る。(主義)無抵抗主義。(趣味)讀書、キキマ。(現住)高知市小樹形。

仲谷善治 萬朝報社社會部。石川縣(明三〇、一、五)生。明治大學法科。(新聞歴)中央新聞、東京毎日を経て現社。(趣味)狩獵、登山。(現住)本郷四丁目一七朝明館。(電話小石川五七三三)。

永井千鶴雄 二六新報會計庶務部長。

永井勝次郎 北見新聞社編輯長。北海道十勝國利別村(明三四、一、二)生。(學歷)札幌師範學校。(經歷)現職に四年間。(主義)著實邁進。(趣味)旅行、讀

書。(現住)北海道野付牛町。外報部長。(現住)小石區小日向臺町三一。

永井謙一郎 大阪毎日新聞社會部。府政擔當。石川縣出身(明三二、二、一六)生。京都立命館大學法學部並に京都帝國大學經濟學部選科出身。(新聞歴)京都日日新聞政治部、關西日報を経て大阪毎日新聞社。(趣味)哲學政治の研究。(現住)大阪市港區市岡町二九三の四五。

永井福太郎(芙蓉) 東京朝日通信員(明四一、一一)入社。商事會社十數社の株主、静岡縣(明一八、一)生。兩親妻二男二女。中學卒、林私塾。(新聞歴)東京朝日通信員として山梨縣各地静岡縣沼津等に勤務。(著作)富士登山案内、富士山明細地圖、(趣味)撞球、圍碁、大弓、俳句、寫真。(政黨)中立。(現住)静岡縣御殿場停車場前。(電話二七)。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。

永井榮藏(飄齋) 大阪朝日編輯局勤務(大二、八)入社。出雲安來町(明一四、九)生。妻養父母。東京帝大經濟科卒。(新聞歴)大阪朝日社會部警察廻りより現職へ。



元、三、一六〇生。(學歷) 鶴谷塾(漢籍)、小橋博士(和學)。(經歷) 萬朝報創業以來數年社會部記者となり中央、讀賣、やまと、都の演藝部に關係、大一一〇年より東京毎日新聞社に勤め今日に至る。(趣味) 俳畫。(現住) 市外大崎町桐ヶ谷一〇〇。(電話) 高輪四六七九。

長沼欽一 國民整理部長(三五歳) 明大中途退學。(新聞歴) 讀賣、毎夕、國民。(現住) 府下杉並町阿佐ヶ谷八六九。

長瀧智大 天業民報社記者。

長内清 北海タイムス編輯副社長(明三九、一一入社)。札幌市會議員、青森縣黒石町(明一六、一)生。早大文科卒。(政黨) 政友會。(現住) 札幌區南二條西四十丁目。

長野虎太郎(活來) 木浦新聞社主幹。福岡縣(明一八、一一)生。(學歷) 早稻田出身。(經歷) 青年時代官吏、後新聞業に關係し今日に及ぶ。(現住) 朝鮮全南木浦府。(電話) 三九。

長野武之亟 日本新聞聯合社大阪支社庶務課長兼支配人代理。(電話) 小石川一〇四。

長野潔(達天) 豐州新聞社社長。大分市(明一六、一〇、一九)生。早稻田大學政學士。米國マスタ、オプ、アーツ。(新聞歴) 明四一年豐州新聞社主筆後主幹、副社長、大八年社長となる兩豐銀行取締役、政友本黨大分縣支部幹事。(趣味) 政治、新聞。(現住) 大分市荷揚町二。(電話) 大分七二七。

長埜友一 愛媛新聞社記者。愛媛縣(明三六、五、一三)生。(學歷) 關西大學法學部卒業(大一一四年)。(經歷) 大一一四年九月現社へ入社教育、軍事擔當。(主義) 正義。(趣味) 飛行、讀書。(現住) 愛媛縣伊豫郡北山崎村大字三島町。

長江定一(櫻洲) 東京毎日新聞社企劃部長。東京深川區佐賀町(明一九、二)生。慶應義塾卒。中央大學經濟本科卒。(新聞歴) 明四三年古河鐵業上海支店入社、四四年載生昌汽船局華湖支店長、大五年西村商業株式會社專務取締役、大一年邦樂座庶務課長。(趣味) 演藝、柔道、新内名岡本櫻洲。(現住) 田端四四四。(電話) 小石川一〇四。

村井信雄(靈山) 富山日報(大八、一一入社)。滋賀縣(明一八、三)生。子供四人。早大政經科途中迄。(新聞歴) 帝國通信社。思想) アンチ資本主義。(趣味) 晩酌と野球。(政黨) 憲政會。(現住) 富山市鹿島町四二。

村上長四郎 中央新聞政治部記者。東京市本郷區本郷五の九(明三三、四、一〇)生。(經歷) 大一一〇年二月東洋通信社政治部入社大一一二六月に時事通信社へ轉、震災にて解散後自力にて演藝雜誌を發行したが、大一一五年四月中央新聞入社。(趣味) 音楽、政治、文藝。(現住) 東京府下中野上町二六五一。

村上猶太郎 前萬朝報社編輯局參事。島根縣(明一七、三、一八)生。早大政經科卒。(新聞歴) 明四二年萬朝報に入り大九年退社英國其他に外遊し大一一一年歸朝大一一三年七月萬朝報に復社一五年一月退社。(趣味) 碁とスポーツ。(現住) 牛込區南横町五七。(電話) 牛込三〇一〇。

村上健一(夕浦) 大阪朝日新聞社松江通信部主任。(新聞歴) 明三七年秋尾道新聞入社を振出し

長澤虎次郎(侃堂) 莊内新聞社主筆。鶴岡市島居町(明五、六、二〇)生。(經歷) 明三七、二月鶴岡新聞社、同三七年五月莊内新聞社、更に鶴岡新聞兩羽實業新聞等に從事し明四一年莊内新聞に復歸。(主義) 現實主義。(趣味) 政治。(現住) 鶴岡市高畑町。

長瀬吉次 國民新聞編輯局。(四五歳) 國學院大學卒。(新聞歴) 明四三年以來國民新聞社勤務。(主義) 今日主義。(現住) 麴町區飯田町六の一三。

夏目秋一 英文大毎事務主任。檜崎觀一(桂園) 東京日日新聞內閣通信部長(四三歳)。(新聞歴) 大阪毎日京城特派員。支那留學生、北京特派員、東京日日外事部副部長、編輯部長。(著書) 歐戰後の支那、朝鮮最近史等。(現住) 本郷區西片町一〇番地(二四號)。

並木仙太郎(淺峰) 國民新聞社、民友社編輯(四九歳)。小學校卒、獨學。(新聞歴) 明三四年一〇月國民新聞社に入り校正部長今の調査部前身の事業に従事し目下現職。(著書) 蘇峰文選、

精神の復興等を編纂。(現住) 府下大井町出石五一〇五。

南條四郎(白嶺) 東京毎日新聞政治部長(明一五、三)生。日大中途退學。(新聞歴) 東京市吏編纂掛、東京公論主筆、東京都政新聞社長。(趣味) 歌澤。(現住) 四谷花園町一。

難波英夫 東京毎夕新聞編輯局長。岡山縣川上郡成羽町上日名に生る。(經歷) 京城日報、時事新報、大阪時事新報、解放新聞。(主義) 自ら進んで標榜す可きものなし。(趣味) 文學、特に安芝居。(現住) 本郷區西須賀町十三。

難波清人 前中外市場部長、代議士(明四五入社)。岡山縣(明二四)生。現住) 府下大森八坂坂二二九六。

む

武藤具三 讀賣新聞社工務部長。山梨縣東山梨郡岩手村(明一一、五)生。(現住) 東京府下中野町一七二八。

武藤啓三郎(春之助) (三十一歳) 岐阜新聞社廣告部長。中學校卒業。(新聞歴) 卒業後直に入

他。(現住) 奈良御坊屋敷町三。(電話) 奈良五〇九。

村田鏡次郎 東京日日廣告部助役。

村中茂 大分新聞記者。明四〇年生。(現住) 大分市南新地。

村山龍平 大阪朝日東京朝日社長。(現住) 兵庫縣御影郡家。(電話) 御影二〇四。東京麻布區市兵衛町二の二。(電話) 芝二二七三。

村山長舉 朝日新聞取締役大朝計重部長兼印刷局長。(現住) 兵庫縣御影町郡家二八五。(電話) 御影二〇四。

村山隆茂(村晴) 柏崎日報社記者。新潟縣刈羽郡野田村木澤(明二二、一一、一八)生。(學歷) 柏崎中學卒業。(經歷) 柏崎日報社在勤十箇年。(主義) 力行主義。(趣味) 小鳥、盆栽。(現住) 柏崎町田町。

村松竹太郎(吳山人) 東京毎夕新聞社(内務記者會) 靜岡縣周智郡山梨町(明二三、一一)生。(主義) 何れでも。(趣味) 俳句、酒、劇、長唄。(現住) 蒲田町御園三二六。

村松吉太郎(桑川) 新聞研究所理事及び供給部長。靜岡縣森

社今日に至る。(趣味) 運動、文藝。(現住) 岐阜市今澤町八。

室川義勝(史郎) (三十七歳) 關門日日新聞編輯長。神戸高等商業學校出身。(現住) 下關市本町三の五〇八。(電話) 七九六。

向井長雄(眞柄哲) 北海タイムス社會部記者。盛岡市(明二七、一一、一四)生。(經歷) 詩人映畫畫本作者、銀行員、相場師、甘酒賣、喫茶店支配人。(現住) 札幌市南一條西六丁目。

向井勘兵衛(夢界庵) (四十五歳) 神戸新聞社重役兼廣告部長。バンド英學卒後獨學。(新聞歴) 神戸新聞創刊當時入社現今に至る二五年(研究事項) 無線電信。(主義) 敬神、敬祖。(趣味) 旅行、長唄、俳句。(現住) 神戸平野天王橋。

向井守政 東京朝日新聞社記者。樺太特派員。山梨縣巨摩郡日野春村(明一八、一一)生。(現住) 樺太豊原町。(電話) 一三七。

棟方徳衛 東奥日報社經濟記者。宮城縣(明二一、九)生。(經歷) 大九年一月より勤続。(趣味) 旅行。(現住) 青森市長島町。(電話) 二〇四三。

村田謙次郎(泥庵) (俳號) 泥牛子) 三重縣津市(明一〇)生。大阪朝日新聞奈良通信部主任、新聞歴) 四五の地方新聞を経て現在に及ぶ、此間二四年。(主義) 新國家主義。(趣味) 美術鑑賞其



町(慶應二、二、五)生。米國留學。  
 (新聞)輸出貿易專門傍ら青少年の教育に従事、二三年間神戸基督教青年會理事長たり、現に日本國民禁酒同盟名譽主事たり。  
 (趣味)教育、講演、讀書、俳句。(現住)東京京橋區南橋町二の五。(電話)銀座二五五五。  
 村瀬義音 天業民報編輯局。東京小石川(明三七、五、一三)生。國民英學會英文科卒。(趣味)文藝、音樂。(現住)東京小石川區西丸町三一。  
 麥島吉次郎 長野縣飯田町南信新聞社記者。長野縣下伊那郡上飯田村大平(明四〇、三、一五)生。(經歷)大二年入社。營業方面擔當。(趣味)經濟、社會學方面的研究。(現住)長野縣飯田町吾妻町。

宇野末雄 東京通信社營業部長(明一七、二一)生。(新聞)樺太日日、中外商業。(現住)牛込區南橋町五。  
 宇野政行(靈南)九州日日新聞編輯部長(三九、一〇)入社。熊本縣(明九、一二)生。母と妻と子供四人。(著作)大觀小説。(趣味)骨董、園藝。(政黨)憲政會。(現住)熊本市京町二の二一〇。  
 宇野木忠 東京朝日經濟部次長(大七、七)入社。山梨縣(明一八、九)生。妻と一兒。東京外語卒。歐米特派。(新聞)本社より組育特派員。大(一〇、一)。(著作)米と社會政策。(現住)麹町區飯田町四の二一。(電話)四谷二四三七。  
 宇治田直義(柏城學人) 外交時報編輯局長。和歌山縣(明二七、三)生。家族は妻と一女。上海東亞同文書院商科卒。(新聞)大阪新報上海特派員、東方通信社。(著作)支那研究、共和以後。(現住)市外淀橋柏木一二四。  
 内田馨 關門日々新聞社社會部編輯。山口縣(明三五、一)生。明大法學科。(現住)下關市壇之浦七二。

内田檜鬼 大分新聞記者。(明三十六)生。(現住)大分市南新町。  
 内田好之輔 九州日報東京支局長。帝國通信社取締役。(現住)京橋區宗十郎町一〇。  
 内田佐和吉 漢口日日新聞編輯長。長崎縣諫早町(明二六、六、一三)生。小學卒業後漢學を修む。(新聞)上海日日社、大七年一月現社。(趣味)讀書、俳句を讀むこと。(現住)漢口日本租界中街六六號。(電話)漢口四三三)。  
 内山舜 東京朝日新聞調査部(大七一、一)入社。靜岡縣(明一五、一)生。家族七人。早大英文科卒。新聞教育新聞編輯長。(現住)小石川區音羽町四ノ二一。  
 内山茂松(天壇) 報知新聞社橫濱支局長。兵衛縣城崎郡野村(明二六)生。(學歷)早稻田大學出身。(現住)橫濱市青木町壺町一七六八。(電話)本局二二五五)。  
 内海安吉 日本電通大連支社長(大三、三)入社。内外電報通信及經濟商況通信發行經營。宮城縣(明二三、四)生。妻二男一女。日本大學法科卒。(新聞)日韓合併の際京城電報通信勤務後東京本社轉任、日獨戰爭軍特派員、瀋陽、大連支社創立と同時に現職に任ず。(現住)大連市大山通八五。(電話)四〇五〇)。

内海喜平(喜喜) 石巻日日新聞主任(大七、五)入社。渡波町(明二七、一)生。父母妻。女兒一人、兄弟四人。日本大學專門部政經科中途退學。(思想)極端なる社會主義。(趣味)音樂、讀書。(現住)石巻町仲町四。  
 氏家司治 新聞研究所調査部長。北海道生(二七、七)。(現住)本郷區臺町四三福榮館。電話小石川六六八九)。  
 漆間眞學(太白) 日本通信社長。德島(文久二、九)生。(學歷)德島岡本塾、東京共價義塾、慶應義塾。(經歷)明十三年政社北長社創立、北長雜誌編輯長、政府轉任者として二年禁獄、自由出版會社創立、東京新聞、日本タイムス、同盟改進新聞刊行顧問、商業學校、主計學校、東京女學、哲女館顧問、東京能辯學會長、能辯雜誌社長、日本通學創刊社長。(趣味)讀書。(現住)赤坂新坂町五三番地五四番地。

(電話)青山一〇〇八、五〇一〇、五〇一三、六七四五)。  
 歌島藤次郎(五社幽峰) (二十三)生。藝備日日新聞教育、電機學校豫科二期修業、早稻田實業夜間部卒、日本大學社會部中途退學。(新聞)大十二年十月藝備日日に入社。(主義)國家主義。(趣味)教育研究小説。(現住)廣島市國泰寺町一〇。  
 浦田茂二郎(孤城) 紀州新聞社長兼南海新聞主筆。三重縣伊賀國(四十一)生。關西、早稻田、日本大學等にて政治經濟を攻究。(新聞)京都日報編輯長。東京民聲新報、二六新報、伊賀新聞主筆。(趣味)釣魚、旅行。(現住)引本町(電話)一一)。  
 上田忠正(中村) 宮崎日日新聞營業部。大阪市南區博船屋町三六(明三一、五、二八)生。明星商業卒。關西大學法律科豫科修業。(新聞)大阪日日新聞營業部、大和日報縣政部、大和日日新聞營業部、宮崎日日新聞營業部。(趣味)讀書、辯論。(現住)宮崎市廣島通二六五號。  
 上田榮一 報知新聞北京特派員。明二九年四月岡山縣に生る。

(經歷)大十五年六月現住に就く。(趣味)スポーツ。(現住)北京洋澄胡同二十號。  
 上田碩三 日本電報通信社取締役通信部長(四十一)生。東京高等商業學校卒。(現住)東京府下大井町庚塚四七九三。  
 上野留三郎 大阪萬朝報社々長(明一四、一二)生。官吏生活から新聞記者生活へ。(趣味)大阪市住吉通天王寺町(電話)船場二二一、一二二、二五三、三一三、電話南二一〇〇)。  
 上野臺次(一也) 福岡日日調查部長(大一一、三)入社。山梨縣甲府(明一九、一)生。父母妻長男。(現住)福岡市福日社内。  
 上野嘉永次(默狂) 新潟朝日主筆(大八、五)入社。越後、萬延元、六生。家族二人。東京專門學校法科卒。新聞、新潟新聞、北越新聞主筆、福井新聞、信濃日報主筆、新總房主筆。(著作)堀部安兵衛、丹羽思亭。(趣味)漢詩と俳句。(現住)新潟市白山浦二〇一七。  
 上野精一 朝日新聞社事務取締役。大阪市(明一五、一〇)生。明四十年東京帝大法科卒。(現住)

大阪市東區平野町一ノ五。(電話)大阪本局一三九)。  
 上杉彌一郎 大阪時事取締役兼編輯局長(明四一、三)入社。廣島縣(明一六、一二)生。妻。慶應義塾大學政治科卒。(思想)獨立自尊。(趣味)乘馬、撞球、圍碁、將棋。(現住)大阪市北區北梅田町四四七)。  
 植村陸男(陸郎) (三十六)生。東京朝日新聞社運動部。二高英文科。(新聞)大五年東京朝日調查部に入り社會部に轉じ同十二年運動部獨立と共に同部に入る。(主義)實力主義。(趣味)運動萬般及映畫、音樂。(現住)市外雜司ヶ谷鶴卷町三八〇)。  
 植山矢一(天水) (五十一)生。九州日日新聞社編輯主任。鹿兒島中學造士館修業。(新聞)熊本日新聞社、明四四年以來九州日日新聞社在勤。(主義)娛樂。(趣味)無趣味。(現住)熊本市正妙寺町五)。  
 植村金作(澧洲) 東京毎夕新聞記者。岐阜縣山縣郡富波村(明三八、一)生。(學歷)大六年攻玉社中學卒、早稻田大學政治科豫科より中央大學經濟科に轉校同十

一年卒業。(經歷)大十一年五月大東京新聞社會記者として入社同七月中央新聞社に轉、同十一月退社、同十二月六月都新聞に入社、十四年五月退社、同六月每夕社に入社。(主義)御都合主義。(趣味)讀書、觀劇。(現住)市外大岡山三九)。  
 植木槌松 豐州新報販賣部長。大分縣(明一一)生。(學歷)中等教育程度。(經歷)大分刑務所看守、明三四年現社に入る。(現住)大分市王子町二五四)。  
 植木善雄 大分新聞營業局長。大分市(明二六)生。慶應大學理財學士。(新聞)大十三年五月大分新聞入社。(現住)大分市王子町)。  
 梅原北明 米國ヒラデルヒア市所在レadies、ホームジャナル日本特派員。富山市(明三二、一)生。早稻田大學中途退學。(著述)デカメロン、露西亞大革命史女子春秋、處女教室(以上翻譯)。殺人會社、眞面目なる放浪者、北明童話劇選集(以上創作)、其他新聞雜誌に寄稿。(思想)ニロリズム及ネオサタニズムの傾向あり。(趣味)ダンス。(現住)東



京市外千駄ヶ谷八〇九。  
**梅原松成**(松葉) 北海タイムス社。北海道旭川(明三五、一、一二)生。中學卒。大十一年七月現社。(趣味)讀書、散步。(現住)札幌市山鼻町三。  
**梅澤安次郎** 東京朝日客員(明三二、入社)。埼玉縣(慶應元、一)生。(現住)東京市外中津谷字大向。  
**海野信正**(善佛) 東京毎日新聞社。同地方部編輯。東京小石川(明二六、六)生。(學歷)中央大學獨法科、上智大學文學科哲學科に學ぶ。(經歷)株式會社大阪興信所東京支所主事補、淺草タイムス編輯長、湯島協會編輯主任、萬朝報記者を経て大十四年現社に入る。(趣味)川柳。(現住)本郷區駒込千駄木町二百四番地。  
**牛澤瓊三** 中央新聞社社會部。長崎縣(明三〇、一)生。大十二年三月法政大學政治經濟科卒。(趣味)運動、食道樂、將棋、芝居。(現住)市外蒲田町北蒲田三五四。  
**牛島哲雄**(一水) (三十八歲)。報知新聞繪畫部。(新聞歷)九州新聞、關門日日新聞其他を経て現在に及ぶ。(趣味)列擧のいと

ま非ず。(現住)府下中野町三九一一。  
**白井龜雄** 京都日日新聞編輯局長。宇都宮市(明二七、六)生。(經歷)讀賣、滿洲日日、報知、香港日米新聞、中央、毎日、萬朝より現社。(現住)京都市田中大櫃町二十三。  
**野井憲樹**(三五) 宮崎新聞編輯主任。縣立宮崎中學卒、早稻田大學文科出身。(新聞歷)宮崎市日州新聞に約十年間在職宮崎新聞に移る。(趣味)讀書。(現住)宮崎市末廣町三丁目。  
**野井慎太郎**(徳山) 日州新聞主筆(大四、一〇入社)。印刷業眞業等の經營。宮崎縣(明一六、四)生。養母妻。正則中學、五高卒、東京帝大法科出。(新聞歷)千代田民報。(趣味)銃獵、盆栽。(政黨)中立。(現住)宮崎市旭通九一。(電話)四、六九、一一二)。  
**野原祐三郎**(秀鈴) 防長實業新聞主筆兼編輯監督。山口中村高等女學校囑託講師。山口縣萩(明五、一二)生。巴城中學會、

山口師範講修科修了。(新聞歷)馬關毎日主筆。(現住)山口縣山口。  
**野田兵一**(三二歲)。報知新聞經濟部。早大政治經濟科。(現住)市外東中野一四四九。  
**野田武夫** やまと新聞社。熊本縣(明三〇、五、八)生。早稻田大學法學部。(趣味)芝居。(現住)千駄ヶ谷九九八。  
**野田安重** 大阪朝日庶務部長。(現住)大阪市北區北中野東之町六四一。(電話)北五〇四〇)。  
**野中和平次** 報知新聞社販賣部。大分縣(明三三、一〇)生。(新聞歷)大十三年七月入社。(現住)芝區西久保八幡町二六。  
**野村長一**(胡堂) (四五歲)。報知新聞編輯局相談役。帝大佛蘭西法科中途。(新聞歷)大元年報知新聞へ入社、政治外交社會部編輯、政治部編輯、社會部長を経て現在に至る。(著書)人類館、二萬年前。(趣味)音樂、美術。(現住)府下雜司ヶ谷鶴原一。(電話)牛込八七)。  
**野村幸盛**(桂炎) 東京報知新聞社販賣部。大分縣(明三三)生。關西大學法法出身。(新聞歷)報

知新聞大阪支局より本社へ。(趣味)議論。(現住)東京市赤坂區櫻坂町五。  
**野村政造** 大阪時事廣告部助役(大九、二入社)。滋賀縣(明二〇、八)生。中學卒業後英語學校等。(新聞歷)一二地方新聞の編輯主筆。(著作)現代及將來の心理研究。(思想)唯心論個人主義派に傾く。(趣味)讀書。(現住)京都市大黒町松原下る三丁目。  
**野村潔巳**(四六歲)。東方通信調査部長、上海東亞同文書院。(現住)四谷區番衆町三二。(電話)四谷二八七)。  
**野口要之助**(華城、曉雨) 都新聞社現況經濟記者。千葉縣香取郡佐原生。私立鯉崎學舎卒。(新聞歷)萬朝報より現社。(趣味)釣、尺八、書、易。(現住)府下大井町字原五三七四)。  
**野口義明** 都新聞社會部。島根縣西伯郡大高村高尾(明二九、一〇、一七)生。(學歷)早大政治經濟科。(經歷)大十二年六月現社に入る。(現住)府下杉並町天沼四二一)。  
**野口常喜**(白也) 豐州新報社會部勤務。大分縣大分郡由布川村

(明二八、七、三)生。(新聞歷)大七年一月現社。(現住)大分縣大分郡三佐村三佐。  
**野口二郎**(繼英、都島) (二十七歲)。山梨日日新聞社長。東京帝國大學政治科卒。(新聞歷)震災前一月ばかり(朝日グラフ)にて記者見習を。(主義)人間の力を高唱す。(趣味)將棋、觀劇。(現住)甲府市百石町二八八。(電話)一四一〇五)。  
**野坂茂一**(祐堂) 朝鮮民報社長代理(明四〇、入社)。下關市(明一六、三)生。妻子及姪。(思想)鮮人同化。(趣味)骨董。(現住)朝鮮大邱府上町八四。(電話)七四一五)。  
**野澤秀信**(二七歲)。報知新聞社經濟部。(現住)小石川區雜司ヶ谷二六館久内。  
**野崎眞三**(テルミ) 朝鮮新聞社會部長(大一一〇、七入社)。東亞電報通信社理事、朝鮮公論社囑託朝鮮體育協會幹事。東京市(明二四、五)生。妻子あり。(新聞歷)橫濱毎朝新聞、京城日報(思想)個人主義。(趣味)運動競技、俳句。(現住)朝鮮京城府櫻井町二ノ一九七。(電京城三三一六)。

**野崎繁吉** 沼津日日新聞記者。静岡縣沼津市(明三七、五、二〇)生。(趣味)讀書。(現住)沼津市追手町。  
**能島進** 日本電報通信取締役大阪電通社長(明三九、四入社)。廣島縣(明一五、五)生。母と妻。京都法政大學卒。(新聞歷)電通京城名古屋兩支局長、本社勤務。(趣味)讀書、旅行。(現住)大阪市外天下茶屋杉本町。(電話)天下茶屋五四八)。  
**法月照三郎**(歌客) 濱松新聞社主筆。濱松市紺屋町九六(明一九、一、一六)生。(學歷)濱松第一中學卒業、早稻田大學文科に入る。(經歷)濱松日報(四頁日刊、今は廢刊)、東京日日新聞濱松通信部主任を経て今日に至る。(趣味)一般藝術。(現住)生地と同じ)。  
**久保太一郎**(湖月) (二八歲)。愛郷新聞社編輯長。獨學。(新聞歷)大十二年二月愛郷新聞社を同志と共に創立、編輯勤務現在に及ぶ。(主義)愛村主義。(趣味)

文學。(現住)奈良縣生駒郡北條村高山)。  
**久保健次郎**(松波) (三二歲)。愛郷新聞社主幹。獨學。(新聞歷)青年雜誌愛郷を主宰する事五ヶ年、少年の天地を經營する事一ヶ年。(著書)村の新聞の編輯と經營、青年會と處女會。(主義)國家社會主義。(趣味)新聞雜誌の編輯。(現住)奈良縣生駒郡高山)。  
**久保博道** 東京毎日新聞社記者。愛媛縣喜多郡久米村、明三三、六、二三)生。私立明治大學政治經濟科卒。(趣味)野球、觀劇、書畫。(現住)東京市小石川區大塚坂下町四〇の四)。  
**久保清** 上毛新聞速記者。明三一年四月富山市に生る。(趣味)ピンポン、玉突、旅行。(現住)前橋市岩神町五八〇)。  
**久保田豊三**(香浜) 臺灣日日新報支局。(明一二、三)生。日本大學法科及び法政大學高等科卒。(新聞歷)仁川商報、日韓實業界。(趣味)柔道、音樂、讀書。(現住)臺中市楠町一の一五九。(電話)四八)。  
**久保田辰彦**(孤帆) 大毎秘書

部長。高知縣(明一六、一)生。(趣味)旅行)。  
**久保田高行**(二四歲)。東京朝日新聞運動部。早稻田實業。(新聞歷)大十一年東京朝日社に入る。(現住)東京市外中野上町二八〇三長方)。  
**久保田榮吉**(三八歲)。東京朝日新聞社聯絡部記者。早稻田大學政治經濟科卒。(新聞歷)大九年六月東京朝日新聞社に入社。(主義)自由主義。(現住)東京市外池袋一〇二一)。  
**久保寺三郎** 中央新聞社整理部。明三七、二、九日生。(學歷)錦城商業、正則英語、上海中華語、支那思想研究會外語部、目下獨逸語獨學。(經歷)山形新聞、中央新聞、上海週報、雜誌「流木社」編輯、萬朝報、大毎上海支局。(主義)アナソル・ユトヒアン・コンミニズム。(趣味)過多、あまり多くて弱つてゐます。(現住)東京市外胸澤町野澤二五六)。  
**久野八十吉** 東京朝日新聞工務部次長。(現住)府下杉並村高圓寺六一五)。  
**久納重吉**(櫻亭) (五四歲)。朝



鮮民報社編輯局長。(新聞歴)釜山日報編輯主幹、時事新聞(京城)主幹等。(趣味)詩曲、園藝。(現住)大邱府東雲町三五〇の一。

工藤梅次郎(村民) 小樽新聞帶廣支局主任(大三、七入社)。

東京日日通信員。盛岡(明二〇、四)生。妻子三人。中央大學法律科。(新聞歴)東京日日、小樽新聞。(著作)アイヌの傳説。(思想)人類相愛主義。(趣味)アイヌ民族研究。(現住)北海道十勝國帶廣町西三條。(電話一九)。

工藤益二(太狂) やまと新聞支局長。青森縣(明一五)生。早稲田大學專門部政治科卒。(新聞歴)韓國政府の官吏、明四年電通門司支局、福日、國民、京城日報に通信、大四年現社へ。(趣味)運動就中水泳、草花の蒐集。(現住)靜岡市鷹匠町二の四。(電話七一〇)。

工藤規 東奥日報社取締役編輯局長。青森縣(明二〇、三)生。(學歴)弘前中學卒業。(新聞歴)明四四年より東奥日報社勤務。(趣味)詩曲、スポーツ。(現住)青森市浦町。

栗林貞一(春陵) 東京朝日新聞社。大和(明二五、一〇)生。(學歴)留學。(新聞歴)新大和社、浦潮日報社、大阪朝日新聞社から現在。(趣味)讀書、旅行。(現住)東京市外玉川村奥澤四一八。

栗林照行 米澤新聞營業部長。米澤(文久三)生。(新聞歴)米澤新聞創刊以來引續き勤務。(現住)米澤市上花澤小國町。

栗林茂枝(三〇)歳。東京朝日新聞社クラフ部記者大阪在勤。大一一〇年明治大學法科卒。(新聞歴)大一一〇年一月中外商業新報社會部入社同一一年一月退社二年一月東京朝日新聞社クラフ局入社。(現住)大阪西區江戸堀北通二の九京屋旅館。

栗尾結城(蘭舟) 高知新聞社東京支局長。高知市(明二〇、一)生。家族妻子。留學。(新聞歴)一五年間の記者生活、一新聞二雜誌を経営失敗し現在に及ぶ。(著述)半島の族、時雨の袖、革命。(思想)何でも可。(趣味)動物。(現住)府下千駄ヶ谷町九〇二。(電話四谷二五三二)。

栗田柳一郎 讀賣新聞社校正部。群馬縣佐波郡島村(明三〇、

工藤儀三郎 函館新聞編輯長(大九、四入社)。青森縣(明二、九)生。妻と子供二人。(現住)函館區春日町二三。

工藤廣 大分新聞社編輯局長。直入郡長湯村澤水(明四一、九、一五)生。(新聞歴)大一一三年一月一八日現社へ。(趣味)文藝。(現住)大分市長濱町。

工藤旨浩 奉天毎日新聞政治部長。佐賀縣(明二九、四、二〇)生。(新聞歴)大一一一年五月現社へ。(趣味)繪畫。(現住)奉天十間房奉天毎日新聞社宅。

黒岩日出雄 萬朝報社取締役。黒田乙吉 大阪毎日外國通信部兼整理部。(新聞歴)ハルビン通信員、露國留學生莫斯科特派員、セミヨフ軍從軍、西伯利各地特派員、カムチャツカ視察。(著作)カムチャツカ、露國革命に關するもの。

黒根祥作(掃葉)又は皎々居士等(三二)歳。大阪朝日新聞社支那部。支那國立北京大學文學部漢文科並に哲學科。(新聞歴)海外並に日本にて約十年、土地は北京と日本、新聞社二。(著書)劇、文學、風土誌に關するもの二三種、四五年以來の研究に屬し未公刊の政治、文學、思想、地歴の著作數種。(主義)遷善主義と云ふべきもの。(趣味)讀書、思索、自然觀照等。(現住)大阪市外登ヶ池。

黒崎雅雄 正路喜社監査役。長野縣上高井郡須坂町(明二六、八、七)生。(趣味)運動と料理。(現住)芝區高輪南町三〇。

黒木勇吉 報知新聞社統一部。宮崎縣美々津町(明二九、九)生。早稲田大學政經科。(新聞歴)大一一〇年一月學生生活を終つて現社へ。(趣味)新聞。(現住)府下杉並町高圓寺三五。

國友亟 靜岡民友新聞社。横濱(明二三)生。(新聞歴)横濱貿易、北海タイムス、讀賣、東京毎夕。(現住)靜岡市江尻町三六。

國松文雄(天城) (二九)歳。東京朝日新聞支那部。東京商科大學卒。(主義)主義と稱す可きものなし自己を生かすのみ。(趣味)讀書。(現住)府下巢鴨宮下一五八三。

窪田俊一郎(流月、銀波樓) 北國新聞社文藝部長。(明一〇、一)生。(新聞歴)島田社長の東京毎

神田二六六八)。

倉若梅二郎 讀賣社會部外交(大八、九入社)。越後糸魚川(明二二、一一)生。母妻子二。早大文科二年迄。(趣味)讀書、園藝、將棋。(現住)東京市外下目黒五五七。

倉辻明義(白蛇) 二六新報社主筆兼編輯顧問。伊豆大洲(明一〇、五、二二)生。東京專門學校英語政治科、米國イリノイ、ロ一、カレシ修業。(新聞歴)横濱新報主筆、萬朝報記者、やまと新聞編輯長、帝國新報主幹、富山日報主筆、東京毎日新聞主筆。(現住)本郷彌生町三。(電話小石川二六九一)。

倉成庄八郎(青堂) 長崎民友新聞社總務部長。長崎市(明二五)生。日本大學法科卒。(新聞歴)長崎縣廳奉職後會計検査院に轉勤十四年辭し萬朝報社に入社、同年十一月現社。(趣味)讀書。(現住)長崎市東中町一五。(電話二一八九)。

倉繁義信 中央新聞社政治部。鳥取縣東伯郡西郡村(明二八、九、一)生。(現住)東京市外灘、川七五六。

日新聞記者。(現住)金澤市裏古寺町一八。(電話二七九〇)。

栗原禮二(黎兒) (三三)歳。京城日報間島支局長、國民新聞間島通信員、大阪朝日新聞間島通信員、平壤毎日新聞間島通信員。(新聞歴)京城日報、平壤毎日新聞、間島新聞、平壤毎日新聞、(主義)日蓮主義。(趣味)讀書。(現住)支那間島龍井商埠。

栗原秀松 東京朝日新聞整理部(大九、五入社)。福井縣(明二七、六)生。家族八人。東洋大學卒。(趣味)讀書。(現住)芝區高輪北町二一。(電話高輪三五四四)。

栗林勝藏(古雅) いはらき古河通信員(大七、二入社)。時事、東京日日、國民通信員、關東タイムス編輯及び經營に關係。茨城縣古河町(明二三、二)生。家族四人。早稲田大學文科講義録了、坂井久良岐氏に就て江戸文學研究、經濟學講習會入會中。(新聞歴)關東新聞古河支局長。(記事)川柳研究誌等。(思想)文化主義。(趣味)江戸文學、川柳、古典研究、心理哲學、繪畫。(現住)茨城縣古河町。(電話二二八)。

藏田正次 大阪毎日會計部長。兵庫縣多可郡松井床村(明一一、九)生。(新聞歴)明四〇年一月まで陸軍生活同年二月より大阪毎日新聞社販賣部に入社。

熊井又八郎 秋田新聞社主幹。秋田縣河邊郡(明二〇)生。(學歴)帝大法科。(新聞歴)臺灣製糖會社庶務課長。(趣味)酒。(現住)秋田市檜山裏町。

熊谷重一(練絲) 信濃時事新聞編輯主任。下伊那郡上飯田村(明三五、四、一七)生。(新聞歴)大一一一年一月信濃時事新聞社へ入社、大一一三年新聞紙法違反入獄、同年三月南信新聞社入社、一四年二月信濃時事に復社。(主義)社會主義。(現住)長野縣下伊那郡上飯田村吾妻町。(電話七一〇)。

熊谷仁一 國民新聞運動部。青森市外久栗坂(明三六、一〇、二九)生。(學歴)私立大倉商業卒、中央大學專門部中途退學(大一一二年九月)。(新聞歴)女子スポーツ記者。(趣味)運動、登山。(現住)神田區表神保町一〇秋原方。

熊澤利吉 東京朝日新聞社飯田通信員。札幌(明二三、九)生。

栗田柳一郎 讀賣新聞社校正部。群馬縣佐波郡島村(明三〇、

桑野正夫(桃華) 東京演藝通信社長。東京(明一四)生。(新聞歴)三四年やまといり其後雜誌の經營、明四〇年毎日電報に入社、東京日日に合併同社に轉じ社會部に在勤一六年にして退社。(現住)神田駿河臺鈴木町七。(電話

桑原馬之助 二六新報調査部長。

栗林貞一(春陵) 東京朝日新聞社。大和(明二五、一〇)生。(學歴)留學。(新聞歴)新大和社、浦潮日報社、大阪朝日新聞社から現在。(趣味)讀書、旅行。(現住)東京市外玉川村奥澤四一八。

三、一九)生。(學歴)日本大學美學科修業。(趣味)無產文藝。(現住)市外澁谷町中澁谷六九九。

栗山信夫(長風) 信濃日日新聞社下田支社通信部長。上田市(明一五、五、三)生。學歴)東京專門學校政治經濟科中途退學。(新聞歴)信省電信技術員、週刊佐渡民友主筆大一一〇年七月現在に入社。(趣味)讀書。(現住)上田市鷹匠町。(電話七四〇)。

栗木榮太郎(櫻雨) (五〇)歳。大連新聞社取締役副社長。(主義)親善主義。(現住)大連市神明町八。(電話八二五九)。

來問泰 (三〇)歳。東京日日政治部。東京帝國大學卒。(新聞歴)時事新報。(主義)今日主義。(趣味)煙草に讀書。(現住)東京府下落合五四。(電話牛込六三)。

神田二六六八)。

倉若梅二郎 讀賣社會部外交(大八、九入社)。越後糸魚川(明二二、一一)生。母妻子二。早大文科二年迄。(趣味)讀書、園藝、將棋。(現住)東京市外下目黒五五七。

倉辻明義(白蛇) 二六新報社主筆兼編輯顧問。伊豆大洲(明一〇、五、二二)生。東京專門學校英語政治科、米國イリノイ、ロ一、カレシ修業。(新聞歴)横濱新報主筆、萬朝報記者、やまと新聞編輯長、帝國新報主幹、富山日報主筆、東京毎日新聞主筆。(現住)本郷彌生町三。(電話小石川二六九一)。

倉成庄八郎(青堂) 長崎民友新聞社總務部長。長崎市(明二五)生。日本大學法科卒。(新聞歴)長崎縣廳奉職後會計検査院に轉勤十四年辭し萬朝報社に入社、同年十一月現社。(趣味)讀書。(現住)長崎市東中町一五。(電話二一八九)。

倉繁義信 中央新聞社政治部。鳥取縣東伯郡西郡村(明二八、九、一)生。(現住)東京市外灘、川七五六。

熊井又八郎 秋田新聞社主幹。秋田縣河邊郡(明二〇)生。(學歴)帝大法科。(新聞歴)臺灣製糖會社庶務課長。(趣味)酒。(現住)秋田市檜山裏町。

熊谷重一(練絲) 信濃時事新聞編輯主任。下伊那郡上飯田村(明三五、四、一七)生。(新聞歴)大一一一年一月信濃時事新聞社へ入社、大一一三年新聞紙法違反入獄、同年三月南信新聞社入社、一四年二月信濃時事に復社。(主義)社會主義。(現住)長野縣下伊那郡上飯田村吾妻町。(電話七一〇)。

熊谷仁一 國民新聞運動部。青森市外久栗坂(明三六、一〇、二九)生。(學歴)私立大倉商業卒、中央大學專門部中途退學(大一一二年九月)。(新聞歴)女子スポーツ記者。(趣味)運動、登山。(現住)神田區表神保町一〇秋原方。



(新聞) 静岡民友新聞 濱松支社編輯主任。(現住) 信州飯田町東京朝日新聞飯田通信部。

熊崎健一郎(二立山人) (四六歳) 時事新報社工務部長。教育家出身。(新聞) 中京新報(現名古屋新聞) 三重成功新聞、伊勢新聞、大阪新聞(明三八年)、時事新報大阪部長、内地通信部長、地方部長、調度部長、工務部長。(著書) 簡易速記術、最新速記術、新式速記術獨修、支那速記術(主義) 奮闘主義。(趣味) 謠曲、狂歌。(現住) 東京荏原郡入新井町新井宿六七一(電大森一〇〇二)。

草野茂松 國民新聞編輯局參事。(現住) 本郷區本郷五の四三。

草間貢 報知新聞北海道監督札幌支局主任(明四一入社)。信州松本(明一一) 生。私立和佛法律學校、日本大學卒。(新聞) 東京日日新聞社。(思想) 相互扶助を人類道徳の最高義と信ず。(趣味) 時折俗塵を避けて田園に遊ぶ事(政黨) 憲政會支部幹事。(現住) 札幌區北五條。

楠茂市 都新聞社會部。三重縣北牟婁郡船津村(明二四、一一、二四) 生。早稻田大學文科及社會科出身。(新聞) 早大を大五年卒業同六年現社。(趣味) 競馬、飛行機、角力、野球。(現住) 市外下目黒九四一。

楠瀬如龍(黒旋風) (四一歳) 高知新聞社主筆。(現住) 高知市西唐人町一八(電話七六〇)。

楠瀬正澄 國民新聞社會部。兵庫縣生れ。(經歷) 毎夕から國民(趣味) 探偵趣味。(現住) 池袋六一九。

菅野福一 滿洲日日新聞東京支社員。福島縣伊達郡石戸村(明二八、一一) 生。(現住) 東京市外中野町二三八。

郡場徹(秋蝶) 東奥日報社々會部長。青森市(明二〇、五) 生。(學歷) 二高。(經歷) 明四四年一月より勤続。(趣味) 圍碁、音樂、都々逸。(現住) 青森市浦町(電話二五〇)。

八尾安平 萬朝社用度係長。

矢部利茂(夢哲) (二六歳) 大阪朝日新聞社經濟部記者。神戸高等商業卒(大一二二年)。(新聞) 歷) 大正一二年四月大阪朝日新聞社經濟部入社。(主義) 基督教主義。(趣味) 古本漁り、音樂。(現住) 神戸市雲井通六丁目二七ノ二(電話三宮四三七四)。

矢部謙次郎 (四三歳) 東京放送局放送部長。郷里川越中學卒。國民英學會、早稻田大學等に學ぶ。(新聞) 二十歳の時長岡市の北越新聞に入り三月にして退社上京、國民新聞社に入り後時事に轉じ、大正八年八月千葉龜雄氏の後を受けて社會部長となり大正一二年一〇月辭職、同一年再入社社會事業部長となり同一年一月一〇日辭職。(主義) 退て半可通が嫌ひ故らに何々主義を振廻す奴が嫌ひ。(趣味) 酒(但し淺酌)、運動競技、静夜漫談。(現住) 埼玉縣浦和町字岸齒科醫學校下。

矢部周 やまと新聞整理部長。福島縣(明三〇、一〇、一) 生。同志社大學、早稻田大學各半途。(現住) 日暮里町一一〇九。

矢田義勝(掃雲) 報知新聞相談役(大四、一〇) 入社。俳句雜誌俳句と添削を發行。東京(明一五、二) 生。父と妻子六人。早稻田に學び故正岡子規に師事す。(新聞) 福島民友、九州日日、伊豫日日、藝備日日等に社説を書き劇評を書き莫々たる事茲に十六七年。(著作) 江戸から東京へ、清水次郎長、澤村田之助、相馬事件、歌川稻荷、俳句の練り方其他數種。(思想) 人を考ふるは好き、人を見るは餘り好まず。(趣味) 俳句、新聞繪、音曲、小人閑居。(現住) 東京市外大森不入斗三八四。

矢野長次 時事新報販賣部市内主任。(現住) 東京市外中野上町二七六五。

矢野正世(錦浪) 讀賣新聞營業局長。茨城縣(明二二、一) 生。妻長女。(新聞) 東京毎夕營業部長。(著作) 經濟達觀、大正柳柳、俳句大全。(趣味) 俳句と川柳。(現住) 芝區車町八。

矢野文雄 東京日日新聞社取締役副社長。(現住) 小石川區大塚仲町四一(電話小石川三七九五)。

矢野恭歩 豐州新報社中津特派員兼支局長。(明二二、一〇、三) 生。中學卒。(新聞) 日州新聞を経て大阪朝日に轉じ大正一二

年現社。(現住) 原籍大分縣中津町(電話中津五〇一)。

矢野晋也(縱横) 二六新報社々長。鳥取縣米子市道管町(三十九歳) 米子明道中學、米子中學、早稻田大學政治科。(新聞) 東京日日新聞、中央新聞を経て現社政治部長たりしが大正一三年六月前社長秋田清氏より譲られて社長となる。(趣味) 勝負事一般。(現住) 小石川區丸山町一一(電話小石川三三〇六)。

矢澤重行 南信毎日新聞社編輯部。宮城縣(明二八、五、二五) 生。武藏野學院社會事業職員養成所卒。(大一一、二、一〇)。

(新聞) 目下南信毎日新聞社在職中。(趣味) 文藝。(現住) 長野縣上伊那郡宮田村。

矢崎民造 中外商業新報社社員。山梨縣(明三三、三)。(學歷) 甲府市立商業學校卒業。(現住) 麻布區宮村町七七。

夜久義一 二六新報理事兼廣告部長。

築田欽次郎 中外商業新報事務取締役社長。(明三二、六) 入社。廣島縣(明八、八) 生。母と子。專修大學經濟部卒、中央大

學法學部修業。(現住) 牛込區二十騎町一六一(電話牛込三〇五八)。

柳原留吉 豐州新報社別府支局會計主任。大分市外萩原(明三七、六、二) 生。(新聞) 大正八年一月現社。(現住) 大分縣別府市。(電話六五七)。

柳川玄徹 大阪朝日新聞連絡部。富山縣西礪波郡若林村西中(明二六、五、二四) 生。東洋大學卒。(新聞) 大正七年東京朝日新聞整理部に入社、大正一二年七月大阪朝日新聞連絡部に轉。(現住) 兵庫縣武庫郡精道村打出芳竹目七。

柳田國男 東京朝日顧問。(現住) 牛込加賀町二ノ一六。

柳村喜一(柳村) 福井新聞政治部及び通信主任(大正一一、四) 入社。金澤市(明二五、一) 生。父母妻弟妹一男一女。獨學。新聞(歷) みくに新聞、福井新聞、大阪時事福井支局。(思想) 民本主義。(現住) 福井若松町五〇(電話一七三)。

柳澤政吉 中外商業新報社營業部。青森縣三戸郡五戸町(明二四、一〇) 生。早大法科(新聞) 歷) 大正一二年四月大阪朝日新聞社經濟部入社。(主義) 基督教主義。(趣味) 古本漁り、音樂。(現住) 神戸市雲井通六丁目二七ノ二(電話三宮四三七四)。

矢部謙次郎 (四三歳) 東京放送局放送部長。郷里川越中學卒。國民英學會、早稻田大學等に學ぶ。(新聞) 二十歳の時長岡市の北越新聞に入り三月にして退社上京、國民新聞社に入り後時事に轉じ、大正八年八月千葉龜雄氏の後を受けて社會部長となり大正一二年一〇月辭職、同一年再入社社會事業部長となり同一年一月一〇日辭職。(主義) 退て半可通が嫌ひ故らに何々主義を振廻す奴が嫌ひ。(趣味) 酒(但し淺酌)、運動競技、静夜漫談。(現住) 埼玉縣浦和町字岸齒科醫學校下。

矢部周 やまと新聞整理部長。福島縣(明三〇、一〇、一) 生。同志社大學、早稻田大學各半途。(現住) 日暮里町一一〇九。

矢田義勝(掃雲) 報知新聞相談役(大四、一〇) 入社。俳句雜誌俳句と添削を發行。東京(明一五、二) 生。父と妻子六人。早稻田に學び故正岡子規に師事す。(新聞) 福島民友、九州日日、伊豫日日、藝備日日等に社説を書き劇評を書き莫々たる事茲に十六七年。(著作) 江戸から東京へ、清水次郎長、澤村田之助、相馬事件、歌川稻荷、俳句の練り方其他數種。(思想) 人を考ふるは好き、人を見るは餘り好まず。(趣味) 俳句、新聞繪、音曲、小人閑居。(現住) 東京市外大森不入斗三八四。

矢野長次 時事新報販賣部市内主任。(現住) 東京市外中野上町二七六五。

矢野正世(錦浪) 讀賣新聞營業局長。茨城縣(明二二、一) 生。妻長女。(新聞) 東京毎夕營業部長。(著作) 經濟達觀、大正柳柳、俳句大全。(趣味) 俳句と川柳。(現住) 芝區車町八。

矢野文雄 東京日日新聞社取締役副社長。(現住) 小石川區大塚仲町四一(電話小石川三七九五)。

矢野恭歩 豐州新報社中津特派員兼支局長。(明二二、一〇、三) 生。中學卒。(新聞) 日州新聞を経て大阪朝日に轉じ大正一二

年現社。(現住) 原籍大分縣中津町(電話中津五〇一)。

矢野晋也(縱横) 二六新報社々長。鳥取縣米子市道管町(三十九歳) 米子明道中學、米子中學、早稻田大學政治科。(新聞) 東京日日新聞、中央新聞を経て現社政治部長たりしが大正一三年六月前社長秋田清氏より譲られて社長となる。(趣味) 勝負事一般。(現住) 小石川區丸山町一一(電話小石川三三〇六)。

矢澤重行 南信毎日新聞社編輯部。宮城縣(明二八、五、二五) 生。武藏野學院社會事業職員養成所卒。(大一一、二、一〇)。

田に學び故正岡子規に師事す。(新聞) 福島民友、九州日日、伊豫日日、藝備日日等に社説を書き劇評を書き莫々たる事茲に十六七年。(著作) 江戸から東京へ、清水次郎長、澤村田之助、相馬事件、歌川稻荷、俳句の練り方其他數種。(思想) 人を考ふるは好き、人を見るは餘り好まず。(趣味) 俳句、新聞繪、音曲、小人閑居。(現住) 東京市外大森不入斗三八四。

矢野長次 時事新報販賣部市内主任。(現住) 東京市外中野上町二七六五。

矢野正世(錦浪) 讀賣新聞營業局長。茨城縣(明二二、一) 生。妻長女。(新聞) 東京毎夕營業部長。(著作) 經濟達觀、大正柳柳、俳句大全。(趣味) 俳句と川柳。(現住) 芝區車町八。

矢野文雄 東京日日新聞社取締役副社長。(現住) 小石川區大塚仲町四一(電話小石川三七九五)。

矢野恭歩 豐州新報社中津特派員兼支局長。(明二二、一〇、三) 生。中學卒。(新聞) 日州新聞を経て大阪朝日に轉じ大正一二

年現社。(現住) 原籍大分縣中津町(電話中津五〇一)。

矢野晋也(縱横) 二六新報社々長。鳥取縣米子市道管町(三十九歳) 米子明道中學、米子中學、早稻田大學政治科。(新聞) 東京日日新聞、中央新聞を経て現社政治部長たりしが大正一三年六月前社長秋田清氏より譲られて社長となる。(趣味) 勝負事一般。(現住) 小石川區丸山町一一(電話小石川三三〇六)。

矢澤重行 南信毎日新聞社編輯部。宮城縣(明二八、五、二五) 生。武藏野學院社會事業職員養成所卒。(大一一、二、一〇)。

(新聞) 目下南信毎日新聞社在職中。(趣味) 文藝。(現住) 長野縣上伊那郡宮田村。

矢崎民造 中外商業新報社社員。山梨縣(明三三、三)。(學歷) 甲府市立商業學校卒業。(現住) 麻布區宮村町七七。

夜久義一 二六新報理事兼廣告部長。

築田欽次郎 中外商業新報事務取締役社長。(明三二、六) 入社。廣島縣(明八、八) 生。母と子。專修大學經濟部卒、中央大

學法學部修業。(現住) 牛込區二十騎町一六一(電話牛込三〇五八)。

柳原留吉 豐州新報社別府支局會計主任。大分市外萩原(明三七、六、二) 生。(新聞) 大正八年一月現社。(現住) 大分縣別府市。(電話六五七)。

柳川玄徹 大阪朝日新聞連絡部。富山縣西礪波郡若林村西中(明二六、五、二四) 生。東洋大學卒。(新聞) 大正七年東京朝日新聞整理部に入社、大正一二年七月大阪朝日新聞連絡部に轉。(現住) 兵庫縣武庫郡精道村打出芳竹目七。

柳田國男 東京朝日顧問。(現住) 牛込加賀町二ノ一六。

柳村喜一(柳村) 福井新聞政治部及び通信主任(大正一一、四) 入社。金澤市(明二五、一) 生。父母妻弟妹一男一女。獨學。新聞(歷) みくに新聞、福井新聞、大阪時事福井支局。(思想) 民本主義。(現住) 福井若松町五〇(電話一七三)。

柳澤政吉 中外商業新報社營業部。青森縣三戸郡五戸町(明二四、一〇) 生。早大法科(新聞) 歷) 大正一二年四月大阪朝日新聞社經濟部入社。(主義) 基督教主義。(趣味) 古本漁り、音樂。(現住) 神戸市雲井通六丁目二七ノ二(電話三宮四三七四)。

矢部謙次郎 (四三歳) 東京放送局放送部長。郷里川越中學卒。國民英學會、早稻田大學等に學ぶ。(新聞) 二十歳の時長岡市の北越新聞に入り三月にして退社上京、國民新聞社に入り後時事に轉じ、大正八年八月千葉龜雄氏の後を受けて社會部長となり大正一二年一〇月辭職、同一年再入社社會事業部長となり同一年一月一〇日辭職。(主義) 退て半可通が嫌ひ故らに何々主義を振廻す奴が嫌ひ。(趣味) 酒(但し淺酌)、運動競技、静夜漫談。(現住) 埼玉縣浦和町字岸齒科醫學校下。

矢部周 やまと新聞整理部長。福島縣(明三〇、一〇、一) 生。同志社大學、早稻田大學各半途。(現住) 日暮里町一一〇九。

矢田義勝(掃雲) 報知新聞相談役(大四、一〇) 入社。俳句雜誌俳句と添削を發行。東京(明一五、二) 生。父と妻子六人。早稻田に學び故正岡子規に師事す。(新聞) 福島民友、九州日日、伊豫日日、藝備日日等に社説を書き劇評を書き莫々たる事茲に十六七年。(著作) 江戸から東京へ、清水次郎長、澤村田之助、相馬事件、歌川稻荷、俳句の練り方其他數種。(思想) 人を考ふるは好き、人を見るは餘り好まず。(趣味) 俳句、新聞繪、音曲、小人閑居。(現住) 東京市外大森不入斗三八四。

矢野長次 時事新報販賣部市内主任。(現住) 東京市外中野上町二七六五。

矢野正世(錦浪) 讀賣新聞營業局長。茨城縣(明二二、一) 生。妻長女。(新聞) 東京毎夕營業部長。(著作) 經濟達觀、大正柳柳、俳句大全。(趣味) 俳句と川柳。(現住) 芝區車町八。

矢野文雄 東京日日新聞社取締役副社長。(現住) 小石川區大塚仲町四一(電話小石川三七九五)。

矢野恭歩 豐州新報社中津特派員兼支局長。(明二二、一〇、三) 生。中學卒。(新聞) 日州新聞を経て大阪朝日に轉じ大正一二

年現社。(現住) 原籍大分縣中津町(電話中津五〇一)。

矢野晋也(縱横) 二六新報社々長。鳥取縣米子市道管町(三十九歳) 米子明道中學、米子中學、早稻田大學政治科。(新聞) 東京日日新聞、中央新聞を経て現社政治部長たりしが大正一三年六月前社長秋田清氏より譲られて社長となる。(趣味) 勝負事一般。(現住) 小石川區丸山町一一(電話小石川三三〇六)。

矢澤重行 南信毎日新聞社編輯部。宮城縣(明二八、五、二五) 生。武藏野學院社會事業職員養成所卒。(大一一、二、一〇)。

(新聞) 目下南信毎日新聞社在職中。(趣味) 文藝。(現住) 長野縣上伊那郡宮田村。

矢崎民造 中外商業新報社社員。山梨縣(明三三、三)。(學歷) 甲府市立商業學校卒業。(現住) 麻布區宮村町七七。

夜久義一 二六新報理事兼廣告部長。

築田欽次郎 中外商業新報事務取締役社長。(明三二、六) 入社。廣島縣(明八、八) 生。母と子。專修大學經濟部卒、中央大

學法學部修業。(現住) 牛込區二十騎町一六一(電話牛込三〇五八)。

柳原留吉 豐州新報社別府支局會計主任。大分市外萩原(明三七、六、二) 生。(新聞) 大正八年一月現社。(現住) 大分縣別府市。(電話六五七)。

柳川玄徹 大阪朝日新聞連絡部。富山縣西礪波郡若林村西中(明二六、五、二四) 生。東洋大學卒。(新聞) 大正七年東京朝日新聞整理部に入社、大正一二年七月大阪朝日新聞連絡部に轉。(現住) 兵庫縣武庫郡精道村打出芳竹目七。

柳田國男 東京朝日顧問。(現住) 牛込加賀町二ノ一六。

柳村喜一(柳村) 福井新聞政治部及び通信主任(大正一一、四) 入社。金澤市(明二五、一) 生。父母妻弟妹一男一女。獨學。新聞(歷) みくに新聞、福井新聞、大阪時事福井支局。(思想) 民本主義。(現住) 福井若松町五〇(電話一七三)。

柳澤政吉 中外商業新報社營業部。青森縣三戸郡五戸町(明二四、一〇) 生。早大法科(新聞) 歷) 大正一二年四月大阪朝日新聞社經濟部入社。(主義) 基督教主義。(趣味) 古本漁り、音樂。(現住) 神戸市雲井通六丁目二七ノ二(電話三宮四三七四)。

矢部謙次郎 (四三歳) 東京放送局放送部長。郷里川越中學卒。國民英學會、早稻田大學等に學ぶ。(新聞) 二十歳の時長岡市の北越新聞に入り三月にして退社上京、國民新聞社に入り後時事に轉じ、大正八年八月千葉龜雄氏の後を受けて社會部長となり大正一二年一〇月辭職、同一年再入社社會事業部長となり同一年一月一〇日辭職。(主義) 退て半可通が嫌ひ故らに何々主義を振廻す奴が嫌ひ。(趣味) 酒(但し淺酌)、運動競技、静夜漫談。(現住) 埼玉縣浦和町字岸齒科醫學校下。

矢部周 やまと新聞整理部長。福島縣(明三〇、一〇、一) 生。同志社大學、早稻田大學各半途。(現住) 日暮里町一一〇九。

矢田義勝(掃雲) 報知新聞相談役(大四、一〇) 入社。俳句雜誌俳句と添削を發行。東京(明一五、二) 生。父と妻子六人。早稻田に學び故正岡子規に師事す。(新聞) 福島民友、九州日日、伊豫日日、藝備日日等に社説を書き劇評を書き莫々たる事茲に十六七年。(著作) 江戸から東京へ、清水次郎長、澤村田之助、相馬事件、歌川稻荷、俳句の練り方其他數種。(思想) 人を考ふるは好き、人を見るは餘り好まず。(趣味) 俳句、新聞繪、音曲、小人閑居。(現住) 東京市外大森不入斗三八四。

山主俊夫(宇宙) 中央新聞社整理部。山梨縣甲府市(二二歳)。(學歷) 甲府中學校卒業、佛蘭西語專修學校卒業。(主義) 徹底、宇宙主義。(趣味) 何でも來い。(現住) 東京市外淀橋町柏木九九清水岩藏方。

山川信男 時事新聞連絡部(大一一、五) 入社。東京(明三四、二) 生。(事業) 速記事務所、文藝、雜誌怒濤發行。(趣味) 音樂、運動。(現住) 芝區濱松町三ノ二一(電話芝四九二二)。

山川傳之助(智應) 天業民報社長兼主筆。大阪(明一一、三、一六) 生。田中智學先生門人。(經歷) 小學教師、妙宗記者、國振會講師、月刊日蓮主義、國柱新聞編輯長。(著書) 和譯法舞、日蓮聖人傳十講等十餘種。(現住) 東京市下谷區上根岸七三。

山川瑞二 國民新聞取締役。熊本縣下天草郡島子村。明元年九月。(新聞) 明治二五年入社。(現住) 麻布區仲の町四(電話青山六四五五)。

山田封介(那字夢) 浦潮日報露字紙主筆(大七、七) 入社。福岡縣(明二二、一二) 生。正教神學校出

(新聞) 静岡民友新聞 濱松支社編輯主任。(現住) 信州飯田町東京朝日新聞飯田通信部。

熊崎健一郎(二立山人) (四六歳) 時事新報社工務部長。教育家出身。(新聞) 中京新報(現名古屋新聞) 三重成功新聞、伊勢新聞、大阪新聞(明三八年)、時事新報大阪部長、内地通信部長、地方部長、調度部長、工務部長。(著書) 簡易速記術、最新速記術、新式速記術獨修、支那速記術(主義) 奮闘主義。(趣味) 謠曲、狂歌。(現住) 東京荏原郡入新井町新井宿六七一(電大森一〇〇二)。

草野茂松 國民新聞編輯局參事。(現住) 本郷區本郷五の四三。

草間貢 報知新聞北海道監督札幌支局主任(明四一入社)。信州松本(明一一) 生。私立和佛法律學校、日本大學卒。(新聞) 東京日日新聞社。(思想) 相互扶助を人類道徳の最高義と信ず。(趣味) 時折俗塵を避けて田園に遊ぶ事(政黨) 憲政會支部幹事。(現住) 札幌區北五條。

楠茂市 都新聞社會部。三重縣北牟婁郡船津村(明二四、一一、二四) 生。早稻田大學文科及社會科出身。(新聞) 早大を大五年卒業同六年現社。(趣味) 競馬、飛行機、角力、野球。(現住) 市外下目黒九四一。

楠瀬如龍(黒旋風) (四一歳) 高知新聞社主筆。(現住) 高知市西唐人町一八(電話七六〇)。

楠瀬正澄 國民新聞社會部。兵庫縣生れ。(經歷) 毎夕から國民(趣味) 探偵趣味。(現住) 池袋六一九。

菅野福一 滿洲日日新聞東京支社員。福島縣伊達郡石戸村(明二八、一一) 生。(現住) 東京市外中野町二三八。

郡場徹(秋蝶) 東奥日報社々會部長。青森市(明二〇、五) 生。(學歷) 二高。(經歷) 明四四年一月より勤続。(趣味) 圍碁、音樂、都々逸。(現住) 青森市浦町(電話二五〇)。

八尾安平 萬朝社用度係長。

矢部利茂(夢哲) (二六歳) 大阪朝日新聞社經濟部記者。神戸高等商業卒(大一二二年)。(新聞) 歷) 大正一二年四月大阪朝日新聞社經濟部入社。(主義) 基督教主義。(趣味) 古本漁り、音樂。(現住) 神戸市雲井通六丁目二七ノ二(電話三宮四三七四)。

矢部謙次郎 (四三歳) 東京放送局放送部長。郷里川越中學卒。國民英學會、早稻田大學等に學ぶ。(新聞) 二十歳の時長岡市の北越新聞に入り三月にして退社上京、國民新聞社に入り後時事に轉じ、大正八年八月千葉龜雄氏の後を受けて社會部長となり大正一二年一〇月辭職、同一年再入社社會事業部長となり同一年一月一〇日辭職。(主義) 退て半可通が嫌ひ故らに何々主義を振廻す奴が嫌ひ。(趣味) 酒(但し淺酌)、運動競技、静夜漫談。(現住) 埼玉縣浦和町字岸齒科醫學校下。

矢部周 やまと新聞整理部長。福島縣(明三〇、一〇、一) 生。同志社大學、早稻田大學各半途。(現住) 日暮里町一一〇九。

矢田義勝(掃雲) 報知新聞相談役(大四、一〇) 入社。俳句雜誌俳句と添削を發行。東京(明一五、二) 生。父と妻子六人。早稻田に學び故正岡子規に師事す。(新聞) 福島民友、九州日日、伊豫日日、藝備日日等に社説を書き劇評を書き莫々たる事茲に十六七年。(著作) 江戸から東京へ、清水次郎長、澤村田之助、相馬事件、歌川稻荷、俳句の練り方其他數種。(思想) 人を考ふるは好き、人を見るは餘り好まず。(趣味) 俳句、新聞繪、音曲、小人閑居。(現住) 東京市外大森不入斗三八四。

矢野長次 時事新報販賣部市内主任。(現住) 東京市外中野上町二七六五。

矢野正世(錦浪) 讀賣新聞營業局長。茨城縣(明二二、一) 生。妻長女。(新聞) 東京毎夕營業部長。(著作) 經濟達觀、大正柳柳、俳句大全。(趣味) 俳句と川柳。(現住) 芝區車町八。

矢野文雄 東京日日新聞社取締役副社長。(現住) 小石川區大塚仲町四一(電話小石川三七九五)。

矢野恭歩 豐州新報社中津特派員兼支局長。(明二二、一〇、三) 生。中學卒。(新聞) 日州新聞を経て大阪朝日に轉じ大正一二

年現社。(現住) 原籍大分縣中津町(電話中津五〇一)。

矢野晋也(縱横) 二六新報社々長。鳥取縣米子市道管町(三十九歳) 米子明道中學、米子中學、早稻田大學政治科。(新聞) 東京日日新聞、中央新聞を経て現社政治部長たりしが大正一三年六月前社長秋田清氏より譲られて社長となる。(趣味) 勝負事一般。(現住) 小石川區丸山町一一(電話小石川三三〇六)。

矢澤重行 南信毎日新聞社編輯部。宮城縣(明二八、五、二五) 生。武藏野學院社會事業職員養成所卒。(大一一、二、一〇)。

(新聞) 目下南信毎日新聞社在職中。(趣味) 文藝。(現住) 長野縣上伊那郡宮田村。

矢崎民造 中外商業新報社社員。山梨縣(明三三、三)。(學歷) 甲府市立商業學校卒業。(現住) 麻布區宮村町七七。

夜久義一 二六新報理事兼廣告部長。

築田欽次郎 中外商業新報事務取締役社長。(明三二、六) 入社。廣島縣(明八、八) 生。母と子。專修大學經濟部卒、中央大

學法學部修業。(現住) 牛込區二十騎町一六一(電話牛込三〇五八)。

柳原留吉 豐州新報社別府支局會計主任。大分市外萩原(明三七、六、二) 生。(新聞) 大正八年一月現社。(現住) 大分縣別府市。(電話六五七)。

柳川玄徹 大阪朝日新聞連絡部。富山縣西礪波郡若林村西中(明二六、五、二四) 生。東洋大學卒。(新聞) 大正七年東京朝日新聞整理部に入社、大正一二年七月大阪朝日新聞連絡部に轉。(現住) 兵庫縣武庫郡精道村打出芳竹目七。

柳田國男 東京朝日顧問。(現住) 牛込加賀町二ノ一六。

柳村喜一(柳村) 福井新聞政治部及び通信主任(大正一一、四) 入社。金澤市(明二五、一) 生。父母妻弟妹一男一女。獨學。新聞(歷) みくに新聞、福井新聞、大阪時事福井支局。(思想) 民本主義。(現住) 福井若松町五〇(電話一七三)。

柳澤政吉 中外商業新報社營業部。青森縣三戸郡五戸町(明二四、一〇) 生。早大法科(新聞) 歷) 大正一二年四月大阪朝日新聞社經濟部入社。(主義) 基督教主義。(趣味) 古本漁り、音樂。(現住) 神戸市雲井通六丁目二七ノ二(電話三宮四三七四)。

矢部謙次郎 (四三歳) 東京放送局放送部長。郷里川越中學卒。國民英學會、早稻田大學等に學ぶ。(新聞) 二十歳の時長岡市の北越新聞に入り三月にして退社上京、國民新聞社に入り後時事に轉じ、大正八年八月千葉龜雄氏の後を受けて社會部長となり大正一二年一〇月辭職、同一年再入社社會事業部長となり同一年一月一〇日辭職。(主義) 退て半可通が嫌ひ故らに何々主義を振廻す奴が嫌ひ。(趣味) 酒(但し淺酌)、運動競技、静夜漫談。(現住) 埼玉縣浦和町字岸齒科醫學校下。

矢部周 やまと新聞整理部長。福島縣(明三〇、一〇、一) 生。同志社大學、早稻田大學各半途。(現住) 日暮里町一一〇九。

矢田義勝(掃雲) 報知新聞相談役(大四、一〇) 入社。俳句雜誌俳句と添削を發行。東京(明一五、二



身。(著作)オプロローブ、電造手形、思想、基督教主義。(趣味)音楽、繪畫。(現住)浦田市マルケロフスキー、ヘルソック五。(電話)二〇一四。

山田徳三(似愚) 京華社外務員。東京(明二七、二)生。大倉商業學校。(經歷)内田造船會社を経て現社。(趣味)清元、演藝、散步。(現住)東京府下平塚村小山一。

山田直一 長野新聞社東京支局。山口縣(明二七、八)生。(學歷)中學卒業。(經歷)大、四、三入社。(主義)努力主義。(趣味)音楽。(現住)東京市芝區櫻川町四。(電話)青山七二〇〇。

山田大介 大阪朝日新聞社。(新聞歴)學校を出ると直ぐ大阪朝日に入社しました。履歴といふ程のものはありません。(主義)自由主義。(現住)大阪市外田邊町字松原。

山田寛司 時事新聞社會部記者。静岡縣榛原郡五和村(明三四、六)生。慶應義塾法學部卒。(新聞歴)大正一四年三月入社。(趣味)旅行、演藝。(現住)芝區二本槇一ノ二〇。

山田文吾 都新聞政治部編輯。横濱(明一九、一)生。日本大學。(新聞歴)東京評論、横濱日報、横濱毎日新聞、自治新聞、大勢新聞。(現住)府下荏原郡平塚村戸越六八〇。

山田好文(司海) 満日社會部長(明二五、二、一五)生。(新聞歴)萬朝報、報知社會部。(趣味)自然に親しむ事。

山田公一(樂天) 岐阜日日客員(大一一、入社)。岐阜縣(明一九、八)生。(新聞歴)萬朝報、臺灣日日、臺南新報、遼東日報、神戸新聞、名古屋毎日、濃飛日報。(趣味)心靈研究、藝術。(現住)岐阜市西野町三。(電話)一二三三。

山田公二(民聲) 嶺南新聞經營、元若狹新報殘務整理。富山市(明二五、四)生。母(新聞歴)福井民友其他數社。(趣味)飲酒、政談。(政黨)政友本黨。(現住)福井縣小濱町。(電二三三)。

山田三郎 やまと新聞社商況部。東京(明三九、一、一三)生。(現住)府下大井町海邊二六〇九。

山田奇作(晚華) 信濃日報編輯。長野縣下高井郡湯田中温泉(明二二、一、二三)生。尋常高等小學校卒、補習二年修業、通信講習所卒。(新聞歴)明三八年より四五年迄通信事業に従事、大正元年より三年迄北信新報記者、同五年九月現社。(趣味)軟運動、書畫寫真、草花。(現住)松本市地藏清水町九。(電話)一〇九〇。

山田清磨 やまと新聞横須賀支局長(明一八、七)生。明治大學政治科。(新聞歴)新聞記者たる事十六年大阪、九州等の新聞を経て大正四年十二月東京毎夕に入り横濱支局長、東京大勢新聞横濱支局長、震災後現社に。(現住)横須賀市若松町四〇。

山田金次郎 青森市東奥日報社長兼主筆。青森市(明一八、一、三)生。(學歷)早稻田大學專門部政治經濟科。(經歷)明三九、一より勤続。(現住)青森市浦町字野脇四一。(電話)一〇二四)。

山田勇雄(石羊) 京城日報社會部長。宇都宮市(明二四、九)生。(新聞歴)報知新聞を振出しに中央、大正日日、大阪毎日、國民、中外商業。(趣味)新聞を作る。

山田清磨 やまと新聞横須賀支局長(明一八、七)生。明治大學政治科。(新聞歴)新聞記者たる事十六年大阪、九州等の新聞を経て大正四年十二月東京毎夕に入り横濱支局長、東京大勢新聞横濱支局長、震災後現社に。(現住)横須賀市若松町四〇。

山田金次郎 青森市東奥日報社長兼主筆。青森市(明一八、一、三)生。(學歷)早稻田大學專門部政治經濟科。(經歷)明三九、一より勤続。(現住)青森市浦町字野脇四一。(電話)一〇二四)。

山田勇雄(石羊) 京城日報社會部長。宇都宮市(明二四、九)生。(新聞歴)報知新聞を振出しに中央、大正日日、大阪毎日、國民、中外商業。(趣味)新聞を作る。

山田清磨 やまと新聞横須賀支局長(明一八、七)生。明治大學政治科。(新聞歴)新聞記者たる事十六年大阪、九州等の新聞を経て大正四年十二月東京毎夕に入り横濱支局長、東京大勢新聞横濱支局長、震災後現社に。(現住)横須賀市若松町四〇。

と。(現住)京城日報社内。

山田豊(華邦) 長野新聞社東京支局長。岐阜縣本巣郡七郷村(明一二、九)生。(學歷)關西法律學校。(經歷)裁判所書記、南信日日新聞、信濃日報、長野新聞社編輯局に二〇年勤続し一四年二月東京支局長となる。(主義)皇室中心。(趣味)禽鳥飼養。(現住)東京市芝區西久保巴町四五。(電話)青山七二〇〇。

山田七五三太 シヤパンダグアタイザイ記者。群馬縣福島町(明二七、五)生。米國エール大學グラデュエイト、スクール出身(大正一〇年)。(新聞歴)シヤパンタイムズ記者(自大正一一年至一三年)。(趣味)運動、テニス、讀書。(現住)東京市外中津谷四〇二)。

山田静蒨 やまと新聞外交部記者。群馬縣(三三、七)生。(學歷)申上げるものなし。(經歷)上毛新聞、中央新聞、やまと大阪支局。(主義)御都合主義。(趣味)何でも御座れ。(現住)淺草橋場町二三七)。

山田潤二(四二歳) 大阪毎日庶務部長。東京帝國大學法科卒

連綿部。聯絡係主任。(明三八、三入社)。丹後(明九、六)生。家族母妻弟。都文館中學出身以後、獨學(著述)創作あるも數多くて一々記憶せず。(現住)大阪府西成郡玉出町五九〇)。

山口正(忍非郎) 大阪帝國通信社(明二三、三、二〇)生。(學歷)天理教中學卒業。(經歷)天理教導職、水産新聞理事、邁進社を経て現在に至る。(主義)事勿れ。趣味、俳三味。(現住)大阪市住吉區南田邊。(電話)平ノ七四七四)。

山口普英(苦峰) 日本電報通信社名古屋支局主任。熊本縣菊池(明一五、一、一)生。遠江晚香齋漢學塾に於て漢學並に普通學を學びしことあり。(新聞歴)小學校教育に従事すること約十年明治四〇年現社。(趣味)讀書旅行。(現住)名古屋市外守山町文化村)。

山口福太郎 都新聞社記者。東京市本所區番場町(明三一、一、一)生。東京市立商業學校卒。(新聞歴)中央新聞社。(趣味)旅行と繪畫と俳句。(現住)市外澁の川町中里四一二)。

山口鼎太郎 日本新聞社會部

山口信雄(霧汀) 大阪朝日新聞

山口恒太郎 中央新聞副社長。東京通信社長。(現住)麻布區市兵衛町一ノ一一。(電話)青山一八五一)。

山口利男(小夜男) 臺灣新聞社會部長。東京(明二六、八、一六)生。東京東洋商業學校修業、慶大半途退學。(新聞歴)中國民報社、日本電報通信社より現職に。趣味劇と創作の讀書(現住)臺中市壽町一の五四〇。(電話)三〇〇〇)。

山口恒太郎 中央新聞副社長。東京通信社長。(現住)麻布區市兵衛町一ノ一一。(電話)青山一八五一)。

山口信雄(霧汀) 大阪朝日新聞

山口恒太郎 中央新聞副社長。東京通信社長。(現住)麻布區市兵衛町一ノ一一。(電話)青山一八五一)。

山口信雄(霧汀) 大阪朝日新聞

山口恒太郎 中央新聞副社長。東京通信社長。(現住)麻布區市兵衛町一ノ一一。(電話)青山一八五一)。

山口信雄(霧汀) 大阪朝日新聞

山口恒太郎 中央新聞副社長。東京通信社長。(現住)麻布區市兵衛町一ノ一一。(電話)青山一八五一)。

山口信雄(霧汀) 大阪朝日新聞

山口恒太郎 中央新聞副社長。東京通信社長。(現住)麻布區市兵衛町一ノ一一。(電話)青山一八五一)。

山口信雄(霧汀) 大阪朝日新聞

山口恒太郎 中央新聞副社長。東京通信社長。(現住)麻布區市兵衛町一ノ一一。(電話)青山一八五一)。

業。(新聞歴)大正一一年七月大毎に入社。(著書)伯林脱出記、赤心録。(現住)兵庫縣蘆屋)。

山田威(晚夏) 大阪毎日新聞社山陰通信部(大正一二、一入社)。雲州松江(明二八、二)生。妻一男一女。(新聞歴)大正日日、山陰日日。(思想)新時代主義。(趣味)短歌、音楽を聞く事、口笛を吹く事。(現住)松江市内中原)。

山谷宗車(薰風) (三七歳) 太陽新聞社長。中學校卒業。明治四〇年以來販賣並に編輯に携る。(主義)皇室中心主義。(趣味)旅行、演説。(現住)静岡縣島田町。(電話)一一九)。

山根文雄(越城) 京都日日新聞主幹、神戸新聞社取締役、長崎新聞社取締役。徳島縣(明一五、二)生。(現住)京都市上京區梨木町廣小路上ル。(電話)上八六〇番)。

山根輝男 シヤパンアンドウツアムイサー社。神戸(明二七、四)生。神戸商業學校卒。(經歷)三菱會社。(趣味)句。(現住)府下下戸塚五七二)。

山根眞治郎 國民新聞編輯局長。山口縣(明一七、九)生。(學

歷)中央大學卒業。(經歷)時事、中央、國民。(現住)青山高樹町三。(電話)青山一八八)。

山村喬樹(嶺雪、溪花) 天業民報社編輯局。山口縣下關市出生(明二六、七、四)生。法科出身。(新聞歴)東京朝日新聞社會部。(趣味)文藝、旅行。(現住)市外田端五三八)。

山内清 東方通信受信主任。(大九、八入社)。熊本(明一一、五)生。家族妻と子供三人。東京中央大學經濟科卒業。(新聞歴)大阪朝日外國通信部。大正日日同上。(思想)民本主義。(趣味)特別になし。(政黨)なし。(現住)東京市外大久保百人町二三八)。

山浦乾太郎 都新聞社第三部長。日本橋區兜町(明一七、二、二五)生。麻布森本町飯倉小學校出身。(新聞歴)環紗屋の小僧を三年それから二〇歳の歳現社へ。(現住)市外西大久保三三三)。

山浦貫一(山水甫) 東京日日新聞政治部(明二六、三、二〇)生。(經歷)時事新報より現社。(現住)東京市外大森不入斗五六六(電話)大森一一五〇)。

山野好恭 帝國新報社主。岡山

山根眞治郎 國民新聞編輯局長。山口縣(明一七、九)生。(學



長。茨城縣(明一八、一、一)生。早稻田大學英文科卒業(新聞歴)明四二年現社。(趣味)盆栽。(現住)府下瀧の川町上中里六二。(電話)小石川六二八〇。

**山口喜一**(政民) 北海タイムス編輯局長兼營業局長。(明四〇、八入社)。福島縣下(明一四、一)生。家族七人同志社。明治學院。東京政治學校。(新聞歴)信濃實業主筆會津日主筆、北海旭主筆。(著作)煙草非官營論、政民策論。(思想)國家社會主義。(趣味)武藝。(現住)札幌區山鼻町二五。(電)一〇四七。

**山口喬** 帝國通信外報部主任。山口晴盈 靜岡新報社政治部長。靜岡縣磐田郡田原村(明三五、四、二八)生。(新聞歴)中央新聞を経て大正五年時事新報に入り同一年同社甲府支局長となる。同一年一月現社。(現住)靜岡市一番町一二五。

**山口宏** 靜岡民友新聞社々會部外交記者。岩手縣盛岡市(明三七、三)生。(新聞歴)電氣職工講習所の先生。(現住)靜岡市音羽町二〇五。

**山崎房藏**(英泉) 京都日出新聞社、政治經濟部長、編輯長代理。京都府加佐郡國田中村字河原(明一五、一〇)生。(經歷)德島日日新聞、京都通信、大正日日新聞等に在勤したとあり。(主義)人類同胞の共存共榮、平和。(趣味)讀書と散策。(現住)京都市上京區吉田西河原町五番地。(電話)上八四〇番。

**山崎好平**(四十七歳) 大阪朝日新聞社山陰販賣事務所(新聞歴)山陰販賣事務所、大阪朝日新聞社社員(著書)酒類醬油容器端石數表、專賣特許、山崎式泡盛測定器。(趣味)書畫、骨董。(現住)松江市堅町一三(電話)七二二)。

**山崎光次郎**(四十二歳) 前東京朝日新聞政治部長。山崎照道(五十一歳) 帝國新報專務理事。東洋英和學校卒業。(新聞歴)ニユーヨークヘラルド乃至米國聯合通信社員。北海道日新聞乃至北海道報專務理事兼主筆。(著書)ルーズベルト全集、クローメル傳、醜日本奮闘的教訓、日蓮主義雜著など。(主義)日蓮主義。(趣味)法華三昧。(現住)東京市外柏木大町一〇一〇。(電話)大手二五八)。

**山崎傳之助**(霞舟) 和歌山日日新聞社長。印刷業。和歌山縣勞動共益會々長。山梨(明六、六)生。家族三人。日本大學卒業。(政黨)憲政會。(現住)和歌山市四番町一。(電話)六八五、一九二八)。

**山崎在**(小浪) 土陽新聞社地方部長。高知縣長岡郡新改村。(明一九、八、六)生。(學歷)中學五年修業中退學。(經歷)現社に入りて足掛九年。(主義)無信仰、生前一杯酒。(趣味)讀書第一、圍碁、酒等。(現住)高知市潮江七町)。

**山崎義人**(大踏野人) 東京毎夕新聞社外交部遊軍。高崎市(明三三、三)生。(學歷)中央大學法學部。(經歷)雜誌、通信、新聞記者。(趣味)旅行。(現住)市外高田町下田一四二)。

**山崎秀永**(三省) 中外商業新報社足利通信部。栃木縣足利郡御厨町(明一二、八、二七)生。(趣味)養鷄、釣魚、統計。(現住)足利市永樂町三六二四)。

**山下石藏**(曉汀) 丹州時報社編輯長。舞鶴(明二三、五、九)生。(經歷)初めから現社。(主義)皇室國家中心。(趣味)釣、野球。(現住)舞鶴町字南田邊)。

**山下敏夫** 報知新聞廣告部長。山本地榮 東京朝日社會部。山梨縣(明三三、一)生。東京外國語學校卒業。(新聞歴)大正十二年四月現社。(趣味)長唄。(現住)府下下落合五三二)。

**山本諒一**(柳葉) (四十六歳) やまと新聞社地方編輯部長。記すべき事なし、藥學に志し中途より文筆にたづさる(新聞歴)二六新報、東京日日新聞、新潟毎日新聞、新發田新聞、やまと新聞。(著作)は多く月々の雜誌にあり。著書は古いものに袖屏風等。(趣味)芝居。(現住)市外日暮里一〇八八。(電話)下谷二二一〇)。

**山本常太郎**(常君) 神戸又新日報社會部長(明三六、八入社)。神戸市(明一四、七)生。(現住)神戸市平野馬場町三二八(電話)元町二三五三)。

**山本猛一** 時事新報社山形支局勤務。長野縣上田市(明三五、三)生。(新聞歴)大正十二年信濃毎日新聞社入社、同十四年一月退社、同年二月現社。(趣味)運動、文藝。(現住)山形市旅籠町石塚旅館方(電話)五三三五)。

**山本馬太郎**(華村) 北海タイムス社支局長(明四二、七入社)。高知縣(明一〇、一)生。家族六人。泰平學校卒。(新聞歴)北島新報。北門新報。中央拓殖新報。(思想)これは云はれぬ。(趣味)論曲、演藝、生花、庭園。(政黨)政友會。(現住)北海道北見國網走町。(電話)三〇〇)。

**山本政常** 日本新聞聯合社發送部主任。

**山本實一** 中國新聞社社長(大五、入社)。廣島縣(明二三、五)生。妻男二。中學卒。第六高等學校二年卒。帝大農科大學二年修了。(新聞歴)入社後一年營業局。一年編輯。(事業)農村振興に盡力す。(思想)皇室中心主義。(趣味)野球、乘馬。(現住)廣島市竹屋町。(電話)七七五)。

**山本周二**(舊姓中村) 名古屋新聞編輯整理委員。大正三、七、八社。(明二五、三、二)生。家族妻。(現住)名古屋市中區下堅杉町二一〇)。

**山本信博** 都新聞社編輯局長。愛媛縣松山市(明一〇、一二)生。(學歷)東京帝國大學政治科卒業(明治三十六年)。(經歷)明三八都新聞社に入社、勤續(現住)大

森新井宿一五六四。(電話)大森九〇六)。

**山本信太郎**(奎兵衛廣洋) (四〇歳) 神戸新聞社漫畫記者、姫路中學校卒、東京美術學校卒(新聞歴)神戸又新日報社より神戸新聞社に入る。(主義)漫畫主義。(趣味)酒と女。(現住)神戸市西代下西谷一)。

**山本慎平**(聖峰) 長野新聞主筆(明三四、七入社)。代議士。長野縣稻荷山町(明九、一)生。妻と子供四人。早稻田大學及び國民英學會文學科著作。現代思想。新農村論、嘲罵錄等。(思想)支配力の變移。(趣味)哲學。(政黨)政友會。(現住)長野縣稻荷山町)。

**山本樵**(敬朗) 中國日報夕刊社會編輯主任。岡山(三〇、一)生。(學歷)天城中學校、日本大學(經歷)山陽新報、岡山新聞、岡山日日新聞。(主義)廢酒。(趣味)寫真、燒票蒐集。(現住)岡山縣妹尾町東壽。(電話)妹尾八〇一)。

**山本昌一**(嵩南) 時事新報社取締役。山口縣阿武郡須佐町(慶應元、一二)生。慶應義塾卒。(新聞歴)明治二十九年三月時事新

報社に入る、三十八年五月同社合名組織となるや業務擔當社員となり、大正九年五月更に株式組織となるや取締役となる。同十二年六月病の爲め常務を辭し現在に至る。(趣味)讀書と漢詩。(現住)東京府下、入新井町新井宿子母澤九一三。(電話)大森五一七)。

**山本精一** 木浦新報社記者(編輯局長)。山口縣(明一八、八)生。(經歷)少年時代より新聞事業に關係し現社に既に滿十一年勤續せり。(主義)人類相愛。(趣味)碁、銃獵、謡。(現住)朝鮮全羅南道木浦府。(電話)三三番)。

**山元龜次郎** 大陸通信社長。(明二七、五、一二)生。(學歷)大阪桃山中學卒業後日本大學法律科に學ぶ。(經歷)社會運動、特に普選運動には團體を主催して活動せり、其後ロシア承認運動等。(主義)反資本主義。(趣味)默想と琵琶。(現住)東京市四谷區左門町三八。(電話)四谷七三六九)。

**山元國三** 小石川八千代町三三三世民社。新聞廣告代理業。香川縣小豆郡草壁町上村(明三二、八)生。(學歷)内海商業學校

卒業。(經歷)大正四年上京直に新聞廣告代理店に入り現今に及ぶ。(趣味)旅行、將棋。(現住)小石川初音町四番地)。

**山森利一**(溪水) 報知新聞社論說部。富山縣(明二二、六、一一)生。明四〇、三、富山中學校卒。(新聞歴)明治四十四年に早大卒直ち渡支四十五年一月から六月まで富山日報社に筆を執り、約一年間支那各地を巡遊歸國後毎夕新聞社に半年ほど居り大正四年十月現社。(趣味)土いちり。(現住)東京市外戸塚四〇〇)。

**安井末三**(秋香) 京都日日新聞滋賀通信主任。大津市(明二七、五)生。母、妻、新聞歴)近江新報。京都日之出新聞。滋賀日報(主義)穩健を旨とする國家主義。(現住)大津市島之關)。

**安田勝治**(里火) 奈良朝報編輯長。奈良縣(明三六、三)生。(學歷)中學四年修る一獨學。(經歷)大一一、一月、奈良朝報に入り一時新愛知に移りしも大一二、二月、再び朝報に歸り、今日に及ぶ。(主義)差別撤廢を叫ぶ。(趣味)魚釣。(現住)奈良市陰陽町)。



安田寛夫 (電話七二) 大分新聞社營業部員。大分縣北海部郡向行町。(明二八、二二、一四)生。(現住)大分市下町。

安田彦三郎 株式會社正路喜社取締役。神奈川縣(明一二、五)生。(經歷)明治二十八年九月現社へ、大正元年出資社員となり續く無限責任社員となりしが大正十四年三月組織變更と共に取 役となる。(趣味)運動、旅行、寫眞。(現住)東京市赤坂區青山高樹町一四。

安平市太郎(垣雄) 國粹日日新聞社營業部長。兵庫縣(明三、一、一〇)生。中等教育現住)大阪府西淀川區大仁町一三一。

安成二郎(凡葛) 大阪毎日新聞學藝部東京駐在囑託。(明二、一)秋田縣に生る。(學歷)秋田縣立大館中學校三年修了。(經歷)實業、世界記者、讀賣新聞記者、十五年八月一日現社に入る。(現住)東京府下阿佐ヶ谷二七七。

安岡秀夫(南極) 前時事新報常任監査役。編輯監督(明二六、一一)入社。高知縣下(明六、四)生。妻一子。慶應義塾。(著作)シ

ヤドソン十九世紀史。日本と支那と。(趣味)特殊の美術及文學。(現住)本郷區西片町一〇。(電話)小石川二〇一五。

保見國治(朝花) 大和旭新聞社主幹。三重縣津市(明二四、八)生。(學歷)三重一中中途退學。(經歷)三重新聞、伊勢新聞記者(この間同紙に英文欄創設擔任)雅各英語學校英語數學科講師を経て大正十一年七月新愛知新聞社入社、學藝部主任(この間エスハラント欄を同紙に創設)大正十五年三月同社奈良支局長現在に至る(趣味)音樂。(現住)奈良市漢國町五。

ま

マツクイエン、エフ、エルウイン(二七歳)シャパンアドグアタイザイ編輯員。(學歷)ミソリイ大學出身。(現住)麻布區單箭町六七。

眞壁光 都新聞社社會部内家庭欄(明二七)生。(學歷)目白日本女子大學附屬高女卒業後大學部家政科に學び中途退学。(經歷)記者生活に入つてより今年にて八

年前二年半を婦人俱樂部にあり以後は現社。(主義)自然のまゝであれ。(趣味)繪畫、芝居、音樂、詩、童話。(現住)麴町區三番町八四。

間瀬幸五郎 臺灣日日新報社朝刊編輯、活動寫眞部長。函館(明二九、八)生。(學歷)函館商業學校、早稻田大學。(經歷)中央新聞、やまと新聞を経て現社大正三年及大正五年支那視察に赴く。(趣味)支那研究。(現住)臺北市東門町五三。(電話)二五四七。

間瀬健志 布哇新報東京支局記者。(明三六、一、一三)生。山梨縣。日本大學社會科に學ぶ。(新開歴)帝國通信社編輯部。(趣味)スポーツ。(現住)市外南品川東廣町五六七。

米田實 東京朝日新聞社編輯顧問。(明一一、一二)生。オレゴン州立大學、カリフォルニア州立大學院、アイオワ州立大學院等卒業。東京帝大より法學博士號を受く。(新開歴)入社後外報部長、論說委員長を経て相談役現に東京商科大学外史史講堂擔任となる。(現住)東京市外雜

町田梓樓 東京朝日新聞社編輯局勤務。長野縣(明一六、二)生。(學歷)東京外國語學校、佛語科。(經歷)大正六年大阪朝日に入社、同九年巴里特派員として赴任、同一三年歸朝後東京朝日に轉。(趣味)圍碁、圍碁。現住)東京府野方町上高田九九。

丸山豊治郎 高田日報社長、越後國に生る。(現住)高田市上寺町(電話)一〇五。

丸茂瑞喜(天靈) 公友新報社々長。(山梨縣明一四、九)生。(新開歴)大阪の帝國新聞記者。公友新報、長野市創刊。(趣味)讀書。(現住)長野市箱清水。

丸山進三郎 日進通信社長、府下南多摩郡元全十村(明一八、八)生。(學歷)東京醫學校を卒業。(經歷)逓信省、讀賣新聞社を経て明四三年日進通信社創業(主義)力行努力(趣味)働く事酒、繪畫。(現住)京橋區桶町一〇番地(電話)京橋六三六二。

松井義雄 神戸ヘラルド大阪セプト新聞社經濟記者。福井市。(學歷)福井商業學校出身。(趣味)各種運動(特に野球)。(現住)神戸市長田屋向一三四ノ九一。

松井慶一 やまと新聞編輯局。新潟縣北魚沼郡小出町(明三七、二)生。(學歷)大正三年四月中央大學經濟學部卒業。(經歷)大正三年雜誌「實業と政治」編輯部員帝國通信社政治部を経て現社に及ぶ。(主義)奮闘努力主義(趣味)柔道、讀書。(現住)東京市神田區仲猿樂町一八。

松井滿雄(樂仙) 國民新聞社整理部員。(明二三、五)生。丹後舞鶴。(學歷)中卒。(經歷)海軍圖工、筆生、小學教師等。(主義)利那主義(趣味)酒、女、圍碁、將棋、道樂一切。(現住)芝區愛宕町三ノ五。

松井廣吉(六〇歳) 松江市松陽新報主筆。(著書)日本内閣論。日本帝國史。戰爭時代。三國時代。柏軒論集。(現住)松江市母衣町七五。

松井善四郎(二四歳) 秋田魁新報社會部記者。青森商業學校

中途退學。(新開歴)大正一三年二月秋田魁新報社に入社。(現住)秋田市西根小屋町(電話)四六。

松原亨 大分新聞記者。(明三六)生。(現住)大分市東新町。

松原傳吾(木公) 前報知社外報部長。宮城縣(明一五、三)生。早稲田大學中途退學。(新開歴)河北新報。米國カナダの五六邦字新聞に執筆経験あり。(著作)死後の運命。探偵小説陰謀團。(思想)無抵抗主義。(趣味)圍碁、論曲、釣魚。(現住)東京市外世田ヶ谷太子堂四三二。

松原至大 東京日日新聞調査課。千葉市(明二六、三)生。早稲田大學英文科を大正四年に卒業。(新開歴)子供の雑誌の編輯に從事すること一年、現社へ轉じてから内閣通信部、學藝部を経て現任。(趣味)おもちゃ、書畫、野球見物。(現住)千葉縣市原郡八幡町。

松林喜八郎(孤羊) 長野新聞社關西特派員。大阪支局長(明二四、一)生。(趣味)淨瑠璃、運動、釣魚。(現住)大阪市北區萬歲町四三。(電話)特長北五六

松尾竹藏 東京時事新報社販賣部(發送係)。青森縣三戸町(明三四、五、二四)生。攻玉社中學校出身、中央大學農科中途退學、社會政策學院第十回修了生。(趣味)音樂、運動。(現住)市内下谷入谷町五加治方。

松尾宇一 宮崎日日新聞主幹。宮崎縣(明一九、七、一〇)生。京都法政大學經濟科卒。(新開歴)明四〇年現社へ。(現住)宮崎市廣島文化街。(電話)四二六。

松尾松平 東方通信社北京支社(明三四、五)生。(經歷)大正一三年五月東方通信入社。(現住)北京東城樓鳳樓嬢々廟七號。

松尾鐵次(十八公) 對馬日日主筆。(大七、九)入社。佐賀縣(明二二、一一)生。妻長女。(新聞歴)長崎民報。九州日の出新聞。大正六年長崎にて長崎毎日新聞創立經營七年廢刊。(事業)大正五年雜誌「くれなゐ」發行。(趣味)酒、演藝、俳句。(政黨)なし。(現住)長崎縣原本社内社宅。(電話)三六。

松岡富 臺灣新聞社長。熊本縣(明三)生。札幌農科大學出身。

(新聞歴)永年熊本縣に縣會議員、明二九年製糖業に従事し帝國製糖會社を創立し數年間社務に従事し現に新竹製糖會社の専務取締役たり十數年前よりヒリツヒン開拓に従事し現にヒリツヒン産業株式會社専務取締役、臺灣總督府評議員、大正六年現社へ。(趣味)論曲、ゴルフ。(現住)臺中市。(電話)二三〇。

松岡源太郎 神戸又新日報總路支局長。姫路生。(現住)姫路市堅町三二(電話)七四。

松川鐵四郎 石卷新聞社長。宮城縣(明九、一〇)生。家族二人。(新聞歴)明四三迄東北新聞に關係。(趣味)將棋。(現在)宮城縣石卷町仲町(電話)二〇三。

松川實 中央評論經營。大阪區高垣町(明二六、五、一)生。中央大學法科卒。大四、五、現社を獨力經營して今日に至る。(趣味)圍碁、讀書。(現住)大阪北區高垣町二一。

松田徳松 群馬新聞社會部主任(大正七、二)入社。前橋市(明三四、八)生。家族二人。(學歷)獨學。(現住)群馬縣水瀨村大川大島三三七。



**松田知之** 東京朝日新聞調査部(休職)(大四、二二入社)。名古屋(明一四、九)生。早大政治科卒。(新聞歴)シヤパン、タイムス。(趣味)讀書。大正一二年大阪朝日名古屋支局長勤務中失明。(現住)府下中野町字打越二〇六九。

**松田平治**(楠亭) 大阪共同通信社記者。福岡縣(明二二、五、一〇)生。早稻田大學、法政、廣島市役所及商業會議所書記。福岡日日新聞社々會部記者。大阪毎日新聞社々會部記者。(趣味)音樂。(現住)大阪市東區京橋二ノ二二。

**松田金三郎** (三十二歳)。東京切抜通信社々員。日本大學法科卒。(新聞歴)(大六、六)東西實業新聞發刊(趣味)讀書旅行。(現住)京橋安女町二二東京切抜通信社。

**松田清作** 樺太日日新聞社校正富山縣新庄町(明三四、七、一五)生。富山中學卒。(經歷)新聞に關する經歷なし。(主義)平和。(趣味)音樂。(現住)樺太豊原鉄官六四。

**松波千海** 全北日報社長。熊本

菊池(明二二)。(現住)朝鮮全羅北道全州。

**松村玉三** 大分新聞社々會部記者。大分縣臼杵町(明三〇、七、一)生。臼杵新聞、臼杵日日新聞。(趣味)石佛研究、花いちぢり。(現住)別府市。

**松村貫一** 下野新聞社々會部長。明治四〇年、早稻田大學國文科卒業。(現住)宇都宮市池上町三〇。

**松村幸兵衛**(哲山) 土陽新聞記者。高知市浦戸町(明二五、九)生。(學歷)高知市立商業學校。(經歷)大正六年土陽新聞社に入社今日に及ぶ(哲山集の著述あり)。(主義)是非々々。(趣味)讀書、講演。高知市新市町。

**松村金助** 時事新報社々會部。青森縣青森市(明三四、六)生。(學歷)慶應義塾大學經濟學部卒業。日本大學法文學部法律學科在學。(現住)東京府下馬込村平張一〇九三。

**松内則信**(冷洋) 大阪毎日營業局長。東京(明九、一)生。文學院卒。二十三歳にして初めて萬朝報に入り、三九年現社東京支店勤務となり今日に至る。(現住)大阪府下池田室町。

**松浦五兵衛** (五六歳)。静岡新聞社長。代議士。(新聞歴)大正二、以來現社長となる。(主義)政友本黨。(趣味)銃獵。(現住)東京麻布新町一四。

**松浦實雄** 大阪朝日新聞記者。香川縣(明三二、八)生。(學歷)内海實業學校卒。(經歷)大正一〇年一〇月入社。(主義)新理想主義。(趣味)心理學及動物學の研究。(現住)尼崎市舊城内五六。(電話)尼崎五六三。

**松浦錠太郎**(陳晃) 静岡日報社長。濱松新聞營業局長。愛知縣下(明七、五)生。妻二男二女。(新聞歴)報知新聞名古屋支局長。同大阪支局營業主任、同神戸支局長、大阪新聞直營部主任、同京都支局長、國民及讀賣濱松通信員。(思想)皇室中心。(趣味)旅行、同志の會合。(政黨)中立。(現住)濱松市紺屋町一〇九。

**松浦清平** (四四歳)。大分新聞東京支社長。(現住)東京芝區新橋田町一九。

**松山清吉**(松生) 都新聞社期米部主任。山形市旗籠町(明二六)生。(學歷)山形高等小學校卒業後國民、早稻田、文章學院等の講義に依る。(經歷)山形日日、山形日報、東京大勢新聞(期米部)記者。(趣味)尺八、文學。(現住)東京府豊多摩郡野方町上沼袋三一。

**松江登里男**(綠) 福島毎日新聞記者(明二九、七)生。茨城縣笠間町。(學歷)早稻田大學文科中途。(經歷)福島日日新聞社々會部長、日本評論社出版部編輯主任、福島民報社々會部長、週刊「新福島」主幹を経て現職。(趣味)演劇、傳説研究。(現住)福島市會根田字田尻七(電話)七五〇番)。

**松崎市郎**(天民) 前中央新聞客員。美作旭川のほとり(明一一、五)生。(學歷)小學校四年修業。(經歷)新聞社を轉々すること十社。(著書)二十五冊。(主義)温情愛主義。(趣味)カメラ、玉突。(現住)東京赤坂丹後町四。

**松下勇三郎** やまと新聞社長(大三、就任)。東京市(明二三、三)生。家族母妻第二人、妹一人、息一人。東京府立第一中學より一高を経て東京帝國大學獨逸法律科に入り卒。(思想)皇室を中

心とする國家主義。(趣味)寫眞、讀書。(現住)半込區南極町七四。

**松下元吉** 大朝山口通信部主任。(現住)山口縣山口町上野小路七六。

**松本一作** 株式會社京華社東京支店營業課長。大分縣(明八、一)生。(學歷)明治法律學校卒業。(經歷)日本石油株式會社社田製油所主任より本社販賣課次席より現職。(趣味)圍碁。(現住)麻布區森元町一ノ二七、ちノ四號。

**松本音吉**(哀秋) (二五歳)。下野新聞社記者。(新聞歴)大正一〇年野州新聞を振出しに帝國通信社やまと新聞を経て下野新聞社に入社。(主義)自然主義。(趣味)詩文。(現住)宇都宮市一條町六二九。

**松本辰三** やまと新聞地方部。東京(明二五、一〇)生。大正一〇年現社。(現住)市外駒澤村上馬引。

**松本武雄** (二九歳)。時事新報經濟部。慶應大學理財科卒。(現住)麻布區我善坊町一。

**松本恒之助**(星洋) 伊勢新聞社長。(學歷)同志社、東京專門學校出身。(新聞歴)明二〇、創業以來經營の任に當る。(主義)不偏不黨。(現住)津市船頭町。

**松本宗重** (四二歳)。伊勢新聞社副社長。早稻田大學出身。(新聞歴)明四三以來本社に入り社業の發展に努力を拂ひ大八、八以來約一ヶ年歐米漫遊を爲し歸朝後、新の智識を以て新聞事業に貢献す。(主義)不偏不黨。(現住)津市丸ノ内。

**松本松藏** 大阪毎日新聞社取締役。學校出身。(新聞歴)明二〇、創業以來經營の任に當る。(主義)不偏不黨。(現住)津市船頭町。

**松本憲逸**(池津男太郎) 大阪朝日社會部記者。兵庫縣(明二一、八)生。(學歷)大阪北野中學、大阪市立高等商業卒。(經歷)大正一一年一月入社。(現住)大阪北區堂島濱通一ノ五三(電話)北二二二二)。

**松本福次郎**(彰夫) 帝國通信社會部運動労働部(大八、五)入社。東京(明二九、九)生。明治大學。(思想)好い意味の社會主義。(趣味)種球、謡曲、長唄、野球。(現住)日本橋區吉川町六。

**松本末槌** 前中央新聞社政治部記者。(現住)東京市半込區若松町一三三島野方。

大阪府下池田室町。

**前西兵輔** (三五歳)。大阪電報通信社政治課長。中等程度の學校教育あるのみにて言ふべき程の學歷無し。(新聞歴)大阪新聞社に大阪時事新報廣島支局長を経て大一一、一現社に入社今日に至る。(主義)精力主義。(趣味)收立て、云々程のもの無し。(現住)大阪市外城北村字赤川。

**前川光史** 新愛知新聞社通信員。奈良縣生駒郡郡山町東岡(明三二)生。(學歷)高等小學校卒。(經歷)大阪人事調査所事務員新聞記者、通信員、在に至る。(主義)國家。(趣味)演説。(現住)奈良縣郡山町大字南郡山。

**前川静夫** 國民新聞社々會部。(經歷)中央、萬朝、毎夕、國民。(現住)浦田町北浦山一四一。

**前田山市** 東京朝日新聞通信部次長(休職)。千葉縣(明二七、八)入社。家族二人。(學歷)日本大學卒。中央大學卒。(新聞歴)やまと新聞社會部外交主任。現住)東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町三三六。

**前田與三吉** 大阪朝日會計部長。(現住)兵庫縣西宮町市庭二四四〇。

**前田禮治** 中央新聞社政治部長兼地方部長。弘前市(明二四、四)生。(學歷)法政大學政治科、中央大學法科卒。(經歷)東洋通信編輯、大阪新報政經部。(趣味)俳句(いなほ)。(現住)埼玉縣浦和町八一八。

**前田延衛**(雲洲) 帝國通信社外交。松江市(明二六、七)生。(學歷)松江中學卒業。(經歷)旭廣告内勤、日本銀行員農事會社其他。(主義)無妻。(趣味)酒。(現住)大阪上本町七(電話)南七四)。

**前田文吉**(蓮山) 中央新聞客員(大一一、入社)。(新聞歴)時事新報。(著作)政界夜話其他二三あり。

**前田久吉**(華城) 夕刊大阪新聞社長。大阪市西成區吉田町(明二六、四、三)生。大阪師範學校。(經歷)實業界より身を起して夕刊大阪新聞社を經營す。(現住)大阪府西成區吉田町五六八。

**前田祐太郎**(幕山) (六〇歳)。室蘭日日新聞社長。(新聞歴)明治三十七年本紙の前身室蘭時報を發行以來今日に至る(休職)幾轉を経て居ります。(主義)述而不作信而好古主義アンチデ



モクラツチイズム。(趣味)讀書(和漢洋)。(現住)室蘭市幕西町三。

前田繁一 東京朝日經濟部次長(大九、五入社)。兵庫縣(明二五、二)生。妻と一男。日本大學法科出。(新聞歴)龍野新聞發刊神戶又新。やまと社會部。萬朝經濟部。(趣味)產業行政就中農村問題や商取引に關する讀書。

(現住)府下大森町新井宿於伊勢原一九九六。  
正畑規矩 東京毎日新聞社政治部記者。廣島縣豊田郡大崎南村(明三四、三、一八)生。大正十二年早稲田大學法科出身。(趣味)碁、ホート、茶、生花、會をつくる事。(現住)市外下戸塚町五三三三野鷲太郎方。

正木鐵雄(水村) 上毛新聞社主筆兼編輯長(明二〇)生。(學歷)中學卒業の外大した學歷なし。(經歷)大東日報主筆、東京商機新聞主筆、上毛新聞社會部長、新崎玉新聞主筆を経て現在に至る。(現住)前橋市紅雲町四一(電話一五四)。

牧三之丞(放羊) 鹿兒島朝日新聞社。鹿兒島縣鹿兒島郡吉野村(明九、一)生。(學歷)師範教育を受け小學校正教員免許狀を受く。(經歷)小學校長の職に在る事十八年現新聞記者となる。大正十年現新聞記者となる。(主義)時代的國家主義。(趣味)園藝と滑稽。(現住)鹿兒島市清水町一八。

牧内元太郎(洋東) 株式會社横濱毎朝新聞社長兼東京支局長。長野縣上田市。(明元、四、八)生。明二四、七、早稲田大學即ち當時の早稲田高等專門學校政治科卒。(經歷)明二五札幌區の北門新聞主筆として赴任。同二八、五、横濱市に來り東洋通信社を設立し三一、一二より併せて英和文にて編輯せる内外商事週報を發行更に三六、九、一横濱毎朝新聞と改題し日刊に改め今日に及べり。(趣味)乗馬、讀書、庭園。(現住)大森不入斗一四七〇)。

牧野一馬(曲水) 中央新聞社(政治部)。長野縣小諸町(明一九、六)生。(學歷)飯田中學、小諸義塾、長野師範、日本大學。(經歷)日本電報通信社、神戶又新日報社、信濃毎日新聞社等。(主義)皇室中心主義。(趣味)讀書、旅行、小鳥。(現住)東京市外中野町二七八九)。

牧野輝智 東京朝日新聞編輯局主幹。熊本縣(明一四、一)生。早大卒。明四四、現社(政治經濟部長歴任)。(現住)東京市外千駄ヶ谷五六二(電青五五八)。

牧野行雄 沼津日日新聞社、政治經濟部長。静岡縣磐田郡袖浦村東平松(明三〇、五)生。(學歷)萬縣立濱松實業學校卒。(經歷)萬朝報社静岡支局並各地特派員、東京各社地方通信員もなす週間新聞の發行等。(主義)皇室中心主義。(趣味)劍道、刀劍、書畫、骨董。(現住)沼津市平町東狭間)。

煙山二郎 報知企業部長(明四一、三入社)。盛岡(明一六、六)生。(新聞歴)婦女通信、内外調査通信、日本新聞。(思想)至誠人に當り事に當る。(現住)東京市外大森木原山一五二五)。

ブレフエヤー・エイチ・エル シヤパン、タイムス社書記。横濱(一、九〇七)生。英國グイクトーリヤ大學。(趣味)スポーッ。(現住)府下世田ヶ谷)。

不破又男 シヤパン、タイムス、廣告部。大阪(明三三、三、六)生。大阪高商大九、中途退學。諸印刷出版業。(現住)市外田端一〇六加藤方)。

不破瑛磨太 シヤパン、タイムス社支店支配人。佐賀縣唐津町。(明二〇、五、三)生。シヤパンタイムス記者、國際通信編輯主任、同營業部長、東方通信總務部長。(現住)東京府下瀧ノ川町上中里一四九)。

不動健治(雲明) (二九歳)。帝國通信社寫真課長。大阪市立工業學校を経て關西大學商科卒。

鮮新聞社長衆議院議員。早稲田大學大學部政治經濟學科卒。(明三九)(新聞歴)現に朝鮮新聞社長。東亞電報通信社長。朝鮮公論社主(本社京城)。(主義)政友本黨。(現住)京城太平通二丁目一五)。

增田録郎 名古屋新聞社東京支局。東京(明三五、七)生。(現住)東京市四谷區荒木町二七)。

增永浩(郭公) 天業民報社客員。神奈川(明三〇)生。東京帝國大學法學部及經濟學部。法學士、經濟學士、天業民報社編輯主任、現在は東京電燈會社員。(趣味)自然。(現住)東京市本郷區千駄木町五〇)。

結束武二郎 (三六歳)。日本新聞聯合社北京支局詰。東京郵便電信學校卒。(新聞歴)大六、現社に入社し、聯絡部主任より現任に至る。以前雜誌に關係せり)。

月性登吉 前中央新聞社經濟部長。(現住)埼玉縣浦和町常盤町八一八)。

(新聞歴)大一一、三入社、寫真課創設。(著書)寫真雜誌「藝術寫真」(趣味)長唄、音楽。(現在)東京市小石川區春日町五〇)。

布津純一 國民新聞取締役總務局長兼營業局長、教科書出版局成社常務)。

布屋徹吉 正路喜社取締役社長和歌山市(明五、一二)生。(經歷)明二四年入社大正元年合資會社代表社員大一年株式會社取締役社長。(主義)至公至平。(趣味)業務。(現住)麻布區網代町一番地(電話高輪四六八六)。

布施勝治 大阪毎日新聞社北京支局長。越後(明一九、一〇)生。(新聞歴)在露十年、その間巴爾幹戰爭(從軍)、歐洲戰爭及び露國革命(ハトログラードにありて)、西伯利亞出兵(浦潮斯德にありて)等の事變に會し大八、九には世界一週、赤露橫斷、蒙古縱斷。(著作及び記事)露國革命記。赤露通信。勞農露國より歸りて。(現住)北京大毎支局内)。

布施茂夫(翠柳) 柏崎日報社記者東頸城郡旭村(明二七、一)生。

府川角藏 報知新聞社小田原特派員。神奈川縣足柄下郡足柄村萩窪一五六(明三一、一、四)生。日本大學政治經濟部專門部一年卒。讀賣新聞小田原通信員。大一一、一一、一六、報知新聞に入社(小田原特派員)現在に及ぶ。(現住)小田原町南一ノ八六四)。

藤井育造(素仙) 馬關毎日新聞地方監督長。(大二、四)入社。山口縣(明九九)生。妻子三名。(趣味)俳句、園藝。(現住)下關市田中町二)。

藤井雅治 株式會社京華社外務員(本店)兵庫縣多可郡洋萬村(明二二、五)生。大六、七、一七入社。(現住)京都市小川通元警願寺南入)。

藤井浩然(落葉) (四一歳)。越後新聞社主筆。明四一、早稲田大學文科部卒。(新聞歴)高田日報新潟毎日新聞編輯長。(著書)得信の要。孝養集等編述。(現住)新潟縣長田市觀光寺院町)。

藤井尚治(黒龍) 樺太日日新聞

(經歷)一、二ヶ月宛地方新聞に従事、大八年現柏崎日報へ入社(主義)自他愛主義。(趣味)短歌と俳句。(現住)柏崎町廣小路)。

主筆(大一一、九入社)。富山縣(明二一、二)生。甲種農業學校(富山縣)卒、東洋館民學校(東京)卒。富山縣東礪波郡雲谷村有給助役。北陸タイムス記者。シヤパンマガザン記者。東京毎日新聞政治部長。富山新聞主筆。經濟雜誌タイムズモンド記者。婦人家庭記者。名古屋日報編輯長。(趣味)人物研究。(現住)樺太豊原町東三條南三丁目東京赤坂區青山北町六ノ四七)。

藤井靜宣(草宣又は慈嶺迂人) 教友新聞編輯部主任。(明二九、三、四)生。京都市烏丸、大谷大學大一一、卒。於東京朝日樓上、新聞大學第一回終了。(經歷)大一一、四、一より京都市東山中外日報社東京特派員として東上し大一一、二、退社、直ちに淺草區松清町三九番地に教友新聞社を興し現在に至る。(趣味)活動して人々と對談すること原稿用紙に向ふこと(現住)東京市外巢鴨町西巢鴨)。

藤井善助(五六歳)。近江新聞社滋賀日報社長。東亞同文書院(趣味)書畫。(現住)京都市疏水慶流橋畔)。

慶流橋畔)。

モクラツチイズム。(趣味)讀書(和漢洋)。(現住)室蘭市幕西町三)。

前田繁一 東京朝日經濟部次長(大九、五入社)。兵庫縣(明二五、二)生。妻と一男。日本大學法科出。(新聞歴)龍野新聞發刊神戶又新。やまと社會部。萬朝經濟部。(趣味)產業行政就中農村問題や商取引に關する讀書。

(現住)府下大森町新井宿於伊勢原一九九六。  
正畑規矩 東京毎日新聞社政治部記者。廣島縣豊田郡大崎南村(明三四、三、一八)生。大正十二年早稲田大學法科出身。(趣味)碁、ホート、茶、生花、會をつくる事。(現住)市外下戸塚町五三三三野鷲太郎方)。

正木鐵雄(水村) 上毛新聞社主筆兼編輯長(明二〇)生。(學歷)中學卒業の外大した學歷なし。(經歷)大東日報主筆、東京商機新聞主筆、上毛新聞社會部長、新崎玉新聞主筆を経て現在に至る。(現住)前橋市紅雲町四一(電話一五四)。

牧三之丞(放羊) 鹿兒島朝日新聞社。鹿兒島縣鹿兒島郡吉野村(明九、一)生。(學歷)師範教育を受け小學校正教員免許狀を受く。(經歷)小學校長の職に在る事十八年現新聞記者となる。大正十年現新聞記者となる。(主義)時代的國家主義。(趣味)園藝と滑稽。(現住)鹿兒島市清水町一八)。

牧内元太郎(洋東) 株式會社横濱毎朝新聞社長兼東京支局長。長野縣上田市。(明元、四、八)生。明二四、七、早稲田大學即ち當時の早稲田高等專門學校政治科卒。(經歷)明二五札幌區の北門新聞主筆として赴任。同二八、五、横濱市に來り東洋通信社を設立し三一、一二より併せて英和文にて編輯せる内外商事週報を發行更に三六、九、一横濱毎朝新聞と改題し日刊に改め今日に及べり。(趣味)乗馬、讀書、庭園。(現住)大森不入斗一四七〇)。

牧野一馬(曲水) 中央新聞社(政治部)。長野縣小諸町(明一九、六)生。(學歷)飯田中學、小諸義塾、長野師範、日本大學。(經歷)日本電報通信社、神戶又新日報社、信濃毎日新聞社等。(主義)皇室中心主義。(趣味)讀書、旅行、小鳥。(現住)東京市外中野町二七八九)。

牧野輝智 東京朝日新聞編輯局主幹。熊本縣(明一四、一)生。早大卒。明四四、現社(政治經濟部長歴任)。(現住)東京市外千駄ヶ谷五六二(電青五五八)。

牧野行雄 沼津日日新聞社、政治經濟部長。静岡縣磐田郡袖浦村東平松(明三〇、五)生。(學歷)萬縣立濱松實業學校卒。(經歷)萬朝報社静岡支局並各地特派員、東京各社地方通信員もなす週間新聞の發行等。(主義)皇室中心主義。(趣味)劍道、刀劍、書畫、骨董。(現住)沼津市平町東狭間)。

牧野靜男(湖北) 静岡民友新聞社々會部記者。仙臺市二十人町(明三四、一、二八)生。學歷と稱すべく特記すべきものなし。大阪新聞通信社より轉ず。(趣味)深更又は宵の街のそよる歩き。(現住)静岡市多川邊二七五)。

煙山二郎 報知企業部長(明四一、三入社)。盛岡(明一六、六)生。(新聞歴)婦女通信、内外調査通信、日本新聞。(思想)至誠人に當り事に當る。(現住)東京市外大森木原山一五二五)。

ブレフエヤー・エイチ・エル シヤパン、タイムス社書記。横濱(一、九〇七)生。英國グイクトーリヤ大學。(趣味)スポーッ。(現住)府下世田ヶ谷)。

不破又男 シヤパン、タイムス、廣告部。大阪(明三三、三、六)生。大阪高商大九、中途退學。諸印刷出版業。(現住)市外田端一〇六加藤方)。

不破瑛磨太 シヤパン、タイムス社支店支配人。佐賀縣唐津町。(明二〇、五、三)生。シヤパンタイムス記者、國際通信編輯主任、同營業部長、東方通信總務部長。(現住)東京府下瀧ノ川町上中里一四九)。

不動健治(雲明) (二九歳)。帝國通信社寫真課長。大阪市立工業學校を経て關西大學商科卒。

府川角藏 報知新聞社小田原特派員。神奈川縣足柄下郡足柄村萩窪一五六(明三一、一、四)生。日本大學政治經濟部專門部一年卒。讀賣新聞小田原通信員。大一一、一一、一六、報知新聞に入社(小田原特派員)現在に及ぶ。(現住)小田原町南一ノ八六四)。

藤井育造(素仙) 馬關毎日新聞地方監督長。(大二、四)入社。山口縣(明九九)生。妻子三名。(趣味)俳句、園藝。(現住)下關市田中町二)。

藤井雅治 株式會社京華社外務員(本店)兵庫縣多可郡洋萬村(明二二、五)生。大六、七、一七入社。(現住)京都市小川通元警願寺南入)。

藤井浩然(落葉) (四一歳)。越後新聞社主筆。明四一、早稲田大學文科部卒。(新聞歴)高田日報新潟毎日新聞編輯長。(著書)得信の要。孝養集等編述。(現住)新潟縣長田市觀光寺院町)。

藤井尚治(黒龍) 樺太日日新聞

(經歷)一、二ヶ月宛地方新聞に従事、大八年現柏崎日報へ入社(主義)自他愛主義。(趣味)短歌と俳句。(現住)柏崎町廣小路)。

主筆(大一一、九入社)。富山縣(明二一、二)生。甲種農業學校(富山縣)卒、東洋館民學校(東京)卒。富山縣東礪波郡雲谷村有給助役。北陸タイムス記者。シヤパンマガザン記者。東京毎日新聞政治部長。富山新聞主筆。經濟雜誌タイムズモンド記者。婦人家庭記者。名古屋日報編輯長。(趣味)人物研究。(現住)樺太豊原町東三條南三丁目東京赤坂區青山北町六ノ四七)。

藤井靜宣(草宣又は慈嶺迂人) 教友新聞編輯部主任。(明二九、三、四)生。京都市烏丸、大谷大學大一一、卒。於東京朝日樓上、新聞大學第一回終了。(經歷)大一一、四、一より京都市東山中外日報社東京特派員として東上し大一一、二、退社、直ちに淺草區松清町三九番地に教友新聞社を興し現在に至る。(趣味)活動して人々と對談すること原稿用紙に向ふこと(現住)東京市外巢鴨町西巢鴨)。

藤井善助(五六歳)。近江新聞社滋賀日報社長。東亞同文書院(趣味)書畫。(現住)京都市疏水慶流橋畔)。

慶流橋畔)。



藤原稔 (二六歳) 岡山日日新聞、關西大學。(新聞歴) 兒島時事新聞。(趣味) 玉突。(現住) 岡山市外。

藤原丈夫 山陽新報社會部。(大正一〇、三入社) 岡山縣琴浦町(明三〇、九)生。天城中學、エヌエフントを學ぶ(新聞歴) 大正日日新聞岡山通信部、山陽新報、大阪時事新報。(趣味) 短歌、子供と遊ぶ事。マンドリン。(現住) 岡山市内山下樓馬場。

藤田竹治 都新聞工場部長。(現住) 四谷區花園町九二。  
藤田來策 日進通信社。静岡縣富士郡北山村。(學歷) 大倉商業學校、國民英學會、中央大學卒業。(經歷) 日進通信社に終始勤務。(主義) 實力主義。(趣味) 讀書、酒。(現住) 京橋區桶町一七番地。

藤田貞雄(村雨) 福井新聞編輯長(明四三、入社)。福井郡三國町(明一七、四)生。兩親妻男三女二。(趣味) 文藝。(現住) 福井市湊町七九。  
藤平謹一郎 下野新聞社長。(新聞歴) 下野新聞取締役次で取締役社長。(現住) 宇都宮市松ヶ

古木森治 (四二歳) 中國日日新聞社營業部長。獨學。(新聞歴) 播磨民報廣城新聞時代より現今に至る。(現住) 姫路市忍町三一五。  
深川角藏 (四四歳) 映中日報社社長。東京府立第一中學校、中央大學出身。(新聞歴) 大七、東京毎日參事となり同八、映中日報社主幹となり同二、一〇現映中日報社社長となり現在尙ほ東京毎日新聞社參事を兼任。(主義) 社會思想向上農村振興。(趣味) 乘馬、弓術、圍碁、英、獨、露語研究。(現住) 山梨縣甲府市錦町一八番地。

深浦宗壽 秋田魁新報社計畫部長。秋田縣仙北郡強首村(明二六)生。(現住) 秋田市東土手龜ノ丁。  
深町作次郎(如秋) 上海經濟日報社長、佐賀市(明二七、二)生。妻と一男。(思想) 國家社會主義。(趣味) 讀書。(現住) 上海武昌縣第七一號。

深瀬薫(荒流) 土陽新聞社。明二七)生。(現住) 高知市外小高坂。  
二川凌雲(語水) (三九歳) 藝

藤野至人(靜堂、落村) 消防新聞社長主筆(大五、八創刊)。出版業至文社主幹。備後尾道(明二三、六)生。母と妻と一妹一兒あり。早大法學部に學ぶ。(新聞歴) 防長毎日東京支局、帝通政治部。(思想) 人道主義。(趣味) 讀書、圍碁。(現住) 芝區愛宕町一。  
藤野久雄 (三九歳) 株式會社近藤利兵衛商店廣告課長。早稲田大學英文學科卒。(新聞歴) 早大卒業後伊東胡蝶園廣告部に滿七年餘勤務後一、九、現在の社に入る。(現住) 府下荏原郡大井町四〇九七。  
藤倉良直(白鳥) 朝鮮毎日新聞社學藝部長。宮城縣仙臺市殿砲町一四一(明三三)生。(學歷) 京城工業學校に遊び後京成高等工業學校應用化學科に遊び二年修業退學後東京法政大で文科に遊び中途退學。(經歷) 大正一三年一月現社に入社以來轉勤せず入社前東京帝大物理化學科及仙臺東北大學金工學科、仁川税關検査課等に勤務す。(趣味) 文藝、圍碁、酒。(現住) 仁川龍岡町二二。

藤倉吉藏 京橋區南鍋町日本寫真通信社寫真員。埼玉縣比企郡伊草村(明三一、二)生。郷里小學校卒業後上京。工業學校卒。東京京橋區中外通信社寫真製版部より福島日日新聞、山形新聞の寫真記者を経、大正一二年より現在社に入り通信用寫真部員として勤む。(趣味) 退社後の散步。(現住) 東京市外下田端一三七九。

藤澤藤雄 信濃毎日新聞社記者(松本支局勤務)。長野縣南安曇郡明露村(明三四、五)生。(現住) 松本市上居尻町。  
藤澤豹二 東京通信社通信部。長野縣上伊那郡(明一三、七)生。(現住) 東京府東葛飾郡立石六一九。  
藤木義幸(不二樹美汀) (三七歳) 小石川新聞社主幹。皇國奉公義會を主宰す。(大九、七早稲田大學政治經濟部卒。(新聞歴) 大六、九入社。(小石川新聞社) 爾來本日に及ぶ。(主義) 最近に國家社會主義を主張す。(趣味) 和歌、謡曲等凡て音楽類。(現住) 東京市小石川表町三八。  
藤木九三 大朝編輯局勤務(海

備日日新聞社御手洗支局長。(現住) 廣島縣豐田郡御手洗町。  
船越重太郎 京都市日日新聞社社會部。京都府生れ。(趣味) 酒。(現住) 京都市東九條札辻町。  
福井廣 時事新報社販賣部主事地方主任。東京市外大井町山中四三二五。  
福井輝三 日本電報通信社長時支局主任。(大四、一〇入社)。静岡縣(一九、八)生。兩親と妻。(著作) 活用速記術。(思想) 自由博愛主義。(趣味) 皮肉を云ふ事。(政黨) なし。(現住) 長崎市千馬町二ノ五。  
福家勇(香川綾山) 樺太日日新聞社編輯長。香川縣綾歌郡山田村(明三〇)生。(學歷) 特に記すべき程のものなし。(經歷) 北海タイムス記者、樺太日日記者を経て現在に至る。(主義) 社會主義、時に個人主義に豹變。(趣味) ゆつたりした氣分にひたる。(現住) 樺太豊原郡豊原町東一南五ノ一九。

福岡康二(ザ、ジャパン、アドバタイザー) 社。東京市(明二八)生。(學歷) 米國ペンシルバニア大學卒業。(主義) 國家。(趣味) 釣。

藤本利雄 東方通信社通信部。愛媛縣今治市(明三四、一)生。(學歷) 東京外國語學校支那語部卒業。(現住) 平塚町小山四〇。

藤本龜 山陽新報社政治部記者岡山縣久米郡弓削町(明三七、七)生。(學歷) 關西大學法科出身。(經歷) 大正一四年七月山陽新報社に入社。(現住) 岡山市磨屋町八二。  
藤本政吉(甫山) 長野新聞編輯長兼政經部長。長野縣上水内郡古間村(明一七、四)生。(趣味) 文學。(現住) 長野市縣町五六。  
古川哲治 新潟毎日編輯長(大八、四入社)。新潟市(明一五)生。家族五名。(現住) 新潟市寄居町。  
古川清 新愛知新聞社井井日報社。福井縣大野郡勝山町(明三五)生。(趣味) 甘藷。(現住) 福井市東上町六〇。

古長輝隆 大分新聞社編輯局長。大分縣大分郡西庄内村大字畑田九二(明三七、二、二六)生。日本大學法政學會卒。而して現在獨辭職後現在に至る。(趣味) 文學。(現住) 大分市天子町湖聽樓。

一〇、五)生。(經歷) 時事新報、大阪時事。(趣味) 角力、圍碁。(現住) 大阪市東淀川區十三南町七〇三。  
福田直三郎 小樽商業新報社經濟部。東京市(明二)生。(學歷) 中央大學卒業。(現住) 小樽市花園町西三。  
福田英助 都新聞社長。(現住) 總町區内幸町一ノ五都新聞社内。  
福田吉藏 前東京日日新聞外國課長。  
福田祐英(白濱) 岩手毎日主筆編輯長(大九、一〇入社)。青森縣(明五、九)生。家族七人。(新聞歴) 陸奥日報主筆、福島民報主筆、東京毎日政治部、北海道報主筆、濃飛日報主筆。(思想) 國粹主義。(趣味) 讀書。(政黨) 政友會。(現住) 盛岡市大澤川原小路九六。  
福田清一 中外商業新報社營業部員。群馬縣(明二〇、五)生。(現住) 鶴見町湖田一、九〇九。  
福田政義(俠) 橫濱經濟日報編輯。茨城縣北相馬郡六郷(明三八)生。(學歷) 千葉縣立長生中學四年修業後法政大學商科、日大文科各中途。(經歷) 文藝誌野

備日日新聞社御手洗支局長。(現住) 廣島縣豐田郡御手洗町。  
船越重太郎 京都市日日新聞社社會部。京都府生れ。(趣味) 酒。(現住) 京都市東九條札辻町。  
福井廣 時事新報社販賣部主事地方主任。東京市外大井町山中四三二五。  
福井輝三 日本電報通信社長時支局主任。(大四、一〇入社)。静岡縣(一九、八)生。兩親と妻。(著作) 活用速記術。(思想) 自由博愛主義。(趣味) 皮肉を云ふ事。(政黨) なし。(現住) 長崎市千馬町二ノ五。  
福家勇(香川綾山) 樺太日日新聞社編輯長。香川縣綾歌郡山田村(明三〇)生。(學歷) 特に記すべき程のものなし。(經歷) 北海タイムス記者、樺太日日記者を経て現在に至る。(主義) 社會主義、時に個人主義に豹變。(趣味) ゆつたりした氣分にひたる。(現住) 樺太豊原郡豊原町東一南五ノ一九。  
福岡康二(ザ、ジャパン、アドバタイザー) 社。東京市(明二八)生。(學歷) 米國ペンシルバニア大學卒業。(主義) 國家。(趣味) 釣。

福岡正一 東京通信社通信記者愛媛縣今治市(明三四、一)生。(學歷) 大正九年四月中央大學豫科入學、大正十五年三月中央大學法學部卒業。(現住) 東京市本郷區臺町六一第一春秋館(電話小石川五八二二)。  
福岡誠一 日本新聞聯合社編輯(現住) 府下三鷹村下連雀。  
福田市平 東京朝日外報部記者(大一一、二入社)。熊本市(明一九、一二)生。早大政治科。(思想) 平凡主義。(趣味) 漫談。(現住) 小石川區久堅町一〇八。  
福田平七(耕耘) 萬朝報上田支局長主任。三重縣松坂町字魚町(明一八、六、二五)生。三重一中及京城日韓語學校。京城東洋日報三八年より四二年迄で、其後歸朝諸雜誌經營大一、毎夕新聞社へ入社、國際新聞局本所新聞創刊準備員として入社震災により解散大一、新愛知北信支局主任として就任、大一三五、萬朝報へ轉社。(現住) 長野縣上田市旭町。  
福田寅治 前大阪今日新聞社常務理事。兵庫縣出石郡(明一三、

外留學中)。  
藤本利雄 東方通信社通信部。愛媛縣今治市(明三四、一)生。(學歷) 東京外國語學校支那語部卒業。(現住) 平塚町小山四〇。  
藤本龜 山陽新報社政治部記者岡山縣久米郡弓削町(明三七、七)生。(學歷) 關西大學法科出身。(經歷) 大正一四年七月山陽新報社に入社。(現住) 岡山市磨屋町八二。  
藤本政吉(甫山) 長野新聞編輯長兼政經部長。長野縣上水内郡古間村(明一七、四)生。(趣味) 文學。(現住) 長野市縣町五六。  
古川哲治 新潟毎日編輯長(大八、四入社)。新潟市(明一五)生。家族五名。(現住) 新潟市寄居町。  
古川清 新愛知新聞社井井日報社。福井縣大野郡勝山町(明三五)生。(趣味) 甘藷。(現住) 福井市東上町六〇。  
古長輝隆 大分新聞社編輯局長。大分縣大分郡西庄内村大字畑田九二(明三七、二、二六)生。日本大學法政學會卒。而して現在獨辭職後現在に至る。(趣味) 文學。(現住) 大分市天子町湖聽樓。

古木森治 (四二歳) 中國日日新聞社營業部長。獨學。(新聞歴) 播磨民報廣城新聞時代より現今に至る。(現住) 姫路市忍町三一五。  
深川角藏 (四四歳) 映中日報社社長。東京府立第一中學校、中央大學出身。(新聞歴) 大七、東京毎日參事となり同八、映中日報社主幹となり同二、一〇現映中日報社社長となり現在尙ほ東京毎日新聞社參事を兼任。(主義) 社會思想向上農村振興。(趣味) 乘馬、弓術、圍碁、英、獨、露語研究。(現住) 山梨縣甲府市錦町一八番地。

深浦宗壽 秋田魁新報社計畫部長。秋田縣仙北郡強首村(明二六)生。(現住) 秋田市東土手龜ノ丁。  
深町作次郎(如秋) 上海經濟日報社長、佐賀市(明二七、二)生。妻と一男。(思想) 國家社會主義。(趣味) 讀書。(現住) 上海武昌縣第七一號。

深瀬薫(荒流) 土陽新聞社。明二七)生。(現住) 高知市外小高坂。  
二川凌雲(語水) (三九歳) 藝

藤野至人(靜堂、落村) 消防新聞社長主筆(大五、八創刊)。出版業至文社主幹。備後尾道(明二三、六)生。母と妻と一妹一兒あり。早大法學部に學ぶ。(新聞歴) 防長毎日東京支局、帝通政治部。(思想) 人道主義。(趣味) 讀書、圍碁。(現住) 芝區愛宕町一。  
藤野久雄 (三九歳) 株式會社近藤利兵衛商店廣告課長。早稲田大學英文學科卒。(新聞歴) 早大卒業後伊東胡蝶園廣告部に滿七年餘勤務後一、九、現在の社に入る。(現住) 府下荏原郡大井町四〇九七。  
藤倉良直(白鳥) 朝鮮毎日新聞社學藝部長。宮城縣仙臺市殿砲町一四一(明三三)生。(學歷) 京城工業學校に遊び後京成高等工業學校應用化學科に遊び二年修業退學後東京法政大で文科に遊び中途退學。(經歷) 大正一三年一月現社に入社以來轉勤せず入社前東京帝大物理化學科及仙臺東北大學金工學科、仁川税關検査課等に勤務す。(趣味) 文藝、圍碁、酒。(現住) 仁川龍岡町二二。

備日日新聞社御手洗支局長。(現住) 廣島縣豐田郡御手洗町。  
船越重太郎 京都市日日新聞社社會部。京都府生れ。(趣味) 酒。(現住) 京都市東九條札辻町。  
福井廣 時事新報社販賣部主事地方主任。東京市外大井町山中四三二五。  
福井輝三 日本電報通信社長時支局主任。(大四、一〇入社)。静岡縣(一九、八)生。兩親と妻。(著作) 活用速記術。(思想) 自由博愛主義。(趣味) 皮肉を云ふ事。(政黨) なし。(現住) 長崎市千馬町二ノ五。  
福家勇(香川綾山) 樺太日日新聞社編輯長。香川縣綾歌郡山田村(明三〇)生。(學歷) 特に記すべき程のものなし。(經歷) 北海タイムス記者、樺太日日記者を経て現在に至る。(主義) 社會主義、時に個人主義に豹變。(趣味) ゆつたりした氣分にひたる。(現住) 樺太豊原郡豊原町東一南五ノ一九。

福岡康二(ザ、ジャパン、アドバタイザー) 社。東京市(明二八)生。(學歷) 米國ペンシルバニア大學卒業。(主義) 國家。(趣味) 釣。

藤倉吉藏 京橋區南鍋町日本寫真通信社寫真員。埼玉縣比企郡伊草村(明三一、二)生。郷里小學校卒業後上京。工業學校卒。東京京橋區中外通信社寫真製版部より福島日日新聞、山形新聞の寫真記者を経、大正一二年より現在社に入り通信用寫真部員として勤む。(趣味) 退社後の散步。(現住) 東京市外下田端一三七九。  
藤澤藤雄 信濃毎日新聞社記者(松本支局勤務)。長野縣南安曇郡明露村(明三四、五)生。(現住) 松本市上居尻町。  
藤澤豹二 東京通信社通信部。長野縣上伊那郡(明一三、七)生。(現住) 東京府東葛飾郡立石六一九。  
藤木義幸(不二樹美汀) (三七歳) 小石川新聞社主幹。皇國奉公義會を主宰す。(大九、七早稲田大學政治經濟部卒。(新聞歴) 大六、九入社。(小石川新聞社) 爾來本日に及ぶ。(主義) 最近に國家社會主義を主張す。(趣味) 和歌、謡曲等凡て音楽類。(現住) 東京市小石川表町三八。  
藤木九三 大朝編輯局勤務(海

備日日新聞社御手洗支局長。(現住) 廣島縣豐田郡御手洗町。  
船越重太郎 京都市日日新聞社社會部。京都府生れ。(趣味) 酒。(現住) 京都市東九條札辻町。  
福井廣 時事新報社販賣部主事地方主任。東京市外大井町山中四三二五。  
福井輝三 日本電報通信社長時支局主任。(大四、一〇入社)。静岡縣(一九、八)生。兩親と妻。(著作) 活用速記術。(思想) 自由博愛主義。(趣味) 皮肉を云ふ事。(政黨) なし。(現住) 長崎市千馬町二ノ五。  
福家勇(香川綾山) 樺太日日新聞社編輯長。香川縣綾歌郡山田村(明三〇)生。(學歷) 特に記すべき程のものなし。(經歷) 北海タイムス記者、樺太日日記者を経て現在に至る。(主義) 社會主義、時に個人主義に豹變。(趣味) ゆつたりした氣分にひたる。(現住) 樺太豊原郡豊原町東一南五ノ一九。

福岡康二(ザ、ジャパン、アドバタイザー) 社。東京市(明二八)生。(學歷) 米國ペンシルバニア大學卒業。(主義) 國家。(趣味) 釣。

藤倉吉藏 京橋區南鍋町日本寫真通信社寫真員。埼玉縣比企郡伊草村(明三一、二)生。郷里小學校卒業後上京。工業學校卒。東京京橋區中外通信社寫真製版部より福島日日新聞、山形新聞の寫真記者を経、大正一二年より現在社に入り通信用寫真部員として勤む。(趣味) 退社後の散步。(現住) 東京市外下田端一三七九。  
藤澤藤雄 信濃毎日新聞社記者(松本支局勤務)。長野縣南安曇郡明露村(明三四、五)生。(現住) 松本市上居尻町。  
藤澤豹二 東京通信社通信部。長野縣上伊那郡(明一三、七)生。(現住) 東京府東葛飾郡立石六一九。  
藤木義幸(不二樹美汀) (三七歳) 小石川新聞社主幹。皇國奉公義會を主宰す。(大九、七早稲田大學政治經濟部卒。(新聞歴) 大六、九入社。(小石川新聞社) 爾來本日に及ぶ。(主義) 最近に國家社會主義を主張す。(趣味) 和歌、謡曲等凡て音楽類。(現住) 東京市小石川表町三八。  
藤木九三 大朝編輯局勤務(海

備日日新聞社御手洗支局長。(現住) 廣島縣豐田郡御手洗町。  
船越重太郎 京都市日日新聞社社會部。京都府生れ。(趣味) 酒。(現住) 京都市東九條札辻町。  
福井廣 時事新報社販賣部主事地方主任。東京市外大井町山中四三二五。  
福井輝三 日本電報通信社長時支局主任。(大四、一〇入社)。静岡縣(一九、八)生。兩親と妻。(著作) 活用速記術。(思想) 自由博愛主義。(趣味) 皮肉を云ふ事。(政黨) なし。(現住) 長崎市千馬町二ノ五。  
福家勇(香川綾山) 樺太日日新聞社編輯長。香川縣綾歌郡山田村(明三〇)生。(學歷) 特に記すべき程のものなし。(經歷) 北海タイムス記者、樺太日日記者を経て現在に至る。(主義) 社會主義、時に個人主義に豹變。(趣味) ゆつたりした氣分にひたる。(現住) 樺太豊原郡豊原町東一南五ノ一九。

福岡康二(ザ、ジャパン、アドバタイザー) 社。東京市(明二八)生。(學歷) 米國ペンシルバニア大學卒業。(主義) 國家。(趣味) 釣。

藤倉吉藏 京橋區南鍋町日本寫真通信社寫真員。埼玉縣比企郡伊草村(明三一、二)生。郷里小學校卒業後上京。工業學校卒。東京京橋區中外通信社寫真製版部より福島日日新聞、山形新聞の寫真記者を経、大正一二年より現在社に入り通信用寫真部員として勤む。(趣味) 退社後の散步。(現住) 東京市外下田端一三七九。  
藤澤藤雄 信濃毎日新聞社記者(松本支局勤務)。長野縣南安曇郡明露村(明三四、五)生。(現住) 松本市上居尻町。  
藤澤豹二 東京通信社通信部。長野縣上伊那郡(明一三、七)生。(現住) 東京府東葛飾郡立石六一九。  
藤木義幸(不二樹美汀) (三七歳) 小石川新聞社主幹。皇國奉公義會を主宰す。(大九、七早稲田大學政治經濟部卒。(新聞歴) 大六、九入社。(小石川新聞社) 爾來本日に及ぶ。(主義) 最近に國家社會主義を主張す。(趣味) 和歌、謡曲等凡て音楽類。(現住) 東京市小石川表町三八。  
藤木九三 大朝編輯局勤務(海

備日日新聞社御手洗支局長。(現住) 廣島縣豐田郡御手洗町。  
船越重太郎 京都市日日新聞社社會部。京都府生れ。(趣味) 酒。(現住) 京都市東九條札辻町。  
福井廣 時事新報社販賣部主事地方主任。東京市外大井町山中四三二五。  
福井輝三 日本電報通信社長時支局主任。(大四、一〇入社)。静岡縣(一九、八)生。兩親と妻。(著作) 活用速記術。(思想) 自由博愛主義。(趣味) 皮肉を云ふ事。(政黨) なし。(現住) 長崎市千馬町二ノ五。  
福家勇(香川綾山) 樺太日日新聞社編輯長。香川縣綾歌郡山田村(明三〇)生。(學歷) 特に記すべき程のものなし。(經歷) 北海タイムス記者、樺太日日記者を経て現在に至る。(主義) 社會主義、時に個人主義に豹變。(趣味) ゆつたりした氣分にひたる。(現住) 樺太豊原郡豊原町東一南五ノ一九。

福岡正一 東京通信社通信記者愛媛縣今治市(明三四、一)生。(學歷) 大正九年四月中央大學豫科入學、大正十五年三月中央大學法學部卒業。(現住) 東京市本郷區臺町六一第一春秋館(電話小石川五八二二)。  
福岡誠一 日本新聞聯合社編輯(現住) 府下三鷹村下連雀。  
福田市平 東京朝日外報部記者(大一一、二入社)。熊本市(明一九、一二)生。早大政治科。(思想) 平凡主義。(趣味) 漫談。(現住) 小石川區久堅町一〇八。  
福田平七(耕耘) 萬朝報上田支局長主任。三重縣松坂町字魚町(明一八、六、二五)生。三重一中及京城日韓語學校。京城東洋日報三八年より四二年迄で、其後歸朝諸雜誌經營大一、毎夕新聞社へ入社、國際新聞局本所新聞創刊準備員として入社震災により解散大一、新愛知北信支局主任として就任、大一三五、萬朝報へ轉社。(現住) 長野縣上田市旭町。  
福田寅治 前大阪今日新聞社常務理事。兵庫縣出石郡(明一三、

外留學中)。  
藤本利雄 東方通信社通信部。愛媛縣今治市(明三四、一)生。(學歷) 東京外國語學校支那語部卒業。(現住) 平塚町小山四〇。  
藤本龜 山陽新報社政治部記者岡山縣久米郡弓削町(明三七、七)生。(學歷) 關西大學法科出身。(經歷) 大正一四年七月山陽新報社に入社。(現住) 岡山市磨屋町八二。  
藤本政吉(甫山) 長野新聞編輯長兼政經部長。長野縣上水内郡古間村(明一七、四)生。(趣味) 文學。(現住) 長野市縣町五六。  
古川哲治 新潟毎日編輯長(大八、四入社)。新潟市(明一五)生。家族五名。(現住) 新潟市寄居町。  
古川清 新愛知新聞社井井日報社。福井縣大野郡勝山町(明三五)生。(趣味) 甘藷。(現住) 福井市東上町六〇。  
古長輝隆 大分新聞社編輯局長。大分縣大分郡西庄内村大字畑田九二(明三七、二、二六)生。日本大學法政學會卒。而して現在獨辭職後現在に至る。(趣味) 文學。(現住) 大分市天子町湖聽樓。



人主宰、鈴蘭社プロダクション  
 演出員、東亞美術協會繪畫部、  
 東京商工新聞編輯。(主義)人  
 間的人間。(趣味)旅行、讀書。現  
 住)横濱市本牧町六二六(電話  
 本二二九〇)。

**福田正俊**(殘花) 關西日日新聞  
 社長。兵庫縣明石町(明五、七、  
 九)生。中學卒、大一二、九、兵庫  
 縣會議員に當選。憲政會兵庫縣  
 支部幹事明石市政研究會顧問。  
 (趣味)園藝及旅行。(現住)明石  
 市丸下二〇一ノ三。

**福良虎雄** 前大阪毎日地方通信  
 部長兼中央聯絡部長。(著作)數  
 種。事業外遊散度。(現住)大  
 阪府豊能郡岡町松原通三丁目。  
**福浦專二** 新聞廣告取扱業明通  
 社主。兵庫縣淡路洲本町(明一  
 一)生。(學歷)大阪商業學校。  
 (經歷)書籍商經營、報知新聞社、  
 日本經濟通信社、廣告社。(主義)  
 堅實主義。(趣味)讀書、演說、  
 將棋。(現住)芝區新樓田町一九  
 (電話銀座三三三五)。

**福山壽久**(天蔭) 東日庶務部長  
 (明一六)生。(新聞歷)信濃毎日  
 新聞、やまと新聞、東京日日新  
 聞地方副部長。(現住)市外東鴨  
 町宮下一六五九。

**福島龜吉**(海王星) 東京日日横  
 須賀通信所(大八、一一入社)。  
 東京(明二六、五)生。母と妻。  
 (思想)社會主義的國家主義。(趣  
 味)俳句、旅行、寫真。(政黨)  
 なし。(現住)横須賀市公郷二三  
 七七。

**福島忠夫**(北堂) 北海タイムス  
 政治經濟記者。廣島縣(明三一)  
 生。(學歷)京都市同志社大學經  
 濟科卒。(經歷)政黨事務員、中  
 等教員。(主義)キリストソシアリ  
 ズム。(趣味)美人觀賞。(現住)  
 札幌市北二條東二丁目。

**福島彌太郎** 株式會社正路喜  
 社調査課員。島縣(明三〇)生。  
 (學歷)甲種佐賀商業學校卒。(現  
 住)府下南品川三ツ木鎗ヶ崎八  
 七九。

**福澤徳太郎** 日米新聞社員。  
 (大五、一一入社)。外に浴場新  
 開自營。横濱(明一二、二)生。  
 家族六人。(新聞歷)横濱貿易新  
 報。(主義)皇室中心。(趣味)旅  
 行。(現住)武州保土ヶ谷町保土  
 ヶ谷三一。

**福澤晃** 中央新聞社會部。愛知  
 縣(現住)東京市外雜司ヶ谷一四

開歷)名古屋通信社。(現住)名古  
 屋市東通東野町一の九七。  
**小早川彦一** 東京朝日庶務部  
 長。(現住)芝區白金三光町二七  
 六。(電話高輪二二〇)。

**小林市太郎** 太平洋廣告取扱  
 社。(明三四、四)生。(經歷)ジャ  
 パンアドゲアタイザ社に一三  
 年勤続。(趣味)撞球、テニス。  
 (現住)芝區西廳寺町六〇)。

**小林八郎**(白雨) 東北毎日新聞  
 社石川支局主任。福島縣東白川  
 郡高城村伊香。(明三〇、一一、  
 八)生。東北學院出身、小學校教  
 員。職五ヶ年後石川町に於て憲  
 政派機關誌石陽新報社長となり  
 其後石陽新報社に東北毎日新聞  
 社合併の結果現職にあり。(趣  
 味)新派の畫並に自動車運轉。  
 (現住)福島縣石川町)。

**小林長三郎**(不溷人) 東奥日  
 報社運動部長。青森縣黒石町(明  
 二五、二)生。(學歷)東奥義塾。  
 (經歷)大正一〇年四月より勤  
 續。(趣味)川柳、スポーツ。(現  
 住)青森市長島町。(電話四三  
 番)。

**小林庸平**(松菊山莊主人) 大阪  
 朝日新聞社本社記者通信部員。

(原籍地)埼玉縣北葛飾郡栗橋町  
 (明一六、六、一)生。早稻田中  
 學校、早稻田大學、第二高等學校  
 を經て京都文科大學に學ぶ。大  
 五、一、一)大阪朝日新聞社入社、  
 通信部勤務、同三月社員、爾來、  
 通信部にありて編輯に從事以て  
 現在に及ぶ。(趣味)新聞の編輯、  
 草木研究、音樂。(現住)兵庫縣  
 西宮市濱脇町九〇)。

**小林竹次郎**(柏葉) 中越毎夕  
 新聞社長兼主筆。新潟市(明二  
 一、一、五)生。東北日報記者、越  
 佐新報記者、新潟毎日記者等記  
 者生活二〇年。(現住)新潟縣三  
 條町八幡小路)。

**小林武彦** 大日本麥酒株式會社  
 庶務課長。千葉縣上總國一宮町  
 (明三、一〇、五)生。中央大學法  
 科卒。學校卒業後法學士朝倉法  
 律事務所の監督を託され(明三  
 四)札幌ビール株式會社に入り  
 會社が現在の大日本麥酒株式會  
 社となるや引續き勤務本年にて  
 在職二五年其間東洋硝子株式會  
 社の監査役となり會社解散迄就  
 職。(趣味)將棋、讀書、俳諧。  
 (現住)麻布區霞町二二)。

**小林正芳** 滿洲日日新聞東京支  
 社員。長野縣長野市櫻枝町三五  
 番地。東京中學。(新聞歷)嘗て  
 長野日日にあり後實業界に入り  
 (大一一、一)現社。(趣味)園  
 藝、歌曲。(現住)本郷區駒込林  
 町二五)。

**小林政子** 都新聞社。第二部(相  
 談部)東京日本橋區通四丁目四  
 番地(明二五、一一、一)生。東京  
 府立第三高等女學校本科及び、  
 補習科卒業、日本女子大學保姆  
 傳習所へ入學し事ありしが病  
 氣の爲中止。(現住)大久保百人  
 町二四六)。

**小林五郎** やまと新聞記者。京  
 都市(明三一、四)生。(學歷)早大  
 政治科出。(經歷)酒との生活、  
 愛慾生活その他いろく。(主  
 義)あゝで、なし、かうで、なし。  
 (趣味)人間一切。(現住)小石川  
 小日向臺町二ノ二七)。

**小林哲太郎**(休猴冠) (四五  
 歳)日高民報社長。明三六、函館  
 中學卒。明三九、東亞同文書院  
 卒(第三期生)。(新聞歷)大七日  
 高新聞社經營大正一一九月、日  
 高民報と改題同社經營。(現住)  
 北海道日高國浦河町)。

**小林橋川**(四五歳) 名古屋新  
 聞社編輯局長。(新聞歷)近江新  
 報主筆四ヶ年勤務、繼いで名古  
 屋新聞に入りて今日に至る。(現  
 住)名古屋市中區裏高井町)。

**小林金三**(郊南) 樺太日日新聞  
 社記者。宮崎縣臼杵郡延岡町(明  
 三一、二)生。(經歷)大正九年樺  
 太日日新聞記者となり爾後樺太  
 民報、樺太夕刊、新日本等の各  
 新聞社を轉々し一四年一〇月よ  
 り再び樺太日日に入社。(現住)  
 樺太豊原町東一條)。

**小林彦太郎**(涼波) 山梨日日  
 主筆。大八、四入社。甲府市(明  
 一一、八)生。家族六人。獨學。  
 (新聞歷)山梨民報、山梨毎日編  
 輯長。(趣味)狩獵。(現住)甲府  
 市廿八町三三)。

**小林秀雄** 東京毎夕新聞社會  
 部。兵庫縣揖保郡新宮(明二八、  
 三)生。京都市中學、明大中途退學。  
 (新聞歷)大阪毎日新聞、大正日  
 日新聞、大漢電報通信、東京毎  
 夕新聞。(趣味)喜劇、浪花節。  
 (現住)東京市外巢鴨宮下一六五  
 三)。

**小橋亮作**(凌光) 名古屋新聞政  
 治部市政擔當(大一一、一入社)。  
 能登中島(明二七、一一)生。家族

兩親と妻。岩倉鐵道學校修了、  
 新嘉坡フランス、コンマーンシャ  
 ル、スクール夜學部。(新聞歷)  
 南洋新聞社會部、福井毎日政治  
 經濟部長、福井日報政治部長、  
 大阪毎日金澤通信部、北國新聞。  
 (思想)人道主義。(趣味)文藝と  
 新聞に趣味を持つ外何の趣味な  
 し。(現住)名古屋市中區白川町  
 三ノ七)。

**小西政治郎** 湖東民報社記者。  
 京都府(明三五、一)生。(學歷)立  
 命館大學卒業。(經歷)著書「ホ  
 ロ銀行の内幕」(主義)何れにも  
 傾かず。(趣味)讀書。(現住)滋  
 賀縣彦根町字平田)。

**小西作太郎** 大阪朝日印刷部  
 長。(現住)兵庫縣武庫郡今津町  
 古今洋一〇六一)。

**小西英夫**(龍耳樓) 德島毎日新  
 聞社教育部長、政治經濟部編輯。  
 德島縣(明二六、四)生。(經歷)自  
 治團體に奉職十年後木材商を營  
 み大正一〇年德島毎日新聞社に  
 入社遊藝一箇年後學藝部擔任政  
 治經濟部編輯。(主義)祖國中心  
 主義。(趣味)和歌其他何でも。  
 (現住)德島市常三島町北の町)。

**小堀英一** 中外商業新報廣告部



整理課。栃木縣(明二二、八、八)生。大一三、三、入社。(現住)東府下瀧ノ川町中里二二三。

**小鍛冶金太(守支)** 新潟毎日主筆(大五入社)。新潟縣(明九)生。妻と一男あり。明治法律學校卒。(新聞)東京人民新聞主筆、中央主筆。(著作)北越民政考、北越民權史。(思想)主義哲學。(政黨)政友會。(現住)新潟市學校町通二番町。

**小金龜次郎(晩潮)** ジャパンタイムズ社庶務主任。京都(明八、六)生。早稻田大學文學部(明三、三)卒。兵庫縣立龍野中學校、清國北京東文學堂、山西大學堂、山西高等農林學堂等の教職に就き專賣局囑託を経て今日に到る。(趣味)旅行、骨董、書畫、植物。(現住)東京市外千駄ヶ谷町八一五。

**小高吉三郎(代四郎)** (四一歳)。東京朝日新聞運動部長。早大及外語西語科に學ぶ。(新聞)舊東京日日新聞社會部に入り解散後横濱貿易社會部長となり辭して朝日に入る。數年間横濱通信局長たり。(現住)四谷區花園町四〇。

**小柳博** (二九歳)。前下野新報學務部長。大五、縣立宇都宮中學卒。一〇、早稻田大學政經科卒。(現住)宇都宮市二條町。

**小山榮一(南州)** 小樽商報社社長。(明二五、一)生。札幌(學歴)北海中學、中央大學。(經歷)天聲民報記者を経て獨立にて日本主義者を經營しその後諸國遊説の二年間、現新聞社。(主義)皇室中心主義。(趣味)佛敎。(現住)小樽市富岡町二。

**小松徹三** 中央新聞社整理部。(明二二、一)生。埼玉縣兒玉郡共和村今井。(學歴)群馬縣立藤岡中學校を出て早稻田大學に學ぶ。(經歷)日刊通信及び雜誌社等を經營。著書は明治流血史談、創作「燃え出づる魂」、俳優情話等あり。(趣味)歴史研究と芝居。(現住)府下大森馬込北久保五八八。

**小松己巳生(天民)** 信濃毎日新聞社飯田支局。松本市北深志(明二五、二)生。(學歴)松本中學校出身。(經歷)大正九年三月信濃毎日新聞社編輯局へ入り、松本支局、木曾支局、本社などを経て現在に到る。(現住)長野縣下伊那郡飯田町。(電話)飯田二六三。

**小松廣武(邦彦)** 京都日日新聞社經濟部兼運動部。東京市神田區今小路一ノ三(明三八、三)生。(學歴)長野縣松本商業卒業、明治大學豫科修業。(經歷)東京毎夕を振出しに萬朝商況部、報知經濟部より現住。(主義)利那主義。(趣味)野球、讀書、歩。(現住)京都市上京區寺町廣小路上ル京日クラブ内。

**小座間茂(白嶺)** 日本電報通信社通信部員。山形市七日町(明三四)生。(學歴)東京帝國大學アチアラー會。(經歷)帝通を経て現在。(主義)平和。(現住)市外上落合八二八。

**小坂武雄** 信濃毎日新聞常務取締役。(明二八)生。(學歴)東京帝國大學卒業法學士。(現住)長野市立町五番地。(電話)七九七。

**小坂圓治(四〇歳)** 京都日出新聞社會部長。(新聞)京城市報、岡山新聞、山陰新聞。(現住)京都市上京區鹿ヶ谷御所段町一八。

**小坂新夫** 東日社會部(大一二入社)。熊本市(明二六)生。(新聞)釜山日報、朝鮮新聞、報知新聞。(現住)市外目黒三田一二〇。

**小崎憲藏(銀霜)** 元山毎日新聞社、經濟記者。熊本縣(明二〇)生。(學歴)中學卒業程度、長く支那に在りて支那語を學べり。(經歷)哈爾濱北滿洲社、同哈爾濱新聞、浦潮極東日日新聞、同浦潮日報記者を経て現在(現住)元山府泉町四ノ九。

**小木曾修二(旭晃)** 岐阜日日編輯主任(大八、入社)。明四二、以來月刊教育新聞編輯。岐阜市(明一四、一)生。母妻次男三女。(趣味)文藝。(現住)岐阜市外細畑。

**小湊邦保(二四歳)** いばらき新聞株式會社速記者。茨城縣教育會進教員養成所を卒業茨城縣師範學校に學び次で右社で速記者を研究す。(新聞)大二、六、一一、右の社に入り目下在動中。(現住)水戸市上市新屋敷樓小路横山北裁方。

**小島長市(春水)** 濱松新聞社編輯長。静岡縣濱名郡芳川村金折(明三一)生。(學歴)早稻田大學

文科。(經歷)富強株式會社取締役社長、富強新聞主筆。(主義)皇室中心主義。(趣味)讀書、演劇。(現住)濱松市龍禪寺町二〇。(電話)呼出九六九。

**小島良三(對森居)** 中外商業新報社廣告部主事。千葉縣(明一九)生。(學歴)商工中學校。(經歷)自大八年至同一一年萬朝報社勤務、大一一一二月中外商業新報社に入社。(趣味)一七字詩。(現住)千葉縣葛飾郡行徳町。

**小島清友(草光)** 滿洲日日新聞取締役支配人東京支社長兼大阪支社長。廣島市松川町(明二五、八)生。(趣味)旅行と讀書。(現住)東京市外荏原郡碑文谷一八〇。

**小島靜三郎(小洲)** 國民新聞社學務部長。東京。(經歷)讀賣から國民へ。(主義)皇室中心主義。(趣味)小酌。(現住)本郷區西須賀町一六。

**小森源四郎** 株式會社正路喜社外交。福岡縣八幡市(明二六)生。(學歴)麻布獸醫學校卒(現住)市外下目黒五五七。

**小森秀次郎(華城)** (三九歳)

愛知新聞社營業部長兼販賣部長。三重縣立富田中學校、興倉鐵道學校。(新聞)やまと新聞大阪支局、大阪實業界(週刊)發行經營、決算時報發行(月刊)經營。(著書)「文と劇」。(主義)圓滿主義。(趣味)道樂に關するものは一切好む。(現住)名古屋市中區老松町六丁目。

**小森誠一(兒森青異血)** (二七歳)。報知新聞社調査學務部。福岡八女中學に學び熊本鎮西中學に轉じて卒業。(新聞)大一三、一、二五)入社。(趣味)繪に旅行。(現住)市外大久保東大久保一三。

**古藤政一(若葉)** 山陰日日通信連絡部長(大七、五入社)。鳥取縣(明二五)生。家族二人。東京正則豫備校出。(新聞)松陽新聞、山陰日日鳥取支社長。一〇、本社へ。(趣味)讀書。(現住)鳥取縣米子。

**古賀増太(長生)** 豊州新報社、日田駐在記者。大分縣日田郡日田町大字竹田(明二六、四、二五)生。日田郡立工藝學校卒。大二、日田貯金株式會社入社、同八、日本寫真工業株式會社入社、同一〇、豊州新報社日田通信員に採用され今日に至る。(趣味)俳句、繪畫。(現住)日田町大字北豆田。

**古賀壽一** 大分新聞記者。福岡縣(明三四、一、二二)生。中央大學商科第四部卒。大一三、五、二四 大分新聞社編輯部に入社現在に至る。(現住)大分市柳町富士屋内。

**古閑友行** 大阪中外商業新報社經濟部。早稻田大學政治經濟科卒。國民新聞經濟部、日刊大阪商工新聞社、中外商業新報社。(趣味)讀書、撞球、尺八、圍碁。(現住)大阪市北區北扇町五七(大阪市營住宅)。

**兒玉農(田子生)** 都新聞社記者。茨城縣行方郡方村明。(二八、一〇、三)生。早稻田大學政、經、文講義録等を讀んだ丈けであります。中學五年程度英語。(趣味)別に無けれど、強ひて云へば女でせう。(現住)寺島町二一三五。

**兒玉璋一** 日本電報通信社上海支局長。廣島縣(明二四、二)生。(現住)上海北四川路千愛里四三A(電話)北一〇五四)。

**兒玉精一郎** ジャパン、タイムズ社販賣部主任。東京、明一八、三、一八)生。東京帝國大學卒。(趣味)運動。(現住)牛込區原町二丁目三八。

**五來欣造(素川)** 前讀賣新聞社友。早稻田大學教授。茨城縣(明八、六)生。妻一男一女。東京帝國大學佛學。佛、獨、英留學。(新聞)明三五、讀賣入社。大三、讀賣主筆。四、退社。七、雜誌大觀創設主幹。(著作)政治哲學社會革命の將來。(思想)デモクラシー、社會連帶主義。(趣味)哲學。(現住)千葉縣船橋町。

**後藤半二** 中外商業新報社外務員。岐阜縣海津郡今尾町(明二七、九)生。(學歴)高等小學卒業。(現住)市外小松川町二ノ五四。

**後藤和一郎(樂山)** 豊州新報社廣川支局長。大分縣遠見郡龜川町。(元治元、七、一六)生。漢學專修小學校教員、大分縣青延取締所支配人、大分縣青花延業組合取締役幹事監督廣明鑛鑛主湯の花製造販賣組合主任。(趣味)詩歌を好み園芸及び生花



茶道を嗜む。(現住)大分縣遠見郡龜川町。

後藤武男 時事新報社政治部長。(明治二六、七)生。(東京)

治科卒業。(經歷)リットン、ロンドン各地特派員、文相秘書官。(趣味)園藝。(現住)府下代々木二九三。

後藤喜間太(鶴水) (四三歳)。

前大分新聞社編輯局長兼主筆。中等學校卒。(新聞歴)報知新聞社、大分新聞社。(著書)「工業帝國」、「工場めぐり」。(主義)皇室中心主義。(趣味)俳句、魚釣。(現住)大分市中島浦。

後藤祐太郎(是山) 九州日日副主筆。(明四二、六)入社。大分縣下に住る。(著作)肥後の勤

王、肥後に於ける文人畫、肥後國誌。(趣味)登山、將棋。(現住)熊本市北千反畑町。

後藤秀人(秀峰) 豊州新報社政治部長兼計畫部長。大分縣(明一七、一〇)生。(學歷)中等學校卒業。(經歷)官吏生活一三年、實業界に五年、大分より記者生活に入る。(主義)皇室中心主義。(趣味)大自然の探勝。(現

住)大分市中島町(電話五番)。

後藤茂彌太(梅泉) 豊州新報社記者。大分縣西國東郡田原村。

(明三二、三、六)生。(經歷)大分縣、大分新聞社入社、大分縣高田町通信部駐在、大分縣、本社勤務。(主義)國粹保存、平和主義。(趣味)寫真、旅行、登山、俳諧。(現住)大分縣大分市(電話五番、五五〇番)。

河野恒吉(岳洋) 大阪 東京兩朝日新聞社客員、軍事評論。明七、三山日縣生。妻と四男二女。

陸軍士官學校、同大學卒。(思想)皇室中心、國粹擁護、德智體三育向上、軍備縮小文化向上、國力培養内容充實、國際協調共存共榮。(現住)東京市外中野町横ノ山三七四。

河野源吉 長崎日日新聞株式會社營業部長。(六二歳)東京大學豫備門。(政黨)政友本黨。(現住)長崎市勝山町二六。

河野二通士 大阪毎日外國通信部長(明四四、四)入社。大分縣(明二八、一一)生。家族妻と二女。東京外語卒業。(現住)兵庫縣川邊郡西村磯之庄。

甲山顯 中央新聞社整理部記者。

埼玉縣(三八歳)。(經歷)讀賣新聞社編輯局地方版擔任。(現住)東京府下馬込町北久保五八八。

郡山幸男(經堂) 印刷雜誌社長。鹿兒島縣(明一八)生。妻一男二女あり兩弟は新聞記者。(新聞歴)讀賣、自由通信。(著作)記者生立の記、プロキッツ回想録、歐洲政界奇談等の譯。(思想)前社會主義。(現住)牛込區矢來町三山里三三號。

此經春也(馨園) 日本通信社編輯長。大分縣(明二、一)生。(學歷)漢文、英、佛語、哲學等修學。(經歷)明二七年以來新聞通信著作等に從事す。(主義)皇室中心主義。(趣味)詩、俳句、讀曲。(現住)東京市麻布區六本木町四五。

越野宗太郎(秋峯) 前株式會社帝國通信社取締役(明三、五、五)生。明二六、明治大學卒業。後直ちに現社へ、外交記者、政治部擔任、明三七、地方通信部長、大八、編輯長。(趣味)仕事をする事。(現住)府下西大久保二五四。

近藤市九郎(蘇川) 春秋新報社理事。(四四歳)。(經歷)海軍

退役士官、勤七等。(趣味)喫煙。(現住)愛知縣知多郡八幡町(電話五四番)。

近藤健吉(鹿堂) (明六)生。豊橋新報社主筆。師範教育を受け法律學研究、文官試驗合格。(新聞歴)明四〇、參陽新報主筆となり大一一、一二、豊橋新報主筆となり主幹を兼ね。(著書)大和心、工場の榮、兒童日記、國之礎等を著述刊行す。(主義)不偏不黨。(趣味)歌詩、書畫。(現住)豊橋市百人町。

近藤復己兒 福山大日報社主筆(大四、一一)入社。廣島縣(明元、七)生。家族八人。寺子屋出身。(新聞歴)明三九、大四まで福山新聞經營。(趣味)小鳥、盆栽。(政黨)政友。(現住)福山市延廣町二五八/三。

近藤壽一郎 大阪時事新報堂島市場係。岡山縣(明二六、三)生。母妻(新聞歴)山陽新報、名古屋毎日新聞。(趣味)園藝。(現住)大阪市外豊津村垂水五九五〇。

紺野四郎(三八歳)時事新報編輯主筆。(新聞歴)東京日日、やまと、東京朝日新聞社。(趣味)

新聞を讀む事。(現住)京橋區山城町四。

今野諷 東京毎日新聞社社會部、宮城縣仙臺市鐵砲町二〇九、日本大學社會科在學中。(經歷)報知新聞社、會部見習中都合に依り退社現社に勤務。(趣味)園藝、將棋、寫真等。(現住)芝區櫻田善右衛門町四。

え(ゑ)

エス・シ・ウイエルソン 神戸ヘラルド大阪ガゼット新聞社編輯局長。英國。

エル・スキート 日本新聞聯合社總務監督。

エドガース・ニユートン・ダブリュー シヤパン、タイムス社。フアイーリスタンレビ

ユ一、米國、千九百年生。市俄古大學、華盛頓大學。(趣味)自動車操縦、ラゲオ。(現住)青山南町六丁目二二五。

江戸文 いばらき新聞社營業部長。(大三、八)入社。茨城縣(明三、四)生。家族六人。早大商科卒。(現住)水戸市上市南町。

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

告部。千葉縣木更津、(二三、一〇、三〇)生。米國、ハイジテワイ廣告専門學校。米國シヤトルボストインテリゼンサー紙、組育市エシアナツクトレイドビ

ユロ一、組育市タイドウラター石油會社輸出部。(趣味)乗馬、釣魚。(現住)埼玉縣蕨町。

江崎銀衛 靜岡民友取締役、靜岡市江崎新聞店主。(四三)。(新聞歴)報知新聞から國民へ移つて、一六年間靜岡縣下で國民二萬其他三萬の新聞を扱ふ。(現住)靜岡市吳服町。

衛藤德馬(岸柳) 大分新聞社營業部長。大分縣大野郡上緒方村冬原。(明三五、二、一八)生。(現住)大分市新川。

衛藤勇(祖哲) 朝鮮民報社支配人。(明二二、三)生。自修獨學。

(新聞歴)明四四、現社に入り各部に勤務。(趣味)體育運動及講演。(現住)朝鮮大邱府東雲町二九〇。

惠美孝三 萬朝報社客員論說委員、大日本新聞學會主。京都府生。妻と長男哲男。獨逸ベルリン大學修業(新聞歴)二六、中央、富山日報、帝國新聞、や

まど、毎夕。(著作)國家と宗教、日本美文辭典、世界の變局その他。(現住)下谷區眞島町一。

衣斐龍雄(祐聲) 三州新聞社長兼主筆。大一一〇、九創刊、西尾記者團幹事。東京本郷(明二九、一一)生。法政大學中途。(新聞歴)實業之愛知社會部長、尾三實業新報主筆。(趣味)讀書と執筆。(現住)愛知縣西尾町。

榎米吉(素郷) 山東經濟時報主幹(大九、八)入社。時事新報特置員。和歌山縣(明一六、一)生。(學歷)日本中學、同大學經濟科に學ぶ。(經歷)青島新報主筆。

(思想)軍政治下に呼吸する數年全く去勢せられたる感あり。(趣味)新聞、雜誌、新刊書讀讀。(現住)青島橫須賀町六。(電話二二二〇番)。

鰻原幸作 東京朝日新聞社水戸通信部主任。東京市芝區明舟町一九(明二四、一、六)生。大倉商業學校卒業。横濱毎朝新聞、國民新聞横濱支局誌を経て現社(大三、八、一)入社、横濱支局より一〇、一二、水戸へ轉任。後歩兵上等兵。(趣味)薄く廣し。(現住)水戸市上市天王町九

〇六。

飯東太 報知新聞記者。(三三歳)寺小屋の出身。(新聞歴)國民から報知に。(著書)震災見聞記其他いろいろある。(主義)資本主義の下廻り。(趣味)酒。(現住)市外池袋二〇八一。

遠藤一(秋外) 東京日日新聞社山形通信部主任。福島安達郡旭村(明一九、五)生。中央大學法科。福島民報記者、福島民友記者、福島日日新聞主幹、三重新聞營業部長、茨城毎日記者、東京日日新聞記者、同宇都宮通信部主任、同内國通信部長(一一、九、一)辭護士登錄。(趣味)讀書、音樂、劇其の他。(現住)山形市香澄町木ノ實小路一七五。

遠藤麟太郎(樓外樓) 前大阪朝日經濟部長。(新聞歴)同社上海特派員。(現住)武庫郡結道村打出濱。

遠藤重美 國民新聞社會部編輯。鳥取縣米子(明二六)生。(經歷)山陰日日新聞、松陽新報、大阪朝日新聞。(趣味)新聞製作と研究。(現住)東京市外淀橋柏木五五四。

遠藤末吉 前中央新聞廣告部

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江戸文 いばらき新聞社營業部長。(大三、八)入社。茨城縣(明三、四)生。家族六人。早大商科卒。(現住)水戸市上市南町。

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣

江野澤恆 シヤパンタイムス廣



長。(經歷)やまと新聞廣告部長。(現住)下谷區上根岸八二。

て

手塚強之介 都新聞社宇都宮支局。宇都宮市寺町(明二九、一〇、一一)生。順天卒、法政中退。時事、東朝(長野)横濱を経て震災後現社に入る、嘗つて二年許り中學の囑託教諭をなす。(趣味)運動、特に野球。(現住)宇都宮市四條町。

手島益雄 内外通信社主筆。廣島縣廣島市。日本大學。新公論社記者、愛國婦人記者、日本電報通信社名古屋支局長。(趣味)著述と俳句。(現住)本郷區彌生町三。

寺田稔彦(瑛) 報知新聞社學藝部。高知市(明二七)生。(學歷)早大英文科より政治經濟科へ轉じ大正七卒業。(經歷)新愛知東京支局より大正八年六月現社へ轉。(趣味)運動と芝居。(現住)荏原郡馬込村谷中一〇六一。

鹿(現住)静岡市七間町三丁目。天川恭太郎(七夕) 時事新報甲府支局首席助手社會部及產業關係(大正一〇、四入社。山梨縣(明二九、三)生。妻男一女二。中學中途上手學校に移る。(新聞歴)甲斐新聞、國民甲府支局誌として三年間勤務。(趣味)狩獵。(現住)甲府市布袋町四七。

天間榮太郎(英夫) 樺太日日新聞社。(明三一、七、二)生。無學文盲。北海道釧路新聞社を経て現社に入社。(趣味)音樂。(現住)樺太豊原町大通北六ノ二。

傳田誠司(青史) 長野新聞社會部長。(四三三歳)。(新聞歴)十年一日、碌々として今日に至る。(主義)平等。(趣味)散步、俳句。(現住)長野市縣町。

あ

阿部陽太郎(麗湖) 福岡日日新聞社編輯長。(四三三歳)。(新聞歴)明治大學に學ぶ。(新聞歴)明治四一年五月福岡日日新聞に入り今日に至る。(主義)自由民主々義。(現住)福岡市黃子町海岸。

者。山形縣(明三〇、四)。(學歷)早稻田大學專門部政治經濟科。(經歷)大正一二年一〇月より勤續。(趣味)音樂、スポーツ。(現住)青森市長島。(電話)一〇七七。

阿部賢一 國民新聞調查部長。(明二三、八)。(學歷)早稻田大學。(經歷)兼早稻田大學教授。(現住)市外大森源藏原二八六二。(電話)高輪二。

阿部眞之助 大阪毎日新聞社社會部長。群馬縣明一七、三)生。群馬縣立富田中學、第二高等學校、東京帝國大學文科大學社會學部。滿洲日日新聞社に三年間勤務。明四四、東京日日新聞社へ入社政黨方面擔任。名古屋京都等の支局長を経て今日に至る。(趣味)大抵のものに趣味あれど何れも中途半端。(現住)大阪市中西區二丁目一三。

阿部金衛 小樽商業新報社。福島縣(明二八、三)生。(學歷)石川中學、仙臺二高、京都經濟學部卒業。(經歷)大原社會問題研究所に三年間を経て現在の新聞社にて編輯部長に任ぜらる。(主義)マルクス。(趣味)禪。(現住)小樽市富岡町二ノ三。

阿部元吉 展拓社雜誌「產業界」主幹。福島縣(明二六)生。(學歷)慶應義塾商業學校、明治大學政治經濟科。(經歷)東京日日新聞、事業部販賣部に約十年勤務、大正一三年出版代辦展拓社を創業經營す。(趣味)新聞雜誌の研究。(現住)東京市外尾久町上尾久二四二一。

阿里資之 讀賣新聞記者。(明二九、一)。(學歷)島縣に生る。(學歷)府立第四中學卒業、慶應義塾政治科出身。(經歷)大正八年讀賣新聞入社社會部外交及び編輯を経婦人部編輯及び雜誌「婦人と子供」編輯、引續き婦人部編輯。(主義)無主義無宗教。(趣味)玉突、野球、水泳。(現住)千葉縣中山町高石碑。

安倍季雄(新聞歴)明四〇、時事新報社に入社引續現社。(著書)「愛のふるさと」「林檎の花びら」「パットの響」「母のふもかけ」「光榮の勝利」「ホームラック」「吉野幹男」「王城の怪火」等。(主義)獨立自尊主義。(趣味)野球、講演。(現住)小石川區茗荷谷町一六。

安達覺 帝國通信社監査役(常任)。

安達實之助(任天) 大阪朝日新聞佐世保通信部主任。(現住)佐世保市泉町八六。

安藤和風(時雨) 秋田魁新報常務取締役兼主筆。(六一歳)。(學歷)小學も中學も專門も満足に卒業せず學歷殆どなし。(新聞歴)大久保謙作主幹大毅主筆の秋田日報記者たりしことと秋田魁新報在勤二〇餘年。(著書)俳句に關するやくざ著書二三種あれども、固より云ふに足らず。(主義)世界主義、人類兼生物愛主義。(趣味)旅行、讀書、思索。(現住)秋田市檜山三枚町。

安藤信 福島民友新聞記者(明三四、七)生。(學歷)宮城縣立仙臺第一中學校、私立早稲田大學文學部。(經歷)大正四年福島民友新聞に入社。(主義)一言にして表現し得ず。(趣味)音樂、讀書。(現住)福島市新町七二。

安藤壽 大阪朝日新聞社會部記者。滋賀縣東淺井郡竹生村(明三一)生。(學歷)大正一一年三月京都大學卒業。(經歷)大正一一年四月入社。(現住)大阪府

豐能郡岡町櫻塚四五二。

安藤重吉 都新聞社記者。千葉縣那古(明四、一〇、一〇)生。東京毎日新聞記者。(趣味)なんでも好き。(現住)府下淀橋町柏木一四四。

安藤正純(鐵腸) 東京毎夕新聞副社長、東京(明九、九)生。東洋大學卒、早稲田大學政治科修了。外國語學校修了明教新誌(教界唯一の新聞)主筆、加賀金澤政新新聞主筆、日本新聞記者、同社より日露役に從軍記者たり、大阪朝日、東京朝日を通じて十九年間、朝日新聞株式會社取締役、東京朝日編輯局長たり現に衆議院議員たり、歐米各國に周遊す。(現住)淺草區松葉町三九。

安東長義 株式會社藥石日報社取締役。(三七歳)編輯主任。(新聞歴)大七、以來現社勤務。(現住)大阪市西區江戸堀下通三丁目三六。

安東富士夫 東京毎夕新聞記者(明三一、一)生。(學歷)商業學校卒業、早大文科に僅か籍を置く。(經歷)大正八年二月東京毎夕新聞社入社同一年九月東京毎日新聞社へ轉社同一年四月

六月再び東京毎夕新聞社へ轉社し今日に至る。(現住)府下上高井戸一四五。

安中昌信(羽陽) 天業民報社編輯局。山形縣(明三〇、一〇、三一)生。國學院大學道義科卒。本年四月入社。(趣味)讀書と旅行。(現住)小石川區大塚窪町一。

安島譽 東京日日社會部。茨城縣水戸在飯富村(明二八、九)生。(學歷)持に記すべきものなし。(經歷)國民から東日へ。(主義)貧乏暇なし主義。(趣味)運動、獨唱、旅行。(現住)府下中野町三六九九。

足立清(浩郎) 柏崎日報社編輯長。大分縣日田郡三芳村(明二三)生。(經歷)過つて記者生活に入り長岡日報社に十ヶ月現柏崎日報社に在勤すること正に滿八年。(主義)赤心主義(本心に乗托する)。(趣味)思索と發狂。(現住)新潟縣柏崎町本町三丁目。

相原熊太郎(羽陵、桐苑) 都新聞社第二部長。愛媛縣温泉郡坂本村(明一六、四)生。松山中學校、第六高等學校、東京帝大文科大學。日本通信、東京毎日新聞を経て四一年より都新聞にあり。(趣味)雜草の研究、郷土文科の研究。(現住)東京府下井荻村上荻窪三四三。

相川善太郎(愛燕) 報知新聞司法記者。(二九歳)。(學歷)法政大學經濟部。大正二年度卒。(新聞歴)大正一〇、一〇、二八、やまと新聞入社。大正一二、一〇報知社へ轉勤。(主義)平和主義。(趣味)旅行、音樂。(現住)府下杉並町高圓寺。

相田春雄 中外商業新報社廣告部外交。東京牛込赤城下町(明三三、四)生。(學歷)埼玉縣柏壁小學及縣立柏壁中學を卒へて東京物理學校高等師範科入學と共に明治大學商科入學し大正一一年同大學卒業。(經歷)大正一一年都新聞社計畫部入社、一三年辭し萬朝報社販賣部入社し、大正一四年一月中外商業新報社に入社して現在に及ぶ。(主義)帝國主義實利主義。(趣味)野球、ホード、活動寫眞。(現住)東京市外田端一六三。



學校、(經歷)官吏十年餘後は今日迄新聞社員たり。(現住)大分市春日町通り田室。

藍澤環(湖月) 豊州新報社記者。(明二四、一〇)生。(學歷)中學卒業。(經歷)現豊州新報社に入社せるは大正一〇年にして今日に及ぶ。(主義)皇室中心主義。(趣味)乗馬。(現住)大分縣大分郡能州町(電話四七番)。

有地健丸(榮芳) 東京朝日新聞社記者。明治三六、千葉毎日新聞編輯長、大六、東京朝日新聞水戸通信部主任、同一二、本社編輯局庶務課員。(趣味)書畫、撞球、釣魚其他いろいろ。(現住)千葉市本町二丁目。

有田富太郎 豊州新報、大分市販賣所主任。大分縣大分郡明治村(明二三、五)生。(學歷)中等教育(經歷)大正元年豊州新報社へ入社大正一〇年六月、大分市販賣所引受け今日に至る。(現住)大分市荷揚町二番地。(電話九〇五番)。

有田温三(悠々)又は、(か)もめ)大阪朝日新聞社廣島支局長。

(五五歳)。早稻田大學政治經濟科卒業。現に早稻田大學評議員たり(前代議士にして勳四等)。

(新聞歴)岡山、山陽新報、廣島藝備日日新聞等の記者たりしが其後大阪朝日新聞社に入り今は廣島支局長。(著書)「藝山備水」あり。(政黨)憲政會の代議士たりしも政黨の革新を呼號し來る(趣味)謡曲、畫。(現住)廣島市大手町四丁目四四。

有田莫 豊州新報大分市販賣所部長。大分郡明治村(明二七、七)生。(學歷)普通教育。(經歷)大正八年豊州新報社入社營業部員として一ヶ年廣告部員として一ヶ年大正十年六月販賣所に入り以來今日に至る。(現住)大分市荷揚町二番地内(電話九〇五番)。

有森新吉 山陽新報社長(大一〇、三就任)。岡山市(萬延元年正月)生。東大專科經濟科卒。明一七、獨逸留學ストラスブルグ大學卒。(新聞歴)明三二、より暫く山陽新報主筆たりし事あり。(政黨)庚申俱樂部所屬代議士。有馬秀雄(曉鼓今は用おす)報知新聞社通信部。水戸の産

(明二三、一)生。田舎の新聞を二三歩いただけ。(著書)『女』『登山女談評釋』『新聞記者の憂ふ』等。(趣味)寫眞、旅行。(現住)東京市神田區仲猿樂町一七。

青野健夫(鳴々) 大阪毎日新聞社英文毎日記者(明二一、一)生(經歷)大正十三年三井物産辭職大毎入社。(主義)人道主義(趣味)俳句、登山、旅行(現住)神戸市上筒井通五ノ一ノ一層敷。

青山松藏(荷汀) 美濃大正新聞主筆。(明二一、一)竹ヶ鼻町に生る。何の學歷もなし、明三九、以來美濃大正新聞社に勤續今日に至る、その間岐阜縣囃子講師、地分教化團體役員に擧げらる。(趣味)琵琶、相撲。(現住)岐阜縣大垣市田町。

青山與平 都新聞社々會部(司法記者)旭川市(明三五、六)生。(學歷)早大商學部、大正十四年三月卒業。(經歷)同年四月入社。(趣味)スポーツ、(現住)市外戸塚町字下戸塚五七二橋本方。

青柳隆治 東京日日社會部編輯(大八、一一入社)。長野縣(明二三、一一)生。妻と一女。早

大英文科卒業。(新聞歴)久しく雜誌記者。(思想)主義に囚はれるは嫌ひ。(趣味)讀書と植木いぢり。(政黨)政黨は大嫌ひ。(現住)東京市外巢鴨町上駒込三九九。

青柳安茂 時事新報社會部長、大六、五入社。山梨縣(明二三、二)生。母妻。(新聞歴)山梨日日(趣味)新聞製作、讀書。(現住)府下大井町(金子六二二六)。

青柳欣一 國民新聞工務局長。長。(現住)府下大久保百人町二八八〇三神方。

青木平八 前中央新聞政治部記者兼地分部。(學歷)慶應義塾大學理財科卒業。著書、取引所改造(趣味)讀書及音楽。(現住)埼玉縣浦和町八一八。

青木芳太郎 ジャパンタイムス廣告部。横須賀市。(明三一、一、二〇)生。慶應大學理財科本科一年中途退學。歩兵四十九聯隊入隊。石炭業に従事し後生糸仲繼業に入る。(趣味)運動、及タマツキ。(現住)府下荏原郡平塚村小山一七七。

青木九十六 (向陽)岐阜日日新聞社理事兼營業廣告部長。(五

四歳)。本巢郡益智高等小學校卒業其他學歷なし明治大學校外生修了位なり。(新聞歴)明二四、一二、入社。廣告事務擔任大二營業部長兼廣告部長に就職。(主義)不言實行政治に入らず。(趣味)謡曲(現住)岐阜市秋津町。

青木純二 東京朝日新聞高田通信部主任。福岡市外千代町(明二八、六、一〇)生。高等商業學校三年まで。福岡毎夕主筆函館日日、高田新聞、新潟毎日等を經て東京朝日に入社、著述『アイメの傳説』外五種。(趣味)諸國の土人形を集むること。(現住)高田市兩替町。

栗屋甫 福島民友新聞記者東京市(經歷)福島新聞社より中央新聞社に入り現在の社に入社。(現住)福島市曾根田。

赤井松太郎 都新聞社。福井縣大飯郡本郷村。(現住)市外、田端三二七。

赤井安正 近江實業新報社長。京都市。(明二七、九、二)生。現住)彦根町土橋。

明石徳一郎 時事編輯局長。(現住)市外和田堀之内町和泉三六五。

東孝太郎(北龍) 中外商業新報社運動課記者。北海道函館市相生町四六番地(明三八、八)生。日本大學商科。(趣味)スキー(現住)東京市京橋區八丁堀仲町一番地。

東庄吉 折込廣告社社長。長野縣上水内郡豊野町(明二六、四)生。(學歷)小學卒業、獨學。郷里にて信濃毎日新聞の販賣及通信をなす(經歷)大正六年一月出京新聞販賣組合東京事務所及東京毎日新聞社販賣部に勤務大七、七京橋區館前町に折込廣告社を創立震災後本所に移し大一一、十丸の内へ移す(主義)事業萬能(趣味)小兒愛。(現住)麹町區有樂町一ノ四(電話大手一、四二三)。

東清次郎 大分新聞主筆兼編輯局長。鹿児島市(明一六、三)生。(現住)大分市春日町。

穴澤秀 福島民友新聞社記者、福島縣若松市(明三七、四)生。(學歷)若松市立第三小學校卒業、東京私立正則中學卒、明治大學專門部中途退學。(經歷)國民新聞地方部、新會津新聞社員、(主義)平凡。(趣味)運動、文學(現

住)福島縣信夫郡飯田町花園町。

新井一清 信濃毎日新聞記者。長野市横山町(明三二)生。(學歷)教員養成所私立中野塾を卒業後、甲府、水戸、早稻田其他に學ぶ。(經歷)實業家の小僧、小學校教員、演劇舞臺生活、政治屋、中等教員代表、新聞記者(主義)平和主義(趣味)多趣味。(現住)長野縣上高井郡須坂町(電話二一〇)。

新井寛三 信濃毎日新聞取締役支配人。長野市(明一八)生(現住)長野市新町(電話一、二四〇)。

新井甲子男 東京日日新聞通信員(大九、一一入社)。栃木縣(明六、八)生。子女五名。(新聞歴)國民新聞通信員たる事九年(思想)皇室中心主義。(趣味)音楽と盆栽。(現住)栃木縣栃木町西條町。

荒尾慎一郎(葉舟) 武相新報社長兼主筆。新潟市(明九、一)生。(學歷)新潟縣瀧澤明訓校卒業、日本大學(經歷)北門、北辰日報、北民、函毎、越後日報、長野日日、朝野、二六、貿易歴任。(主

義)國家(趣味)旅行、讀書。(現住)横須賀市若松町一番地(電話二二九)。

荒木武行 中外商業新報社編輯局長附。(明二九、八、五)生。福島民友その他田舎小新聞の通信員、探訪、編輯業を経て大九一、より東日、時事より)中外現在に至る。記者生活が十有二年。(趣味)芝居、雜書亂讀、美食。(現住)東京府世田ヶ谷町。

荒木九郎造 豊州新報社營業局外交部長。大分縣大分郡別保村(明一〇、一一)生。(學歷)中等學校卒業。(經歷)大正二年豊州新報社入社今日に至る。(趣味)盆栽、生花。(現住)生地と同じ。

荒木貞雄(布泉) 豊州新報社(大分市)編輯局長主筆。大分縣杵築町。(明二二、一〇)生。(學歷)大阪泰西學館卒業、京都同志社在學の後東京市にて苦學、政治經濟、文學等の諸學科を修む。(經歷)明治三四年以來中央、大阪毎日、東京朝日、時事、中外商業の各社に歴勤して政治方面擔當、大正一三年一月豊州新報に入社主筆、編輯局長として今



日に至る、東京朝日在社中特派員として朝鮮京城に在ること約三年。(趣味)讀書、田園生活。  
**荒水丈太郎** 東京日日廣告部。富山市。(三二歳)。中央及專修に在學せしことあり。(新聞歴)富山新報、内外通信社、時事新報社。(趣味)演説。(現住)小石川區大塚坂下町一五四。  
**芥川正** (蕃洲)株式會社釜山日報社長。(六二歳)。(新聞歴)東京日日新聞、九州日日新聞、臺灣民報、釜山日報。(著書)二三種。(現住)朝鮮釜山府岸本町。  
**天野松衛** 福島民友新聞郡山支局長。(現住)郡山市清水臺(電話四四〇)。  
**天野貢** 沼津日日新聞社會計主任、靜岡縣駿東郡北郷村(明二、一五)生。靜岡縣立沼津商業學校卒業。(經歷)朝鮮總督府郵便局長、沼津魚株株式會社庶務課長。(趣味)文藝。(現住)沼津市條内岩田實方。  
**天野四郎** 大阪朝日新聞社廣告部東京支部長。(明二五、一一)生。妻一男一女。京都帝國大學經濟學科卒業後三菱、紙

會社。大一二、現社。(趣味)乗馬。ゴルフ。テニス。其他。(現住)府下瀧野川町田端三九。  
**淺井仁三郎** 前大阪毎日新聞社印刷部長。大阪市。(明四、八)生。大阪毎日在勤三五年他に經歷なし。(現住)大阪市西區江戶堀南通二丁目。  
**淺井茂猪** (白水)土陽新聞社記者。高知市農人町(明二三、一一)生。(學歷)早稻田大學政治經濟科卒業。(經歷)學校卒業後土陽新聞社に入社。(趣味)繪畫、武道。(現住)高知市北新町。  
**淺田源一** 株式會社正路喜社取締役。岡山縣勝田郡勝間田町(明八、五)生。(經歷)明三九、一月上京同年九月正路喜社に入社今日に及ぶ。  
**淺村成功** 東京朝日新聞聯絡部長(四〇歳)東京帝國大學政治學科卒。(新聞歴)時事新報社より現社。(主義)皇室中心の愛國、(趣味)運動、劇。其他。(現住)東京府下大森新井宿根岸一四六〇(電話大森三八〇)。

**淺海琴一** (變塊)新潟毎日主筆(大一一、四入社)。大分縣(明一八、一一)生。妻あり。京都帝大法學部中途退學。(新聞歴)二年間越佐新報主筆。(思想)人格的貴族主義。(政黨)政友會(現住)長岡市外四郎丸村一九八七。  
**淺野豊** やまと新聞社會部。茨城縣稻敷郡鳩崎村。(明二八、二)生)取立て、言ふ程の學歷なし強て言へば圖書館出身とでも申すべし。四年前現社に入社現在に及ぶ。(趣味)讀書、旅行。現住)小石川區音羽町二ノ一四。  
**朝來野義雄** 豊州新報社記者。大分縣大分郡野津原村。(明二七、三、一一)生。私立中學卒。大正一三年三月豊州新報社へ入社。(現住)大分縣大分郡植田村。  
**麻生豊** 報知社漫畫部。(二九歳)畫としての學歷なし。(著書)ノンキナトウサン(趣味)なんでも。(現住)府下杉並村高圓寺八反目二一五。  
**秋好賢** 大阪毎日新聞社印刷部技師兼兼助役。大分縣(明二五、五)生(學歷)東京帝國大學工科出身。(經歷)三井物産機械課に従事せし日あり。(主義)終始一貫(趣味)スポーツ特に野球。(現住)大阪府神電車沿線香爐園。

**秋山久太郎** 株式會社正路喜社庶務課長。東京市(明三一)生(學歷)慶應大學理財科卒。(現住)小石川區大塚窪町二四。  
**秋山白作** (シロサキ)都新聞社社會部記者。靜岡縣志太郡廣幡村(明三三、三)生。(學歷)大九年早大法科に入學。大一三年三月早稻田大學文科を卒業。(經歷)大正一三年三月早大卒業と同時に都新聞社に入社警視廳詰となり主として事件ものを擔當す、今日に至る。(主義)家庭圓滿の主義。(趣味)總てのスポーツ。(現住)市外大井町一、二六九。  
**秋月左都夫** 前京城日報社長。(六九歳)日向高錫藩校。

立命館大學出身。(新聞歴)京都新聞、關西日日、京都時事支局長。(著作)洛西霸者録。(趣味)寫眞、琵琶、生花。(現住)京都市上京區東小川上立賣上ル。  
**秋澤次郎** (烏川)大阪朝日新聞社調査部長。土佐(明二四、九)生。(學歷)著書臺灣匪誌、車上一夕話、其他雜著三種。(經歷)臺法月報編輯長、臺灣警察協會雜誌編輯長。(現住)西宮市外香爐園池畔。  
**鮎川威** 萬朝報社會部(明二九、一)生。(學歷)早稻田大學商科(經歷)東京毎夕より現在。(現住)市外下流谷二〇五。  
**雨森兼次郎** 事業と廣告社社長。萬朝報廣告部長。  
**網中幸義** (春江)朝鮮毎日新聞社編輯局長。大分縣宇佐郡長洲町(明二六)生。(學歷)熊本市私立鎮西中學卒業。熊本英語專修學校卒業。(經歷)明治四四年二豐新聞記者を振出しに西鮮日報全北日報各編輯長、朝鮮毎日新聞社理事、北九州新聞主筆長洲局長を経て現職。(現住)朝鮮仁川花町一丁目九十二番地。

**絞坂貞盛** 鹿心島朝日新聞主筆兼編輯長。鹿心島縣(明一三、九)生。(經歷)藝備日々、日本、電通を経て。(現住)鹿心島市上荒田町四。(電話一五六〇)。  
**佐渡高一** やまと政治部。宇和島市(明三二、六、三)生。(學歷)日本大學政治科卒。(經歷)シャパンタイムスに一年現社に一年。(現住)青山原宿二〇三。  
**佐藤巖** (翠湖)京城日報東京支局長。(三九歳)大分縣師範學校附屬小學高等一年修業後獨學、日本大學出身。(新聞歴)仁川朝鮮日日新聞記者を振出しに東京日日新聞政治部員、大分新聞主幹大分日日副社長を経て。(著書)「大分縣人士話」「別府温泉」「漫畫の別府」其他。(主義)穩健者實。(趣味)洋畫。(現住)四谷區。佐藤勇生 東京日日社會部編輯。大分縣(三二歳)大分公立工業學校附屬科。(新聞歴)大分、大分新聞入社、大六、同紙姉妹紙中津新聞發刊に際し主任記者として特派、七、六歸社。

大八、報知新聞入社、同年一二大阪支局長、大一一、東京日日新聞入社。(著書)纏りたるものなし。(主義)その時の心持により變る。(趣味)あまり上品な方にあらず。(現住)東京府下田端五三〇)。  
**佐藤藤一** (尊慮)東京通信社事務理事。伊豆(明二〇、五)生。(學歷)立教學院出身。(主義)凡人主義。(趣味)書籍、散弄(現住)東京市外高圓寺八五四(電話中野三五八)。  
**佐藤智慧子** シャパンタイムス社幹部室秘書。京城縣栗原郡高清水町。(明三四、六)生。日本大學文學部社會學科卒。(趣味)讀書、音樂。(現住)牛込區。新小川町。  
**佐藤勝三郎** 神戸又新取締役編輯局長(明四二、入社)。長野縣生。家族九人。東京專門學校(思想)皇室中心主義(現住)神戸市平野馬場町三三七。  
**佐藤克己** 二六新報社編輯局長。  
**佐藤民治** (無我)株式會社京華社事務取締役、慶應三年正月千葉縣に生る。(學歷)東京法學院

卒業。(經歷)明治三三年一月京華社に入り引續き今日に至る。(趣味)草花。(現住)麻布區霞町一八。(電話青山三四〇三)。  
**佐藤登** 大分新聞社執筆編輯主任。(明二七)生。(現住)大分市天神町。  
**佐藤健次郎** (紫蝶)福島市福島民報社。福島縣伊達郡川俣町(明三〇)生。(學歷)大正七年福島中學校卒業。(經歷)別段なし。(主義)皇室中心主義。(趣味)讀書、周易、演劇、映畫、音曲の類。(現住)福島市新町八四。  
**佐藤易之助** (無有生)六一歳)前東京朝日新聞支局長主任同人社二松學舎、佛學塾にて修學。(新聞歴)日本新聞社、毎日電報社に入り後今の遼東新聞社に入社す。(著書)なし。(主義)不言實行。(趣味)園藝と讀書。(現住)府下大森驛不入斗五三二)。  
**佐藤貞治** (露江)三五歳)石巻日日新聞社主筆兼編輯長。(新聞歴)十八歳のときから記者生活に道入つたのみ。(著書)二三あり。(主義)國家社會主義。(現住)宮城縣石巻町海門町。  
**佐藤三郎** (未到)報知新聞社。



宮城縣(明三五)生。(學歷)早稲田大學政學士。(經歷)一五年四月入社。(主義)ヒロイズム(趣味)すもふ、劍道。

佐藤吉治郎(夜牛) 臺灣新聞社臺北支局長。仙臺市に生る(明二六、四)。中學程度。東北新聞、國民新聞(明四二より大九、一〇)を経て大九、一〇、臺北新聞入社。(趣味)俳句。(現住)臺北市若竹町二ノ一。

佐藤稔 福島民友新聞平町支局長。(現住)平町南町七一(電話五二〇)。

佐藤至善 新愛知新聞社會部長(明四一、二入社)。名古屋(明二〇、二生)。妻と一男一女。(新聞歴)新愛知、岐阜、金澤、東京各支局長。(趣味)日曜の遠足位で餘暇なし。(政黨)政友會(現住)名古屋西區南驛町九。

佐藤新樹 中外商業新報社總務局長。岩手縣。(明一一、二)生。明四〇、中外商業新報社に入社したまふ。(趣味)釣魚。(現住)下道谷五二三。

佐藤十三(鹿城) 新聞研究所、總務部次長。大垣市。(明一五、一〇)生。(學歷)愛知一中卒、早

大中途。(經歷)國民(七年)毎夕(一二年)を経て現在。(主義)努力。(趣味)箏、碁、かるた、日本音樂。(現住)小石川區大塚町七三。

佐藤順造 日本婦女通信社長兼編輯監督(明三七、一一入社)。岐阜縣古川町(明五、一〇)生。家族妻。第一高等學校。國民英學會。(新聞歴)國益新聞、千葉日報。(著作)大日本婦人雜誌人社交名簿婦人年鑑。(現住)牛込區市ヶ谷町三ノ八。

佐藤元治(虎峰) 福島毎日新聞記者。福島縣相馬郡石橋村(明二四)生。(學歷)小學校卒業。(經歷)一二年間記者生活。(主義)民本。(趣味)政治、園藝。(現住)福島市中谷地四。

佐藤精一 福島民報社演藝記者。福島縣河沼郡柳津村。(明三一、六、二四)生。(趣味)音樂、演藝。(現住)福島市清町二七。

佐藤末太郎(瀟泉) (五二歳) 豐州新報社駐在記者。明三〇、大分縣看守及巡查を奉職し同四一、退職後直に現在の職に就き以て今日に至る。(新聞歴)明四一、三より駐在記者となり今日

に及ぶ。(主義)政友本黨主義。(趣味)園藝と謡曲。(現住)大分縣北海部郡佐賀關町。

佐藤末松(春浪) 秋田新聞社、社會部長。秋田縣仙北郡(明二八)生。(趣味)書畫。(現住)秋田市築地中町。

佐野博章(三一歳) 遼東新報社東京支局營業部員。京華中學出身。(新聞歴)大八、遼東新報社入社。(著書)なし。(主義)努力一貫。(趣味)演劇と音樂。(現住)府下蒲田町御園三四一。

佐野喜作 小樽商業新報社會部。(現住)小樽市綠町二。

佐久間晋 東京毎夕新聞社鐵道省誌記者。千葉縣(明三四、七)生。(學歷)東京外國語學校スハイノ語部、青山學院高等學部實業科修業。(經歷)銀行員。(主義)オソドソックス、ソウワザリズ。(趣味)釣と草花栽培。(現住)東京市本所區駒込千駄木町一四四。

佐伯復堂 法律新聞社主筆。(明一〇、一二)生。(學歷)哲學館(現東京大學)出身。(經歷)東京朝日新聞記者。(主義)皇室中心の民衆主義。(趣味)謡曲。(現住)

牛込區加賀町一ノ三。

佐々田道徳 中央新聞社編輯局庶務。島根縣津和野町(二四歳)。(現住)小石川區原町二三瀧澤方。

佐々木慰(綠林子) 北海タイムス社記者。大阪(明三一)生。(學歷)東京帝大出身。(經歷)縣立千葉中學教師、五九郎劇文藝部に勤め、更に轉じて記者となる。(主義)主義などなし。(趣味)藝術百般。(現住)札幌北二條西十博學協會。

佐々木健兒 日本新聞聯合社北京支局。兵庫縣神戸市(明三七)生。(經歷)大正一三年六月東方通信社に入社、大正一五年五月日本新聞聯合社に轉ず。(現住)北京東城樓風樓二〇(電話三九〇)。

佐々木貞次郎 (三五歳) 時事新報社會部。早稲田大學政治經濟科卒。(新聞歴)現社。(主義)享樂主義。(趣味)落語。(現住)東京府下大井町北濱川一八九三。

佐々木金之助 國民新聞社會部。鳥取縣(明三〇)生。(經歷)毎夕、東海、國民。(現住)杉並

町高圓寺八〇九。

座間勝平 東方通信社主幹。千葉縣安房郡。(明一七)生。(經歷)二六新報記者、報知新聞調查部長。(現住)赤坂區青山南町六ノ一〇三。(電話)青山四三〇八番)。

座間止水 讀賣新聞編輯局主事。千葉縣安房郡平群村(明一五、七、二三)生。自修自學。二六新聞、中央新聞、國民新聞、帝國青年編輯長、日本青年館主事長、東京毎日主幹編輯局長。(趣味)讀書及び發明。(現住)市内西大久保二〇四。

齊藤徹 東奥日報社弘前支局長取締役。弘前市(明二、七)生。(學歷)東奥義塾。(經歷)弘前市農會長、明治三九年より東奥日報社勤務。(現住)弘前市徳田町。(電話)六二八)。

齋藤龜一郎(巴江) 福島毎日新聞編輯長。福島縣伊達郡小島村。(學歷)記すべきものなし。(經歷)明治四十一年三月福島民報社入社以來福島新聞、福島民友新聞、中央新聞、福島支局、國民新聞福島支局等に歴任。(趣味)文學、美術、旅行。(現住)福島市大町十番地。(電話)四三四

齋藤馨 東京日日新聞社活動班。千葉縣富津町(明三一、二)生。千葉縣立木更津中學校卒。名町長として知られたる故齋藤文次郎氏の次男として、酒造家三平菊之助氏の養子となりしことあり。中學卒業後郷里の小學校に教鞭をとること一年、和漢、英語社會學を獨學後大正七年入社、今日及ぶ。(趣味)和洋音樂、野球、劍道、角力、テニス、旅行、映畫。(現住)東京市外下道谷一七〇。

齋藤康(芳花) 東京毎日新聞記者。栃木縣鹿沼町(明二九、七)生。明治大學法科大學部卒。萬朝報社、中外商業新報社。(現住)東京市外神野川町上中里四一七。

齋藤謙藏(甲花) 關西日報主幹。(明一一、二)生。獨學。大阪新報、神戸新聞、大阪毎日、東京日日、二六。(趣味)田園生活、人の選舉を助ける癖。(現住)泉州濱寺。

齋藤秋治 福島民報社營業部長。

齋藤隼一(三〇歳) 東京朝日通信部。東京外國語學校獨逸語

文科本科卒。(新聞歴)大一二、四、東京朝日新聞社入社。(現住)市外世田ヶ谷四八五。

里見敬二 政治經濟通信副社長兼營業部長。明二七)生。(經歷)帝國新報主筆、中央新聞記者、自由文壇社主幹、經濟公報主筆。(著書)「全國炭礦行脚(四六判二千頁)等外二三種。(現住)市外高田町維司谷六五九。

里見岸雄(置川) 天業民報社客員。東京(明三〇、三)生。早稲田大學文學科哲學部、田中智學先生門下。早稲田大學文學士天業民報記者、國見日本文化研究所長。(現住)兵庫縣西宮町。

里見謹吾(模公) 政治經濟通信社長兼主筆。(明二一)生。(經歷)中國民報記者、北陸新聞記者、みくに新聞主筆、日本電報通信記者、國民新聞記者、新愛知新聞理事兼東京支局長、中央新聞政治部長、同政治部編輯長、帝國通信社客員、讀賣新聞記者。(著書)帝國議會の内幕暴露、近海の富源伊豆七島、實用作文講話、陣笠日記等數種。(現住)麻布區谷町四。(電話)青山六四一〇)。

澤畑末吉 秋田新聞社營業部

長。秋田市(明一六)生。(趣味)酒。(現住)秋田市檜山醫院前町。

澤田寅吉 都新聞社。滋賀縣(明三五、二)生。滋賀縣立長濱農學校卒業後獨學。大阪時事新報經濟部から東京萬朝報を経て現社に入る。(趣味)酒、旅行。(現住)東京市本所區。

澤田忠次郎(撫松) 帝國新報論說擔任大九、一二入社。各雜誌寄稿。家族三人。同志社大學、明大法科卒。(新聞歴)日日、國民、中央、讀賣、毎夕。(著作)明治大帝、明治五十年史慮げられた女に代つて、生の悩み戀の悩み女、女の心男の心。日本の女史其他。(趣味)旅行と犬。(現住)東京市外西大久保二〇三。

澤田敬三(大觀小樓主人) (三九歳) 日刊但馬日日新聞社社長。縣立豐岡中學校卒。京都平安樂法文科出身。(新聞歴)神戸又新日報社から郷里に歸り但洲日報電報新聞を創刊し大一一〇、一切を合併して今日に至る。(著書)民本主義解説、政黨改革と青年の力。(主義)二宮尊徳宗。(趣味)書畫と旅行。(現住)兵庫縣城



崎那豐岡町。

澤田進之丞 國民新聞社社會部。岐阜縣(明三八)生。(經歷)中央を経て國民。(現住)府下王子町下十條一七〇。

坂部藤二 國民新聞社販賣部長。(現住)市外世田ヶ谷太子堂三一八。

坂部壽之助(穂州) (三二歳)。報知新聞社經濟部。專修大學專門部出身。(新聞歴)運動界雜誌經營、讀賣新聞等を経て現社に至る。(著書)運動界。(主義)皇室中心主義。(趣味)撞球。(現住)大森不入斗九二三。

坂戸公顯(榮) 中外商業新報。(明三〇、一)生。東洋大學文學部國語科卒。前「婦女界」記者。(現住)東京市外世田ヶ谷町三宿六五。

坂牛直太郎 小樽新聞社取締役營業局長。盛岡市(明二四、一)生。大六、三、東京帝國大學英法科卒。大六、四、より同一、一、迄三井物産株式會社に奉職、大一一、一、小樽新聞株式會社に入り今日に及ぶ。(趣味)寫眞。(現住)小樽市富岡町一、二〇。

坂野井庄次郎 福島民友新聞記者。福島市早稲町十八番地(明三六)生。(學歷)福島中學卒業。(經歷)大正十五年八月福島民友新聞社に入社、現在に及ぶ。(主義)東洋主義。(趣味)寫眞、讀書。(現住)福島市堂ノ前八番地。

坂口藤佐一 報知新聞記者。(明二〇、四) 兵庫縣淡路に生る。(經歷)四十四年入社今日まで通信部、社會部、經濟部、通信部、聯絡を轉々してゐます。(趣味)園藝。(現住)府下大森新井宿一三二六。(電話)大森一四二〇。

坂口二郎 福日客員。福岡縣(明一四、五)生。早稻田大學文科。讀賣、萬朝報、中央新聞、萬朝報。(趣味)散步。(現住)市外中道谷三五。

坂口儀作(譽水) (三七歳)。大阪朝日新聞社、朝日スポーツ獨學(給入)。(新聞歴)明四三、ら富山縣高岡市の高岡新報、大阪朝日通信部に大七、轉。九州版、京都附録編輯よりスポーツに轉。(著書)なし。(主義)己れのことと己れで爲す主義。(趣味)總ての運動、田園、旅行。(現住)兵庫縣武庫郡鳴尾村本郷。

坂木敏雄(乙骨散作) 中央新聞社整理部。山梨縣甲府市(二十一歳)。(學歷)甲府中學中途退學。(主義)野蠻主義。(趣味)喜劇、悲劇。(現住)東京市外淀橋町柏木九清水方。

坂下繁太郎(斜川) (明一九、一〇) 在青島新聞編輯擔任西播左用の片邊り即ち郷土の尋常高等小學校を卒業せし外學歷無く二十歳頃神戸に飛出し米搗き又は人力車夫に他凡ゆる辛酸を嘗め後に活版所の大僧となり傍ら獨學修養なし、今日に到る。(著書)なし。(主義)國家中心主義。(趣味)讀書と俳句。(現住)青島肥城路三四。

坂下廣志(白夜) 信濃時事新聞社社會部。下伊那郡那那村(明四〇)生。(學歷)なし。(經歷)大正十四年四月信濃時事新聞社に入社。(主義)社會改良主義。(趣味)野球。(現住)下伊那郡那那村。

坂本令太郎(國令太) 信濃毎日編輯局長。(明三七)生。東洋大學文化學科中途退學。(現住)長野市西長野六軒町。

坂本宗一郎(子蟬) 德島毎日社會部長(大六、九入社)。德島市(明一九)生。妻と二男一女。德島中學卒。(思想)國家社會主義。(趣味)俳句、演劇、音樂。(政黨)政友會。(現住)德島市幡町四丁目。

坂本登(登龍) 臺灣新聞社支配人。高知縣(明四、一〇)生。教育家より軍人となり後明三〇、渡臺官吏となり大正元年野に下り各種會社の經營に當り今尙臺灣製糖株式會社の重役なり。大一一、一、新聞社に入社せり。(趣味)寫眞、狩獵(現住)臺中上川。

坂本正雄 日本電報通信社米國留學生。(明五、高知縣に生る)。(學歷)早大政治部經濟科卒。(經歷)日本労働總同盟五周年までの會長の書記と機關新聞の主任。時事と朝日を経て、大正十二年十一月から現社。(著書)廿世記の男女「友愛會創立史」南米移民案内等。(現住)Oakland U. S. A. Street, Colkand U. S. A.

酒井謙吉(巷陽) 神戸新聞社東京支局長。東京深川(明二五)生。(學歷)獨學。(經歷)東京日日新聞在社の經驗あり。(趣味)經濟研究。(現住)東京麹町平河町四ノ十三。(電話)京橋五三三〇。

酒井重吉 大分新聞記者。(現住)大分縣中津町。

眞田市郎(岳州) 會津日報社編輯主任。福島縣河沼郡堂島村(明三九、七、五)生。(學歷)小學校卒業後中學校を経て早稻田大學專門部中途退學(政治經濟)。(經歷)會津實業新報、中外商業新報經營、福島新聞若松支局、會津日報政治部現在。(主義)實行を離れて、まはりの理論。(趣味)音樂、民謡。(現住)福島縣若松市甲賀町一三一。(電話)長二八番。

櫻田清芽(默迂) 弘前新聞主筆兼編輯長。弘前市植田町十八番地(明一八)生。(學歷)明治三十九年弘前中學卒業後明治大學に入り在學二年中途退學。(經歷)明治四十三年六月陸奥日報記者となり北辰日報記者より再陸奥日報記者となる。大正四年弘前新聞記者大正七年陸奥日報編輯長、八年主筆、大正九年九月弘前新聞社長兼主筆、大正十年主筆、同十五年主筆兼編輯長。(主義)強いて云はば國本主義乎。(趣味)園藝。(現住)弘前市植田町十八番地。(電話)弘前七三九)。

櫻木實藏 大分新聞記者。(現住)大分縣竹田町。

笹原定治郎(湖風) 莊内新報社主幹。鶴岡市(明一五、一)生。(學歷)平凡主として獨學。(經歷)放浪、新聞記者、秩序紊亂にて山形入獄半年。(主義)國家大家族主義。(趣味)讀書、遊浪。(現住)鶴岡市元曲師町。

笹川太郎(清水) 東京毎夕新聞記者。千葉縣(明二一、三)生。(學歷)千葉縣私立成田中學五年級第二學期修了退學。(經歷)明四一國民新聞記者となり大七、九迄記者生活を爲し同年九月五日外國に渡り同十一月十月歸國十三年一月東京毎夕記者今日に至る。(現住)千葉市新通町一二六六。(電話)千葉六四〇番)。

三瓶仙輔 福島民報社東京支局長。

木川忠一郎(野毛山人) 前東京朝日速記主任、木川速記事務所主幹(明三八、四入社)。東京(明六、一一)生。家族三人。(新聞歴)東日。(著作)伊藤公演説集。(現住)東京市外中道東四〇〇)。

木村東(素貧翁) 東京朝日通信部次長。熊本縣菊池郡西合志村野々島(明二七、二)生。中央大學政治經濟科出。大八、四、讀賣新聞社社會部に入り農商務省、遞信省擔任、同九年十二月現在に轉じ、宮内省坂下クラアに籍を置き、(趣味)都市問題と社會政策の書をよむこと)。

木村松之助 朝鮮毎日新聞東京支社長。東京府荏原郡玉川村(明七、八)生。(經歷)明治三六年自由通信社へ入社し、四三年退社其より二六新聞社、大阪新報社、中央新聞社等へ勤務し大正一三年三月より現朝鮮毎日新聞東京支社長を任命さる。(趣味)戲球、園藝(現住)市外澁谷町中澁谷五七二)。

木村政次郎 東京毎夕新聞社長。ラジョ新聞社長。(現住)芝區白金三光町三九三)。

木村正文 東京毎夕新聞合資會社出資者。(現住)麻布區富士見町五)。

木村正之(二八歳) 國民新聞社寫真課布哇ヒロボーアングスクル出身。(新聞歴)國民大九、

木村清一(四〇歳) 因伯時報株式會社事務取締役。慶應義塾大學理財科出身。(主義)政友會派。(現住)鳥取市本町二丁目)。

木村征夫 大阪朝日新聞社高知通信部主任。福岡縣(明二七、一一、一二)生。(現住)高知市西唐人町五七)。

木村禮八郎 時事新報社經濟部。東京府(明三四、二)生。(學歷)慶應義塾經濟學部卒業。(現住)東京府大井町參貳六參)。

木村儀兵衛 都新聞政治部、山口縣小串町(明二八、五)生。(主義)現在新聞記者の通稱とも見らるる獨りよがりて排他的流儀を憎むこと切也(現住)東京市本郷區駒込神明町三二八)。

木村作次郎(竹塲) 美濃大正新聞社長。(明五)大垣市に生る。法學院に學ぶ。明三五、獨力で新聞を起し今日に至る、その間衆議院議員、岐阜縣會議員大垣市會議員等に擧げらる。(趣味)政治、謠曲。(現住)岐阜縣大垣市使町)。

九、入社。(趣味)藝術寫眞。(現住)中澁谷大向八三六)。



木下東作 大阪毎日新聞編輯顧問兼運動課長。京都(明一一、六)生。東京府一中、第一高等學校、東京帝國大學、同大醫院(經歷)東京帝大醫學教室、大阪高等醫學校、大阪醫科大學、後大阪毎日新聞(趣味)運動。(現住)大阪市住吉町一〇五二の五。

木下乙市 中外商業新報編輯。伯耆國(明二二、六、三)生。加州大學、南加大學(新聞)新報記者(桑港)華府會議特派員(シタカリー)主筆(英文)出版譯書「純正哲學概論」(新文明再建の精神)。(現住)市野野方町新井一四八。

木下一雄 (城東) 柏崎日報社記者。新潟縣頸城郡柿崎村金谷(學歴)。(明三〇)生。(主義)理想主義(趣味)政治、文學(現住)新潟縣柏崎町港町二。

木下信行 (三二歳) 時事新報社政治部(新聞)時事新報社(大八、二、入社)。(現住)東京市外松澤村松原八。

木下不二太郎 大阪毎日中央聯絡部(明四三、入社)。大阪市(明一四、一〇)生。母妻二女子。(思想)悠々自適主義、宗教

的。(趣味)園藝、劇、舞踊。(現住)名古屋市中區老松町三の五二。

木本精八 豊州新報社工務局長。大分市王子町(明二三、三、三)生。明三七、一一、二八入社。(趣味)讀書と登山。(現住)大分市王子町三丁目。

城戸元亮 東京日日新聞社編輯主幹。大阪毎日新聞常務取締役。(現住)府下崔原郡入新井町新井宿一三二九。

喜多清二 (四〇歳) 大阪毎日新聞社特派員。縣立神戸第一中學校卒。早稻田中途退學。(新聞)明四四、三、神戸新聞入社。大五、九、大阪毎日に入社、神戸支局、吳特派員を経て現任に至る。(著書)燐寸商標史(大正四年)。(現住)和歌山市八番町。

喜多尾明昌(源五郎) 株式會社晝夜通信社記者。(經歷)大阪新報、大阪時事、彦根新聞、二六新報の各記者(趣味)狩獵、旅行(現住)東京市麹町區紀尾井町六番地。

貴志忠憲(鹿山) (四七歳) 北門日報社編輯長。東京郵便電信

動。(現住)東京市赤坂區青山南町五丁目四五。

北野庄吉(秋村) 前金澤新報主筆編輯長(大八、七入社) 石川縣下(明一六、六)生。兩親弟妹各一。中央大學法律科卒。(新聞)石川新聞。新愛知金澤支局長。北國日報(思想)穩健主義。政黨)終始一貫政友會。(現住)金澤市上柿木五三。

北澤保次(樂天) 時事漫畫主筆(明三六、入社)。東京(明九、七)生。家族六人。洋畫出身。(事業)東京パツク。樂天パツク。家庭パツク。(政黨)無。(現住)芝區白金三光町二六三。

北澤春平(金龍庵) 日刊千葉報知社主筆。(明一八、四)生。私塾尾内種一郎氏を師とし漢文修業、明大法科(明治法律) (新聞)上野日日新聞發行人。上毛新聞記者報知新聞在社一六年。(趣味)義太夫。(現住)千葉縣長町九七五。

北島文人 東京毎日新聞記者。福岡縣久留米市京町一四八。明三三、一、一)生。早稻田大學法學部卒。(現住)牛込區喜久井町六七誠正館。

學校卒。東興義塾卒。(新聞)東京新聞、東北新聞、關東日日新聞、北鳴新報、函館毎日新聞、北門日報。(著書)護國の礎、古今史譚。(主義)國家主義(趣味)書畫。(現住)小樽市入舟町。

桐島像一 大阪毎日新聞社監査役(現住)東京市本郷駒込上富士前町(電小七〇)。

清川秀敏 福島毎日新聞社記者(東京市)。(明三三、六)生。(學歴)法政大學中途退學(經歷)福島日日。福島新聞。福島民友(主義)純正國家社會主義(趣味)スゴーツ。映畫(現住)福島市柳ノ町前市營住宅十七七號(電話四一)。

清田忠五郎 小樽新聞廣告部長(明四〇、入社)。關係事業數多。新潟縣(明一三、一一)生。家族七人。錦城中學卒。後採礦冶金を専攻す。(新聞)新潟實業。新潟毎日。(思想)現代思想を善化し世界先進國たらしむべく努力精勤の事。(趣味)社會の進展をはかるを以て唯一とす。(現住)小樽區花園町西四丁目六。

清澤巖(冷果) 東日廣告部、秋

北森四郎(鈴路) 土陽新聞社寫眞部、製版部、高知市通町四丁目(明三三)生。(學歴)中學二年中途退學(經歷)大正七年入社今日に及ぶ。(趣味)俳句。(現住)高知市湖江上町二九九。

吉川(カキ)主一(香雪) 中國民報社地方通信(明三六、一一入社)岡山縣吉川村(明一二、四)生。家族妻と一男二女。岡山中學。有隣學舎。東京學館。(新聞)本社に四年備中金光に一〇、大六より笠岡に轉任。(現住)岡山縣笠岡町。

菊池仁(空々歌客) 大阪朝日整理部夕刊編輯(大八、四入社)。大分縣竹田(明二三、一)生。妻男三人。東京帝大文科國史學專攻。(新聞)大阪時事大阪毎日何れも整理部勤務(著書)奈良平安朝時代の奥羽經營、勤王說發達史論。(趣味)美人と良酒なら無條件降服の程度。(現住)大阪府中河内郡高井田新喜多一〇。

菊池清(蘭芳) 大阪日日新聞社取締役。(現住)兵庫縣芦屋字平田(電普一三九)。

菊地喜一(戀人) 株式會社京華社、外務員、東京市京橋區

田縣、(三六歳) 中學卒業後外語、日大等の門をくゞつたことある。小學校の教員、雜誌記者、新聞記者等を経て一度雜誌を経営して失敗しその後新聞の營業部から現職へ。(趣味)文藝。(現住)龜町區飯田町六丁目二二)。

清澤冽(信濃太郎) 中外商業新報外報部長。信州(明二三、二)生。米國タマコ、ハイスクリル及びホイットウオリスカレラ(新聞)シアトルの北米時事桑港の新世界新聞に勤む。(現住)神奈川縣鶴見町花月園内。

京田武男 東京放送局アナウンサー(大一一〇)。東日の事業課新設入社)體育協會水泳部常任委員。東京市本郷區(明二二、二)生。家族父母あり。早稻田大學政治經濟科卒。(新聞)二六新報。國民新聞外報部及社會部。特に運動擔任。(著述)最近の水泳術。乘馬熱と乗る競技。(思想)アモクラシー。(現住)市外下目黒五二一)。

京極利行(四蘭軒勇夫) 大阪時事新報社學藝部(關方面擔當) 廣島縣海田市町在奥海江田村

岸島巖町十五番地。(明二三、四、一五)生。中學二年修業。元貯金局書記。(趣味)草花。角力。(現住)東京府下淀橋柏木八九有原方。

菊竹淳(六鼓) 福岡日日編輯長(明三六、一一入社)。福岡縣(明一三、一一)生。妻子女四人。早大英語政治科卒業。(政黨)政友會。(現住)福岡市船津町。

桔梗久治(雨聲) 國民新聞山形支部長。山形市。明二七、一一、二二)生。大八、一一、報知新聞入社。同年一二、同新聞八王子支局長。大一一、一〇、水戸支局長(赴任せずして同月五日辭職)同月一〇、國民新聞入社。横濱支局勤務。大一一、一〇、家事の都合に依り同社を辭し歸郷。大一一、一、二八、再入社。山形支局長となる。(趣味)一般運動競技。特に相撲。(現住)山形縣前通)。

岸井壽郎 東京日日新聞印刷部長。

岸本吉太郎(操山) 山梨毎日新聞社東京支局主任(明二〇、四)岡山縣生。(學歴)中央大學に學ぶ。(經歷)帝國新報社營業

(明二八、八)生。(學歴)大阪醫科大學二年退學(經歷)大九、一一大阪時 新報社會部入社、大一一〇、一一、一學藝部轉勤。(主義)自力でやれるだけはやる、ゴマ化しはきらい(趣味)劇、音樂、古典、美術探勝及び其等に關する讀書(現住)大阪市外阪急沿線石橋在(トドロキ)順正寺山内。

北實 前東京毎日新聞社社會部長。石狩中富良野村。(明三六、一、二)生。釧路中學を経て第一外國語學校。大北日報。(現、北見日報)、樺太民友新聞等を経て大一一、九東京毎日新聞に入る。(現住)牛込區赤城下町五〇常盤館。

北川空固 二六新報理事兼經濟部長兼事業部長。

北楯良彌(遠) 莊内新報社編輯係。鶴岡市外新富郡(明三六、九)生。(經歷)居候、放浪、小學校教員、郵便局員、新聞記者。(主義)利己主義。(趣味)讀書。(現住)鶴岡市家中新町乙二〇。

北村榮二郎 東京朝日新聞社廣告部長。大阪(明二七、二、二四)生、神戸高等商業學校東京高等商業學校專攻部。(趣味)運



局長を経て現任となる(主義)中正。(趣味)讀書(現住)東京府下蒲田町新宿六〇五。

岸本清 上毛新聞社速記者。廣島市段原町官有百一番地ノ二。(現住)群馬縣前橋市北曲輪町四〇番地。

金性洙(仁村) 東亞日報社長。京城府桂洞一三二番地(明二四、九)生。全北高敞郡富安而仁村(學歷)大三年早稻田大學政治經濟科大學部卒業。(經歷)大六京城私立中央學校校長被選。大七同校長解任、大八京城紡織株式會社取締役被選。同六京城織組會社社長被選(趣味)乘馬(現住)京城府桂洞一三二番地(電話)光化門七三三〇。

ゆ

弓館芳夫(小鱈) 東京日日運動課長(大七、八入社)。岩手縣一關(明一六、九)生。家族四人。早大英文科卒。(新聞歴)萬朝に約十年。(趣味)酒と旅(現在)府下淀橋町柏木九二。

八)生。麻布中學校卒、國民新聞記者、信濃毎日新聞記者、東京毎夕新聞主幹、大阪帝國新聞主幹、支社主幹、(現住)四谷區左門町二八(電四、四五八九)。

め

目野喜三郎 大分新聞社營業部員、大分縣大分郡桃園村大字千歳(明二〇、一一、一五)生。(現住)大分縣大分郡桃園村大字千歳。

み

三輪章(反牛) (五三歳) 名古屋新聞社監査役(明一八)生。滋賀縣滋賀郡下龍花村水室學校中等第二級中途退學(二二歳)(新聞歴)明一九、六名古屋金城新聞入社引續き改題現社に従事す此間新聞業に關する事は配達し

り給仕職工、販賣、營業、記者一切の経験を爲す。(趣味)寫眞、遊漁(現住)名古屋市中區堅三ツ藏町二丁目。

局勤務、静岡市東洋民報記者勤務、報知新聞静岡支局勤務、静岡民友新聞記者より今日に到る。大一四、四、静岡市會議員に當選。(趣味)寫眞、義太夫。

三浦弘一 時事新報社經濟部長。岐阜縣。(明二五、一六)生。早稻田大學政治科。(現住)府下世田ヶ谷下北澤七七四。

三浦修治 時事新報社廣告部長(現住)南品川三ツ木館ヶ崎八四九。

三宅倉太郎 神戸大阪プレス社(日刊神戸)ラルド大阪ガゼット新聞發行)取締役營業局長(現住)神戸市西灘村河原三八一。

三宅正夫 やまと新聞社會部。香川縣三豐郡高室村に生る。早大商學部(十二年度)(現住)小石川大塚町六八。

三宅昌一 秋田魁新報社速記部長。商校。(三〇歳)帝國通信社を経て今日に至る。(趣味)旅行。園藝。圍碁。(現住)秋田市樽山栄町二〇。

三宅周太郎 東京日日囑託。(現住)本郷區菊坂町菊不二ホテ

三澤精英(香山) 信濃毎日編輯長(大五、八入社)。信州諏訪(明一一、一)生。家族六人。長野師範、早大何れも中途。(新聞歴)國民、帝國新聞、山梨日日、京城日報。(思想)總てに對し懷疑的也。(現住)長野市東之門町。

御手洗禱一 大分新聞記者。(現住)大分縣佐伯町。

御手洗辰雄(澤山) 報知新聞社會部長。大六、八入社。大分縣(明二八、三)生。(趣味)酒と屁理窟と寫眞。(現住)市外大井町鹿島谷三二六〇。

三木善八 報知新聞社主。淡路島に生る。(新聞歴)青年時代淡路新聞に關係し、神戸新聞を経て報知の前身郵便報知に入り經營苦心今日に至る。(現住)東京市外池上。

三木七郎 報知新聞工務局長。(現住)府下平塚村中延一一〇。

美土路昌一 (四一歳) 東京朝日新聞社編輯局主幹論說委員整理部長、早稻田大學英文科に於て現社に入社日獨戰争従軍記者上海特派員組育特派員から通信部長、社會部長等を経て現職に到る。(現住)小石川區金富町二二。

美馬太五郎 (三六歳) 京都日日新聞社直配部長。(新聞歴)大一〇、四入社今日に至る(現住)京都市新町下立賣上。

三田恒雄 (三〇歳) 福島新聞社。中學卒其他、新聞歴一貫して現社。(趣味)撞球。(現住)福島市置賜町五九。

三田英一 福島民友新聞社記者(外交)。福島會津若松市大町名古屋三四(明三五、九)生。(經歷)福島新聞社、主義)皇室中心主義(現住)福島市杉妻町五竹内方。

三田輝次 (白夜または白羽箭) 萬朝報福島縣通信部主任及び株式會社東北毎日新聞社常任監査役、福島縣柳倉町(明二五、六、二)生。中學卒其他は中途福島新聞主幹兼主筆、福島日日新聞主幹兼主筆にて一四年間を勤続(關係事業)磐城鐵道會社常務取締役、久慈川水電會社常任監査役。(趣味)文藝、煙草。(現住)福島市置賜町五九。

三井定次 時事新報社(調査部)主事。(現住)本郷區駒込神明町二四一。



○、三)高田市に生る。高田中  
 學、早稻田大學英文學科卒。(經  
 歴)中央(明四二)石川(明四五)、  
 東京毎夕(大二)、同美術部長  
 (大八)。(趣味)美術、文藝、野球  
 (現住)東京市外平塚町中延一〇  
 九八。

**水尾徹雄**(純芳) 帝國通信社  
 大阪支局通信部記者。三重縣飯  
 南郡伊勢寺村殿村(明二六、二)  
 生。中學卒。漢學多年通學。  
 大四年八月臺灣渡航五年七月渡  
 支、南洋各省遊歴、六年三月歸  
 臺六年七月臺灣新聞記者、十  
 三年八月歸國、一三年一月帝  
 國通信社入社大阪支局在勤、  
 (趣味)讀書(歴史、政治)、乘馬、  
 (現住)大阪府下吹田町榮町一二  
 二四。

**水書茂**(春江) (四〇歲) 讀賣新  
 聞支局局長。(新聞歴)會社員  
 から轉じて大二、名古屋新報記  
 者となり、爾後東京、越後長岡  
 等を轉々して六一〇、一〇、讀  
 賣入社。(著書)二三新聞小説を  
 書きし事あり。(主義)享樂主義  
 (趣味)酒。(現住)静岡市下石町  
 一の七。

**水谷乙次郎** 東京朝日客員

(現住)小石川區雜司ヶ谷一四  
 一。  
**水野豊**(紫) (四九歲) 法律新報  
 主幹編輯士。(新聞歴)雜誌新潟  
 縣人主筆。文藝雜誌北星主筆  
 (著書)藏孫句集、藝文集、私問  
 録。(主義)精力奮闘主義。(趣味)  
 俳句、短歌、碁、寫真。(現住)  
 東京市外東中野一、七一九。

**水野源一郎** 日本通信社專  
 務。(明二五、二月)生。(學歴)  
 專修大學卒業。(經歷)現社勤續  
 (現住)赤坂區青山南町二ノ六五  
**水倉佐久良**(尺草) 東京毎夕  
 新聞社地方部長。東京(明二〇、  
 五)生。(學歴)中學卒業。(經歷)  
 讀賣新聞、主婦之友、東京毎夕  
 新聞には七年間勤務一時退社し  
 たる、大十四年六月再び入社  
 (趣味)旅。(現住)市外南千住町  
 八二〇。

**水島正男** 丹州時報社。(明三  
 五、三)生。舞鶴町引土に生る。  
 (學歴)大阪高商研究科(趣味)ス  
 ポーツ。(現住)京都府加佐郡舞  
 鶴町引土(電話舞鶴九)。

**峰四七三**(北窓) 時事新報社水  
 戸支局長。埼玉縣秩父郡大田  
 村。(明二六、四)生。鷺業學校

卒。小學校本科正教員。大六、  
 一、東京日日新聞浦和支局長、  
 村報知、朝日を経て時事新報社  
 に大九、二、入社。(趣味)弓術、  
 乗馬、撞球の幼稚園。(現住)水  
 戸市上市田見小路。

**峰島尙志** 都新聞販賣部長(現  
 住)府下大森不入斗五四二。

**皆川哲雄**(鼎州) (四十四歲) 秋  
 田縣新聞副主筆。明治大學法科  
 專門部卒。(新聞歴)報知新聞東  
 京朝日新聞、臺灣日日新聞副主  
 筆政治部長。(現住)秋田市保戸  
 野表諫訪町。

**箕浦勝人** 報知新聞社顧問、安  
 政元、大分縣生。(現住)牛込區  
 東五軒町四七。

**箕浦多一** 報知新聞營業局長。  
 東京市(明二四、七)生。大六、  
 七)東京帝大法科卒。大六、七、  
 富士瓦斯紡績株式會社。大九、  
 五、報知新聞に入る。

**宮部敬治** 前京城日報副社長。  
 (大二三、入社) 熊本縣生。(新  
 聞歴)東京朝日編輯部長。讀賣  
 編輯局長。

**宮地蒼生夫** 福島民友新聞記  
 者。福島縣生(學歴)早稻田大  
 學(經歷)大一年現社に入社。

(現住)福島縣信夫郡渡利村。  
 漫畫部。東京淺草(明三五、七)  
 生。(學歴)普通。(經歷)漫畫家  
 岡本一平氏の門下。漫畫本の著  
 述四種類あり。(主義)漫畫(趣  
 味)いろ／＼(現住)市外巢鴨宮  
 仲二〇〇三。

**宮川善五郎** 東奥日報社、政  
 治部長。青森縣八戸町(明二〇、  
 一二)生。(學歴)八月中學校卒  
 業。(經歷)大六年一月以來勤  
 續(趣味)スポーツ(現住)青森  
 市長島一五番地。

**宮田常藏**(思洋) 近江實業新聞  
 記者。栃木縣。(明三四、九一九  
 生。中學卒業後獨學行雜誌記  
 者數年。(趣味)讀書と辯論。  
 (現住)澁賀縣老松町土橋。

**宮田晋** 東京毎夕新聞社政治  
 部。熊本縣宇土郡東門村。(三  
 二、一〇、九)生。大一一、四早  
 稻田大學政治科出身。(現住)市  
 外目黒町中目黒七四六。

**宮永榮七** 大分新聞社營業部  
 員。(明二二、二、一二)生。中  
 學卒業。明四二陸軍歩兵隊へ入  
 營、歩兵曹長歷進大五、退營、  
 大七七分新聞社へ入社今日に至

る。(趣味)觀世流謠曲、園碁。

**宮村富男** 新聞研究所。金澤市  
 (明一九、七)生。(現住)府下荏  
 原郡大井町瀧王子四六五。

**宮里親夫** 福岡日日新聞社、學  
 藝部。熊本市双樹町一二九(明  
 三四、一、二八)生。(學歴)中  
 央大學法學部。大一年卒業、  
 (經歷)卒業後直ちに入社。(現  
 住)福岡市渡邊通六丁目福岡日  
 日新聞社内。

**宮澤千秋** 信濃毎日新聞社(明  
 三六、五、一三)生。(學歴)小縣  
 蠶業學校卒業。(趣味)讀書。(現  
 住)長野市縣町。

**宮澤由三郎** 北陸毎日新聞  
 社、東京支局長。長野市外小田切  
 村(明二〇、六)生。中學卒。(現  
 住)東京市下谷區上野櫻木町一  
 七。

**宮澤準治**(五三歲) 秋田縣新聞  
 社、社會部長。(新聞歴)明三六、  
 秋田縣新聞社入社。(現住)秋田  
 市室町。

**宮澤源三郎** 正路喜社監査役  
 長野縣(明二二、三)生。(經歷)  
 大元年合資會社正路喜社入社、  
 八年同社出資社員、一三年株式  
 組織と共に監査役となる。(主  
 義)勤勉。(趣味)旅行。(現住)東  
 京市下谷區上根岸町六一(電話  
 下谷二二六五)。

**宮坂常(古梁)** 信濃日日新聞社  
 小諸支局長。北佐久郡小諸町に  
 生る。(四〇歲)(學歴)小諸義塾  
 卒業。(經歷)舊信越新聞社長佐  
 藤樓成氏の下に新聞記者修業を  
 なし再来一五年間本社小諸特派  
 員在勤。(趣味)短歌、書畫。(現  
 住)長野縣小諸町檜古園内(電  
 話二二八)。

**宮崎竹三郎** 中外商業新報社。  
 群馬縣(明三三、六、四)生。(學  
 歴)中央大學政經科(現住)市外  
 大森山王二五六二。

**宮崎久米重** 株式會社正路喜社  
 外交、群馬縣(明三〇)生。(學歴)  
 中央大學經濟科專門部卒。(現  
 住)府下大森山王二四三五。

**宮崎敬一** 日本婦女通信社。早  
 稲友會雜誌、婦人經濟に關係。  
 香川縣(明三、九)生。早稻田  
 大學法科卒。後研究科二ヶ年研  
 究。(趣味)音樂。(現住)東京市  
 外池上村大岡山石川一八七。

**宮崎健兒** 東京日日新聞販賣部  
 出張所主任。新潟縣北蒲原郡松  
 浦村(明三三)生。(學歴)大六年

新潟縣立新發田農學校卒業。大  
 一二年中央大學經濟科卒業。(經  
 歴)大一年三月東京日日新聞  
 社に入社販賣部市内大塚町出  
 張所主任に就職。(現住)東京市  
 小石川區水川町三六。(電話)小  
 石川五九四八)。

**宮崎善吉** 小樽商業新報物產  
 部。山形縣(明一五)生。(現住)  
 小樽市花園町西一。

**宮崎大太郎**(紅亭) 九州日日新  
 聞編輯部部長(明三四、二入社)  
 熊本(明一五、一二)生。妻一男  
 二女。(現住)熊本市京町本丁六。

**宮木昌常** 帝國通信社社會部  
 長。

**宮岸與三松**(如空) (三七歲)  
 北國新聞社編輯長。(新聞歴)中  
 國民報政治經濟部長。四國民報  
 編輯長。四國民報主幹等を經て。  
 (主義)個性尊重主義。(趣味)讀  
 書、謠曲。(現住)金澤市長土堀  
 一番町九。

**宮下良夫**(東村) 南信新聞社伊  
 那支局長。信州下伊那郡大島村  
 に生る(三六歲)。(學歴)中學卒  
 業。(經歷)時事新報。(趣味)旅  
 行。(現住)信州上伊那郡伊那町  
 (電話三一九)。

**宮下政之亮**(城東) 信濃日日  
 新聞社編輯主事。長野縣須科郡  
 松代町(明三一、二)生。(學歴)  
 教員養成所。(經歷)小學校教員  
 四ヶ年勤務、大七年信濃日日新  
 聞入社今日に及ぶ。(趣味)人生  
 探訪(現住)長野市東町乙九八。

**宮本一學** 臺灣日日專務取締  
 役。(現住)臺南市南門前町二丁  
 目。

**右田左武雄**(音歌) (三四歲)  
 東京朝日新聞社整理部。大六早  
 稻田大學英文科出身。(新聞歴)  
 大七東京朝日新聞社へ入社今日  
 に至る。(主義)現實主義。(趣味)  
 日本音曲、寫真、撞球。(現住)  
 府下高田町雜司ヶ谷一四一。

ジャック(ジュイ) (三〇歲) ジャ  
 パン、アドヴァタイザ、ミョリ  
 ー大學卒。倫敦大學卒。(新聞歴)  
 デイスマイニス、トリビュン、  
 ロサンゼルス、エキスパレス、  
 ロサンゼルス、ニユース。(現住)  
 芝區西久保八幡町九。

**四野宮仲吉** 都新聞經濟部。宮  
 城縣石卷蛇田村。明二九、一二、







**篠原秀吉**(蕭々) 上毛新聞社長、新埼玉新聞社長。前橋市曲輪町一〇五(明一九、一)生。(學歷)早稲田大學政治經濟科同四年卒業。(經歷)大元より上毛新聞營業部に入り三年編輯部記者に轉じ同七年編輯局長同十三年埼玉縣浦和町に日刊新埼玉新聞創刊社長就任同年一月利根新聞雜誌株式會社監査役就任。(主義)皇室中心主義。(趣味)柔道と新聞。(現住)前橋市曲輪町一〇五。(電話一九一)。

**篠田鐵道**(胡蝶庵) 報知新聞監査役(明二八、入社)。東京赤坂區(明四、一)生。妻子女三人。獨學。(新聞歴)報知新聞社小僧より、(著作)幕末百話小僧學問、天下泰平。(思想)博愛、弱者の味方。(趣味)俳句、書畫、講談。(現住)赤坂區中町六。

**篠崎昇之助**(南蠻鐵) 九州日報編輯局長兼主筆(明四四、三人社)。博多(明二二、七)生。妻一男一女。早大に學び後米國に遊學滞在約十箇年。(新聞歴)組青にて英文邦文の週刊日米週報に執筆。(著作)ボーツマウス講和會議の裏面等。(思想)西洋カフ

レの直譯的新思想には共鳴せず。(趣味)謠曲、園藝、繪畫。(政黨)非政友。(現住)福岡市外千代松原東公園。

**島田賢平**(青峰) 國民新聞社學藝部長。(三重縣志度郡的矢村(明一五、三)生。(學歷)早稲田大學文科。(現住)東京市牛込區若松町八一。

**島田直吉** 都新聞社寫眞部、山梨縣甲府市境町(明二七、八、一七)生。大九、七、一五、入社以來現在のま。(趣味)音樂と寫眞。(現住)府下荏原郡碑奈村大字碑文谷二七。

**島津健一郎**(青兒) 樺太日日新聞社社會部。小樽市(明三七、七、二八)生。(學歷)高等小學。(經歷)大二年二月現社に入社現在に及ぶ(主義)事あれかし主義(趣味)映畫(現住)豊原町大通南六丁目一番地。

**島村直之輔**(宇宙院) (三五歲)帝國通信社仙臺支局長。浦和中學出身。(主義)現在充實主義(趣味)寫眞、旅行。(現住)仙臺市東三番町一八。

**島内敏** 京華社東京支店經理課長。福岡市(明二二、一一、一五)生。(經歷)大七年八月京華社入社前東京及地方に於て遞信官署其他に奉職(主義)凡て合理的なること。(趣味)旅、本(現住)東京府豊多摩郡落合町上落合一六五〇番地。

**島口勇** 東奥日報社工務局植字部長。青森市(明一四、三)生。

**島口初太郎** 東奥日報社取締役工務局長。青森市(明八、二)生。

**島崎徳次**(孤島) 佐世保新報主幹(明四四、一入社)。佐賀縣(明二〇、一一)生。祖母父母妻子俱三。國學院大學師範部卒業。(趣味)謠曲。(政黨)憲政會。(現住)佐世保市宮崎町四二。

**島崎義徳** 土陽新聞社、速記。高知縣香美郡吉川村吉原。(明二九、一〇、二二)生。(學歷)關西大學商科中途退學。(經歷)大一年九月、土陽新聞入社現在に及ぶ。(現住)高知市八軒町六番屋敷。

**島崎圭一** 新愛知經營新福井日報。福井縣蘆原(明二三、六)生。(現住)福井市松ヶ枝下町八六。

**島崎新太郎** 東京日日新聞社副主幹。京都府(明一五、一)生。

早稲田大學文學科卒(明三九)。明三九、大阪毎日新聞社に入社、大正三年、東京日日新聞社政治部へ轉勤、政治部長、通信部長、社會部長を経て現任。(趣味)運動、芝居。(現住)東京市芝區二本榎西町二番地。

**重松政敏**(秀芳) 東京毎夕新聞社々會部。岡山縣(明二九、四)生。明治大學卒。大正日日新聞社より現在。(趣味)酒(現住)府下淀橋町柏木一〇〇。

**澁川俊平** 新潟毎日新聞經濟部長(大九、九入社)。新潟縣(明二二、一一)生。家族二人。(新聞歴)約二年横濱毎朝新聞。越佐新報に一年。(現住)新潟市西堀通三番丁。

**澁谷作助**(四二歲) 時事新報政治部長。(新聞歴)九州日の出新聞。(福岡)九州日報時事新報。(現住)府下中野新町三七九五。

**澁谷俊**(せゝらさ又は綠風) 山梨日日新聞編輯長。(明二一、六)生。千葉縣佐原町に生る。(經歷)明四二、一月山梨日日新聞に入り一八年中に及ぶ著書山梨縣受驗案内、映中文人録、職業家内その他二三あり。大一五五月甲

府市會議員當選(主義)現代文明呪咀主義(趣味)藝術、哲學(現住)甲府市深町二五三。(電話一六〇)。

**宍戸左行**(左行) 前東京日日學藝部漫畫記者(大一一、三人社)。福島縣桑折町(明二二、一)生。妻と子と三人。(新聞歴)毎夕、やまと漫畫記者。(趣味)將棋、活動見物。(現住)東京青山原宿一七〇ノ一六。

**下川貞矩**(四天) 毎夕新聞社漫畫主任。沖繩縣(明二五、五、一)。(學歷)青山學院中途退學北澤樂天師事陸地測量部修技所卒。油繪、日本畫、漫畫獨學。(經歷)陸地測量部製圖工、樂天パツク社、大阪朝日新聞社、東京パツク社、勢力新聞社、夕刊新聞社、二六新報社、讀賣新聞社、天然色活動寫眞會社(著書)ボンナ肖像、凸凹人間。(趣味)活動寫眞物寫眞、日本種草水花。(現住)市外代々木西山谷二四九。

**下河邊行雄** 福島毎日新聞社記者。福島縣安達郡二本松町(明三四、八、五)生。(經歷)福島民友新聞社、讀賣新聞福島支局記者を経て今日に至る。(趣味)映

畫、酒。(現住)福島市萬世町四七番地。(電話六二〇)。

**下田將美** 大阪毎日新聞社經濟部長。相州國府津(明二三、五、一七)生。慶大卒。(現住)兵庫縣武庫郡糟道村青屋七七六。

**下田道夫**(三一歲) 東京朝日新聞社グラブ部。東北中學國民英學會了、早稲田に聽講す。(新聞歴)大九、中央へ入社、十やまと社會部へ轉じ一二年現社へ入る。(現住)千葉縣東葛飾郡市川町字眞間寒室。

**下平政一** 南信新聞主筆兼編輯長(大四、八入社)。東京市(明二八、三)生。母姉妹。明大中途。(事業)同志と共に人事研究所を経営す。(現住)長野縣飯田町。

**下村宏**(海南) 朝日新聞社事務取締役。和歌山市(明八、三)生。明三一、東京帝國大學法科卒。法學博士。遞信省貯金局長、壘球總督府民政長官、早稲田、中央、法政、東京商科各大學及東京商業等の各學校に講師たりしことあり。(著書)富と貯蓄、歌集芭蕉之葉蔭、日本國民性、財政學、南紀人材論、日本の將來、

歌米より故國を、財政讀本、新聞に入りて等。(趣味)凡てに特にならぬ、聲樂、運動。(現住)兵庫縣西宮局區内六甲苦樂園。

**下村雅司**(五黃星) 南信毎日新聞編輯局長、政治部長。長野縣上伊那郡赤穂村(明二九)生。早大政經出。長野新聞政治部。(趣味)登山。(現住)長野縣上伊那郡赤穂村。

**下村元治郎**(耕圃) 東京府民新聞社長兼主筆(明四〇、一)入社。(明一五、四)生。家族八人。日本大學卒業。川上眉山門下。(新聞歴)やまと、國民、中央等。(著作)食養蛙の研究。(趣味)養蛙。(現住)東京市外濠野川町中里六五。

**下山精一**(十字花) 土陽新聞校正部。(明三六、四二)高知縣香宗村生れ。(趣味)讀書、演劇。(現住)高知市江ノ口町上ノ橋。

**下島清一郎**(紫水) 沼津日日新聞社編輯局長。静岡縣藤枝町(明三二、一四)生。(經歷)三重新聞、新愛知、關門日日、東京日日、萬朝報、時事新報を経て沼津日日刊運動に加はり今日に至る。(趣味)演劇、讀書。(現

住)沼津市三枚橋蓮光寺前。

**下澤武一**(紫水) 南信毎日新聞社記者。長野縣下伊那郡泰早村(明二四、二、七)生。長野師範第三種講習卒。小學校教員十箇年俸職、大一一より新聞記者。(現住)長野縣上伊那郡伊那町。

**新城朝功**(大洋) 東京日日記者沖繩縣(明二五、一)生。明治大學政治經濟科卒。(趣味)讀書と書。(現住)東京市牛込區單筒町一。

**日堂則義** (無居庵又は假觀) 民國日報北京特派員。新支那編輯長。長野縣北安曇郡南小谷村(明三〇)生。學習院高等科修業北京大學經濟史科在學中。(趣味)飲酒、撞球、哲學、旅行、乘馬等。(現住)支那北京東城祿米倉十二號。

**日景安太郎**(彌峯) 十勝新聞社厚岸新聞社長主筆。秋田(明五、三)生。家族五人。慶應義塾出身。(新聞歴)陸羽新報の創刊より廢刊迄、劍路新聞創刊より九ヶ年。十勝創刊以來經營今日に至る。(思想)國家的進歩。(趣味)文學、園藝。(現住)十勝國帶



廣町西二條八丁目。  
**日高兼次郎** 萬朝廣告部長。  
 (大一一、三入社)。明二二福岡縣生。家族十人。早大修業。(現住)東京府下池袋一一一五。  
**日根恭太郎** 德島毎日教育部長。(大三、三入社)。德島市明二七、六)生。家族四人。中學。(趣味)音樂。(現住)德島市堀尾。  
**日南田慶富(村人)** 東京小間物化粧品商編輯長。(明一七、一富山縣に生る)。富山日報社、新潟毎日、大五、四、萬朝。(現住)赤坂區青山北町六ノ四六。  
**日隈曠(櫻峯)** 東京通信社編輯長理事。熊本縣鹿野郡川尻町(明二六、八)生。(學歷)攻玉會中學、明治大學卒業。(經歷)帝國、東通、大阪新報、東京毎日新聞、大勢新聞等の各政治部勤務。(主義)新生大日本主義。(趣味)園藝、養鷄。(現住)市外目黒町上目黒宿山一五三二。  
**日比孝治郎(江村)** 國粹日日新聞社長。滋賀縣(明二九、一)生。(學歷)私立大學政治經濟科出身。(經歷)日刊新聞記者及編輯長等五ヶ年を経。以下略す。(主義)國粹主義。(趣味)事業經營。

營。(現住)大阪市此花區上福島北二丁目。電話土佐堀六一〇〇番。  
**日比新之輔(江東)** 國粹日日新聞社副社長。滋賀縣。(學歷)官立專門學校工科出身。(經歷)專門學校出身後鐵道省技師拜命辭職後日刊新聞經營補佐す以下略す。(主義)平和主義。  
 (趣味)讀書。(現住)大阪市此花區上福島北二丁目。電話土佐堀六一〇〇番。  
**比佐邦子** 福島民報社記者。福島縣石城郡(明三四、四)生。(學歷)縣立石城高女校卒業。(經歷)大八年以來新聞、雜誌記者として従事。(主義)良妻主義。(趣味)劇、三絃、短歌。(現住)福島市榮町二〇番地。電話二五七。  
**肥田喜次郎(醉候)** 南海新報社長。三重縣北牟婁郡尾鷲町(五三歲)。電氣事業、自動車事業に従事。現在は新聞事業の傍ら紀伊自動車株式會社常務取締役、町會議員。(趣味)旅行。寫眞、詩歌。(現住)北牟婁郡尾鷲町。  
**樋口寅正(一秋)** 土陽新聞社東

京支社長。高知市掛川町(明二、七)生。(學歷)中學校。(經歷)日露戰役に參加負傷除隊後明四一年板垣伯經營の土陽新聞社に入社東京支社長にて今日に至る。(趣味)新聞、書畫、盆栽、盆景。(現住)東京市外大井町立會六〇八。  
**樋口宅三郎(非愚痴生)** 軍港よろづ新報社主筆。宮城縣(明三四、一〇、二七)生。獨學政治哲學專攻。大九以降、橫須賀相模中央新聞社(夕刊)大正日日新聞社學藝部、橫濱日日新聞社政治部、現社(夕刊六頁)に至る。(趣味)社會事業、繪、禪。(現住)橫須賀市深田町三四〇番地。  
**樋口三郎** 福島民報社記者。(主義)皇室中心主義。(現住)福島市腰ノ濱柳ノ町前七番地。  
**櫃本靜雄(鹽石)** 報知新聞社發送部員。香川縣(明三五、一)生。(學歷)法政大學文學部在學中。(現住)本郷區元町二ノ六六(藤井氏方)。  
**廣神正藏(里見正)** 報知新聞校正部副部長。(明七、二)生。群馬縣(經歷)千葉、東海新聞編輯長、東京日日新聞校正長。(主義)

樂天主義。(趣味)洒落と演藝。  
 (現住)麻布區筈町一二二。  
**廣田太市** 豐州新聞社記者(別府支局駐在)。大分縣南海郡川原木村(明二〇、一二)生。明四四、大分縣巡查奉職大正六年警部代理巡查部長大分府署勤務後中津警察署高等警察主任となり、同年一一、豐州新聞社に記者として入社今日に至る。(趣味)政治方面。(現住)大分縣別府市。  
**廣澤文雄(琴韻)** 天業民報社編輯部。山口縣下關市(明三〇、五、一)生。法政大學法文學部法律學科卒。東京朝日新聞、國民新聞。(趣味)讀書、文藝、旅行。(現住)市外田端町五九四。  
**廣崎九洲男** 豐州新聞社營業部員。大分縣宇佐郡豐川村(明二八、二)生。(學歷)私立中學中途退學。(經歷)大九年豐州新聞社に入社今日に至る。(趣味)運動。(現住)大分市生石町。  
**廣崎廣吉** 株式會社房總日日新聞社重役千葉縣銚子町。(明二七、四)生。(學歷)縣立銚子商業學校卒業、中央大學學科中途修業。(現住)麴町區飯田町六ノ二四。

廣瀨完一 大分新聞社硬派編輯主任。(明三六)生。(現住)大分市萬屋町。  
**廣瀨芳廣** 都新聞社經濟部山梨縣(明三一、四)生。專修大學經濟科卒大一一、二、二、東京毎日新聞入社、一四、三、二〇退社し、同二十三日都新聞入社(趣味)と稱するものなし。(現住)都新聞社内。  
**廣瀨爲次郎** 東京朝日新聞編輯局庶務課長。群馬縣新田郡木崎町(明一四、一〇)生。(學歷)栃木縣立工業學校出身。(經歷)明四十二年九月入社足掛一五ヶ年社會部に勤務大十二年八月末日通信部に轉勤在職二年餘にして大正十五年一月現職に轉す。(現住)麻布區櫻田町六四。  
**廣瀨憲六** 報知新聞社。兵庫縣淡路國州本(明一八)生。東京高等商業學校卒。報知新聞社の廣告部、社會部、寫眞製版部出版部を経て今日に至る。(趣味)繪畫(現住)大森入新井町新井宿一四五〇。  
**廣瀨修造** 時事新報靜岡支局長。(大五、八入社)。名古屋市長(明二二、一二)生。妻二男。日

本大學商科卒。(新聞歷)靜岡民友新聞。(思想)元始的基督教主義。(趣味)旅行、讀書。(現住)靜岡市新谷町六。  
**人見直善** 東京毎日新聞整理部。東京麻布(明二五、七)生。(學歷)中央大學法科卒業。(經歷)東京毎日、振出し、それからやまと、報知、時事、國民、中央、そして三度毎夕に還る、その間松竹キネマの創立に與り、映畫を監督製作したとあり。(主義)そんな窮屈なものなし。(趣味)活動、芝居、音樂。(現住)日本橋區島町一〇三八。  
**東川嘉一(三三歲)** 國際通信大阪支社支配人。中央商業學校。(新聞歷)米國聯合通信社、ジャパン・タイムズ社。(現住)京都市下京區富小路五條上ル。  
**東口眞平** 大阪朝日運動部長。(現住)兵庫縣武庫郡本庄、深江停留所北側。  
**東山半之助(空洋)** (三五歲)四國民報社營業局長。獨學自習。(新聞歷)讀校日日新聞、大阪時事新報、同社高松支局長。(著書)讀校百人觀、地方商店經營策、其の他二三種。(主義)個人主義に

立脚した愛國主義。(趣味)讀書、晚酌。(現住)丸龜市間屋町。  
**兵頭恭雄(六畝)** 大阪朝日新聞鹿兒島通信部主任。東京(明三二、一一)生。慶應義塾大學部政治科、大五、五、愛媛新報社入社、大九、三、大阪朝日新聞社へ轉任。(趣味)謠曲、俳句。(現住)鹿兒島市西千石町六。  
**平井常次郎(桂水庵)** 大阪朝日新聞社會部(大一一、四入社)。大阪市(明三一、六)生。大阪高等商業學校卒同校研究科出身。(事業)新聞社會面の經濟化に努力。(著作)社會現象の計數的測定其他。(趣味)日本中世史劇と酒宴。(現住)大阪市西區土佐堀通二丁目。  
**平井榮一** 日本電報通信社名古屋支局記者。名古屋(明三三、一一)生。愛知縣立一中學校に學び途中家事上の都合に依り退學後、育英學校、中央英語學校等に學ぶ。十七歲、名古屋日日新聞社入社(社會部記者)十九歲、名古屋毎日新聞社入社(政治、經濟部記者)二十四歲、日本電報通信社入社(現在に至る)。(趣味)演劇、撞球、謠曲。(現住)

名古屋市中區給屋町三。  
**平井停(逸外)** 福岡日日新聞(明三一入社)。筑紫郡會議長住吉町會議員。福岡縣城後谷(文久二、一一)生。妻外八人。福岡師範學校卒。(趣味)俳句、書畫、相撲、盆栽。(政黨)政友會地方幹部。(現住)福岡縣住吉町。  
**平岩光(紅浪)** 靜岡民友新聞社編輯局整理部、靜岡縣濱松市元城町(明二九、八、二〇)生。靜岡縣立靜岡中學校卒。大一一、三、靜岡民友新聞社に入社政治經濟部擔任。大一一、二、退社直ちに靜岡朝報社編輯長轉任。大一一、退社再び靜岡民友新聞に入社し現在に至る。(趣味)詩歌繪畫。(現住)靜岡市東鷹匠町。  
**平石隆一** 中外商業新報社廣告部。佐賀縣(明二九、九)生。早大商科。大一一、二、一、中外商業新報社廣告部(入社)(趣味)運動、旅行。(現住)東京府下大久保百人町一〇六。  
**平林鐵次郎** ジャパンタイムズ記者(大一一、九入社)。東京(明六、二)生。家族四人。元法學院及び國民英學會。(新聞歷)ジャパン・タイムル。ジャパンタイム



ス。シヤパン・アドバタイザ  
横濱シヤパンガセツト編輯主任  
記者。(現住)横濱市榎岸町三一  
九。

平尾清俊(俊郎) 豊州新報白杵  
支局在勤記者。大分縣白杵町(明  
二七、九、二〇)生。小學卒業大  
阪關西學院三年卒。(現住)大分  
縣白杵町。

平塚篤 國民新聞社整理部。常  
陸筑波山中に生る(明一六、九)  
生。(學歷)東京專門學校に居り  
し事あり、他に學歷なし。  
(經歷)雜誌記者、新聞記者、會  
社員、事業經營者、深澤者、新  
聞記者。(主義)其日其時主義。  
(趣味)普通。(現住)東京市四  
谷區荒木町二十七番地。(電話)  
四谷五〇六一。

平野義信 帝國通信社營業局長  
兼廣告部長。(三十七歲)。(現住)  
牛込區横寺町九。

平山壯太郎(蘆江) 都新聞第  
二部。兵庫湊川にて(明一五、一  
一)生。(學歷)長崎市立商業學  
校三年まで修業、東京府立中學  
校に轉校、同四年退學。(經歷)  
二十三歳にて渡滿流浪數年、二  
十六歳より都新聞社へ入社、今

日に至る。(主義)絶體宿命。(趣  
味)演藝一通り(現住)牛込區久  
町百十三番地。

平瀬三吉(春郊) 岐阜通信社社  
會部長。飛騨高山(明一七、二)  
生。妻と長女。妻太中學卒。(新  
聞歴)高山新報。郡上新報編輯  
長。濃飛日報。岐阜夕刊新報編  
輯長。(趣味)文藝。(政黨)政友。  
(現住)岐阜市八ツ梅町一丁目。

陌間萬介(素川) 近江毎月新聞  
社長。滋賀縣犬上郡東甲良村(明  
二九、八)生。中等學校卒。中學  
校卒業後入營、除隊後銀行員及び  
吳服商となり、大九、近江毎月新  
聞社を經營現職にあり。(趣味)  
寫真、旅行。(現住)彦根町二。  
久松前平(白洋) 朝鮮新聞社政  
治部長。長崎縣西彼杵郡黒崎村  
(明二二、二、三)生。中學卒、鎮南  
浦新聞記者、同平壤支社長。  
引地一郎 萬朝報在任支局長  
福島縣(二十八歲)。(學歷)縣立  
福島中學卒業、托殖大學支那科卒  
業。(經歷)週刊紙を編輯したる  
ことあり。(主義)浪漫主義。(趣  
味)酒、女、たまには讀書す。(現  
住)在任郡池上町。

引田樟一(春洋) 神戸新報社記

者。和歌山縣(明二〇、一一)。  
生。(趣味)旅行。(現住)神戸市  
外御影町。

匹田銳吉(雪柴) 岐阜日日新聞  
社長兼主筆(大二、入社)。衆議院  
議員。岐阜市八幡町(明一、四)  
生。早大政經科卒。(新聞歴)讀  
實、富山日報、九州日報、北陸  
タイムス主筆を経て現在。

菱田芳治(太陽) 天業民報社編  
輯局。壹岐(明二九、四、五)生。  
專修大學經濟科卒。(趣味)明暗  
探訪。(現住)東京府下長崎村二  
一四〇中野方。

姫野徳一 前東京毎日新聞編輯  
局長。大分縣(明二九、六)生。  
(學歷)日本大學法律學科卒業。  
(經歷)各地の新聞記者生活を  
經て。(現住)東京市麹町區飯  
田町六丁目。(電話)四谷五四五  
八。

アドヴァタイザ社内。  
茂木繁(芙蓉) 讀賣新聞社經濟  
部記者。(明二五、三)生。茨城縣  
古河に生る。(學歷)無し。(經歷)  
下野新聞に九年、中央新聞に二  
年半勤続し大正十一年三月現社  
に入る。(趣味)演藝、旅行。(現  
住)東京市外大森町澤田四九二。  
茂木廣 時事新報社、地方部。  
茨城縣(明三三、九)生。(經歷)  
下野新聞、東京日日新聞。(趣味)  
讀書。芝居を観る。(現住)東  
京市外大森町四九二。

最上梅雄(三山又ハ嘯々) 英文  
東京日日編輯囑託、東京淺草花  
川戸(明九、九)生。家族十二人、  
立教大學、國民英學會、東京專  
門學校修業。(新聞歴)英文雜誌  
「貿易」英文週刊「フアリースト」  
寄稿家。英文雜誌「スチューデン  
ト」の經營。シヤパンタイムス編  
輯長米國聯合通信東京支社編輯  
顧問。(思想)進歩派佛敎。(趣味)  
園藝。(現住)東京市外中津谷六  
二五。

最上政三 前萬朝報政治部長。  
(大六、四入社)。上野國高崎(明  
二四、八)生。家族二人。中央大  
學法科卒。(新聞歴)大正七八年

の戦役に際し本社從軍記者とし  
て西比利へ出張。(現住)東京市  
外大井町瀧王子四四三二。

毛利治瑞 前中央新聞記者福岡  
縣三瀆郡三瀆村大字津崎(明三  
五、三、二七)生。(現住)青山原  
宿一七〇ノ一六高山與三郎方。

毛利角次 中央新聞社整理部記  
者。福岡縣(三十五歲)。(學歷)  
福岡縣立八女中學校卒業。(現  
住)東京府下大井町四一五宮  
内方。

毛利八十太郎(雨橋樓) 英文  
大阪毎日編輯長(明一五、三、一  
三)生。シヤパン・メール、シヤ  
パン・タイムス、國際通信社。(著  
述)「ヨーロッパの研究、續ヨー  
ロッパの研究、カインの末裔(英譯)  
等。(現住)神戸市外西灘村原田  
二六二。

本吉豊次郎(築山) 二六新報  
社會部長。小石川區會議員。(現  
住)小石川區原町一一二。

本山仲造(荻舟) 報知新聞社通  
信部長。岡山縣藤戸の渡(明一  
四、三)生。長い間の新聞記者。  
(趣味)閑居。(現住)神田區末廣  
町一一二。

本山彦一(松陰) 大阪毎日新聞

社社長。熊本市外(嘉六、八、一  
〇)生。慶應義塾出身。明一二、  
兵庫縣四等屬、同一三、六、同縣  
三等屬、同年四、勸學學務課長、  
同一四、一、神戸師範學校長、同  
務、同一四、七、同縣二等屬、同  
一九、七、藤田組に入社事務支配  
人兼岡山出張所長となり兒島灣  
開墾事業を主管す、同二二、九、  
大阪毎日新聞社相談役となる、  
明三六、同社社長に就任、大八、  
三、合資會社を株式會社と組織  
變更取締役社長に就任、大四、大  
禮紀念章勳四等瑞寶章。(現住)  
大阪府泉北郡高石町羽衣五五  
七。

本持武 中外商業新報社營業部  
(明二五、五)生。(學歷)明治大  
學法科。(經歷)毎夕、ら中外へ。  
(現住)芝區西久保八幡町十。

元木佳光(仰山) 東京日日新聞  
社員。愛媛縣(明三〇、一〇、一  
一)生。明大出身。彫家新海竹  
太郎先生に三ヶ年間師事せし、  
とあり。(趣味)彫塑と讀書。(現  
住)東京市外西巢鴨二、一九三。

素月辰平 米澤新聞社、主幹。  
米澤市(明九、五、一〇)生。明四  
五、米澤新聞を創設し引つづき

經營中。(現住)米澤市直峰町。  
望月潔 信濃毎日主筆。(明二  
九、一)生。新潟縣生れ。(學歷)  
東京外國語學校出身。(經歷)實  
業之世界社編輯長に。(主義)準  
虛無主義。(趣味)何でも御座れ。  
(現住)長野市花咲町。

望月見吉 中央新聞社、社説擔  
任。福岡縣黑崎町(明二一、一  
〇)生。(學歷)東京帝國大學法  
科大學卒業。(經歷)門司新報社  
主筆。(趣味)園藝。(現住)小石  
川區芝區谷東學寮。

持田賢士(木光) 大阪毎日編輯  
部。長野縣(明二〇)生。東京日  
日に五年、大阪毎日二年、支  
那にきて二年餘。(趣味)俳句、  
野球。(現住)支那奉天日站住吉  
町。

守武茂太郎(陶雨) 青山會館  
主事。(明三六、二入社)。丸龜市  
(明一三、三)生。妻と五男一女  
あり。専門學校出。(思想)皇室  
中心。(趣味)百姓。(現住)東京  
市外世田ヶ谷太子堂。

森猛(腕白太郎) 大正日報主幹  
編輯局長。大阪市西區北堀江、  
(明二七、三)生。(學歷)千代田中  
學三年修業後、關西新聞記者養

成所全課卒。明四三、一〇、産業  
新聞編輯部に入り後大阪自由  
新聞、大阪赤新聞、婦人こども新  
聞等の編輯局長を歴任、大六、大  
阪日報社會部記者として入社、  
同文藝部長、演藝部長を経て大  
一三、三、大正日報を創刊す。(趣  
味)書畫信仰。(現住)大阪市西  
區新町通三丁目二五。

森莊三(三莊) 中央新聞經濟部  
記者。(現住)埼玉縣浦和町常盤  
町。

森三郎(重邦) 東京毎日新聞  
社、會計部長。東京市(明三五、  
一一、一五)生。東京植民貿易語  
學校、明治大學政治經濟科、大  
一一、二、東京毎日新聞社經濟  
部入社。大一一、一〇會計部へ  
轉動現在に至る。(趣味)野球、  
讀書。(現住)府下中津谷二五五  
番地。

森恭介(露月) 惠南通信社長。  
岐阜縣明知町。(現住)岐阜縣明  
知町。

森幽美(椿樓) 日本實業新聞社  
長。(大六創刊)。大日本實業株  
式會社顧問。明治勸業株式會社  
理事。岐阜縣明知一九九。僧侶  
出身。(新聞歴)苦心經營從四位



を主事として各所に講習會を開く。(思想) 勞資協調主義。(趣味) 美術、寫眞、演說。(政黨) 嚴正中立。(現住) 東京市外中野宮前三四五。

**森繁(巨夢)** 福岡日日新聞地方部主任(明四三入社)。日本庭球協會九州支部委員。拔天俱樂部マネージャー。筑後國(明二一、一二)生。妻と一女一男。東京外國語學校佛語科。(新聞歴) 九州日報社。(趣味) 各種室内運動競技。(現住) 福岡市東小姓町一。

**森順** 東京毎日新聞社地方部編輯。徳島縣(明三〇、一二)生。(學歴) 天台宗大學。(經歷) 東京朝日より東京毎日新聞社に大正十四年四月入社。(現住) 本郷區湯島天神町一の三五。

**森岡憲爾** 臺灣日日新聞社經濟部記者。高知縣佐喜濱村(明三〇、五)生。(學歴) 大正十二年三月早稲田大學商學部卒業。(現住) 臺北市大正町二の六。

**森川東海** 中央新聞社經濟部記者。(現住) 東京市外吉祥寺町山谷二二三八。

**森川謙二** 大分新聞家庭欄主任(明二五)生。(現住) 大分市新川。

**森川照太(五一歲)** 京津日日新聞社長。東京高等商業學校卒業。(新聞歴) 明四三、ナヤイナトリピュウソ社經營大元、日華公論社創設大元、京津日日新聞創設。(現住) 天津日本租界壽街。

**森園豐吉** 東京日日新聞社廣告部助役。鹿兒島縣(明二二、七)生。九州日日新聞編輯部、大正日日新聞編輯部を経て大九、大阪毎日新聞廣告部に入社大一二、東京支店東京日日新聞廣告部に轉じ現在に至る。(現住) 東京府荏原郡入新井町新井宿二一五八番地。

**森口筆次郎(寢坊)** 報知新聞社々會部。北陸敦賀。(經歷) 福井日報、新愛知等を経て大正十一年一月現在に入る。(趣味) 無駄話、女、旅行。(現住) 東京市外大森不入斗八四一(電話大森五八〇)。

**森下遊龜(雲谷)** 記者。高知市江ノ口九四二番地(明一八、一〇一三)。(學歴) (明四〇)生。早稲田大學大學部商科卒業。(經歷) 大正元年土陽新聞入社大正三年秋退社大正六年六月復社し現在に及ぶ。(主義) 國家社會主義。

**森島友藏** 株式會社京華社副參事。本店會計課助役、京都市安政六年二月生。明治三十五年十二月九日入社。(現住) 京都市上京區御幸町通夷川上。

**森本大八郎(春亭)** 日本電通社理事(明四〇、一一入社)。麹町區會議員。麹町公民會常務幹事。慶應元年東京生。家族二。共立學舎、日本傍聽筆記學會第二期卒。(新聞歴) 中央外交記者九年。(著作) 元勳諸名士の嗜好ヲルコト氏演說速記術活法。岡山藥業學校卒。(新聞歴) 自由通信經濟部擔當。(著作) 漢詩著作。(趣味) 圍碁、詩作、文人畫(政黨) 政友會。(現住) 赤坂區櫻坂町四。

**百瀬長九郎(波村)** 長野新聞社會部。長野縣東筑摩郡波多村(明三三、八)生。信濃日報記者。(趣味) 圍碁。(現住) 長野市岩石町。

**紋谷專吾** 時事新報社、静岡支局長。静岡縣周智郡久努西村、(明二三、一一)生。大正六年時事新報社に入り今日に至る。(趣味) 讀書と新聞製作。(現住) 静岡市鷹匠町二丁目。

**瀬戸崎半吾** 長崎日日新聞社社會部長。長崎縣(明二五、一二)生。(學歴) 中學卒業。(經歷) 大正四、五長崎新聞社より長崎日日新聞社に轉ず。(趣味) 演藝、運動。(現住) 長崎市上小島町二六。

**瀬川源吉(三五歲)** 東京朝日新聞社社會部外勤。私立中學校卒業。(新聞歴) やまと新聞を経て大正〇、一二現社入社。(主義) ヒュイマニズム。(現住) 東京府下西巢鴨町宮仲二四二八。

せ

**瀨川玄太郎** 中央新聞社會部。廣島市船入町(明三〇、七)生。(學歴) 明治大學專門部法科(經歷) 大正一一、四中央新聞社入社、一二、九報知新聞水戸支局、一三、一〇中央社再入社。(主義) 圓滿主義。(趣味) なんでも。(現住) 東京府下巢鴨町一、一五八。

**妹尾三代次** 報知新聞社會部記者。岡山縣上道郡平井村湊。(學歴) 早稲田大學政治經濟學部卒業。(經歷) 大正十三年報知へ入社。(現住) 豊多摩郡井荻町上萩窪六五七。

**關世男** 青年新報主筆。(大六、一〇入社)。兵庫縣(明一四、六)生。東京帝大文科出身。(趣味) 旅行、讀書。(現住) 青島新舞鶴町。

**關根久次郎** やまと新聞社商況部。(明三七、九、四)生。東京日本橋。大三、やまと新聞社に入社。(趣味) 魚つり、水泳。(現住) 京橋區新佃四町一ノ九。

**關口泰** 東朝編輯局勤務。(現住) 府下馬込村東一〇二七。

**關口熊吉(鐵骨)** 春秋新聞社主筆。(三十四歲)。(學歴) 東北學院卒業。(經歷) 美善教會牧師を廢り現社に轉ず。(主義) 社會主義。(趣味) 旅行、讀書。(現住) 農民組合運動視察の爲渡米中。

**關山兵次郎** 都新聞社商況部記者。大取市(明三四、九)生。(趣味) 文藝。(現住) 淀橋町柏木一〇四四森方。

**關澤幹夫** やまと新聞司法部擔當。新潟縣(明六、八、一〇)生。中央大學法科卒。裁判所書記辭職後東京日日新聞に明四〇より四四年三現社に勤務す。(趣味) 酒。(現住) 小石川區丸山町十九。

**千田萬三** 前中央新聞労働社會運動係。岩手縣水澤町(明三一、五)生。國士館高等部卒。(經歷) 滿鐵本社。(現住) 東京市外中野本郷五四。

**千田德藏(孤樂山)** 仙北新聞編輯長(大六、五入社)。大曲町(明二五、三)生。老母兄弟姉妹。一般文藝。(現住) 秋田縣大曲町。

**千田迅一郎** 北海タイムス社記者。岩手縣水澤町。(明三二、六)生。(學歴) これぞと云ふものなし。(經歷) 秘書官等。(趣味) 文藝百般。(現住) 札幌市大通西十五丁目。

**仙石保吉(石上山人)** 岐阜日日理事(明一七、入社)。岐阜縣(嘉永四、九)生。明治大學、早大推薦校友。(趣味) 歴史、考古學。(現住) 岐阜市梅ヶ枝町一丁目。

**周田松枝** 都新聞社社會部。東京市込區矢來生。神奈川縣立高等女學校卒、同校補習科修了。(新聞歴) 讀賣新聞記者、支文社新家庭編輯。(趣味) 旅行、演藝。(現住) 東京市上野櫻木町三九。

**陶山三保之介(密)** (二八歲) 東京朝日新聞社社會部記者。大正三、三東京外國學校伊太利語部卒。(新聞歴) これがはじめて。(主義) 樂天主義。(趣味) 文學と玉突き。(現住) 東京市外下谷七四三番地。

**菅井十郎(ジャック)** シヤパン、アドグアマイザ新聞社秘書課員。仙臺市(明三八、一一、一四)生。東京京北中學卒、大一一、入社。(趣味) 狩獵、釣、水泳、ボクシング。(現住) 本郷區

**菅原一見** 大分新聞記者(明三七)生。(現住) 大分市南新町。

**菅原喜久男** 大分新聞記者。(明三〇)生。(現住) 別府市立田町通五丁目。

**菅野市吉(楊柳)** 九州日日新聞速記部長(明四一、三入社)。宮城生。妻と一男一女。(現住) 熊本市取本町二九。

**末次藤太郎(霧城)** 西肥日報社(明三六、一入社)。佐賀縣田代(明一一、一〇)生。妻一男。早稲田大學校外生行政科修業。(趣味) 圍碁、義太夫、文學的記事。(現住) 佐賀市水ヶ江町新道通。

**末廣松男(翠峰)** (二八歲) 大分縣東國東郡東町豊州タイムス社主筆兼豊州新報國東特派員。中學卒。(新聞歴) 豊州新報社。(主義) 皇室中心主義。(趣味) 政治問題研究。(現住) 東國東郡國東町鶴川。

**杉駸三郎(指月)** 高知新聞編輯主幹(取締役(明三七、九入社)。高知市(明二、一一)生。妻長女。獨學。(新聞歴) 土陽新聞、高知新聞創刊(思想) ギルド社會主



義、(趣味)讀書、俳句、釣魚、草花。(現住)高知市旭村福井。

**杉谷忱六** 株式會社正路喜社外  
 支部員。東京市(明三二、一一、  
 二二)生。明治大學商科出身。大  
 一三、三、明治大學卒業後、正  
 路喜社に入社。(趣味)運動。  
 (現住)東京府荏原郡馬込村字上  
 臺一七六九。

**杉村廣太郎**(楚人冠) 東京朝  
 日新聞編輯顧問。和歌山市(明  
 五、七)生。(學歷)といふものな  
 し。(趣味)といふものなし。(現  
 住)千葉縣我孫子。

**杉野嘉助**(海棠) 臺南新報經濟  
 部擔當。(現住)臺南市港町二丁  
 目。

**杉山幹** 東京日日新聞經濟部  
 長。

**杉山榮** 山陽新報編輯局長。(一  
 九、一一、四入社)。岡山縣(明  
 二五、三)生。老父あるのみ。早  
 稻田大學。(新聞)岡山新聞、  
 神戸又新、中國民報。(著作)法  
 然上人、生活難の研究、續生活  
 難の研究。(思想)一言にして盡  
 し難し。(趣味)讀書。(現住)岡  
 山市上西川七三の五。

**杉本藤太郎** 萬朝報社水戸支

局長。静岡市(明三二、二、一)  
 生。大八、萬朝に入社静岡支局  
 に勤務、一一、五現在の地に移  
 り今日に至る、單に以上に過ぎ  
 ず。(趣味)寫眞、カクタ、撞球  
 テニス、野球、相撲、少年團、  
 短歌、其他運動競技各種。(現住)  
 水戸市上市田見小路。

**杉下文雄**(花外) 能登新聞專  
 務主筆(大九、四入社)。諸會社重  
 役。(明二一、三)生。(新聞)歴  
 大九、同志と共に本社を起し株  
 式組織とし専務取締役主筆とし  
 て經營。(趣味)寫眞。(政黨)中  
 立。(現住)石川縣能登國輪島  
 町。

**杉森文雄** 東京日日新聞經濟部長。  
 弘前市(明二二)生。(學歷)弘前  
 中學卒業。(經歷)大二年より勤  
 續。(趣味)スポーツ。(現住)青  
 森市寺町。

**住井本次** 都新聞社。廣島縣賀  
 茂郡三津町。(現住)東京府荏原  
 郡池上町市之倉三一五。

**角英武** 帝國通信社社會部記  
 者。小石川小日向臺町(明三三、  
 五)生。(學歷)西南學院高等科  
 卒。(經歷)九州日報、帝通。(主  
 義)階級論、佛主主義。(趣味)朝

野、朝酒。(現住)府下平塚町字  
 戸越一〇六一。

**角森好藏** 藝備日日副編輯長兼  
 政治部長(大八、入社)(三五歲)  
 廣島縣生。妻あり。(趣味)讀書。  
 (政黨)憲政會。(現住)廣島市南  
 竹屋町(電話九一八)。

**炭谷松三**(清軒) 德島毎日政治  
 部長。(明三六、四入社)。德島  
 市(明一〇、一)生。家族四人。(新  
 聞)歴德島新報。(思想)國家中  
 心主義。(趣味)園藝。(政黨)政  
 友會。(現住)德島市寺島町。

**鈴木巖** 臺灣日日新聞新竹州駐  
 在記者。(明三二、一)生。神奈  
 川縣田浦町に生る。(學歷)臺北  
 中學、早大政治經濟科卒。(經歷)  
 大一一、四月現社へ入る。(主義)  
 社會主義。(趣味)讀書。(現住)  
 臺灣新竹街南門外一。

**鈴木一郎** 福島民友新聞社會部  
 長。(學歷)宮城縣立工業學校。  
 (經歷)大正九、三月福島民友新  
 聞社に入社。(現住)福島市日直  
 賜町二二)。

**鈴木一平** やまと新聞社經濟部  
 記者。大阪(明三三、四)生。(學  
 歷)攻玉社中學卒業後二年半日  
 本大學專門部に學ぶ。(經歷)帝

通信社經濟部二三ヶ年、東洋通  
 信社に一ヶ年勤務。(趣味)天文。  
 (現住)東京府下葉鴨町一七六  
 六。

**鈴木逸平** 國民地方部長(大  
 〇、一入社)。静岡縣(明一七、一  
 〇)生。妻老母一女。早大經濟部  
 外語支那語科。(新聞)歴博文館、  
 報知、運輸日報、大正日日。(著  
 作)交通史に關する二三(思想)  
 抵抗主義?(趣味)遊びと名のつ  
 くものは何でも。(現住)下谷區  
 仲御徒町二の二〇。

**鈴木悅二郎** 時事新報社販賣  
 部長。(現住)千葉縣船橋町九日  
 市町。

**鈴木兎癸衛** 天業民報社校正  
 部、東京市小石川區音羽町四ノ  
 一、二、(明三六、二、一九)生。私  
 立豐山中學校卒。(現住)東京小  
 石川區音羽町四ノ一、二。

**鈴木長治郎**(四〇歲) 東方通  
 信社通信部長。(現住)麻布區本  
 村町一三。

**鈴木忠助** 福島民友新聞若松  
 支局長。(現住)若松市千石町。  
 (電話)四三六〇。

**鈴木治一**(三〇歲) 國民新聞社  
 寫眞課。千葉縣立中學校中途退

學。(趣味)藝術寫眞。(現住)芝  
 區南佐久間町二ノ三。

**鈴木龍二** 國民新聞社、社會部  
 次長、東京日本橋。(明二八)生。  
 (經歷)時事、國民。(趣味)漫歩。  
 (現住)池袋七二九。

**鈴木一雄** 報知新聞寫眞部長。  
**鈴木兼吉** 大朝通信地方係主  
 任。(現住)堺市熊野大道三五。

**鈴木容(容堂)**(五六歲) 紀南新  
 聞社長。(新聞)歴明三五創刊始  
 め隔日刊一三年より日刊(趣味)  
 玉撞と将棋(現住)和歌山縣日高  
 郡御坊町。

**鈴木義仲**(小島) 國粹日日新聞  
 社常務理事、石川縣(明二八、七)  
 生。(學歷)明治大學法科卒業。  
 (經歷)元日本電力株式會社秘書  
 (趣味)旅行、演說。(現住)大阪  
 市西區阿波堀通四丁目(電話)西  
 三四七四。

**鈴木總二** 東京朝日新聞社、  
 東京明三四、八、一二)生。明  
 治大學政治經濟科。(趣味)旅行  
 寫眞。(現住)東京府下大森町諏  
 訪一、一七〇。

**鈴木丑藏** 中外商業新報社々  
 員。福島縣(明三四)生。(學歷)  
 專修商科學校卒業。專修大學專

門部經濟科卒業。(趣味)讀書。  
 (現住)府下平塚町戸越一三一  
 七。

**鈴木丑五郎** 中外商業新報社、  
 會計。府下荏原郡世田谷町二〇  
 番地。(明三三、一〇)生。二四、  
 四、中外に入社。(現住)市内四  
 谷區右京町二二)。

**鈴木梅四郎** 帝國通信社監査  
 役。

**鈴木信雄** 中央新聞社整理部、  
 東京府東京市(二四歲)。(現住)  
 東京市麹町區紀尾井町三三。

**鈴木信夫**(春方) 近江實業新報  
 記者。膳所町(明三六、一〇、二  
 一)生。京都美術學校出身、山  
 元春舉門下早苗會々員として日  
 本畫を修む(趣味)讀書と繪畫。  
 (現住)滋賀縣彦根町土橋。

**鈴木熊吉** 中央新聞社販賣部  
 長。茨城縣鹿島郡(四五歲)。(學  
 歷)法政大學法科。(經歷)都新  
 聞、萬朝報社を経て現在に至る  
 (現住)東京府下野方町上沼袋三  
 八〇。

**鈴木安** 元山毎日新聞記者。熊  
 本縣(明一九)生。(學歷)熊本縣  
 立熊本中學校卒業。(經歷)京城  
 日報、朝鮮新聞各社に記者とし

て勤務現在に至る。(趣味)圍碁  
 (現住)元山洲洞十九番地。

**鈴木保太郎**(五三歲) 國民新  
 聞校正課長。(新聞)歴最初より  
 國民新聞記者。(主義)穩健(現  
 住)下目黒九四〇。

**鈴木啓三** 函館毎日新聞營業局  
 長。渡島國福山町(慶三、一一、  
 一一)生。小學校を経て師範校  
 に入る。通信省、御料局北海道  
 廳、北海道支廳、郡役所等の吏  
 員を経て、商業會議所の前身たる  
 商工會等を経て現職に及ぶ  
 (趣味)書畫蒐集(現住)函館市湯  
 川一七。

**鈴木文四郎**(文史朗) (三七  
 歲) 東京朝日新聞社會部長。東  
 京外國語學校出身。(新聞)歴大  
 六入社、大七シベリア從軍巴里  
 講和會議ワシントン勞動會議ロ  
 シンドン特派員。ワシントン軍縮  
 會議特派。日刊アサヒグラフ編  
 輯部長より現職に大一一、一〇、  
 轉任(著書)「世界に聽く」(現住)  
 東京市四谷區左門町。

**鈴木幸次郎** 東方通信社通信  
 部。静岡縣(明三五、六)生。(現  
 住)府下蒲田新宿七三七番地。

**鈴木孝吉** 時事新報社經濟部

(大八、六入社)。山梨縣(明二三、  
 一一)生。(新聞)歴東京毎夕、電  
 通、自由通信。(現住)横濱市住  
 吉町六ノ七九時事新報支局内。

**鈴木幸藏** 東京毎夕新聞社。千  
 葉縣。(明二八)生。(學歷)早  
 稻田大學。(經歷)中央新聞、讀  
 賣新聞を経て現在に至る。(現  
 住)市外代々幡町中幡ヶ谷一三  
 九九。

**鈴木悌三**(紅村) 日刊山形政經  
 部長(明四五、五入社)。山形縣  
 (明二五、四)生。養母妻子供三  
 人。山形中學卒。(新聞)歴一一  
 年間現社にあり初めて五年は社  
 會部擔當。(趣味)乘馬、擊劍柔  
 道。寫眞。(政黨)政友會(現住)  
 山形市藥師町。

**鈴木鼎** 二六新報工務部長。  
**鈴木喜八事**(野村俊夫) 福島  
 民友新聞社記者。福島縣福島市  
 大字福島字仲間町五(明三)生。  
 (學歷)市立第一小學校卒業、市  
 立高等尋常小學校卒業。(經歷)  
 大正十四年五月二十五日福島民  
 友新聞社に入社し現在に及ぶ。  
 (主義)皇室中心主義。(趣味)文  
 學。(現住)福島市仲間町五番地。

**鈴木清** 敦賀中外新聞社主筆兼











昭和元年十二月二十五日印刷  
昭和元年十二月二十八日發行

(定價金四圓)

昭和二年版  
日本新聞鑑

著者權所有

編輯者兼  
發行

東京市京橋區南鍋町二丁目五番地  
永代靜雄

印刷人

東京市麴町區紀尾井町三番地  
小桐新太郎

印刷所

東京市麴町區紀尾井町三番地  
東京印刷株式會社麴町出張所

發行所  
發賣元

東京市京橋區南鍋町  
振替東京五五七八番  
電話銀座二五五五番  
東京市京橋區元數寄屋町三

新聞研究所  
北隆館書店

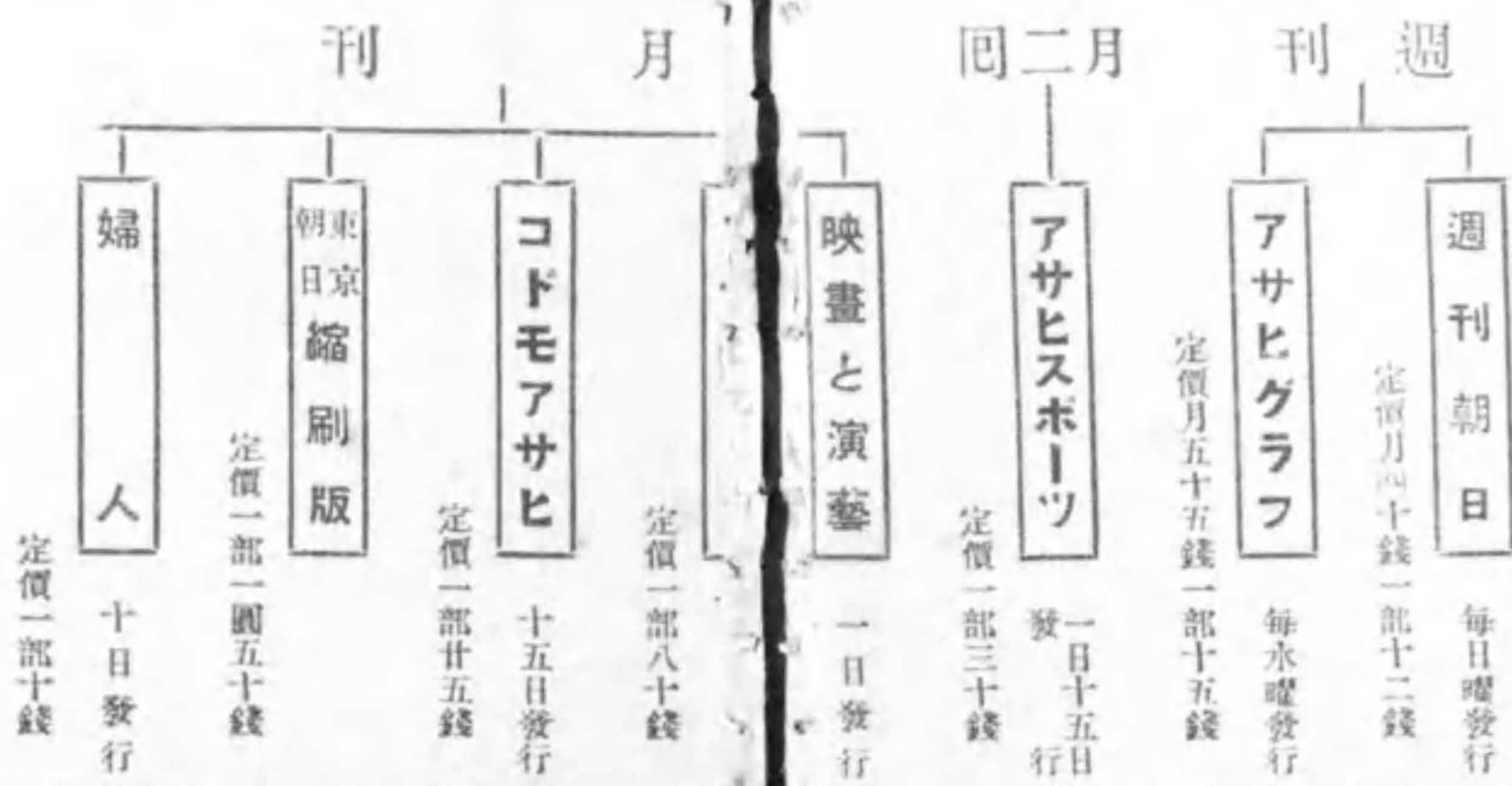


144  
709

東京朝日新聞

大阪朝日新聞

本社定期刊行物



朝日新聞株式會社

東京朝日新聞發行所  
東京京橋瀧山町

大阪朝日新聞發行所  
大阪北區中の島



2/5/58





終